



ExaPad マニュアル

Copyright © 2019 BroadLeaf Co. Ltd. All rights reserved.

Table of Contents

| | | |
|----------|--------------------------|-----|
| Part I | はじめに | 6 |
| 1 | 製品概要 | 14 |
| Part II | 主な使い方 (ユーザー・チュートリアル) | 17 |
| 1 | ログインする | 18 |
| 2 | ファイルを見る | 19 |
| 3 | ファイルを探す | 27 |
| 4 | ファイルを追加する | 36 |
| 5 | ファイルの編集 | 44 |
| 6 | 複数ファイル操作 | 49 |
| 7 | ファイルのタグ・プロパティ | 53 |
| 8 | ファイルを直接開く (オプション) | 57 |
| 9 | 多言語対応について | 60 |
| Part III | システム管理者リファレンス | 61 |
| 1 | 導入作業 | 62 |
| | インストーラーの実行 | 62 |
| | インストールされるサービス | 63 |
| | システム初期設定 | 64 |
| | システム設定画面アクセスの許可 | 64 |
| | ユーザー認証方法の設定 | 66 |
| | ライセンスの適用 | 72 |
| | ドキュメントルートフォルダの設定 | 77 |
| | リモートコンピューターの共有フォルダを公開する | 82 |
| | サービス実行ユーザーの設定 | 83 |
| | アクセスログ出力の設定 | 85 |
| | パフォーマンスチューニング | 87 |
| | インデックス構築処理の高速化 | 87 |
| | ヒープメモリ割り当てを増やす | 89 |
| | プレビュー作成設定 | 91 |
| | 動画プレビュー作成 | 99 |
| | インデックス構築 | 104 |
| | 定期実行タスクの設定 | 109 |
| | 管理者パスワードの設定 | 113 |
| 2 | 導入時の留意事項 | 116 |
| | インストールできない | 116 |
| | Fb3Indexerサービスの起動に失敗する | 118 |
| | Fb3Indexerサービスの回復 | 121 |
| | ポート番号をずらすには? | 123 |
| | シャットダウン・スクリプトの登録 | 124 |
| | 検索インデックス設定 | 128 |
| | インデックス除外設定 | 131 |
| | テキスト抽出エンジンIFilterの使用について | 136 |
| | 排他的ロックへの対応 | 138 |

| | |
|--|-----|
| フォルダアクセスのセキュリティ | 139 |
| ExaPadのセキュリティ設定 | 143 |
| 詳細環境設定 | 151 |
| ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合 | 152 |
| IPv6接続を有効にする | 153 |
| 3 導入後の運用について | 154 |
| サービスの実行と停止 | 156 |
| 作業ファイルの再配置 | 158 |
| 運用ログについて | 160 |
| アクセスログの読み方 | 161 |
| インデックス再構築 | 169 |
| 最新ユーザーセッション | 174 |
| Part IV あれっ？と思ったら | 176 |
| 1 ログインできない | 177 |
| ローカルログオンを許可する | 180 |
| LANのPCからログインできない | 185 |
| 2 フォルダが「存在しません」と表示される | 188 |
| 3 検索にヒットしない・ヒットしすぎる | 189 |
| 4 検索できなくなった | 191 |
| 5 プレビューが見えない | 192 |
| プレビューが作成されない | 195 |
| Part V こんな機能もあります | 198 |
| 1 メニューや機能のカスタマイズ | 199 |
| ファイル一覧でのクリック動作 | 200 |
| 拡張プロパティ | 204 |
| タグ定義 | 208 |
| 2 画面カスタマイズ | 216 |
| ヘッダーのカスタマイズ | 218 |
| フッターのカスタマイズ | 219 |
| フォルダアイコンのカスタマイズ | 220 |
| iPhone/iPadのホーム画面用アイコンなど | 222 |
| 直接ファイルオープンツール インストール画面 | 223 |
| その他カスタマイズ | 225 |
| 3 直接ファイルオープン | 226 |
| 4 ポータルオプション | 231 |
| 5 プレビューの大きさを変更する | 235 |
| 6 もしかして検索 | 237 |
| 7 ACLサーチ(アクセス権高度検索)の適用 | 238 |
| 8 *.dat, *.bin, *.hogeファイルをテキストファイルとして扱う | 240 |
| 9 セッションタイムアウト時間の変更(ブラウザ再起動時に自動でログイ ンする) | 242 |
| 10 アクセスログ集計(オプション) | 242 |
| 11 Windowsのショートカットファイルへの対応 | 250 |
| 12 パスワードオートコンプリートの有効化、無効化 | 252 |
| 13 CADファイルのプレビュー(オプション) | 253 |

| | | |
|----|-------------------------|-----|
| 14 | 統合Windows認証 | 256 |
| 15 | SSL設定 | 268 |
| | 自己署名証明書の作成 | 276 |
| | クライアント認証 | 279 |
| | pxfファイルのインポート | 282 |
| 16 | ファイル一覧の並び順を固定する | 284 |
| 17 | 標準の表示形式を変更する | 285 |
| 18 | タグ・プロパティの自動バックアップ | 286 |
| 19 | 開いているファイルを閉じる | 287 |

Part VI API V3 マニュアル 289

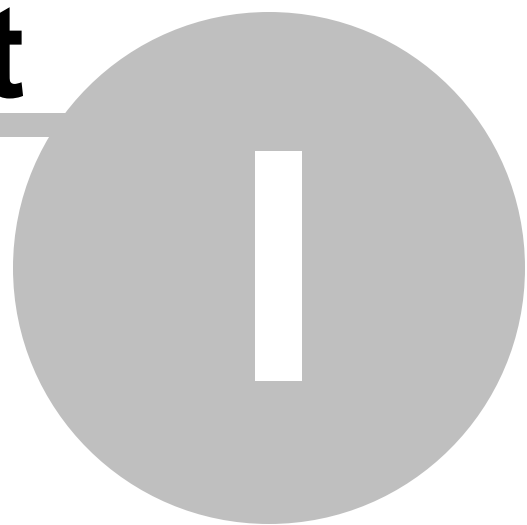
| | | |
|---|-----------------------------|-----|
| 1 | 更新履歴 | 292 |
| 2 | リファレンス | 293 |
| | auth | 293 |
| | login | 293 |
| | logout | 295 |
| | files | 295 |
| | list_folder | 296 |
| | search | 299 |
| | get_metadata | 301 |
| | upload | 303 |
| | upload_session/start | 306 |
| | upload_session/append | 308 |
| | upload_session/finish | 309 |
| | download | 311 |
| | view | 312 |
| | has_folder | 314 |
| | create_folder | 315 |
| | delete | 316 |
| | copy | 317 |
| | move | 319 |
| | rename | 320 |
| | setfiletime | 321 |
| | comment/add | 322 |
| | comment/remove | 323 |
| | download_tpi/create | 324 |
| | download_tpi/download | 326 |
| | get_thumbnail | 327 |
| | system | 328 |
| | get_resource | 328 |
| | check_async_job | 329 |
| | status | 330 |
| 3 | パラメータの指定方法について | 331 |
| 4 | ファイルシステムパス（パス）について | 332 |
| 5 | エラーについて | 333 |

Part VII 仕様 340

| | | |
|---|----------------|-----|
| 1 | 動作環境 | 342 |
| | 推奨ハード構成 | 344 |
| 2 | 全文検索対応形式 | 345 |

| | | |
|----------------------------------|---|-----|
| 3 | 画像プレビュー対応フォーマット..... | 347 |
| 4 | データ領域とバックアップ対象..... | 350 |
| Part VIII バージョンアップに関する重要な情報..... | | 352 |
| 1 | バージョンアップに関する注意事項..... | 353 |
| 2 | 追加・変更された機能一覧..... | 356 |
| 3 | Ver.3.3.2 - プレビュー作成設定の仕様変更..... | 377 |
| 4 | Ver.3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更..... | 380 |
| 5 | Ver.3.2.1.0 - PHPの利用廃止..... | 382 |
| 6 | Ver.3.1.8.0 - Solr3.6への自動バージョンアップ..... | 384 |
| 7 | Ver.3.1.7.4 - Apache2.2への自動バージョンアップ..... | 385 |
| 8 | Ver3.3.3.34 - Apache2.2.27(IPv6対応版)への自動バージョンアップ..... | 386 |
| 9 | Ver3.4.0 - 旧UIの廃止と仕様変更..... | 387 |
| 10 | Ver3.4.1.1 - Windows XP, 2003のサポート終了と仕様変更..... | 390 |
| 11 | Ver3.5.0 - パス形式の変更..... | 391 |
| 12 | Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました..... | 395 |
| 13 | Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、 ドキュメントルートエイリアスの省略禁止、 トップフォルダの表示..... | 396 |
| 14 | Ver3.7.0 - ユーザ・インターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしま した..... | 399 |
| 15 | Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更さ れます..... | 404 |
| 16 | Ver3.9.0 - 対応OS・ブラウザの変更、その他..... | 407 |
| 17 | Ver3.9.0.4 - 一部のセキュリティソフトがFbOpenWeb.exeのマルウェア感染を誤 検知する問題を回避..... | 409 |
| 18 | Ver3.15.0 - スマートカードやSSLクライアント認証およびシングルサインオン対 応、その他..... | 410 |
| 19 | Ver3.16.0 - Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました..... | 411 |

Part



1 はじめに

このたびは、ExaPadをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本マニュアルは、ExaPadの使い方とシステム管理者向けの解説の、主に2つの章で構成されています。

ご不明な点や、ご質問などがございましたら、弊社サポートまでご連絡ください。

本マニュアルについて

ExaPadを利用される方

- ExaPadは、シンプルなインターフェイスで構成されており、すぐに使い始めることができます。
- ご使用前に「主な使い方」の章をご覧くださいと、ExaPad機能を十分に活用できるようになります。
- システム管理者の設定によって、一部の機能が制限されていることがあります。

ExaPadを導入・管理される方

- ExaPadのセットアップや、利用を始める前に、「システム管理者リファレンス」の章を必ずお読みください。
- 複雑な導入作業は必要としませんが、適切に設定されていないと、期待する動作ができない場合があります。

おことわり

本マニュアルはバージョンアップに伴う仕様変更や、記述の訂正・改善を反映するために、予告なく変更されることがあります。

商標について

- Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標で

す。

- Internet Explorer、Active Directory、ActiveX、NET Framework、IISは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Access、Excel、Word、PowerPoint、Outlook、Visioは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentium、Celeron、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、iBooksは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Mac、Macintosh、Safari、iOS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iOS商標は、米国Cisco社のライセンスに基づき使用されています。
- Google chrome、Androidは、Google Inc. の登録商標です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apache、Apache Solr、Tomcat、Jettyは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。
- Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat およびAdobe Reader はAdobe Systems Incorporated の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Illustrator、Photoshop および InDesign は、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OpenOffice.org は、米国 Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- AutoCAD は、米国および/ またはその他の国々における Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- 3Dオフィスデザイナー、3Dマイホームデザイナーは、メガソフト株式会社の商品名称です。
- 1-2-3はLotus Development Corporationの登録商標です。
- 松、新松は、(株)管理工学研究所の商品名称です。
- OASYSは、富士通株式会社の商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

マニュアル改訂履歴

- 2019/04/08 Ver.3.16.0.39リリースに伴う改訂
 - バージョンアップに関する重要な情報 > Ver3.16.0 - Apache Solr を Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました 他 トピック追加
 - 主な使い方 (ユーザー チュートリアル) > ファイルのタグ (プロパティ) タイトルを「ファイルのタグ・プロパティ」に変更 文言修正
 - こんな機能もあります > メニューや機能のカスタマイズ > タグの設定 タイトルをタグ定義に変更 キャプチャ張り直し 文言修正
 - こんな機能もあります > タグ・プロパティの自動バックアップ トピック追加
 - システム管理者リファレンス > 導入後の運用について > アクセスログの読み方 日付フォーマットをS08601に変更
 - こんな機能もあります > SSL設定 pfxインポート対応によるキャプチャ張り直し
 - こんな機能もあります > SSL設定 > 自己署名証明書の作成 pfxインポート対応によるキャプチャ張り直し
 - こんな機能もあります > SSL設定 > pfx ファイルのインポート トピック追加
 - こんな機能もあります > 開いているファイルを閉じる トピック追加
- 2018/11/06 Ver.3.15.0.13リリースに伴う改訂
 - はじめに > 主な使い方 > ファイルのプロパティ の修正
 - こんな機能もあります > メニューや機能のカスタマイズ > 拡張プロパティ の修正
 - こんな機能もあります > メニューや機能のカスタマイズ > タグの設定 の修正
 - バージョンアップに関する重要な情報 > Ver3.15.0 - スマートカードや、SSL クライアント認証およびシングルサインオン対応、その他 の追加
 - 主な使い方 > ファイルを見る の修正
 - API V3 マニュアル > 更新履歴 の修正
 - システム管理者リファレンス > 導入作業 > プレビュー作成設定 の修正
 - 主な使い方 > ファイルを探す の修正
 - システム管理者リファレンス > 導入後の運用について > インデックス再構築 の修正
 - こんな機能もあります > SSL設定 の修正

- こんな機能もあります > SSL設定 > 自己署名証明書の作成 の修正
- こんな機能もあります > SSL設定 > クライアント認証 の追加
- システム管理者リファレンス > 導入時の留意事項 > 検索インデックス設定 の修正
- システム管理者リファレンス > 導入後の運用について > 作業ファイルの再配置 > 検索インデックスの設定変更 の削除

- 2018/07/13 Ver.3.14.0.5リリースに伴う改訂
- システム設定 > インデックス構築状況画面の変更による修正
- 統合認証の不具合修正による修正
- プレビューフォルダ (tpi_root) フォルダの読み取りは、Fb3Webサービスの実行アカウントで行うよう変更されたことによる修正
- システム設定 > 最新アクセスセッション 変更による修正
- 64bit版IIFilter対応による修正

- 2018/03/09 Ver.3.12.0.16リリースに伴う改訂
- 検索アクセスログの仕様変更による修正
- ドラッグ&ドロップによる上書き更新対応による修正
- 詳細検索ダイアログの仕様変更による修正
- インデックス構築状況画面の仕様変更による修正
- アクセスログ集計 キーワードランキングにおいて検索ワードを除外指定できるようになった

- 2017/11/27 Ver.3.11.0.2リリースに伴う改訂
- システム設定の各メニュー保存時に表示されるサービスの再起動ダイアログの変更に伴うキャプチャ張り直し 文言変更
- インデックス構築状況画面の変更に伴うキャプチャ張り直し 文言変更
- インデックス再構築、掃除メニューが無くなったため該当箇所を削除
- 除外パス設定の仕様変更によるキャプチャ張り直し 文言変更
- 管理ツールにてadminnetlistを編集できるようになったため説明を追加
- ファイル検索の説明を強化。(作成日時、ファイルサイズの検索対応など)

- 2017/08/01 Ver.3.10.0.4リリースに伴う改訂
 - API V3 マニュアル 更新履歴ページの追加
 - API V3 マニュアル files/list_folder attributes属性の修正
 - API V3 マニュアル get_thumbnail画像サイズについての説明を追加
 - 統合Windows認証 長時間バックグラウンド処理時の注意事項追記
- 2017/05/11 Ver.3.9.0リリースに伴う改訂
 - Ver3.9.0.4 - 一部のセキュリティソフトがbOpenWeb.exeのマルウェア感染を誤検知する問題を回避
- 2017/04/27 Ver.3.9.0リリースに伴う改訂
 - 検索UI変更による画像貼り替え
 - システム設定UI変更による画像貼り替え パスの変更
 - 管理ツールUI変更による画像貼り替え パスの変更
 - Windows Vista サポート対象外化
 - Windows 2016 サポート対象化
 - Internet Explorer 9, 10 サポート対象外化
 - 32Bit OSのサポート対象外化
 - .Net Framework2 → 4が必須要件化
 - 検索ファイルタイプ トピックの削除
 - こんな機能もあります 標準の表示形式を変更する トピックからfilelist_searchname_viewid_mobile, filelist_searchname_viewidを削除
 - 統合 Windows 認証 トピック Internet Explorer 11 に限定。その他のブラウザはサポート対象外化
 - Zipファイルが全文検索対象に追加
 - Ver3.9.0 - 対応OS・ブラウザの変更、その他 トピックの追加
- 2017/01/26 Ver.3.8.0.2リリースに伴う改訂
 - Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更されます の追加
 - SSL設定 の修正

- システム管理者リファレンス ポート番号をずらすには? の修正
- こんな機能もあります デフォルトの表示形式を変更する を追加
- システム管理者リファレンス インデックス除外設定 に追記
- システム管理者リファレンス IPv6接続を有効にする を追加
- 2016/11/17 Ver.3.7.0.12リリースに伴う改訂
- 新UI導入にともない 画面キャプチャーの張替え
- 全文検索対応形式にmd(Markdown) ファイルを追加
- メニューや機能のカスタマイズ> タグの設定 の追記
- 画面カスタマイズ> ファイルの一覧の並び順を固定する の追記
- 2016/07/07 Ver.3.6.0.1リリースに伴う改訂
- Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、ドキュメントトレイトエイリアスの省略禁止、トップフォルダの表示 の追記
- 環境設定をWebブラウザから変更できるようになったので文言の修正と画像を張り替えました
- ファイルを追加する にドラッグ& ドロップによるアップロード方法を追記しました
- インストーラーの実行 の初期化ウィザードの説明を削除しました
- 2016/02/29 Ver.3.5.1.1リリースに伴う改訂
- Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました の追記
- 管理ツール SSL設定において、自己署名証明書の作成方法と既存秘密鍵のインポート方法 の追記
- 直接ファイルオープンツール インストール画面 のカスタマイズ方法 の追記
- ポータルオプション ドキュメントトレイト以外に配置する方法 の追記
- Windows8.0, Internet Explorer8 がサポート対象外になりました。Microsoft Edgeがサポート対象になりました
- 管理ツールで管理者パスワードの初期化ができるようになりました
- 操作画面に変更(ファイルパスを一番上に表示するようになった)があったので、画像を張り替えました
- 2015/11/26 Ver.3.5.0.7リリースに伴う改訂
- 「ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合」を追記
- 2015/05/01 Ver.3.4.0 リリースに伴う改訂
- 旧UI廃止

- アクセスログのパス形式の変更
- 2014/08/28 Ver.3.3.3 リリースに伴う改訂
- OWA対応
- 初期導入ウィザード追加
- Apache2.2.27(IPV6対応版)
- 2014/04/03 Ver.3.3.2 リリースに伴う改訂
- [プレビュー作成設定](#)の仕様変更に伴い、操作方法が変更になりました。
- [プレビュー閲覧画面](#)のビューアーが新しくなりました。
- 2013/12/20 Ver.3.3.0 リリースに伴う改訂
- 主に管理ツールの仕様変更に伴う操作方法の変更など
- 2013/09/12 マニュアルの構成、内容を一部変更、追記しました。
- [バージョンアップに関する重要な情報](#)の項にバージョンアップに関する情報を集約しました。
- [動作環境、推奨ハード構成](#)の項目を、[仕様](#)の項に統合しました。
- [定期実行タスクの登録の項目](#)に、バッチの説明を追記しました。
- 2013/08/30 Ver.3.2.6 リリースに伴う改訂
- フォルダを除外した検索機能の追加、検索インデックス登録時の「登録済チェックをスキップする」の非表示など
- 2013/08/08 Ver.3.2.5 リリース
- [パスワードオートコンプリートの有効化、無効化](#)（追加された機能）
- [追加、変更された機能](#)（ページ追加）
- 2013/07/24 [検索にヒットしない・ヒットしすぎる](#)（訂正）
- ファイル名検索「文字列長2～15のNグラム方式」「文字列長1～15のNグラム方式」
- 2013/07/17 ExaPadの[セキュリティ設定](#)について、説明を分かりやすくするため追記。
- 2013/07/04 [画像プレビュー対応フォーマット](#)から、Open Document形式（ODT、ODS、ODP）を除外しました。
- 2013/06/28 Ver.3.2.4 リリースに伴う変更、追加
- 主な使い方 > [ファイルを見る](#)
- マウスホイール操作でのプレビュー拡大、縮小（追記）

- 主な使い方 > [複数ファイル操作](#)

ファイル属性の一括編集機能 （追加）

右クリックメニューからの複数ファイル操作 （改訂 追記）

- 2013/06/28 [Fb3Indexerサービスの回復](#) （改訂）
- 2013/04/09 Ver.3.2.2 新UI対応マニュアル （発行）

1.1 製品概要

ExaPadについて

- ExaPadはサーバーアプリケーションです。
- Webブラウザを使用してファイルサーバーにアクセスできるようになります。
- Windowsエクスプローラーと同じような感覚で簡単に操作できます。
- ファイルのキーワード検索、検索範囲の指定・変更が簡単です。
- プレビューにより簡単にファイル内容を閲覧です。

ExaPad の主な機能

| Web アプリケーション機能 | |
|-------------------|---|
| ファイル一覧 フォルダー一覧 | <ul style="list-style-type: none">● Webブラウザでフォルダ階層をたどってファイルを一覧● ファイルをサムネイル（縮小版画像）で一覧● ファイル一覧のExcel ワークシート書き出し |
| ファイル閲覧 | <ul style="list-style-type: none">● ファイルの内容をイメージや抜粋テキストでプレビュー表示● 複数ページのファイルはページ単位でプレビュー（PowerPoint文書など） |

| | |
|----------------------|---|
| セキュリティ | <ul style="list-style-type: none"> ● Windowsユーザー認証やWindows ファイルシステムのセキュリティに連動 ● 統合Windows認証 ● クライアント証明書認証 |
| ダウンロード/ アップロード *1 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規ファイルのアップロード ● 既存ファイルのダウンロード ● 新しいファイルをアップロードして既存ファイルの上書き |
| ファイル/ フォルダ 操作 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規フォルダを作成 ● テキストファイルの作成、編集 ● フォルダ/ファイルのコピー、移動、削除 |
| 属性管理 | <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル/フォルダに任意のテキストを書き込み ● ファイルに任意のテキストを書き込み（追記型） ● ファイルプロパティ（タイトル・表題・カテゴリ・キーワード・コメント）に任意のテキストを書き込み |
| 検索 | <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル名検索、全文検索、属性検索 ● フォルダも検索対象 ● フォルダ階層を選択して検索範囲を自由に指定、変更 ● 更新日、ファイル種類を選択して絞り込み検索 |

*1 モバイル端末などでは、端末の仕様によりアップロードできない場合やファイル種類に制限がある場合があります。

| ファイル変更検出エンジン機能 | |
|----------------|--|
| リアルタイム変更検出 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規に追加・更新された文書を即時に検出し、全文検索インデックスおよびプレビュー画像を更新 |
| 定期変更検出 | <ul style="list-style-type: none"> ● 定期的に全フォルダ・全ファイルを巡回して、変更検出の漏れを補完 |

ExaPad使用上の注意

有効なファイル名について

- ExaPadはファイルやフォルダをWindowsのファイルシステムに保存しています。
- ExaPadのご使用にあたって、次の制限があります。
- ファイル名、パス名の長さ制限はありません。
- ただし長いファイル名（文字数259文字、文字帳512バイトを超えるファイルパス）を持つファイルの場合、全文検索、プレビュー、ファイル操作は可能ですが、プロパティ変更などの一部機能が制限されます。

Part



2 主な使い方（ユーザー・チュートリアル）

この章では、ExaPadの基本的な使い方を説明します。

2.1 ログインする

ExaPadを利用するには、ユーザー名とパスワードを入力してログイン認証を行う必要があります。

Windows OS に登録されているユーザー情報を利用するため、通常は新たにユーザー登録を行う必要はありません。

標準設定では、ExaPadをインストールしたサーバーに登録されているユーザーアカウントでログインできるようになっています。

ログインの方法

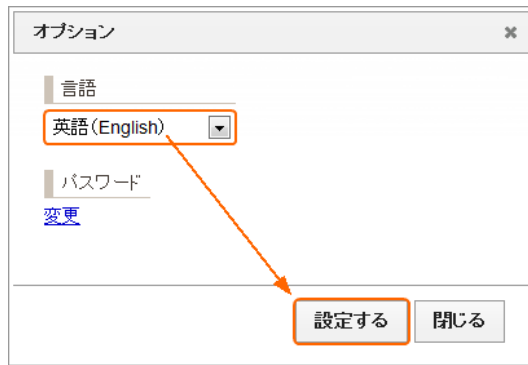
1. ExaPadのURLをブラウザのURL 欄に入力して、ログイン画面を開きます。

`http://<ホスト名>/ExaPad` など、システム管理者に確認してください。

2. Windows ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」ボタンを選択すると、画面が切り替わります。

メニューを英語に切り替える

- ログイン時に画面下部に表示される「ExaPad in English」を選択すると、メニューの表示を英語に切り替えることができます。
- ログインした後に切り替える場合は、画面下部の「オプション」を選択して言語設定を変更してください。
- 英語（English）を選択して「設定する」を選択して完了です。



2.2 ファイルを見る

ExaPadでは、フォルダの階層をたどってファイルを一覧表示したり、プレビューしたりすることができます。

見たいフォルダに移動する

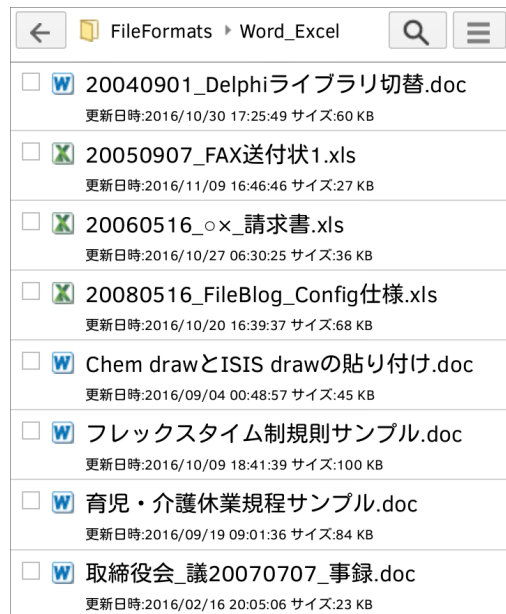


- PC画面では左側にフォルダのツリーが表示されています。右側にはお選択したフォルダの内容が表示されます。
- ページ上部にはフォルダのパスが表示されています。移動先を選択してクリックすると、そのフォルダの内容が表示されます。

[モバイル端末での表示の場合]

- モバイル端末は、Android OS の端末、iPhone が分類されます。（iPad はPC と同じ表示です。）

- モバイル画面ではPCの場合と画面構成は同一ですが、フォルダツリーは表示されず、フォルダの内容のみ表示されます。
- タッチパネルで操作しやすく 画面が見やすくなるようにボタンの大きさや表記がPC版とは異なります。



ファイルパスを直接入力して移動する

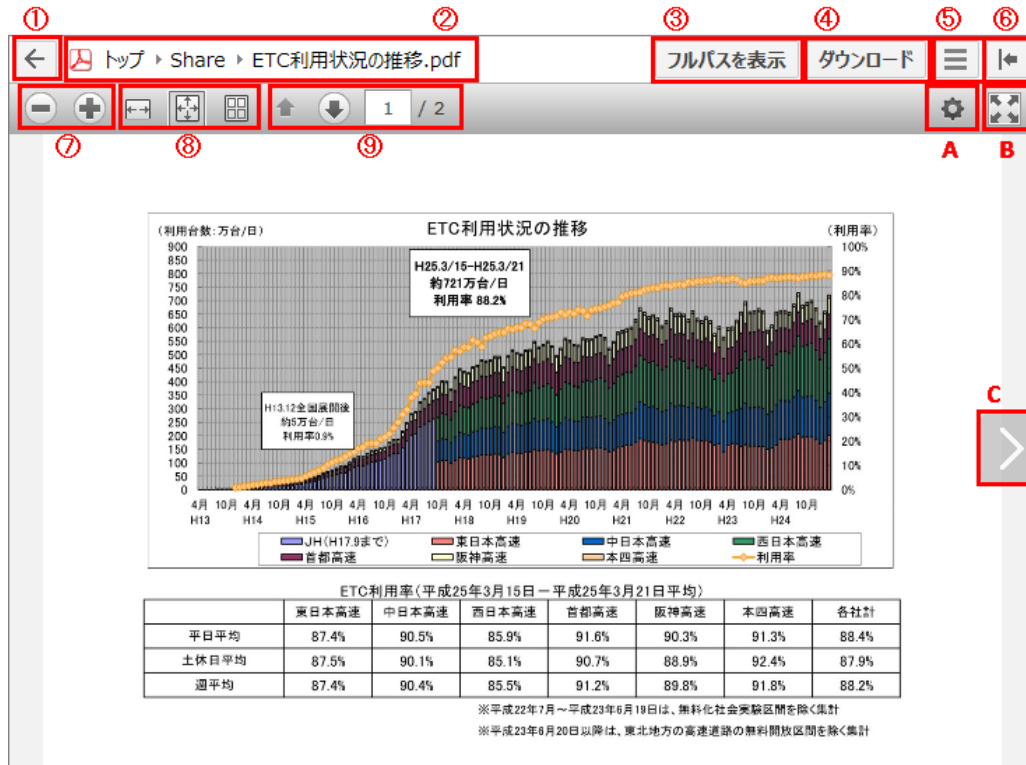
- Version3.5.1以降、ファイルパスの直接入力に対応しました。
- 直接入力するには、パスが表示されているパネルの空いた箇所をクリックしてください。
- iPad などのモバイル端末では直接入力できません。



ファイルを閲覧

選択したフォルダの中からファイルをクリックすると 1 ページ目のプレビューが表示されます。

画像プレビュー



一覧に戻る：ひとつ上のフォルダ階層に移動します。

- ファイルを開いている場合はファイルのあるフォルダに移動します。
- 検索結果からファイルを開いた場合は、検索結果に戻ります。

ブレイクランプス：選択したフォルダを開きます。

フルパス：ファイルパスを表示します。

ダウンロード：ファイルをダウンロードします。

操作メニュー：ファイル操作メニュー一覧が表示されます。

プロパティ：プロパティの表示・非表示を切り替えます。

拡大 縮小：プレビュー画像の拡大 縮小を行います

- PCの場合は、プレビュー上をダブルクリックすると、その地点を中心にプレビューが拡大されます。

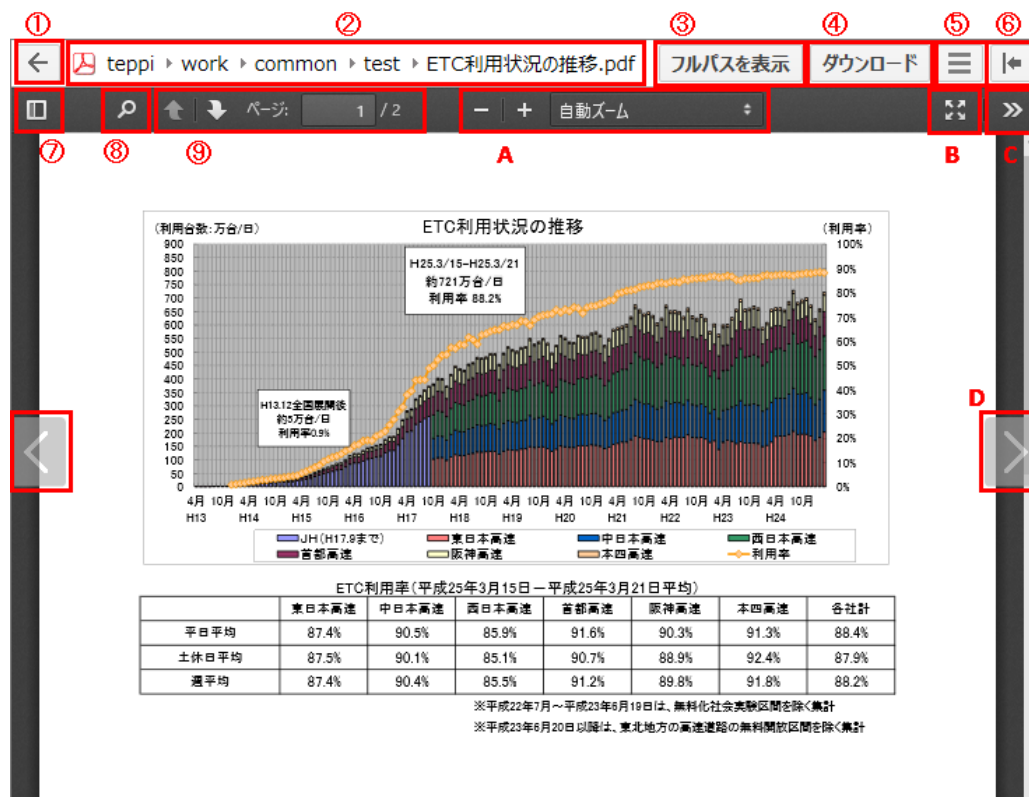
プレビューサイズ選択：プレビュー画像を横幅フィット、ページフィット、サムネール一覧で表示します。

ページ送り：上下ボタンでページを繰ることができます。ページ数を入力すると当該ページまでジャンプします。

- スマートデバイスの場合は、横スクロールなので左右ボタンが表示されます。

- A 画面設定：画面の表示方法を設定します。
- B 全画面表示：ファイルの内容を全画面で表示します。
- C ファイル送り：次のファイル、前のファイルを表示します

PDFプレビュー



一覧に戻る：ひとつ上のフォルダ階層に移動します。

- ファイルを開いている場合はファイルのあるフォルダに移動します。
- 検索結果からファイルを開いた場合は、検索結果に戻ります。

ブックマークプラス：選択したフォルダを開きます。

フルパス：ファイルパスを表示します。

ダウンロード：ファイルをダウンロードします。

操作メニュー：ファイル操作メニュー一覧が表示されます。

プロパティ：プロパティの表示・非表示を切り替えます。

サイドバー：サイドバーの表示・非表示を切り替えます。サムネール一覧や目次一覧を表示できます。

検索：キーワードでファイル内検索ができます。キーワードのハイライト表示、ジャンプができます。

ページ送り：上下ボタンでページを繰ることができます。ページ数を入力すると当該ページまでジャンプします。

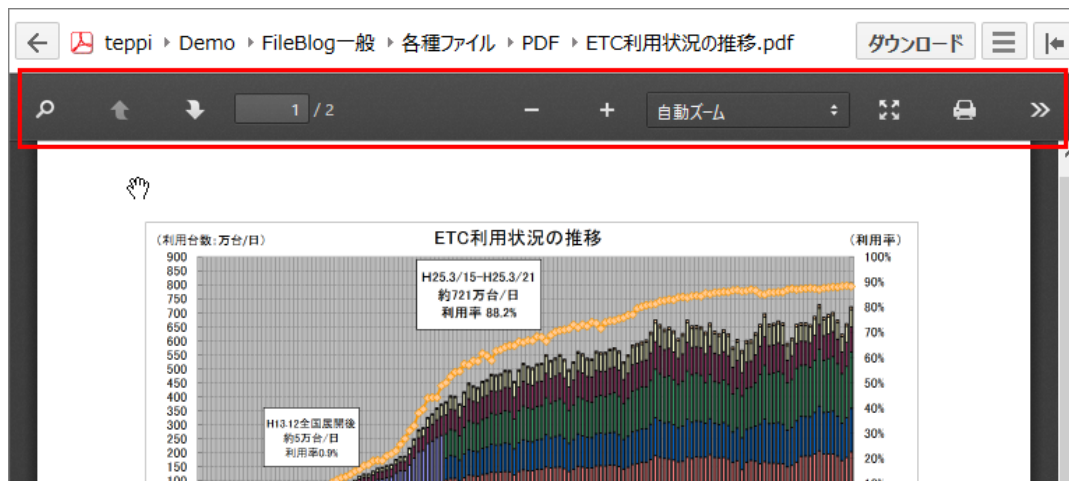
A 拡大 縮小：PDF表示の拡大 縮小を行います。倍率を指定できます。

B 全画面表示：ファイルの内容を全画面で表示します。

C ツール：最初・最後のページにジャンプ、表示の回転などができます。

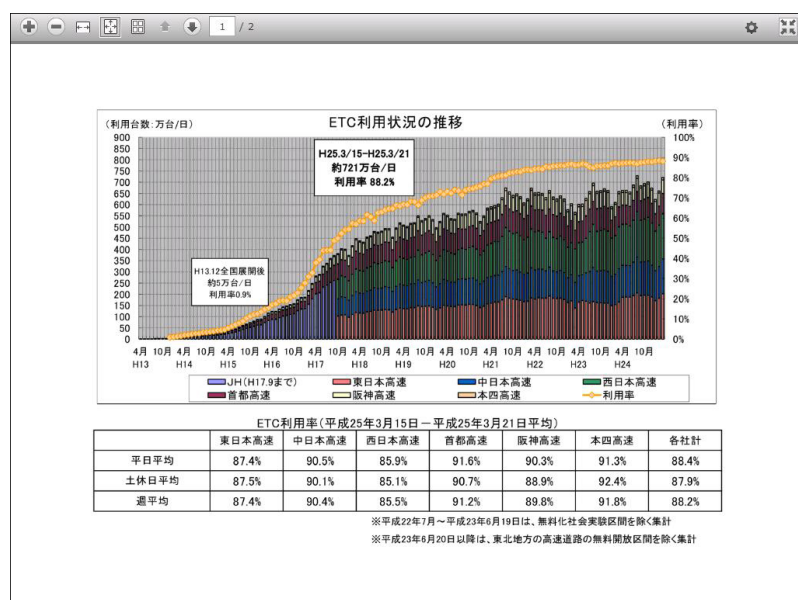
D ファイル送り：次のファイル、前のファイルを表示します

Version3.15.0以降、モバイル端末(ipad含む)において専用のツールバーが表示できるようになりました。



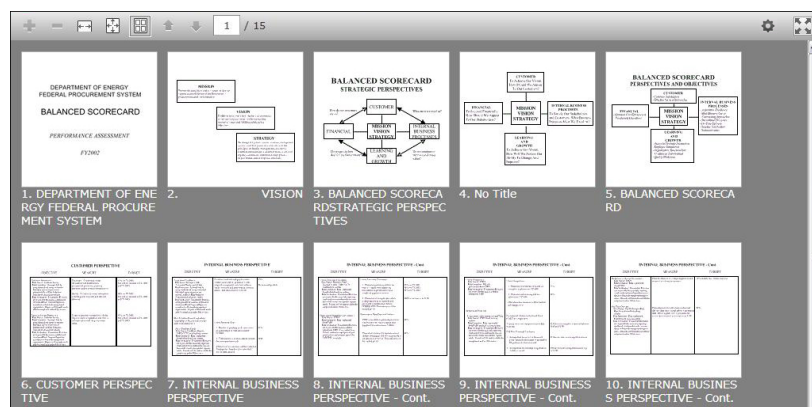
[全画面表示]

- 「全画面」ボタンを押すと画面いっぱいにプレビューを表示します。
- PCでの操作の場合、画面をダブルクリックすると、その位置を中心にプレビューが拡大されます。
- iPad等のタッチデバイスでは、ピンチイン・ピンチアウトでの拡大縮小ができます。(PDFプレビューでは反応が鈍いため、+・-ボタンを使用してください)



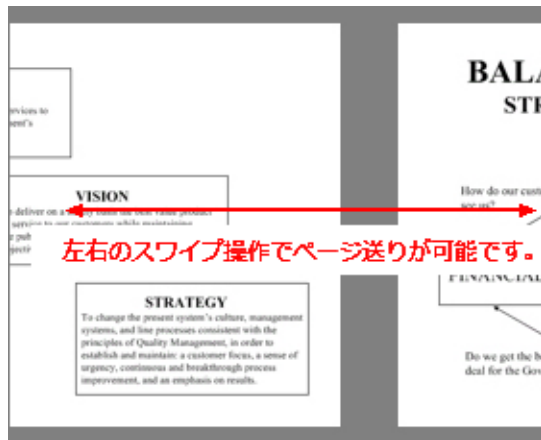
[サムネール一覧画面]

サムネール一覧画面では任意のページジャンプすることが可能です。



[スワイプ操作によるページ移動]

iPadなどのタッチデバイスでは、画面を左右にスワイプする事で、ページ送りができます。(PDFプレビューではスクロール操作になります)



左右のスワイプ操作でページ送りが可能です。

表示形式の切り替え

ExaPadではファイルやフォルダの表示のしかたを変更することができます。

[並び順の変更]

- ファイルの並び順を変更できます。
- ファイル名、更新日時、サイズ、種類の昇順、降順から選択します。
- 赤い枠で囲まれた部分を押すと、ファイルの並び順が変わります。押すごとに、昇順と降順が順番に変わります。



[表示形式の変更]

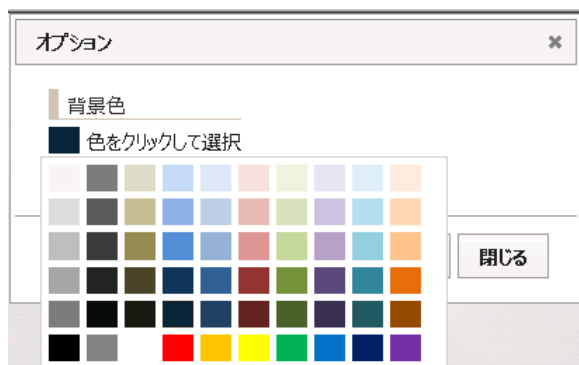
ファイル一覧の表示形式を変更できます。

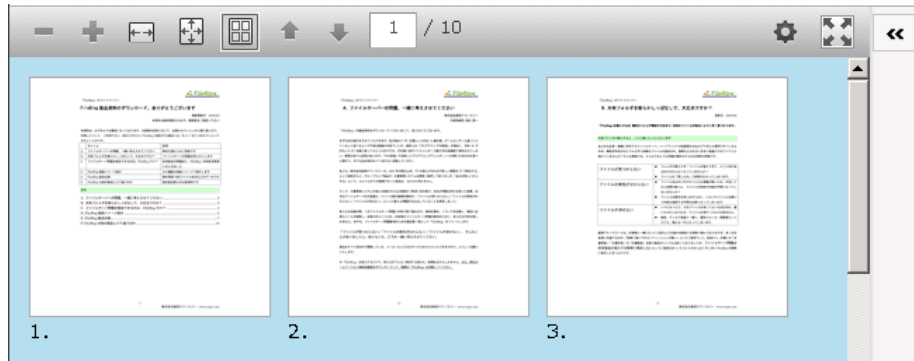


- 一覧 ファイル名、サイズ、更新日時、種類をリスト形式で表示します。
- 画像 ファイルから抽出したサムネイルを表示します。サムネイルが作成されていない場合はアイコンで表示します。
- 画像(大) より大きなサイズのサムネイルを表示します。
- 詳細 上記に加えて、ファイルから抽出したテキストがあれば表示します。
- フォルダツリー 左カラムのフォルダツリーの表示・非表示を操作できます。

[画面設定]

プレビュー画面の背景色を変更できます。



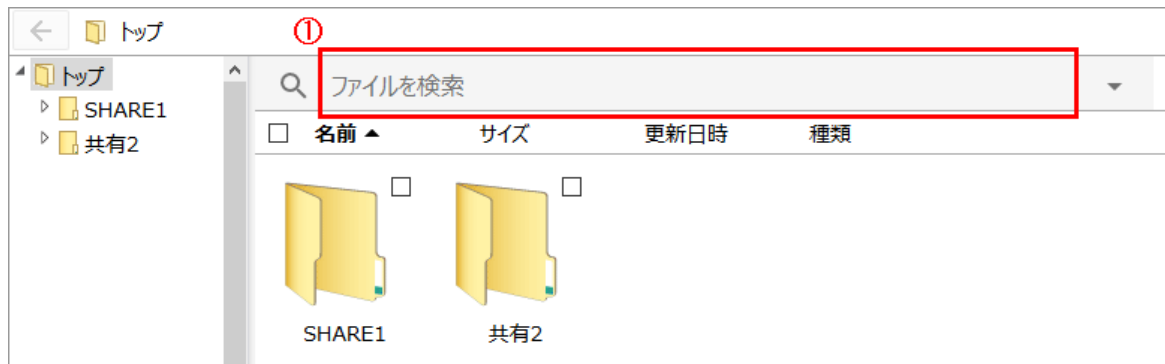


2.3 ファイルを探す

ExaPadでは、いろいろな検索方法でファイルサーバーにある文書を探ることができます。

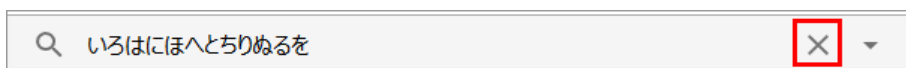
全文検索する

全文検索では、ファイル名、フォルダ名、ファイル内テキスト、プロパティ、タグが検索対象です。



【検索ツールバー】

1. 検索ツールバーの に検索したいキーワードを入力し、『Enter』または検索（虫眼鏡）ボタンを選択します。
2. 検索結果が表示されます。
3. 検索ワードボックスの ボタンを選択すると検索状態がクリアされます。



検索ツールバーのショートカット

| 操作 | ショートカット |
|----|---------|
|----|---------|

| | |
|------------|---------------------------|
| 全文検索する | 検索キーワードを入力 + Enter |
| ファイル名を検索する | 検索キーワードを入力 + Ctrl + Enter |

条件を指定して検索する

ExaPadでは、全文検索のほかに条件を指定してファイルとフォルダを検索することができます。

The screenshot shows the 'ファイルを検索' (Search Files) panel. It includes a search bar at the top with a dropdown arrow (2). Below are several input fields for search criteria, each with a red box and a number: (3) File name, (4) Text contained in file, (5) Type (dropdown), (6) Update date (dropdown), (7) Creation date (dropdown), (8) Size (dropdown), and (9) Folder path. Below these is a 'プロパティ / タグ' (Properties / Tags) section with a dropdown (10) and a search input field. At the bottom are three buttons: '検索' (Search), 'リセット' (Reset), and 'キャンセル' (Cancel) (11).

【 検索パネル】

| 検索フィールド | 説明 |
|------------|---|
| 検索パネル表示ボタン | ボタンを選択すると、検索パネルが表示されます。 |
| ファイル名検索 | ファイル名、フォルダ名に含まれる文字列が検索対象です。 任意のキーワードを指定します。 |
| 含まれている語句 | ファイルの全文（ファイル内テキスト）、ファイル名、フォルダ名、プロパティ、タグが検索対象です。 任意のキーワードを指定します。 |
| 種類 | ファイル種類が検索対象です。 Word、PDF、画像など既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択しファイルの拡張子をカンマ区切りで指定します。 (例) docx,xlsx,pptx |
| 更新日時 | ファイルの更新日時が検索対象です。 「今日のみ」「今日まで1週間」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択し日付の範囲を指 |

| | |
|-----------|---|
| | 定します。 (例) 2012/4/1 - 2013/3/31 |
| 作成日時 | ファイルの作成日時が検索対象です。 「今日のみ」「今日まで1週間」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択し日付の範囲を指定します。 (例) 2012/4/1 - 2013/3/31 |
| サイズ | ファイルのサイズが検索対象です。 「10MB以上」「0バイト」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択しサイズの範囲を指定します。 (例) 100MB-200MB |
| フォルダパス | 検索対象のフォルダを指定します。 |
| プロパティ/ タグ | プロパティ、タグのテキスト情報が検索対象です。 検索対象にするプロパティ/ タグを選択し、任意のキーワードを入力します。 「+」ボタンを押すと、プロパティ/ タグの検索条件を追加できます。 文字列型のタグを対象とした場合、任意のキーワードを指定します。 日付型のタグを対象とした場合、更新日時や作成日時と同じ日付範囲の条件指定が可能です。 |
| ボタン | 検索」を選択すると指定した条件で検索が実行されます。 「リセット」を選択すると、指定した条件が解除されます。 「キャンセル」を選択すると、検索パネルが非表示になります。 |

フォルダを選択して検索結果を絞り込む

ExaPadの検索は、選択したフォルダの配下を検索します。

- 「トップ」フォルダを選択して検索を実行すると、ドキュメントルート全体が検索対象になります。
- あらかじめフォルダを選択してから検索を実行すると、選択されているフォルダ配下が検索対象になります。
- 検索結果が表示されている状態でフォルダツリーからフォルダを選択すると、同じ検索条件で選択フォルダ配下が検索されます。
- フォルダの上位階層選択すると検索対象範囲が広がり、下位階層を選択する範囲が狭まります。同位階層または別の階層を選択すると範囲が移動します。

複数フォルダで検索する

複数のフォルダ以下のファイルを検索するには、folder フィールドを指定して以下のような検索式を検索ツールバーに入力します。

例1：「野球」をファイル本文に含む teppi もしくは CDServer 以下のファイル/フォルダを検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) 野球
```

例2：「野球」を名前に含む teppi もしくは CDServer 以下のファイル/フォルダを検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) title:野球
```

例3：「野球」を名前に含む teppi もしくは CDServer 以下のファイル/フォルダを検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) title:野球 type:folder
```

Ver 3.12.0以降、ファイルリスト上で複数のフォルダを選択し「選択フォルダ内で検索」を実行することでも複数フォルダを検索することができます。



また「プロパティ / タグ」から「サブフォルダ」を追加することもできます。

プロパティ / タグ

サブフォルダ ... +

複数のキーワードで検索する

AND検索

複数のキーワードをスペース（空白）もしくは「AND」で区切って入力すると、全てのキーワードを含むファイル/フォルダを検索します。

[キーワード1] [スペース または AND] [キーワード2] のように入力します。

以下の例は、いずれも「発売日」および「決定」を含むファイル/フォルダを検索します。

発売日 決定

発売日 AND 決定

OR検索

複数のキーワードを半角の縦線（パーティカルライン）「|」または半角の「OR」で区切って入力すると、複数キーワードのいずれかを含むファイル/フォルダを検索します。

[キーワード1] [スペース] [| （半角縦線） または OR] [スペース] [キーワード2] のように入力します。

以下の例はいずれも「横綱」もしくは「大関」を含むファイル/フォルダを検索します。

横綱 | 大関

横綱 OR 大関

NOT検索

複数のキーワードを半角の感嘆符（エクスクラメーションマーク）「!」、または「NOT」で区切って入力すると「!（NOT）」の後ろのキーワードを含まないファイル/フォルダを検索します。

[キーワード1] [スペース] [! （半角感嘆符）またはNOT] [スペース] [キーワード2] のように入力します。

以下の例はいずれも「野球」を含み「大リーグ」を含まないファイル/フォルダを検索します。

野球 !大リーグ

野球 NOT 大リーグ

AND、ORを組み合わせる

AND、OR、NOTを組み合わせる場合は、各条件の優先順位を明確にするために、括弧（ ）を用います。

例1：「発売日および決定」もしくは「横綱 大関」を含むファイル/フォルダを検索します。

(発売日 決定) OR (横綱 大関)

例2：「ファイル名に仕様書もしくは説明書を含み」かつ「共有 /ドキュメントもしくは 共有 開発部 以下」のファイル/フォルダを検索します。

(title:仕様書 OR title:説明書) AND (folder:/共有 /ドキュメントOR folder:/共有 開発部)

ファイル種類で検索する

フィールド名にtypeを指定すると、ファイル種類を対象に検索します。

[type:] [ファイル種類]

例1：「docx 」もしくは「pptx 」もしくは「xlsx 」が拡張子であるファイル/フォルダを検索します。

```
type:docx,pptx,xlsx
```

例2：「doc 」もしくは「docm 」もしくは「docx 」が拡張子であるファイル/フォルダを検索します。wordはシステムに定義されたdoc,docm,docxのショートカットです。

```
type:word
```

word以外にもexcelやpowerpoint, image, cadなどのショートカットが定義されています。利用可能なショートカットは検索パネルのファイル種類から指定できます。

例3：「txt 」以外の拡張子のファイル/フォルダを検索します。

```
type:-txt
```

ファイルサイズで検索する

フィールド名にsizeを指定すると、ファイルサイズを対象にファイルを検索します。フォルダは検索対象に含まれません。

[size:] [サイズ条件]

例1：「10MB 」以上のサイズのファイルを検索します。

```
size:10MB-
```

例2：「10MB 」以下のサイズのファイルを検索します。

```
size:-10MB
```

例3：「20KB 」以上「30GB 」以下のサイズのファイルを検索します。

```
size:20KB-30GB
```

例4：「0バイト 」のファイルを検索します。

```
size:0
```

例5：フォルダ検索します。sizeフィールドはフォルダが対象になりません。フォルダのみを検索する場合、type:folderを使います。

```
type:folder
```

日付で検索する

フィールド名にdate(更新日時)やcreated(作成日時)や日付型のタグ名を指定すると、それぞれの日時を対象にファイル/フォルダを検索します。

[date:] [日付条件]

[created:] [日付条件]

[日付型のタグ名:] [日付条件]

例1：「今日」更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:today
```

例2：「1年以内」に作成されたファイル/フォルダを検索します。

```
created:last1y
```

例3：「1週間以内」に更新された「pdf」ファイルを検索します。

```
type:pdf date:last1w
```

例4：「2017/11/01」以降に更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:2017/11/01-
```

例5：「2017/12/01」以前に更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:-2017/12/01
```

例6：「2017/11/01」以降「2017/12/01」以前に更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:2017/11/01-2017/12/01
```

例7：「2017/11/01」に更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:2017/11/01
```

ワイルドカードで検索する

ExaPadの全文検索では、半角文字列をキーワードとして検索するとテキストの部分一致は検索結果に反映されません。（詳細は[こちら](#)）

この場合、ワイルドカード（特殊文字）文字を用いることで、半角文字列の部分一致検索ができます。

ファイル名検索の場合は、ワイルドカードを使用しなくても半角文字列の部分一致検索が可能です。

[*] アスタリスク

任意の0文字以上にヒットします。

abcで始まるファイル/フォルダを検索します。任意の0文字以上が対象なのでabcもヒットします。

```
abc*
```

[?] 疑問符

任意の1文字にヒットします。

abcで始まるファイル/フォルダを検索します。任意の1文字以上が対象なのでabcはヒットしません

```
abc?
```

その他のワイルドカードの使用例

以下の例は、いずれも、「share」で始まる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

```
share*
```

```
share?
```

以下の例は、いずれも、「1975」で終わる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

```
*1975
```

```
?1975
```

以下の例は、「search」で始まり「pdf」で終わる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

```
search*.pdf
```

検索画面のカスタマイズ

[ポータルオプション](#)ライセンスがあれば、以下の画面のように、お客様専用の検索画面を作ることが可能です。

詳しくはお問い合わせください。



その他のワイルドカードの使用例

以下の例は、いずれも「share」で始まる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

share*

share?

以下の例は、いずれも「1975」で終わる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

*1975

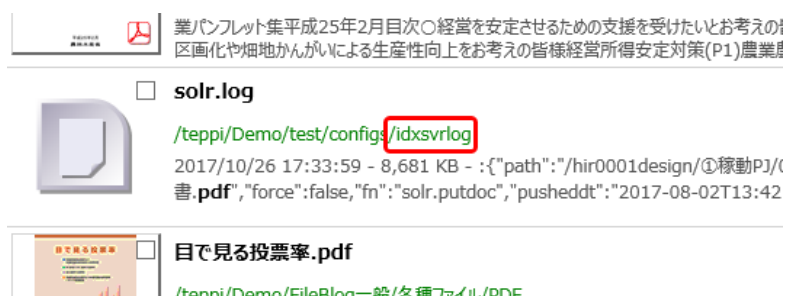
?1975

以下の例は、「search」で始まり「pdf」で終わる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

search*.pdf

ヒットしたファイルの親フォルダを開く

ヒットしたファイルの親フォルダ名をクリックすると、その親フォルダを開くことができます。



Version3.15.0からは親フォルダをクリックした時に確認ダイアログが表示されるようになりました。



2.4 ファイルを追加する

ファイルの登録・アップロード

ExaPadには、フォルダにファイルを追加するためのアップロード機能があります。

ファイル追加にはアップロード機能の使用が必須ではなく、Windowsエクスプローラーを使用してファイルを追加することもできます。

- 標準アップローダー

- どのブラウザでもプラグインを必要とせず動作します。
- 同一フォルダ内のファイルを複数選択して一括アップロードすることができます。
- フォルダのアップロードはできません。

- ドラッグ&ドロップ

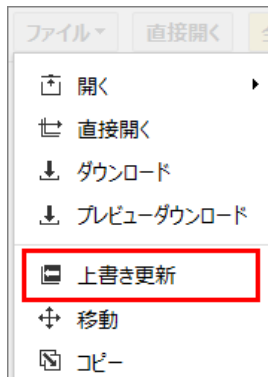
- ファイルの一覧画面（Webブラウザ）にWindowsエクスプローラーやデスクトップから、複数ファイルをドラッグ&ドロップでアップロードできます。

- フォルダのアップロードをすることができます。(Google Chrome, FireFoxのみ)
 - PCのみ有効な機能で、モバイル端末では使用できません。
 - HTML5 File.APIに対応したブラウザのみ対応しています。(Internet Explorer11以降、Google Chrome, Firefox)
 - ファイルの上書き更新ができます。(Ver 3.12.0以降)
- Javaアップローダー
 - Java アプレットの実行環境が必要です。
 - Windowsエクスプローラーやデスクトップから、複数 ファイルやフォルダをドラッグ& ドロップでアップロードできます。
 - サーバーの接続に、セキュリティサービスやリモートアクセスサービスなどをお使いの場合、Java アップローダーが使用できない場合があります。
 - 最新のブラウザでは、Java アプレットがサポートされなくなり、Java アップローダーを使用できない場合があります。

ファイルの上書き更新

ファイルアップロードによる既存ファイルの更新には「上書き更新」機能を使用してください。

ファイルメニュー > 上書き更新 で行います。



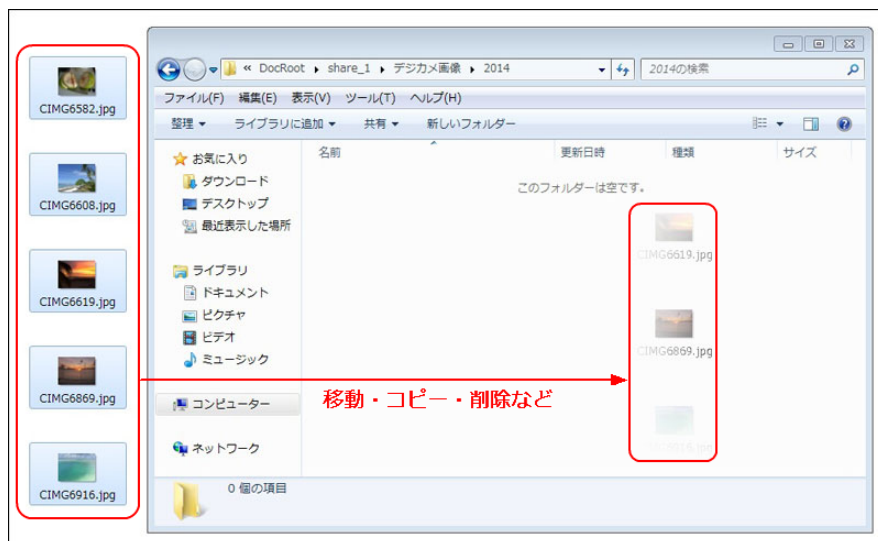
Ver 3.12.0以降ドラッグ & ドロップによる上書き更新に対応しました。

エクスプローラーからファイルサーバーに直接アクセスする

ExaPadが公開しているフォルダは、Windows ファイルサーバーに実際に存在するフォルダです。

このフォルダに直接アクセスすることで、ファイルの追加・更新を行なうことができます。

直接ファイルサーバーに加えられた変更も ExaPad は自動的に検出してインデックスなどを更新します。



Windows エクスプローラーで変更されたファイルは、ExaPad で操作した場合と全 同 じ よ う に 画 面 上 で 閲 覧 で き る よ う に な り ま す。

ExaPad の画面を更新することにより反映されます。ファイルの登録作業は不要です。



ExaPad からアップロードする

標準アップロード (PC の場合)

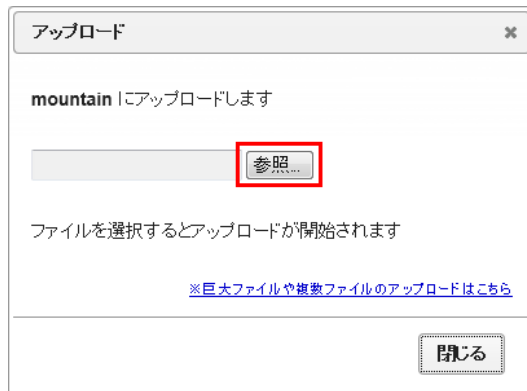
標準アップロードでは、同一フォルダ内の複数ファイルを一括アップロードすることができます。

- ファイルをアップロードしたいフォルダに移動し、操作メニューを開いてアップロードを選択します。

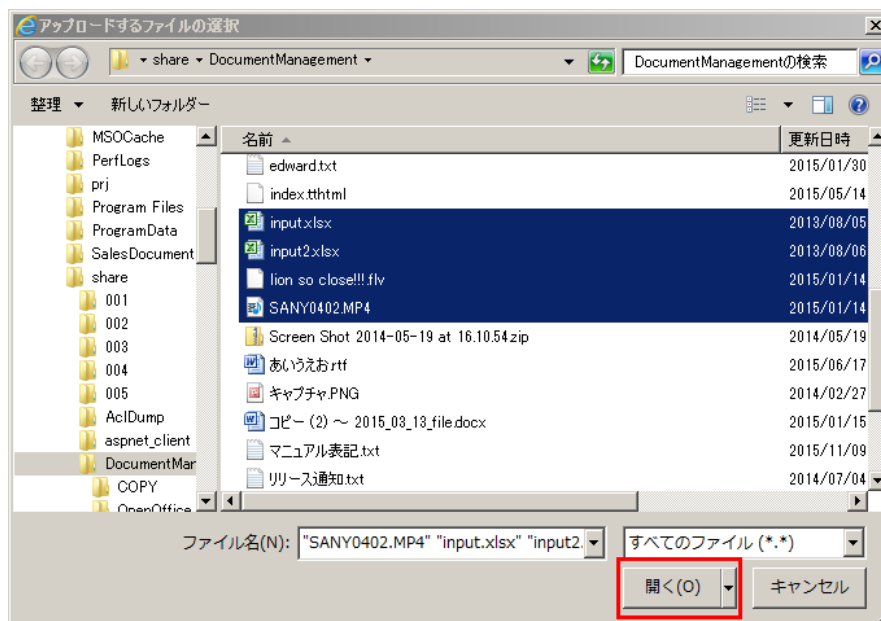
(フォルダツリーやファイルのパスを右クリックしても選択できます。)



- ダイアログボックスが開きます。



- 参照を押すとエクスプローラーが開きます。



- アップロードするファイルを選択してください。開くをクリックするとアップロードが始まります。
- 続けてアップロードする場合はダイアログボックスの指示にしたがってください。
- アップロードが終わったらダイアログボックスを閉じます。

モバイル端末からのアップロード

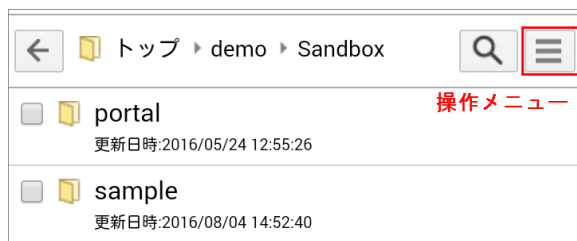
ExaPad Ver.3.2.2 以降、モバイル端末からのアップロードが可能になりました。

モバイル端末からのアップロードは、端末の機能に依存しています。アップロード機能の使用やアップロードできるファイル種類が制限される場合があります。

たとえば iOS 5 以前の端末はアップロードできません。また可能な iOS 端末でもカメラロールやフォトライブラリ内のファイルのみが対象となります。

- ファイルをアップロードしないフォルダを開きます。

画面左上のファイルメニューをタッチしてメニューを表示してください。



- 「アップロード」を選択します。



- アップロードダイアログが開いたら、「ファイルを選択」を選択してください。



- ファイルの選択画面が表示されます。アップロードするファイルを選択してください。

端末種別によってファイルの選択方法が異なります。ここでは一例としてOS（iPhone、iPadなど）の場合をご紹介します。

iOSでは「カメラロール」からアップロードを行います。



- メニューからアップロードするファイルを選択してください。



- ファイルを選択すると自動的にアップロードが始まります。

アップロードが完了すると「続けてアップロードできます」と表示されます。



続けてファイルをアップロードする場合は、再度「ファイルを選択」してください。

アップロードを終了する場合は「閉じる」を押して元の画面に戻ります。

ドラッグ&ドロップ (PCのみ)

ドラッグ&ドロップでは、複数ファイルを一括してアップロードできます。

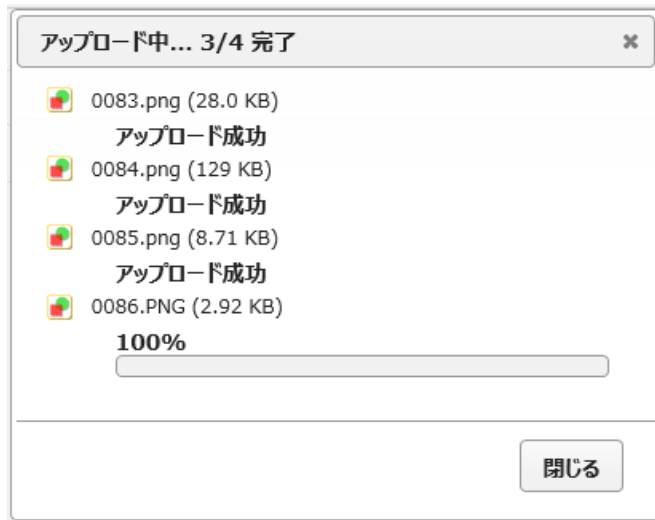
PCのみ対応しており、IE11以降、最新のEdge、Firefox、Chromeが対応しているブラウザです。

- ExaPadでフォルダを開き、Windowsエクスプローラーやデスクトップからファイルをドラッグ&ドロップします。



- アップロードプロセスのダイアログが表示されます。

アップロードするファイル数が少ない、ファイルサイズが小さい場合には表示時間が短く表示されなかったように見える場合もあります。



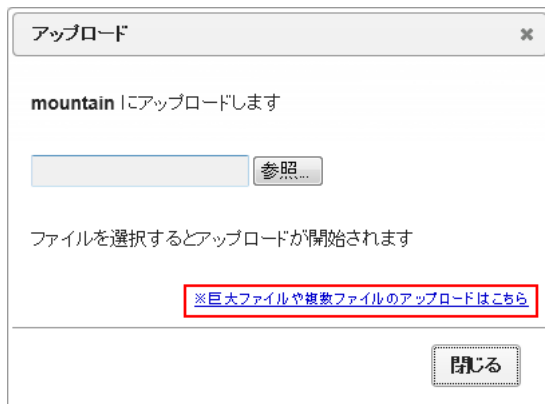
Javaアップローダーの使用（PCのみ）

- ❖ モバイル端末では、Javaアップローダーを使用できません。
- ❖ Google Chrome、Microsoft Edgeは、javaアップローダーを使用できません。
- ❖ Java Runtime Version 1.5 より最新の Java Runtime のインストールが必要です。

- ファイルをアップロードしたフォルダに移動してアップロード画面を開きます。

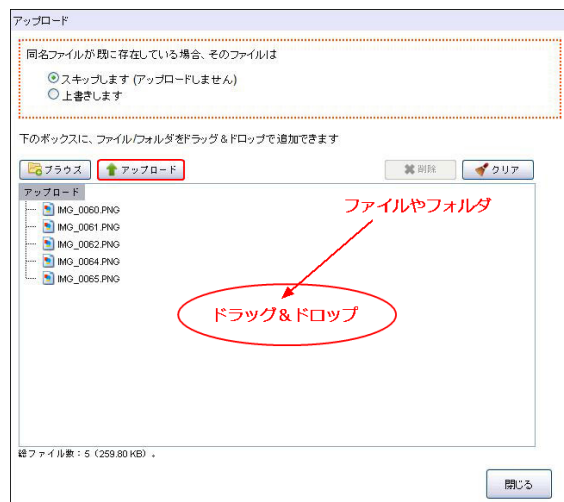
Javaアップローダーでは1回のアップロードで複数のファイルやフォルダをアップロードできます。

「巨大ファイルや複数ファイルのアップロードはこちら」をクリックします。

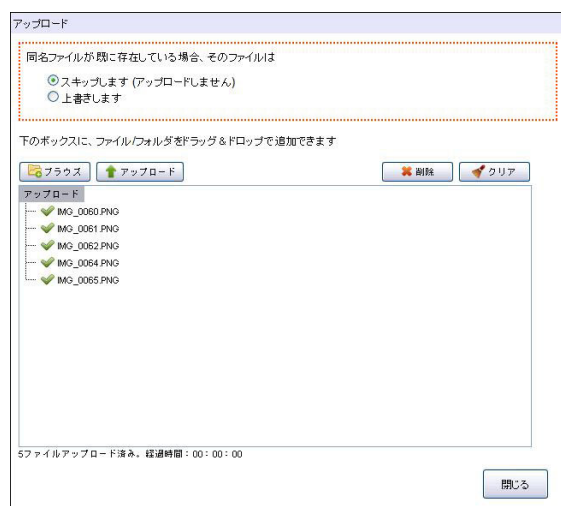


- 「ブラウズ」からアップロードするファイルを選択するか、画面のボックス内にドラッグ&ドロップしてください。

「アップロード」をクリックするとアップロードが始まります。



- アップロードが完了しました。



2.5 ファイルの編集

ファイルの操作

上書きや削除などファイルに対して変更を行う場合は、相応のアクセス権限が必要です。

ExaPadでは、ファイルに対して次の操作を行えます。

管理者設定によって表示されないメニューのある場合があります。



- 開く

- 別ウィンドウで開く: 新しいタブでファイルを開きます。
- フリップスを表示: ファイルリップスを表示します。

- 直接開く(オプション機能)

ファイルをダウンロードせずに開くことができます。

- ダウンロード

ファイルをダウンロードします。

- 上書き更新

ファイルを別のファイルで上書きします。(同じ拡張子のファイルに限ります。)

- 移動

ファイルを別のフォルダへ移動します。

- コピー

ファイルをコピーします。

- 削除

ファイルを削除します。（ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください。）

- 名前の変更

- ファイル名を変更します。

- ファイル名に次の文字はつかえません。 \ / : * ? " < > |

- プレビュー操作

- プレビュー再作成： ファイルのプレビューを作り直します。（プレビュー作成にはある程度の時間がかかります。）

- プレビュー回転（右回転、左回転、180度回転）：プレビュー画像を回転させます。

- プレビューのみ回転され、実際のファイルは回転しません。

- GIF、PNG ファイルはプレビュー回転できません。

- プロパティ

ファイルのプロパティを編集できます。

- ここに解凍

- ZIP ファイルを解凍することができます。

- 同一フォルダにZIPファイルと同じ名前でフォルダが作られ、そこに解凍されます。

- 既に同名フォルダがある場合には解凍できません。

右クリックメニューによるファイル操作

ファイル操作はファイル一覧画面の右クリックメニューからでも行うことができます。

- プレビューの回転は右クリックの操作メニューからは選択できません。
- 表示される項目はフォルダとファイルで異なります。
- 管理者の設定によっては表示されない項目がある場合もあります。

フォルダの操作

- 一覧表示画面でフォルダツリーやフォルダ名を右クリックすると、フォルダ操作メニューが表示されます。
- フォルダのチェックボックスにチェックを入れてファイル操作メニューを開くと、複数フォルダを一括して操作できます。(右クリックでも同じです。)
- メニューの開き方によって表示されるメニュー項目が異なります。

Version3.6.1からファイル一覧の空きスペースの右クリックでカレントフォルダのメニューが開けるようになりました



- 開く
 - 別ウィンドウで開く: 新しいタブでフォルダを開きます。
 - フレームを表示: フォルダパスを表示します。
- 直接開く(オプション機能)

- Windowsエクスプローラーでフォルダを開きます。(モバイル端末では使用できません。)
- PCにクライアントプログラムのインストールが必要です。

- ダウンロード

フォルダをダウンロードします。

- 一覧出力

- CSV形式 (カンマ区切り) : フォルダ内にあるファイルの一覧をCSV形式で出力します。
- Excel形式 : フォルダ内にあるファイルの一覧を、サムネイル画像も含めてExcel形式で出力します。

- アップロード

ファイルをアップロードします。

- 新規作成

- 新しいフォルダ : 新しいフォルダを作成します。
- 新しいテキスト : 規テキストファイル (txt) を作成します。
- 新しいメモ : 新規メモ (thtml) を作成します。

- 移動

フォルダを別のフォルダに移動します。

- コピー

フォルダをコピーします。

- 削除

フォルダを削除します。(ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください。)

- 名前の変更
 - フォルダ名を変更します。
 - フォルダ名に次の文字はつかえません。 \ / : * ? " < > |
- 管理者メニュー
 - インデックス/プレビュー再構築： ファイルの検索 インデックスとプレビューを作り直します。 再作成にはある程度の時間がかかります。
- プロパティ

フォルダのプロパティを編集できます。

2.6 複数ファイル操作

ExaPadでは、複数のファイルやフォルダを一括して移動、削除などの操作ができます。

[ファイルのプロパティ](#)

複数ファイルに対して行える操作

- ダウンロード
- 一覧出力
- 移動
- コピー
- 削除
- プレビュー再作成
- ファイル属性を一括編集

複数フォルダに対して行える操作

- ダウンロード
- 一覧出力
- 移動
- コピー
- 削除
- ファイル属性を一括編集

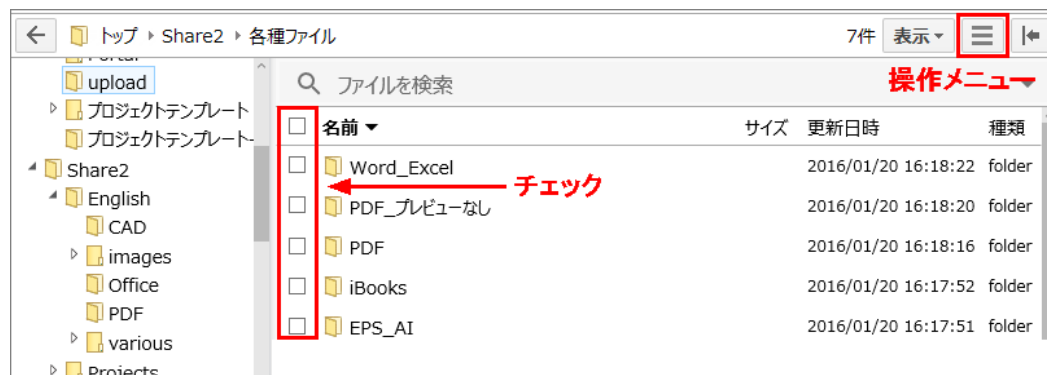
複数ファイル操作の共通の流れ

- ファイル・フォルダをチェックボックスで選択します。

ファイル一覧画面または検索結果画面において、一括操作したいファイルやフォルダのチェックボックスにチェックを入れます。

- 「名前」の左側のチェックボックスは「全てを選択」または「全てを解除」のチェックボックスです。

ページ内のすべてのファイル・フォルダが選択・解除の対象となります。

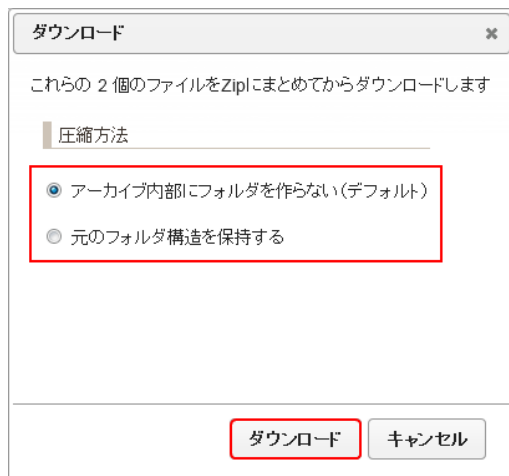


- ファイルを選択したら、画面左上のファイル操作メニューか、ファイルの右クリックメニューから実行する操作を選びます。



ファイルのダウンロード

- ファイルを選択してファイル操作メニューで「ダウンロード」を選択します。
- ダイアログでフォルダ構造を選択して「ダウンロード」を選択します。

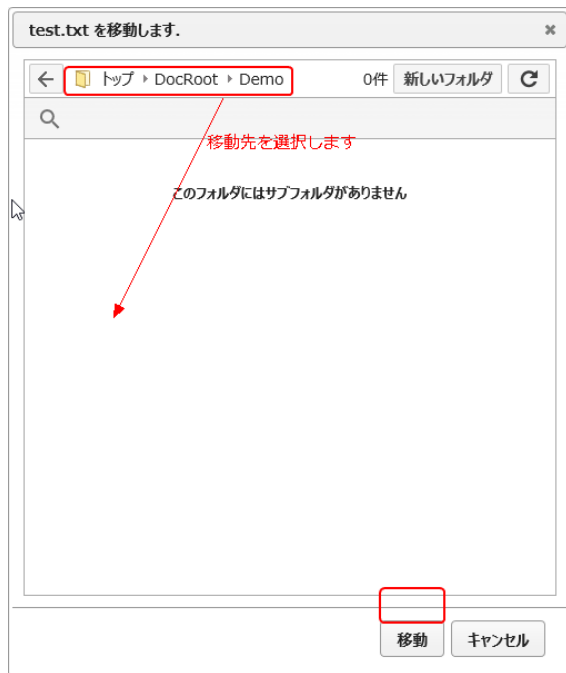


- アーカイブ内部にフォルダを作らない (デフォルト) : 元のフォルダ構造を保持せずに同一フォルダにまとめてダウンロードします。
- 元のフォルダ構造を保持する : 元のフォルダ構造を維持した状態でダウンロードします。

ファイルの移動・コピー

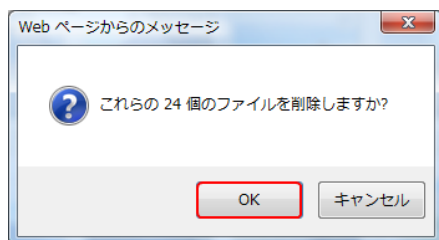
- ファイルを選択しファイル操作メニューで「移動」または「コピー」を選択します。(移動とコピーの操作は同じ手順です。)

- コピー先フォルダの選択ダイアログが別ウィンドウで開きます。コピー先フォルダを開きます。
- 「移動」または「コピー」ボタンを選択すると操作が実行されます。



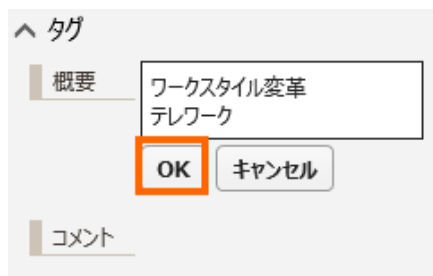
ファイルの削除

- ファイルを選択してファイル操作メニューまたは、右クリックメニューで「削除」を選択します。
- ダイアログの「削除」ボタンを選択すると、選択したファイルが削除されます。

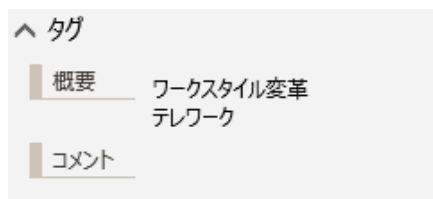


ファイルのプレビュー再作成

- ファイルを選択しファイル操作メニューで「プレビュー再作成」を選択すると、プレビューの再作成が開始されます。



- 概要が追加されました



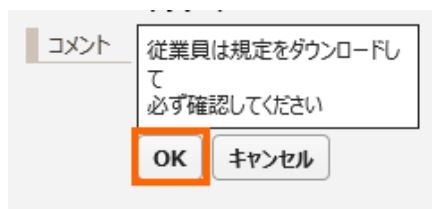
ファイルにコメントを付ける

後述のOffice文書プロパティのコメントと、当項目のコメントは連動していません。

- ファイルプレビュー画面ののコメント欄にコメントを入力します。




- 「OK」ボタンを選択します。



- コメントが追加されました。

コメント

OK キャンセル

administrator 

従業員は規定をダウンロードして
必ず確認してください

2018/11/02 15:43:49

- 「ゴミ箱」ボタンをクリックしてコメントを削除します。

その他のタグをつける

その他のタグを登録するには、予め管理者によってタグ項目の設定が必要です。

タグはテキスト、日付、真偽値、数値の形式で登録できます。



http://orange3/fileblog/index.php#path=%2FDocRoot%2F%E8%82%B2%E5%85%90%... 育児・介護.docx - FileBlog

トップ > DocRoot > 育児・介護.docx

フルバスを表示 ダウンロード

タグ

概要 ワークスタイル変革
テレワーク

コメント

administrator 

従業員は規定をダウンロードして
必ず確認してください

2018/11/02 15:43:49

登録日 ...

OK キャンセル

製品型番

OK キャンセル

情報

プレビュー作成状況 最新です

検索インデックス作成状況 2018/11/02 14:18 (最新です)

サイズ 22.8 KB

更新日時 2018/11/02 14:18

育児・介護休業規程

第1章 総則

第1条（目的）

本規程は、就業規則第23条に基づき、社員の育児休業及び介護休業について定めるものである。

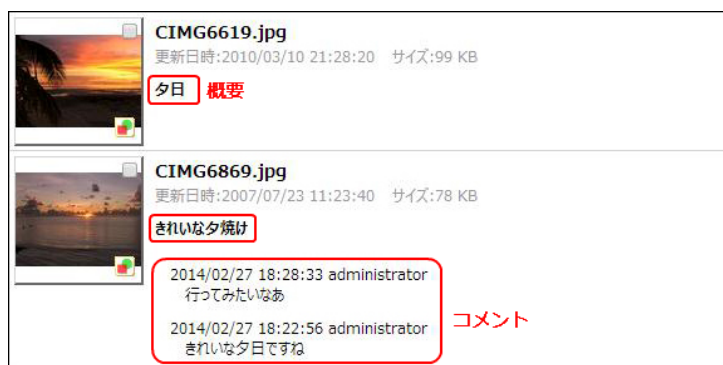
2. 本規程に定めのないことについては、育児・介護法その他法令の定めるところによる。

第2条（適用範囲）

本規程は、期間を定めて雇用する者（契約社員、嘱託、アルバイト等）以外の

概要とコメントをファイル一覧に表示する

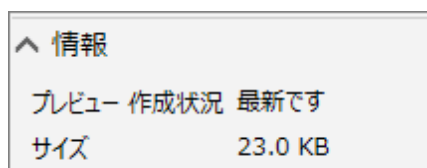
- ファイル一覧画面で表示形式を「詳細」にします。
- 概要とコメントがファイル名の下に表示されます。



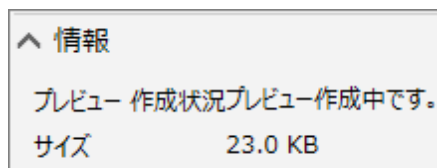
プレビュー作成状況

現在のプレビュー作成状況をプレビュー画面の情報欄に表示します。

- プレビューが最新の場合は「最新です」と表示されます。



- プレビューを作成中の場合は、「プレビュー作成中です。」と表示され、数分後に作成されます。

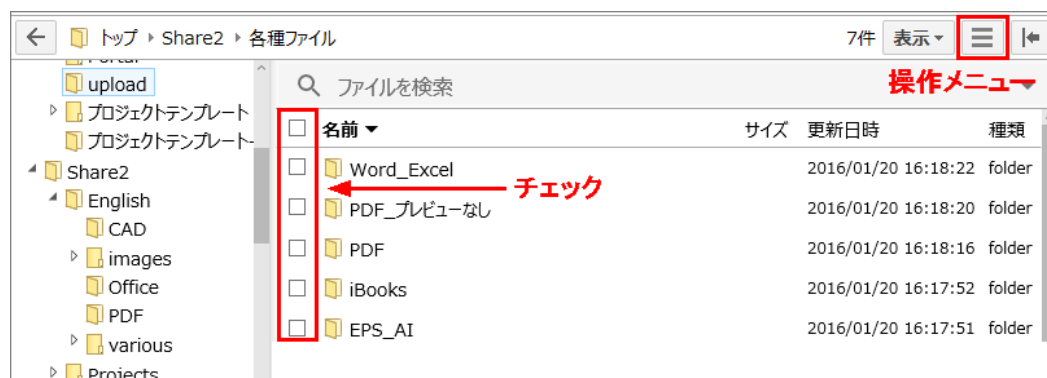


Office文書プロパティの編集

Version3.15.0以降、Office文書プロパティを編集するには、予め管理者によってタグ項目の設定が必要です。

ファイル編集画面の「操作メニュー」を開いて、プロパティを選択し、タグをクリックします。

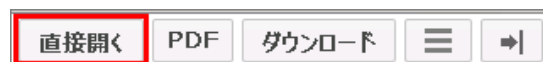
ExaPadでは、Office文書プロパティのうち6種類を閲覧・編集することができます。



2. ファイルメニューを開き、直接開くを選択します。



ファイルプレビュー画面上部の '直接開く' ボタンからも操作できます。



3. アプリケーション (PowerPoint) が起動して、ファイルがPC上で直接開きました。



- 初めて「直接開く」を使用する場合は、先に「ExaPadクライアント」のインストールが必要です。
- 詳細は [直接ファイルオープン](#) をご覧ください。

サーバー側の設定について

詳細は [システム管理者リファレンス](#) をご覧ください。

ファイル直接オープン機能の注意事項

- LAN内でのみ直接ファイルオープン機能を使うことができます。
- 外部ネットワークから直接ファイルを開くことはできません。
- モバイル端末では直接ファイルオープン機能を使用できません。
- 64bit版のWebブラウザでは、直接ファイルオープン機能は動作しません。

2.9 多言語対応について

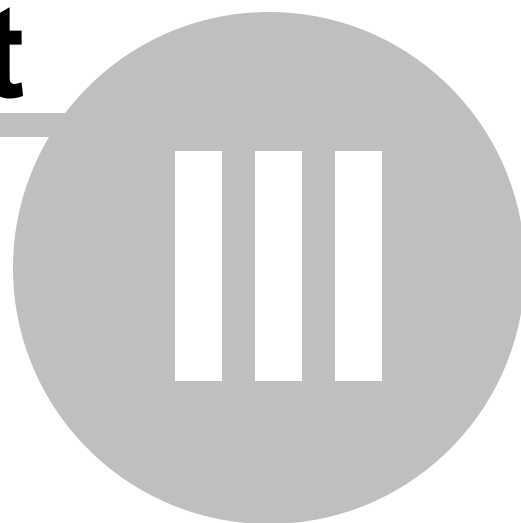
- ExaPadのメニュー言語は、日本語と英語で切り替えることができます。

メニュー言語の切り替えは、2つの方法があります。

- ログイン画面のフッターにある『ExaPad in English 』を選択してください。
- ExaPadにログインして、画面右上の『ログインユーザー名』選択してください。

- ExaPadの全文検索エンジンは、Unicode に対応しています。Microsoft Office などUnicode 対応ドキュメントは、日本語・英語に限らず、世界中の言語・文字コードの文書を検索することができます。

Part



3 システム管理者リファレンス

この章は、ExaPadの管理者向けのリファレンスです。

3.1 導入作業

ExaPadをはじめてインストールするときの導入作業の流れです。

1. 導入環境の確認
2. インストーラーの実行
3. ライセンスファイルの設置（評価版の場合は不要）
4. ログインセキュリティとユーザー管理の設定
5. ドキュメントルートフォルダの設定
6. ログ出力の設定
7. パフォーマンスチューニング
8. インデックス初期構築
9. 定期実行タスクの登録

3.1.1 インストーラーの実行

ExaPad インストーラーの実行

ExaPad インストーラーを実行して、プログラムをセットアップします。

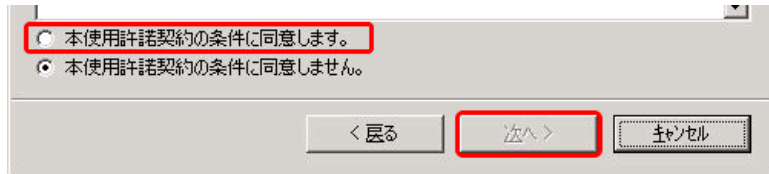
インストーラーの実行

ExaPadInstaller_***.exeを実行してください。（***部分はリリースによって変わります。）

ExaPadをインストール済みの環境でインストーラーを実行すると、バージョンアップのための上書きインストールとなります。

インストールの手順

- インストーラを起動すると「ようこそ」画面が表示されますので、「次へ」で画面を進めてください。
- 使用許諾契約画面が表示されます。使用許諾契約書を読んで「同意します」にチェックを入れて「次へ」を選択してください。



- インストール先フォルダの設定をします。通常はインストールフォルダを変える必要はありません。そのまま「次へ」を選択してください。
- インストール準備完了画面にて「インストール」でファイルのコピーが開始されます。
- ファイルのコピーが完了すると「インストールが完了しました」と表示されます。
- インストールが完了すると Windows スタートメニューにプログラムが追加され、デスクトップショートカットが追加されます。

3.1.1.1 インストールされるサービス

インストールされるサービスについての解説です。特に、導入時に必要な作業はありません。

サービス構成

ExaPadをインストールすると、次のWindowsサービスが登録されます。

| サービス名 | プロセスのイメージ名 | 使用TCPポート | スタートアップの種類 | 機能 |
|---------------|------------------|----------|------------|----------------------------------|
| Fb3Idxer | TpIdxSvr.exe | 1980 | 自動 | ファイル変更検出、プレビュー、検索用インデックス作成を行います。 |
| Fb3Solr | Fb3Solr.exe | 8181 | 手動（ 1 ） | ファイルの検索や変更検知を行います。 |
| Fb3Web | jQueryServer.exe | 80（ 2 ） | 自動 | Web サーバー |
| Fb3Postgresql | PostgreSQL.exe | 6788 | 手動（ 1 ） | ExaPad固有の設定情報を保存します |

このうち、Fb3Idxerを「ExaPad サーバー」、Fb3Web を「Web サーバー」と呼んでいます。

- 1 : Fb3Solrサービスは、Fb3Idxerの開始時に自動的に起動します。停止時も同様に連動します。
- 2 : Fb3Webのポート番号は、既定では80番ですが、ExaPad管理ツールから変更可能です

Fb3IdxerおよびFb3Webサービスは、スタートアップの種類を自動に設定してありますので、Windows OSの再起動時に自動的に起動さ

れます。

Fb3SolrサービスはFb3Indexerサービスによって起動されるため、Windowsの起動時にはすべてのサービスが自動的に起動されるのが既定の設定となっています。

3.1.2 システム初期設定

ExaPadの各種設定は、Webアプリケーションの「システム設定」画面から行います。

3.1.2.1 システム設定画面アクセスの許可

（初めて）システム設定画面にアクセスする方法

ExaPadサーバーのインストールが完了したら、インストールしたサーバーで、<http://127.0.0.1/> にアクセスすることができるようになります。

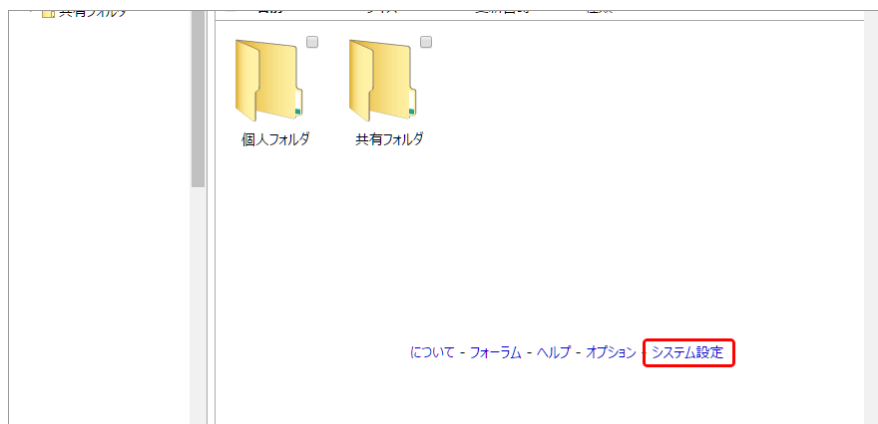
Windows サーバーOSの場合、インターネットエクスプローラーの「信頼済みサイト」に 127.0.0.1 を追加してください。

サーバーOSのデフォルトのセキュリティ設定が厳格であるため、信頼済みサイトに追加せずにアクセスすると権限不足によって画面が真っ白になるなど、完全に表示されない ことがあります。

<http://127.0.0.1/> にアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

有効なWindowsユーザーIDとパスワードを入力してログインしてください。（典型的には、Administrator ユーザーでログインできるはずですが。）

画面右下フッター部の「システム設定」をクリックすることで、システム設定画面にアクセスが可能です。



システム設定画面へのアクセス許可設定の必要性

システム設定画面では、ExaPad サーバーの再起動・シャットダウンができるほか、対象フォルダを含めた各種の設定変更ができ、システム設定画面にアクセスできれば、対象ファイルシステムに変更を加えることが潜在的にできるようになります。

システム設定画面の利用権限は、このような強力な権限のため、ネットワークに接続される誰もが使えるようにすることは危険です。

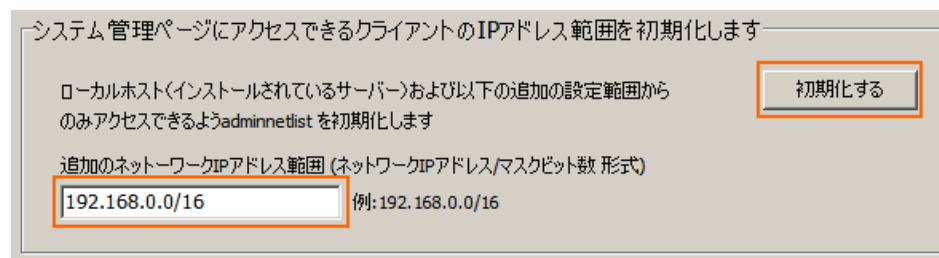
そのため、ExaPadをインストールした直後の状態では、サーバーPC上で起動したインターネットエクスプローラーからのアクセスに限って、システム設定画面へのアクセスが許可されています。

アクセス許可の設定は変更することができます。

ネットワーク越しのシステム設定を可能にする

- 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメータを開きます。
- adminnetlist を編集することで、アクセスを許可するネットワークアドレスを指定します。
- 既定値では、127.0.0.0/8 が含まれるため、127.0.0.1 からのlocalhost アクセスができるようになっています。
- 例えば、192.168.0.0/24 を追加すれば、192.168.0.* のネットワークからExaPadサーバーのシステム設定画面のアクセスが許可されます。

サーバーPCでWebブラウザが使用できないときなど、システム設定画面を開くことができない場合は、ExaPad管理ツールを起動して設定を変更できます。



- ExaPad管理ツール > システム管理 アクセス許可 を開きます。
- 「追加のネットワークIPアドレス範囲」にアクセスを許可するネットワークアドレスを指定し、「初期化する」ボタンを選択します。

システム設定画面へのアクセスパスワードを設定する

不特定多数のユーザーが利用する場合には、システム設定画面へのアクセスをパスワードで保護したほうが安全です。

- 画面下部システム設定 > ExaPad管理者パスワードの設定 を開きます。

- 管理者パスワードを設定することで、ExaPadサーバーは システム設定画面にアクセスするためにパスワードの入力を求めるようになります。

システム設定画面へのアクセスを、特定のユーザーに限定する

アクセスパスワードを設定するほかに、システム設定画面へのアクセスを特定のユーザーに限定することもできます。

- 画面下部のシステム設定画面 > セキュリティパラメータを開きます。
- adminusers を編集することで、特定のユーザーにアクセスを許可します。
- 例えば adminusers に "Administrator" を指定すると Administratorユーザー以外はシステム設定画面にアクセスできなくなります。

システム設定画面へのアクセス許可設定をリセットする

次の場合、システム設定画面にアクセスできなくなってしまう場合があります。

- システム設定画面へのアクセスパスワードを忘れてしまった場合
- システム設定画面へのアクセス許可ネットワーク設定を誤って設定してしまった場合
- システム設定画面へのアクセス許可ユーザを誤って設定して待った場合

このようなときは、サーバーPCで ExaPad管理ツールを起動して設定をリセットしてください。

- ExaPad管理ツール > システム管理アクセス許可 を開きます。
- 状況に応じて設定をリセットします。

3.1.2.2 ユーザー認証方法の設定

ExaPadにログインするには、Windowsに登録されているユーザーアカウントの、ログイン名とパスワードを使用します。

- ExaPadサーバーをインストールするときに、ドメイン名の入力を省略すると、インストールしたサーバーに登録されているローカルユーザーアカウントでログイン認証を行います。
- ドメイン名を設定すると、ログイン時の認証は Active Directory ドメインのユーザーアカウントで認証を行います。
- ドメイン名の設定によるユーザー認証方法の指定は、インストールのあとでも行なうことができます。
- ExaPadでユーザーが行うファイル操作は、Web サービスの権限ではなく、ログインに用いたユーザーアカウントの権限で行われます。

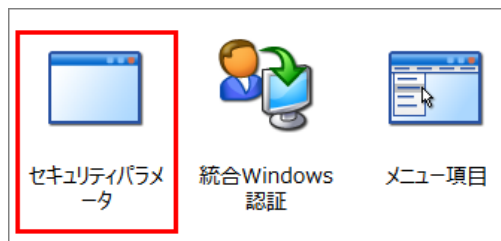
ログインチェック動作の切り替え

ログイン時のユーザー認証は、次の方法を選択できます。

| 認証方法 | 説明 |
|---------------|--|
| ワークグループユーザー認証 | ローカルマシンのユーザーアカウントを用いて、ログインのユーザー認証を行います。ExaPad をインストール後の標準方法です。 |
| ドメインユーザー認証 | Active Directory に参加し、ドメインコントローラーにユーザー認証を委ねる方法です。既存ドメインコントローラー、既存ファイルサーバーがある環境で選択できます。（ExaPadをインストールするサーバーが、ドメインに参加している必要があります。） |
| 匿名ユーザーログオン | ログイン認証無しで、誰でもアクセスできるようにする方法です。不特定多数のユーザーに対して公開する場合やデモ環境を公開する場合などお使いください。（ファイルやフォルダの操作（コピー、移動、削除など）をできるようにするには、匿名ユーザーに指定したユーザーが読み取り権限だけでなく書き込み権限や削除権限を持つ必要があります。） |

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーターを開きます。



2. 「windows_domain」にドメイン名を指定します。

システム設定 ▶ セキュリティパラメータ

保存する キャンセル

絞込 Windows

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|----------------|---------|--|--------|
| windows_domain | TEPPI,. | ログイン先を特定のドメインに指定するときに設定します。何も設定しなければ、ドメインは "WORKGROUP" となります。複数のドメインを指定可能です。例) DOMAIN, DOMAIN2, DOMAIN3. WORKGROUPとドメインを指定する場合には、"DOMAIN, ." のように、WORKGROUPをドット . で指定してください。 | ユーザー設定 |

3. ドメイン名を指定します。

windows_domainの設定

値

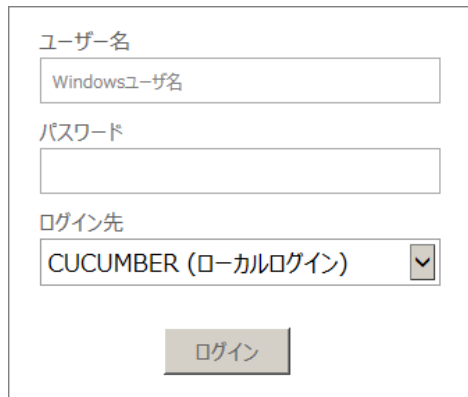
HOGE
FOO
.

OK キャンセル

- ドメイン には、ExaPadをご使用になる環境のドメイン名をセットしてください。
- ドメイン名が空白の場合、WORKGROUPに対してログイン認証を行います。
- 信頼関係を結んだドメインのユーザーでもログインができます。
- 複数のドメインを改行区切りで指定することができます。
- ローカルマシン (ワークグループ) は半角ドット「.」を指定します。

HOGE
FOO
.

4. 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。
5. ログイン画面に「ログイン先」が表示され、ドメインを選択できるようになります。



ユーザー名
Windowsユーザー名

パスワード

ログイン先
CUCUMBER (ローカルログイン)

ログイン

- ❖ ドメインを指定した後ログインできなくなった場合は、ExaPadをインストールしたマシンが、ドメインサーバーにアクセス（ログイン）できるかどうか確認してください。

ログイン可能なユーザーおよびグループの指定

ExaPadにログインできるユーザーのユーザーIDもしくは、グループ名を指定することができます。

指定されないユーザーもしくはグループメンバーはログインできません。

[利用シーン]

1. 30ユーザーライセンスで、Active Directory（もしくはWORKGROUP）に登録されているユーザー数は100名のうち、特定の30ユーザーアカウントだけをログインできるようにしたい。（他70ユーザーにはログインを許可しない。）
2. 特定のグループに所属しているユーザーのみにログインを許可したい。

設定方法

- ユーザーIDを指定する方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメータ を開きます。
2. 「fixed_userid_list」でユーザーを指定します。

システム設定 ▶ セキュリティパラメータ

保存する キャンセル

絞り込み fix

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|--------------------|-----|--|-----|
| fixed_groupid_list | | ログイン可能なWindowsグループアカウントを制限します。グループIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのグループに所属していないユーザーはたとえ、IDとパスワードが一致してもログインできなくなります。 | 初期値 |
| fixed_userid_list | | ログイン可能なWindowsユーザーアカウントを制限します。ユーザーIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのユーザーIDでないとログインできなくなります。 | 初期値 |

3. ユーザーIDを改行区切りで指定してください。

fixed_userid_listの設定

値

user1
user2
user3

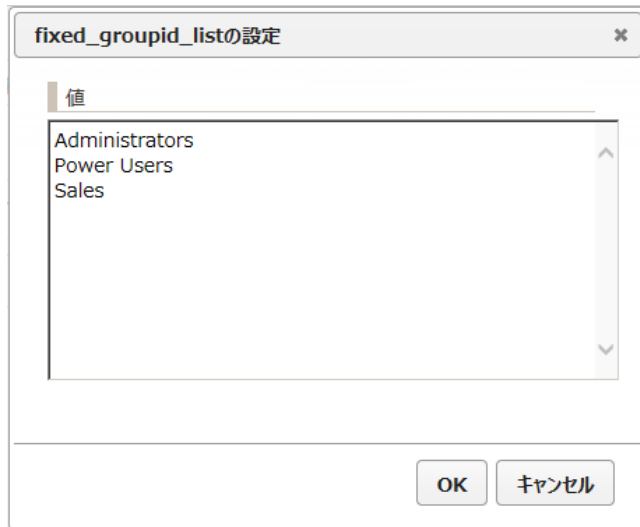
OK キャンセル

user1
user2
user3

4. 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。
5. 指定したユーザーのみがログインできることを確認してください。

- グループ名を指定する方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーター を開きます。
2. 「fixed_groupid_list」でグループを指定します。
3. 許可グループリストを改行区切りで指定してください。



Administrators
Power Users
Sales

4. 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。
5. 指定したグループに所属するユーザーのみがログインできることを確認してください。

- 複数のドメインが設定されている場合

ドメインが複数設定されている場合は、ドメイン名の指定が必要です。

- グループ名の後に@ドメイン名を指定します。
- ワークグループは「」(半角ドット)を使います。

groupA@HOGE
.groupB
users@FOO

ドメイン名の形式は、HOGE のようなNetBIOS名と hoge.com のような完全修飾名がありますが、ドメイン一覧には指定した形式で統一してください。

設定値の説明

- 「fixed_userid_list / fixed_groupid_list」(ログイン許可リスト) は、Windowsに登録されているユーザーIDのうち、ExaPadにログインできるユーザーIDを指定する設定です。
- ログイン許可リストが定義されていない場合には、ログインユーザーIDの制限は行われません。
- 標準ではログイン許可リストは定義されていません。
- 「fixed_userid_list / fixed_groupid_list」の両方が設定されている場合、どちらかに指定されているユーザーが許可対象になります。

3.1.2.3 ライセンスの適用

ライセンスの適用

ExaPadを製品版として正規利用するにはライセンスの適用が必要です。

ライセンスの適用には、ExaPadプログラムへのライセンスファイルの登録とオンラインによるライセンス認証を行います。

ライセンスの適用を反映するにはサービスの再起動が必要です。

評価利用について

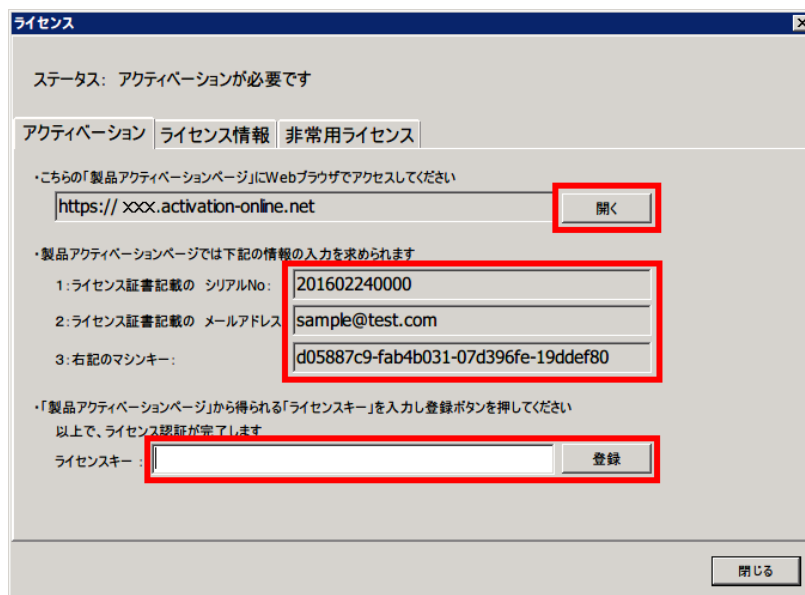
- ExaPadをインストール後の60日間は全機能が利用できます。
- 60日を経過するとExaPadは自動的に利用できなくなります。

評価版にライセンスを適用する方法

1. ExaPadを購入すると、「license_201602250000.ltx」のようなライセンスファイルが発行されます。
2. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。



3. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル(ltx)を選択してください。
4. ライセンスファイルを登録すると、アクティベーション画面が表示されます。



5. 「開く」ボタンを選択して、製品アクティベーションページに接続します。

製品アクティベーションページ

シリアルNo

メールアドレス

マシンキー

認証する

6. 管理ツール画面に表示されている「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力し、「認証する」ボタンを選択します。

製品アクティベーションページ

認証に成功しました

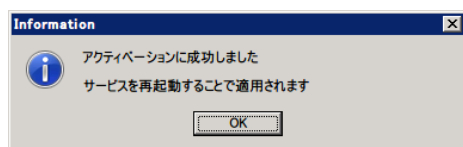
ライセンスキー

7. 表示されたライセンスキーをコピーし、管理ツールに貼り付けて「登録」ボタンを選択します。

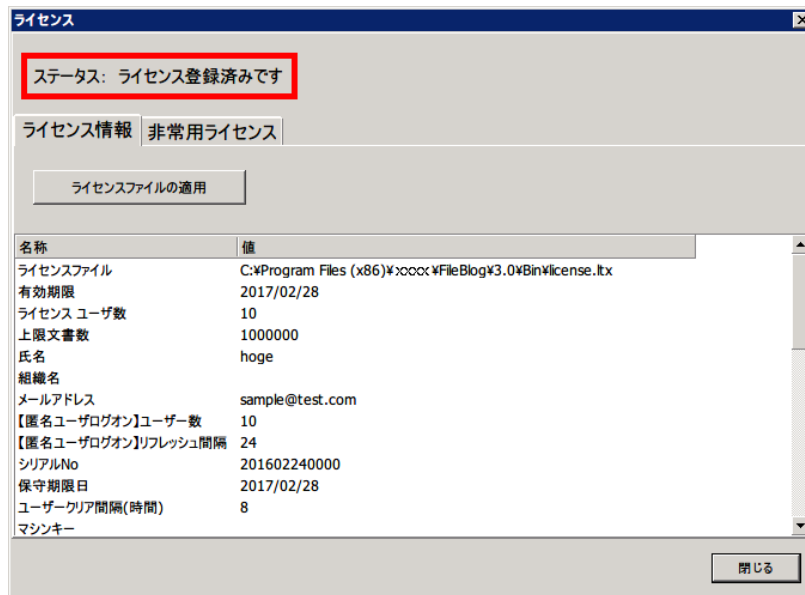
・「製品アクティベーションページ」から得られる「ライセンスキー」を入力し登録ボタンを押してください
 以上で、ライセンス認証が完了します

ライセンスキー :

8. 「アクティベーションに成功しました」のダイアログが表示されたら正しくライセンス適用できています。



9. ExaPad管理ツール > サービス を開いてサービスを再起動します。
10. ライセンス適用完了後の登録状況を確認してください。

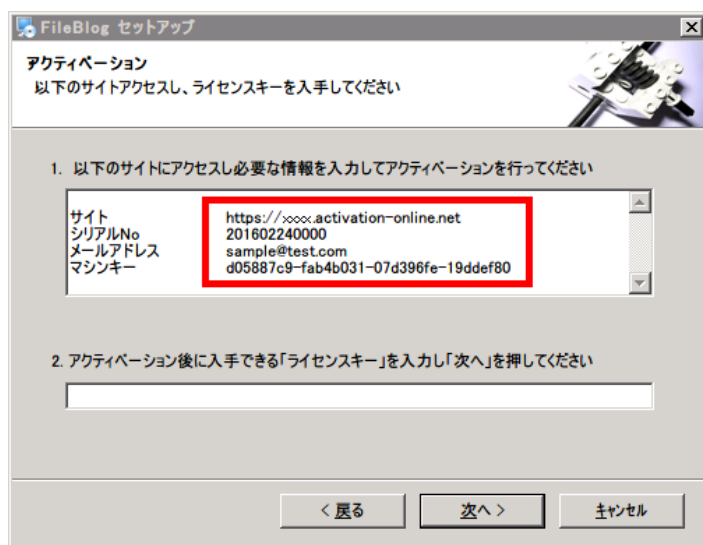


新しいライセンスを適用する方法

1. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。
2. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル（ltx）を選択してください。
3. 「ライセンスのコピーに成功しました」というダイアログが表示されれば適用成功です。
4. ExaPad管理ツール > サービス を開いてサービスを再起動します。

バージョンアップ時にライセンスを適用する方法

1. ExaPadの最新版 インストーラー を入手します。
2. インストーラーを実行して進めいくとライセンスキーの入力画面が表示されます。



3. 表示されているURLの製品 アクティベーションページに接続します。
4. 「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力して認証し、ライセンスキーを入手します。
5. 入手したライセンスキーをインストーラー画面に入力して「次へ」ボタンで進みます。



6. 「ExaPadをバージョンアップします」という画面が表示されれば正しくライセンス適用ができています。
7. そのままインストールを進めて完了させてください。

オフライン環境でライセンスを適用する方法

ExaPadのインストールされているサーバーが、インターネットに接続されていない場合のライセンス適用方法です。

1. インターネットに接続できる端末を用意します。
2. 用意した端末で製品 アクティベーションページに接続します。
3. 管理ツールやインストーラー画面に表示されている「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力します。
4. 表示された「ライセンスキー」を管理ツールやインストーラー画面に入力します。

非常用ライセンスについて

ExaPad Ver.3.3以降、非常用ライセンス機能が追加されました。

- 有効にすると30日間限定でログイン可能ユーザー数が無制限になります。
- 非常用ライセンスを使えるのは「一度」だけです。
- 評価版では非常用ライセンスを使用できません。

1. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。
2. 非常用ライセンス(タブ) に移動します。
3. 「非常用ライセンスを有効にする」ボタンを選択します。
4. サービスを再起動して、非常用ライセンスを有効にしてください。

3.1.3 ドキュメントルートフォルダの設定

ドキュメントルートフォルダについて

ExaPadでユーザーに公開する、トップレベルのフォルダが、「ドキュメントルートフォルダ」です。

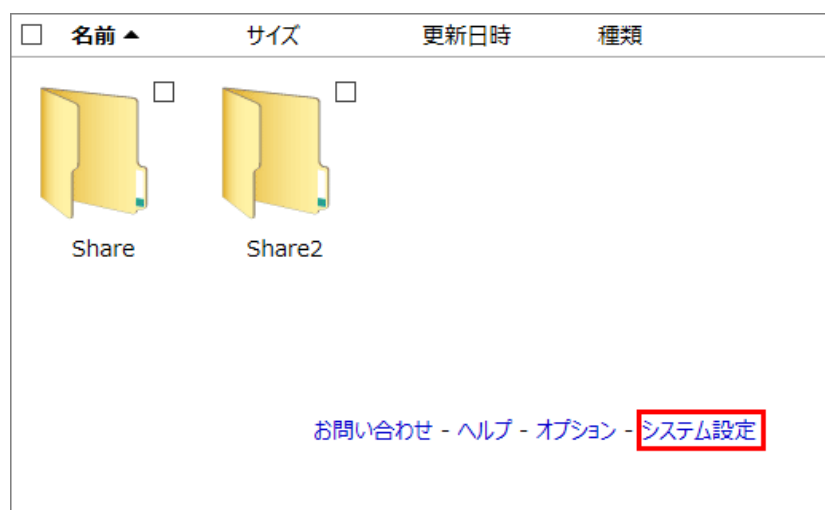
ExaPadのインストール後は、まずローカルドライブに C:\share などの空フォルダを作成してドキュメントルートに設定し、少数のファイルで動作確認を行うことをお勧めします。その後、多数のファイルが登録された既存フォルダをドキュメントルートに設定し、動作確認を行ってください。

ドキュメントルートの設定変更

設定手順

1. システム設定画面を開きます。

ExaPad画面 > システム設定 を開きます。



2. 設定画面を開きます。

基本設定 > ドキュメントルートを開きます。



3. 変更したいドキュメントルートを選択します。



4. 各項目に適切な情報を入力します。



- ドキュメントルート

ExaPadが検索・閲覧の対象とするフォルダを指定します。(規定値はC:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot)

- プレビュー保存フォルダ

作成されるプレビュー画像や、抽出されるテキスト情報を保存する場所を指定します。(規定値はC:\ProgramData\ExaPad_data\Preview)

このフォルダは、全ユーザーが読み取り可能であることが必須で、ドキュメントルート配下のフォルダには設定できません。

- エイリアス

半角英数文字列で指定する必要があり、指定した文字列はURLとして使用されます。

- 表示名

フォルダの表示名を指定します。全角・半角文字を使用できます。省略した場合はエイリアスが表示名として使用されます。

- patterns

ドキュメントルートパターンを設定します。ショートカットファイル（.lnk）を開くときに使用します。

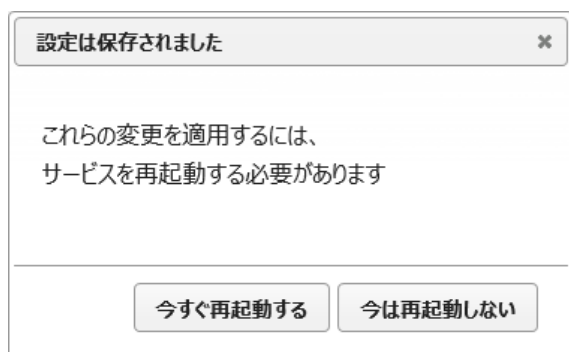
ドキュメントルートフォルダがUNCパス（\\server\share）で指定されている場合、ここにドライブパス（T:\share）を登録しておくことで両パターンが同一視されます。

【注意】

ドキュメントルートとして、リモートフォルダ（ネットワークドライブのフォルダ）を設定する場合には、[リモートコンピューターの共有フォルダを公開する](#)もお読みください。（別の設定値を変更する必要があります）

5. サービスを再起動します

設定後に「保存する」ボタンを押し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。



手動で再起動する場合には、次の方法で実行してください。

ExaPad画面 > システム設定 > サービス を開きます。

インデクサーとWEBサーバーを再起動します。

5. 設定変更後のインデックス登録について

- ドキュメントルート設定の変更後は、新しいドキュメントルートに対して検索インデックスの再構築を手動で行ってください。
- 旧ドキュメントルートの検索インデックスの登録を削除するには、新しいドキュメントルートの検索インデックスを構築する前にインデックスの初期化を行ってください。
- 再構築が完了するまでは、キーワード検索を行っても正常な結果が得られません。またファイルのプレビューも表示されません。（画像一覧はアイコンで表示されます）

- 再構築の進捗状況を確認するには、ExaPad画面の「システム設定」>「インデックスの構築状況」で確認できます。

複数のドキュメントルートを設定する

複数の別階層のフォルダや、複数のファイルサーバーをドキュメントルートに設定することができます。

- 上記の方法でドキュメントルート設定画面を開きます。
- 「追加」タブをクリックします。

システム設定 > ドキュメントルート

保存する キャンセル

追加 削除 上へ 下へ

| | ドキュメントルートフォルダ | プレビュー保存フォルダ | エイリアス | 表示名 | 変更検知 |
|--------------------------|---------------|---------------|--------|--------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | C:\share | C:\Preview¥P1 | share | Share | <input type="radio"/> |
| <input type="checkbox"/> | C:\share2 | C:\Preview¥P2 | share2 | Share2 | <input type="radio"/> |

設定方法は1つ目のドキュメントルートの設定と同じです。

「プレビュー保存フォルダ」「エイリアス」「表示名」は各ドキュメントルートで同じ値にできません。

[注意事項]

- 各ドキュメントルートは互いに独立したフォルダ階層である必要があります。ドキュメントルート配下のフォルダを別のドキュメントルートに設定することはできません。
- プレビュー保存フォルダは実在のフォルダを指定してください。
- 複数のドキュメントルートを設定すると、仮想の親フォルダ「トップ」(バーチャルドキュメントルート)が自動的につくられ、その配下にドキュメントルートに設定した実在のフォルダが表示されます。

[その他]

- サービスを開始すると、新しく設定したフォルダパス以下のファイルやフォルダの検索インデックスを自動的に再構築します。
- 再構築が完了するまでは、キーワード検索を行っても正常な結果が得られません。またファイルのプレビューやサムネイルも表示されません。

3.1.3.1 リモートコンピューターの共有フォルダを公開する

ExaPadでは他のコンピューターの共有フォルダを、ドキュメントルートに指定することが可能です。

前提事項

- ExaPadを稼働させるサーバーとファイルサーバーは、同一マシンであるか、同一Windowsドメインに所属している必要があります。
- WORKGROUP環境の場合は、ExaPadサーバーとファイルサーバーのユーザーアカウントを一致させることで利用できます。

ユーザー数が増えると運用が困難になりがちです。ExaPadサーバーのローカルドライブをドキュメントルートに設定して運用することをおすすめします。

設定方法

共有フォルダとして公開されているネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに指定します。

例) ドキュメントルートに指定するフォルダ: \\server名\share

ドキュメントルートフォルダのパス指定方法

ドキュメントルートに指定するフォルダのパスは、ドライブ文字を使わずにUNC形式で指定してください。

例) Tドライブに割り当てているリモートフォルダ\\server名\share の場合

× document_root = T:\

document_root = \\server名\share

サービス実行ユーザーアカウントの変更

インデクサー (Fb3Indexer) の標準の実行アカウントである、ローカルシステム (SYSTEM) アカウントは、C:\ドライブなどローカルドライブに対しては全アクセス権限を持っていますが、ネットワークドライブへのアクセス権限を一切持たないため、そのままではネットワークドライブのファイルを参照できません。

そこで、インデクサー (Fb3Indexer) の実行アカウントを「ネットワークドライブへのアクセス権限を持つアカウント」に変更する必要があります。

次のページの手順にしたがって、実行ユーザーを変更してください。

3.1.3.2 サービス実行ユーザーの設定

ネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに指定する場合には、インデクサー (Fb3Indexer) の実行アカウントを変更する必要があります。

サービス実行ユーザーアカウントの準備

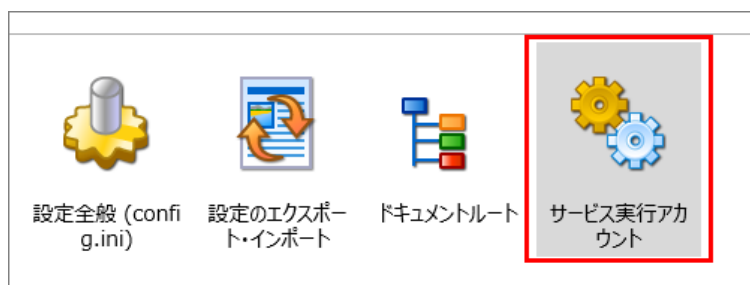
ドキュメントルートがローカルドライブ (C:\ など) の場合は、ローカルシステム (SYSTEM) アカウントが上記の要件を満たしていますが、ネットワークドライブのフォルダを対象とする場合には、次の条件を満たすユーザーアカウントを用意し、インデクサー (Fb3Indexer) の実行アカウントを変更してください。

- ドキュメントルート配下の検索対象となる全ファイルに対する読み取り権限
- ExaPadサーバーの全リソースへのアクセス権とサービス起動特権

サービス実行ユーザーアカウントの変更

実行アカウントの確認

1. 画面下部のシステム設定 > サービス実行アカウントを開きます。



2. チェックをつかえて、アカウント名とパスワードを入力し保存します。

- 既定の状態ではローカルシステムアカウントに設定されています。
- ドメインを使用している場合は [ドメイン名\ユーザー名] の形式で入力します。

システム設定 ▶ サービス実行アカウント

保存する キャンセル

インデクサー (Fb3Indexer) サービスの実行アカウントの設定

☒ ローカルシステムアカウント

☐ アカウント: (入力例) domain¥userid

パスワード:

※以下のフォルダ権限を持つアカウントを設定してください

- ・ドキュメントルートフォルダ: Read
- ・プレビュー保存フォルダ: Read/Write
- ・インデックス保存フォルダ: Read/Write

FileBlogサーバーのローカルAdministratorsグループに追加し
サービス起動のための特権を与えてください

3. 「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

設定は保存されました ×

これらの変更を適用するには、
サービスを再起動する必要があります

今すぐ再起動する 今は再起動しない

サービス実行に必要な権限（参考）

インデクサー（Fb3Indexer）の実行アカウントに必要な権限

ドキュメントレートの指定がネットワークドライブのフォルダの場合、標準設定のローカルシステム（SYSTEM）から適切なアカウントに変更してください。

指定がローカルドライブのフォルダのみの場合は変更の必要はありません。

1. ドキュメントレートに指定したフォルダに対する読み取り権限
2. 環境設定ファイル（config.ini）に対する読み取り権限
3. プレビュー保存フォルダに対する読み取り 書き込み権限
4. AppData フォルダに対する読み取り 書き込み権限
5. ExaPadサーバーのAdministratorsグループへの所属（サービス起動特権が必要です）
6. レジストリHKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\BroadLeaf\ExaPad\3.0 への読み取り 書き込み権限

WEBサーバー（Fb3Web）の実行アカウントに必要な権限

Ver.3.4.1以降、「ローカルシステム（SYSTEM）」アカウント以外での起動ができなくなりました。

Ver3.14.0以降、プレビュー保存フォルダ以下へのアクセスが「ローカルシステム（SYSTEM）」に変更されました。プレビュー保存フォルダをルートフォルダに設定している場合は、実行ユーザアカウントを「ローカルシステム（SYSTEM）」に変更し、且つ読み取り権限を許可してください。

3.1.4 アクセスログ出力の設定

アクセスログ出力の設定

ExaPadはユーザー操作単位でアクセスログを出力することができます。

標準ではアクセスログを出力しない設定になっています。

設定方法

1. アクセスログファイルの出力先となるフォルダを作成します。

例) D:\ProgramData\ExaPad_data\log

2. 画面下部のシステム設定 > アクセスログを開きます。



3. 「accesslog_dir」をクリックします

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|---------------|-----|--|-----|
| accesslog_dir | | WEBブラウザから行われたFileBlogへの各操作（ダウンロード、コピー、削除など）のログを保存するフォルダパスをフルパスで指定します。例) c:\%accesslog指定なし（空白）にしておくと、ログが出力されません | 初期値 |

4. 1で作成したフォルダのパスを入力し、OKで閉じます。



5. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動をする」を選択してサービス再起動を行ってください。

1日ごとにファイルずつログが出力されます。

出力確認

- ExaPadにログインして、検索やファイル閲覧などの操作をしてください。
- 指定フォルダにアクセスログファイルが、[yyyymmdd]_u.log というファイルが出力されます。

3.1.5 パフォーマンスチューニング

文書数やユーザー数の多い環境で快適に利用するために性能チューニングができます。

サーバーのパフォーマンスを最適化することで、インデックス構築やプレビュー作成にかかる時間を短縮できます。

主なチューニング項目

| 項 目 | 説 明 |
|---------------|--|
| 検索エンジンのメモリ割当て | 検索対象の文書数が50万を超えた場合にはメモリ割当てを増やしてください。 |
| 同時実行スレッド数 | ファイルに対して行うテキスト抽出およびプレビュー抽出の処理を同時並列に実行させることができます。 |
| 変更検知のON / OFF | ファイルの変更が頻繁に行われる環境や、サーバーの性能が不足している場合にOFFにするとサーバーの負荷が軽減されます。 |
| Webサーバーの分散 | 検索サーバー(Fb3Indexr, Fb3Solr)とWebサーバー(Fb3Web)を別サーバーで稼働させた1検索エンジン1台に対して複数のWebサーバーを起動して負荷を分散させることができます。 |

3.1.5.1 インデックス構築処理の高速化

ハイスペックなサーバーPC（複数のCPUを搭載など）の環境においてインデックス構築処理を高速化する方法について説明します。

設定方法

複数の処理を同時に走らせることで処理が高速化する可能性があります。

1. 画面下部のシステム設定 > 性能チューニングを開きます。



2. 3つのパラメーターを、サーバーの性能に応じて調整してください。

例として、batch_extracttext_threads をクリックします。

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|---------------------------|-----|--|--------|
| batch_extracttext_threads | 2 | テキスト抽出を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。 | 初期値 |
| batch_put_threads | 10 | インデックス登録処理を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。 | 初期値 |
| batch_tpi_threads | 2 | プレビュー抽出処理を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。 | ユーザー設定 |

- batch_extracttext_threads：テキスト抽出処理を並列処理する数です。
- batch_put_threads：インデックス登録処理を並列処理する数です。
- batch_tpi_threads：プレビュー抽出処理を並列処理する数です。

いずれもサーバーマシンのCPU性能に応じて調節します。

3. 並列する数を値として入力します。

たとえば、2並列処理にする場合は「2」を入力し、OKとします。



4. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。
5. batch_put_threads とbatch_tpi_threads も同様に設定します。

注意

- CPU（コア数・スレッド数）が1つの場合、実行中に物理メモリの使用率が高い場合には、この設定は行わないでください。
- マルチCPU・マルチコアCPUを搭載していて、十分な空きメモリ容量を確保したマシンで行ってください。
- CPU 使用率やメモリの使用率は、Windows タスクマネージャのパフォーマンスにて確認できます。

❖ この設定を行うと、CPUやメモリをExaPadサーバーがより多く占有することになります。

ExaPad導入時のインデックス初期構築の場合には、リソースを使い切る設定でも問題ありません。

運用のスタート後は、サーバーのパフォーマンスを落とさないように値を小めに設定することを推奨します。

3.1.5.2 ヒープメモリ割り当てを増やす

ExaPad の検索エンジン、Apache Solrは、Java仮想マシン（以下Java VMと呼びます）で動作します。

検索対象となる文書数、テキスト量が増えるにたがひ、検索エンジンが必要とするヒープメモリ量も増え、初期設定値では不足することがあります。

ヒープメモリ量の不足は、検索性能の低下や検索エンジンが応答しなくなる原因になります。

300万文書を越える大規模環境では、ヒープメモリサイズは1GBを超える設定が必要です。

32bit OSでは、1GBを超えるメモリを割り当てることができません。また32bit OSの環境はサポート対象外です。

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > Solr (検索エンジン) を開きます。



2. ヒープメモリのサイズを変更します。

初期ヒープメモリサイズ (Mb) , 最大ヒープメモリサイズ (Mb) を変更します。

保存する キャンセル

設定 インデックスの初期化

インデックス保存フォルダ

C:\ProgramData\SearchIndex

インデクサーサーバーから参照可能なWindowsパスを指定してください。変更しても既存インデックスはコピーされません

IPアドレス

ポート番号

ポート番号 (停止用)

127.0.0.1

8181

8282

初期ヒープメモリサイズ (Mb)

最大ヒープメモリサイズ (Mb)

512

512

インデックステンプレート (zip)

init_solr_uni.zip

同期のタイミング

時間: 60 秒経過後、またはファイル数: 2000 件更新毎に、同期します (更新ファイルが検索結果に反映されます)

セキュリティ情報を埋め込む (aclsearch)

☒

初期サイズと最大サイズは同じ数値に設定することを推奨しています。

32bit OSに4GBのメインメモリを搭載したマシンの場合は、設定値を1024MB以下にしてください。（32bit OSはサポート対象外です。）

64bit OSのマシンでは、1024MB以上のヒープメモリサイズを割り当てることができます。

3. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

3.1.6 プレビュー作成設定

ExaPadではファイルをアプリケーションで開かずにプレビューすることができます。

本マニュアルでは、サムネイル・プレビュー・拡大プレビューを総称して「プレビュー」と記載します。

- サムネイル：フォルダを開いたときにファイル一覧時に表示される小さな画像（100px）
- プレビュー：ファイルを開覧した時に表示される画像（640px）
- 拡大プレビュー：ファイルを開覧したとき拡大表示用の画像（1440px）

Ver.3.3.2以前のバージョンからアップグレードされたお客様は、設定が引き継がれるため大きな変更はありません。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

プレビュー作成設定の基本

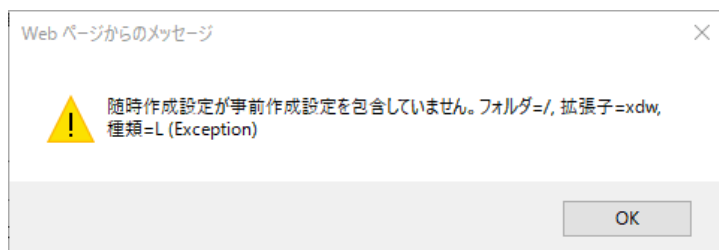
- 事前作成 先頭サムネイルのみ、随時作成 先頭3ページ」の設定になっています。
 - プレビュー作成操作、ファイルの変更検知、ファイル一覧画面の表示のいずれかが行われると、ファイルの先頭ページのサムネイルが作成されます。
 - ファイルプレビュー画面を開くと、ファイルの先頭3ページのサムネイルとプレビューが作成されます。
- 最初のユーザーは初回閲覧時にプレビューが作成されるまでにしばらく時間がかかりますが、次のユーザーは既に作成されたプレビューを閲覧することができます。
- 設定を変更することで、あらかじめ全ページのプレビュー画像を作成しておくこともできます。
- 設定した作成条件はフォルダ単位、ファイル単位に変更することができます。
- 子フォルダは一つ上の親フォルダの作成条件を継承します。階層途中のフォルダに新たに作成条件を設定した場合は、その配下のフォルダは新しい作成条件を継承します。
- 同じファイル種類（拡張子）に対して複数のフォルダで異なる作成条件が設定されている場合には、継承した作成条件もしくは、そのフォ

ル外に設定された作成条件が有効になります。

- いずれの作成条件には指定されていないファイル種類（拡張子）のファイルは、プレビュー作成されません。
- プレビュー画像が作成済みのファイルをプレビュー作成しない（もしくは作成するページを減らす）条件にした変更した場合、インデックス再構築の実行により不要な作成済みのプレビュー画像は削除されます。
- プレビューに対応していないファイル種類（拡張子）を、プレビュー作成条件で指定してもプレビューは作成されません。

Version3.15.0以降、随時作成設定が事前作成設定を含まない設定を行うと、エラーとなり設定を保存できません。

事前 随時作成設定の包含関係に不整合があると、プレビュー削除とインデックス再構築とでプレビュー画像を削除 再作成の無駄な処理が繰り返されるためです。



設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > プレビュー作成設定 を開きます。



2. プレビュー作成条件を設定する画面が開きます。

保存する キャンセル

事前作成設定: カスタム_先頭100ページ

以下のタイミングで使用されるプレビュー作成設定です

☒フォルダスキャンによるプレビュー再構築時 (選択必須)

☒ファイルの変更検知時

☒ファイル一覧の表示時

随時作成設定: カスタム_先頭100ページ

以下のタイミングで使用されるプレビュー作成設定です

☒プレビュー再作成 メニューの実行時 (選択必須)

☒ファイル閲覧時

保存期限: -1

インデックス・プレビュー掃除の際に、保存期限を過ぎたプレビュー・サムネイルのうち事前作成設定の対象以外を削除します。

保存期限を無期限にしたい (削除したくない場合)、-1 を設定してください。

保存期限は最後にファイルを表示してから経過日数で判定します。

プレビュー作成設定を編集する

- 事前作成設定

インデックス再構築が実行されたとき、ファイルが更新され変更を検知したとき、フォルダを開いてファイル一覧したときにプレビューが作成されます。

- 随時作成設定

ファイルプレビュー画面を開いたとき、操作メニューからプレビュー再作成を実行したときにプレビューが作成されます。

- 保存期限

プレビューの保存期限です。最後にファイルを閲覧された日から設定期間が過ぎたプレビューは、インデックスの掃除が実行されると先頭ページのサムネイル以外すべて削除されます。

- プレビュー作成設定を編集する

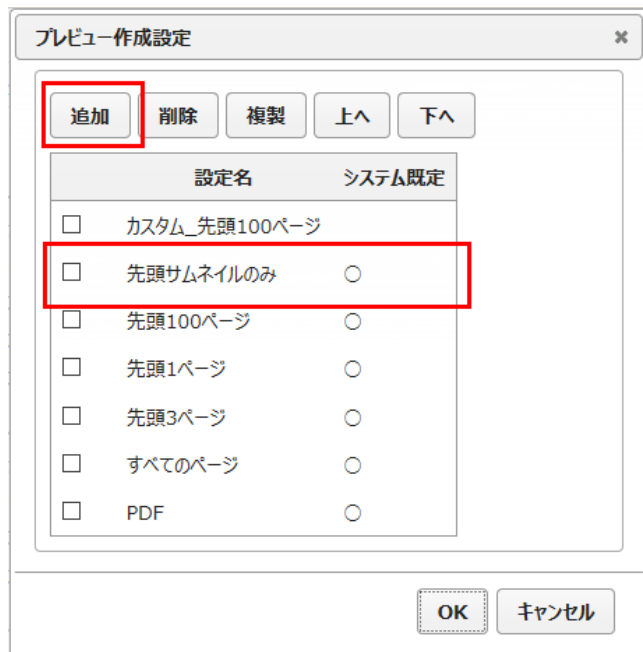
独自のプレビュー作成条件をつくることができます。フォルダやファイル種類 (拡張子) ごとに作成条件をつくることができます。

標準の作成条件を変更することができません。

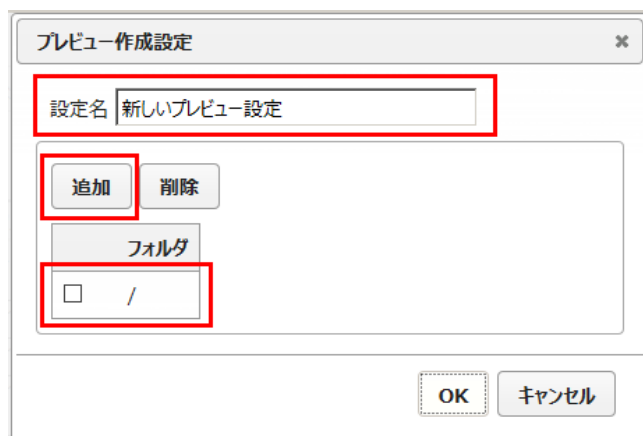
プレビュー作成設定を編集する

1. プレビュー作成設定のダイアログで、「プレビュー作成設定を編集する」を選択します。

- 新規にプレビュー作成条件を設定する場合には、「追加」ボタンを選択します。
- 既存の作成条件を選択すると内容を編集できます。（標準設定は閲覧できますが、編集はできません。）

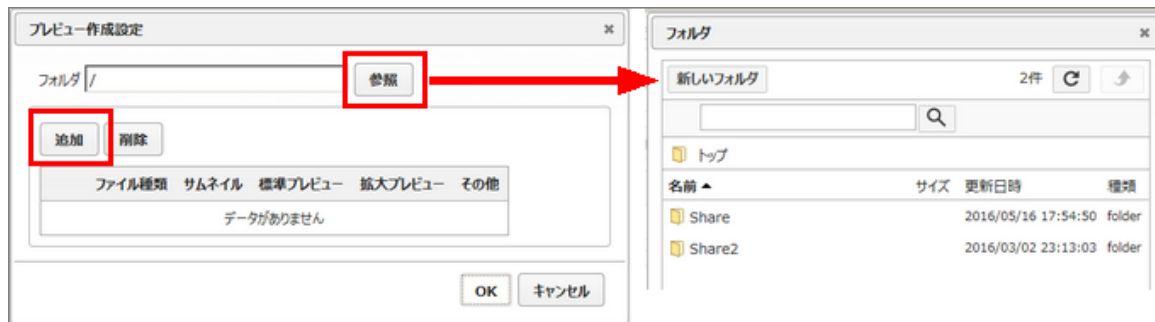


2. 設定名（作成条件名）や対象フォルダを設定します。



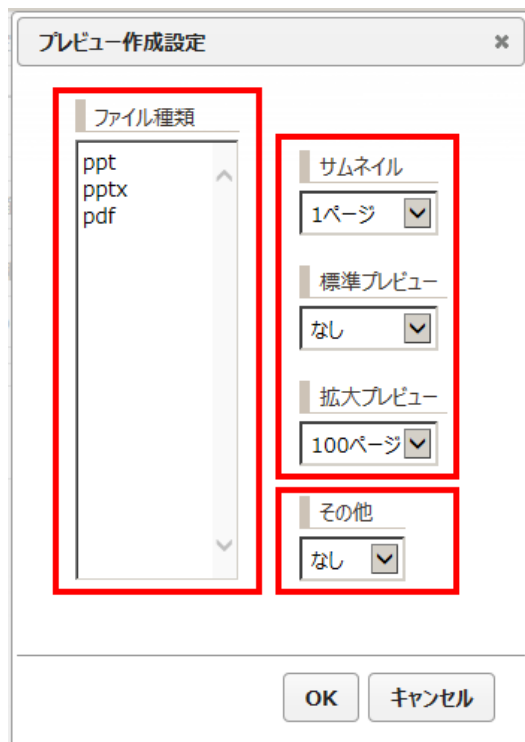
- 設定名を任意の名称に編集します。
- 「追加」ボタンを選択すると、新規に対象フォルダと対象拡張子を設定できます。
- 既存設定フォルダ「/」を選択すると内容を編集できます。（「/」は、全てのドキュメントルート（パーチャイルドキュメントルート）を表します。）
- 対象フォルダを複数追加して、それぞれに異なる設定ができます。

3. 対象フォルダを選択し、対象ファイル種類（拡張子）を設定します。



- 「参照」ボタンを選択して、対象をフォルダを設定します。
- 「追加」ボタンを選択して、対象ファイル種類（拡張子）とプレビューページ数を設定します。

4. ファイル種類（拡張子）ごとにプレビューページ数を設定します。



- ファイル種類の設定

ファイル種類に、拡張子を改行区切りで入力します。（ピリオドは不要です。）

- サムネイル 標準プレビュー 拡大プレビューの設定

- それぞれに作成ページ数を指定します
- サムネイルは、ファイル一覧のサムネイル表示や、ファイルプレビュー時のサムネイル一覧で表示されます。（標準 拡大プレビューと同数をおすすめします。）
- 標準プレビューは、画像容量を抑えられます。（閲覧時に拡大表示すると粗くなります）
- 拡大プレビューは、画像品質を高くなります。（品質とは再現性ではなく解像度のことです。）
 - 標準 拡大プレビューの両方が作成されている場合は、拡大プレビューが優先的に表示されます。
 - 標準プレビューの作成数より 拡大プレビューの作成数が多い場合は、標準プレビューの作成は不要です。
 - 画像、CAD、DTPファイルなど単数ページのファイルは、複数ページ作成を指定しても1ページしか作成されません。

- その他の設定

- PDFは、ファイル全体をAdobe PDF形式に変換してプレビューできるようにします。
 - Microsoft Word Excel PowerPointのファイルのみに設定できます。
- HTMLは、ファイル全体をHTML形式に変換してプレビューできるようにします。
 - Microsoft Word Excelのファイルのみに設定できます。
 - サムネイル 標準 拡大プレビューが作成されていてもHTMLプレビューが優先されます。

5. 「OK」ボタンで設定を保存し、必要に応じて条件を追加作成してください。

設定ダイアログを閉じていき、最初の「プレビュー作成設定」まで戻ります。

6. 設定したプレビュー作成条件を選択します。

システム設定 > プレビュー作成設定

保存する キャンセル

事前作成設定: カスタム_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ フォルダスキャンによるプレビュー再構築時 (選択必須)
- ☒ ファイルの変更検知時
- ☒ ファイル一覧の表示時

随時作成設定: カスタム_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ プレビュー再作成 メニューの実行時 (選択必須)
- ☒ ファイル閲覧時

保存期限: 90

インデックス・プレビュー掃除の際に、保存期限を過ぎたプレビュー・サムネイルのうち事前作成設定の対象以外を削除します。

保存期限を無期限にしたい（削除したくない場合）、-1 を設定してください。

保存期限は最後にファイルを表示してから経過日数で判定します。

プレビュー作成設定を編集する

- 事前作成設定、随時作成設定に作成条件を指定します。
- 保存期限に日数を入力します。
 - 「-1」を入力すると無期限になります。

7. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

プレビューの再作成

- プレビュー作成設定を保存するだけでは、プレビューの作成は行われません。
- 新しい設定に従ってプレビューの作成を行うには、設定後に「プレビューの再作成」を行ってください。
- プレビューの再作成を行うと、新しいプレビュー作成設定に従ってプレビューが再作成（作成・削除）されます。
- 設定を行った後に追加もしくは更新されたファイルについては、変更検知により自動的にプレビューが作成されます。

プレビュー再作成の方法

プレビュー再作成の方法は、全体的と部分的に実行する方法があります。

- 全体的に実行（手順は複数あります）
 - 「トップ」フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
 - 「トップ」フォルダを表示する > 「ファイル」メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
 - 画面下部のシステム設定 > プレビュー抽出を行う
 - 画面下部のシステム設定 > インデックス再構築 > プレビュー抽出を行う
- 部分的に実行（手順は複数あります）
 - フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
 - フォルダを表示する > 「ファイル」メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
 - ファイルを右クリック > プレビュー操作 > プレビュー再作成
 - ファイルプレビュー画面を表示 > 「ファイルメニュー」 > プレビュー操作 > プレビュー再作成

ファイル選択時の動作設定

ファイルを選択したときの動作を設定できます。標準ではファイルを選択するとプレビュー画面が表示されます。

ダウンロードして端末のアプリケーションで開くようにすることもできます。

1. 画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini)を開きます。
2. テキストボックスに「gridview」と入力します。
3. 「gridview_pathlink_type」を選択します。
4. 「showview」という値を「downloadopen」に変更します。
8. 「保存する」ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、今すぐ再起動するをクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

パラメータ値

- showview ファイルを選択するとプレビュー画面が表示されます。
- downloadopen ファイルを選択するとファイルが端末にダウンロードされ、アプリケーションでファイルが開かれます。（プレビュー画面は表示されません。）

3.1.6.1 動画プレビュー作成

動画ファイル * (flv, mp4, avi, mov, asf, rm, wmv, ogv, mpeg, mpg) のプレビューの作成設定をします。

画像プレビューに対応した動画形式であることをあらかじめ確認してください。

対応フォーマットは「FFmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」になります。

列挙されたファイル以外で対応可能なファイルフォーマットもあれば、特殊なコーデックを使用しているファイルは、対応フォーマット一覧に記載されていても非対応となる場合もあります。

動画プレビュー作成に関するおことわり

ExaPadの動画プレビュー画像生成機能は、オープンソースの動画コンバーターFFmpegに依存して実現します。

FFmpegおよび組み込まれる各種コーデックについては、それぞれに知的所有権の権利者が存在するため、配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご確認のうえ、自らの責任においてFFmpegの導入および使用してください。

弊社では、ExaPadがFFmpegを適切に呼出すための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのプレビュー作成を含むFFmpeg自体の動作については保証しかねます。またFFmpegおよび各種コーデックの使用許諾についても、弊社は関知いたしません。

設定方法

FFmpeg.exeをインストールする。

[インストールフォルダ] \Bin\Toolsにffmpeg.exe を配置してください。

ffmpeg.exe はインストーラーに含まれていないため、別途用意していただく必要があります。

[FFmpeg の入手方法]

- FFmpeg 公式ページ <http://www.ffmpeg.org/>
- 次の配布ページから入手できます。最新版「32bit Static」ビルドの利用を推奨します。

<http://ffmpeg.zeranoe.com/>

[FFmpegの使用とライセンスに関して]

- FFmpeg がデコードやエンコードするコーデックは一部を除いてライセンスフリーではありません。
- 詳しくは FFmpeg の [license and legal considerations](#)（英語ページ）を確認してください。

FFmpegのライセンスについては、弊社ではサポートできません。あらかじめご了承ください。

[注意事項]

- 拡張子が同じでも、特殊な形式の動画ファイルではプレビューが作成できない場合があります。
- FFmpegのバージョンによってはうまく動作しない場合があります。その場合には弊社までご連絡ください。

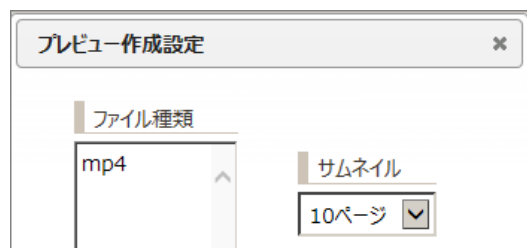
ExaPadでプレビュー作成を設定する

1. 動画プレビューを作成するための設定

プレビュー作成設定画面を確認して、動画ファイルの拡張子を追加登録してください。

画面下部のシステム設定 > プレビュー作成設定 で追加する。

標準設定では動画ファイルのプレビューは作成しません。



2. プレビュー作成の詳細設定

画面下部のシステム設定 > 動画 プレビュー を開きます。

- 開始秒

サムネイルの先頭1枚目を再生開始からの秒数で設定します。

- 最大枚数

作成するサムネイル枚数を設定します。再生時間を設定値で分割して作成します。

1. で設定したプレビュー作成設定のページ数の方が多い場合でも、最大枚数を超えるサムネイルは作成されません。

- FFMpeg引数

ffmpeg.exe を実行する時のパラメーターを変更できます。

ファイル種類によってはパラメーター順序を入れ替えるとプレビュー作成速度が速くなる場合があります。

- mpeg も抽出できるが遅い(i を前に持つてくる) デフォルト

```
-i $(input) -loglevel info -ss $(position) -vframes 1 -f image2 $(output)
```

- mpegが抽出できないが早い(i を後に持つてくる)

```
-ss $(position) -vframes 1 -i $(input) -loglevel info -f image2 $(output)
```

loglevelパラメーターを変更しないでください。プレビュー抽出できなくなる場合があります。

3. 「OK」ボタンで設定を保存し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

4. ファイル種類（拡張子）ごとに設定する。

サムネイルをファイル種類（拡張子）ごとに設定できます。

- 1) 拡張子ごとの設定」タブを選択してください。
- 2) 「追加」ボタンを選択すると設定ダイアログが表示されます。

動画プレビュー

ファイルタイプ (拡張子)

flv

開始秒

5

最大枚数

15

FFMpeg引数

-i \$(input) -loglevel info -f image2 \$(output)

OK キャンセル

最大プレビュー抽出ファイルサイズを設定する

プレビュー作成できるファイルサイズには上限があり、標準では32000（約32Mbyte）に設定されています。

上限値を超えたファイルのプレビューは作成されません。

1. 画面下部のシステム設定 > 設定全般（config.ini）を開きます。

2. テキストボックスに、max_extract と入力します。

保存する キャンセル

絞り込み max_extract

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|---------------------------------------|-------|---|-----|
| max_extract_page_file_size_kb | 32000 | この値（単位：KB）より大きなサイズのファイルはプレビュー画像が抽出されません。-1を指定すると、無制限になります。 | 初期値 |
| max_extract_page_file_size_kb_extlist | | max_extract_page_file_size_kbを拡張子毎に設定します。拡張子,拡張子:サイズ(kb);拡張子,拡張子:サイズ(kb)のように指定できます。例.flv,avi,mp4:200000;mov:300000 ※max_extract_page_file_size_kbよりも優先されます。 | 初期値 |

3. max_extract_page_file_size_kb を選択します。

max_extract_page_file_size_kbの設定

値

32000

OK キャンセル

4. 設定値を変更します。単位はKBです。

max_extract_page_file_size_kb の値を大きくすると 動画ファイル以外の上限值も変更されます。

これを防ぐには max_extract_page_file_size_kb_extlist を設定してファイル拡張子毎にプレビュー作成の上限值を設定します。

- max_extract_page_file_size_kb_extlist の設定方法

拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) 拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) 形式で指定してください。

例) flv,mp4:320000;avi:640000;mov:720000

5. 「保存する」ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示され、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

3.1.7 インデックス構築

検索インデックス・プレビューの初期構築

ExaPadの導入 設定後、文書を検索できるように各文書のインデックスを検索エンジンに登録する必要があります。

あらかじめ、サムネイルやプレビュー画像を作成しておくと、ユーザーがフォルダやファイルを開くと直ぐにプレビュー閲覧できるようになります。

この検索インデックスおよびプレビューの初期構築は、文書量や文書種類、サーバー性能により長時間を要することがあります。

初期構築をスムーズに完了させるために、インデックスの初期構築期間はユーザーにExaPadの利用を公開せず、初期構築に専念させることをおすすめします。

フォルダ変更検知の一時停止

ExaPadは、ドキュメントルートフォルダの変更をリアルタイムで監視し、変更を検知すると検索インデックスを更新します。

ExaPadのインデックス初期構築期間中もファイルサーバーは通常通りに利用されると考えられ、ファイルの変更が頻繁に行われる可能性があります。

ExaPadは、検出されたファイル変更の更新処理を随時行うため、インデックスの初期構築・プレビューの初期作成の処理に影響があり、処理時間が滞るおそれがあります。

ファイル変更が頻繁に発生する環境でインデックス初期構築を行う場合は、フォルダ変更検知を一時停止することでファイル変更の影響を受けないようになります。平日で初期構築実行や文書量が多い環境での実行時におすすめです。

フォルダ変更検知を有効・無効にする

- 画面下部のシステム設定 > ドキュメントルートを開きます。
- 変更検知の設定を変更するドキュメントルートを選択します。
- 「フォルダ変更検知」にチェックを入れると変更検知は有効になり、チェックを外すと無効になります。各ドキュメントルートで有効・無効を設定します。



- 「保存する」を選択してサービスを再起動すると設定が反映されます。

インデックス構築（初回）の実行

インデックス構築を行うには2つの方法があります。

- トップやドキュメントルート毎に再構築する場合

画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況 > インデックス再構築ボタンを選択する。

Ver3.14.0以降、チェックしたドキュメントルートのみを対象に再構築できるようになりました。

- 特定のフォルダ以下を再構築する場合

ファイル一覧画面にてインデックス構築を行うフォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築 を選択する。

再構築ダイアログが表示されたら、「検索インデックス登録を行う」と「プレビュー抽出」にチェックを入れて実行します。

初回インデックス構築状況の確認

インデックス構築は次のように進行していきます。

画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況 を選択すると状況を確認できます。

フォルダスキャン

ドキュメントルート内の全フォルダと全ファイルをスキャンして、ファイル一覧を作成します。

スキャンするだけなので高速に行われます。

スキャンが完了後、再表示ボタンを選択してカウント数を確認します。

| <div> <div>再表示</div> <div>インデックス再構築</div> <div>インデックス同期</div> <div>すべてのジョブをキャンセル</div> <div>エクスポート</div> <div>絞込 <input type="text"/></div> <div>処理中のみ <input type="checkbox"/></div> </div> | | | | | |
|--|------|---------------|----------------|---------------------|--|
| ドキュメントルート | カウント | 検索インデックス登録数 | ステータス | 最終スキャン日時 | |
| <input type="checkbox"/> DocRoot | 2 | <div>取得</div> | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:02 | |
| <input type="checkbox"/> share | 207 | <div>取得</div> | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:03 | |

検索インデックス構築

スキャンが完了すると、テキスト抽出および検索インデックス登録の処理がスタートします。

この処理では、フォルダとファイルを読み取ってテキストを抽出し、抽出したテキストを検索エンジンに登録します。

文書数に応じて数時間～数十時間を要します。

サーバーの性能により、パフォーマンスのチューニングを行うことで処理時間を大幅に短縮できます。

検索インデックス構築、プレビュー抽出処理の進捗状況は、処理中のステータスで確認できます。

検索インデックス登録の残件数は、テキスト抽出した後キュー（待ち行列）に登録されるため、一様に減少していきわけではありません。

インデックス登録数の確認

インデックス登録数を確認するには、「取得」ボタンを選択します。文書数部の「取得」ボタンですべてのドキュメントルートの登録数を表示できます。

文書数

ライセンスで許可されている上限文書数 カウント 検索インデックス登録数

10,000,000 209 **取得**

処理中

再表示 インデックス再構築 **インデックス同期** すべてのジョブをキャンセル エクスポート 絞込 処理中のみ ☐

| | ドキュメントルート | カウント | 検索インデックス登録数 | ステータス | 最終スキャン日時 |
|--------------------------|-----------|------|-------------|----------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | DocRoot | 2 | 取得 | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:02 |
| <input type="checkbox"/> | share | 207 | 取得 | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:03 |

インデックスの同期

検索エンジンは（初期状態では）メモリにキャッシュしたインデックスを2000件に1回のタイミングでディスクへ書き込みます。タイミングによって文書が登録されていないように見えることがあります。

書き込みを手動で行うには「インデックス同期」ボタンを選択します。その後に「取得」ボタンを選択すると登録数を確認できます。

再表示 インデックス再構築 **インデックス同期** すべてのジョブをキャンセル エクスポート 絞込 処理中のみ ☐

| | ドキュメントルート | カウント | 検索インデックス登録数 | ステータス | 最終スキャン日時 |
|--------------------------|-----------|------|-------------|----------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | DocRoot | 2 | 取得 | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:02 |
| <input type="checkbox"/> | share | 207 | 取得 | すべて 処理が完了しています | 2018/07/07 02:00:03 |

処理完了まで待ちきれない場合は？

インデックス構築処理の実行途中でも、検索エンジンを停止することができます。

検索エンジンを再起動すると、中断地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。

処理の途中で中断し、パフォーマンスのチューニングを行うこともできます。

また、サーバー（OS）を再起動した場合も、中断した地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。

サーバーのコントロールがフリーズして困ったら

インデックスの初期構築は、大変負荷の重い処理です。

検索サーバーが「バックグラウンドタスク優先」に構成された環境だと、インデックス構築処理がCPUを100%近く占有した場合、マウスカーソルが動かなくなったり、キーボード入力が受け付けられなくなったりすることがあります。

このような症状を予防するには次の方法が有効です。

- ExaPadにログインするためのWebブラウザは、サーバーマシンとは別の端末から行う方が安全です。
- サーバーのコンソールでは、不要なアプリケーションを起動しないようにしてください。

万一、コンソールが入力を受け付けなくなった場合には、リモートマシンからサーバーで稼動する検索エンジン（インデクサーサービス）を停止することで、サーバーの負荷を落ち着かせることができます。

- コマンドプロンプトから下記のコマンドをご利用下さい。

```
> sc \\ServerName stop Fb3Indexer
```

sc コマンドで、サーバー（ServerName）のFb3Indexerサービス（インデクサー）に停止要求を投げるすることができます。

ServerName の部分は実際のコンピュータ名に合わせてください。

- 停止要求の受け付けの可否は次のコマンドで確認できます。

```
> sc \\ServerName query Fb3Indexer
```

- STATUS: RUNNING 停止要求をまだ受け付けていません。
- STATUS: STOP_PENDING 停止中。STOPPEDは停止状態です。

プレビュー抽出

プレビュー抽出処理は、負荷の大きな処理ですので、特に初回構築時には長時間を要します。

印刷処理と同等のため、1ページあたり1秒程度を要します。

ファイル変更検知の再開

プレビュー作成まで完了したら、ファイルの変更検知を再開します。

この設定以降に変更、追加されたフォルダとファイルは、検索インデックスとプレビューが自動的に更新されます。

- 画面下部のシステム設定 > 設定全般 (config.ini) を開きます。
- テキストボックスに directory と入力します。
- directory_change_notifier_disabled を選択し、OFFに設定します。
- 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行うと反映されます。

インデックス再構築（2回目）の実行

ファイル変更検知を有効化した後に、もう一度インデックス再構築を実行します。

これにより、1回目のインデックス構築期間中にユーザーが変更したファイルを含め、完全な検索インデックスを構築することができます。

文書の更新日時をチェックして登録済みインデックスとの差分のみを更新するため、処理時間は初期構築とくらべて大幅に短縮されます。

再構築の操作は初回と同じです。

3.1.8 定期実行タスクの設定

ExaPadは、Windows ファイルシステム (NTFS) のフォルダを監視しているので、新しく追加・変更されたファイルは、自動的に検索インデックスに登録され、検索ができるようになります。

しかし、ネットワークの状況や操作のタイミングによっては、まれに取りこぼしが発生する場合があります。

この問題に対応するために、全てのフォルダをスキャンして取りこぼしたファイルをインデックス登録し、ファイルシステムから削除されたファイルをインデックスから掃除する処理を定期的に行うことをお勧めします。

定期実行タスクについて

ExaPadの運用に必要な、定期実行タスクは次の3種類です。

- インデックス・プレビュー再構築（クローリング処理）

ドキュメントルートフォルダをスキャンし、検索エンジンに登録されているインデックス更新日時と比較して新しい更新日時のファイルがあれば、インデックスに最新情報を登録します。

クロール処理の実行間隔が長いと、インデックスが古くなり検索漏れが発生する場合があります。

毎日あるいは毎週に実行することをお勧めします。

- インデックス掃除（パージ処理）

検索エンジンに登録されているファイル一覧をスキャンして、ドキュメントレイト（ファイルサーバー）から削除された文書があれば、インデックスデータを削除します。

パージ処理の実行間隔が長期になっても検索漏れが起こることはありませんが、不要なインデックスが溜まるため検索性能が低下することもあります。

2ヶ月に1回程度の実行をお勧めします。

- プレビュー掃除（パージ処理）

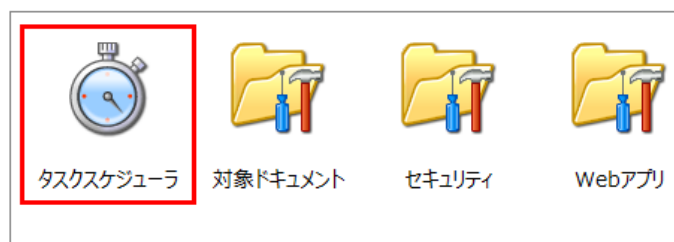
ドキュメントレイトから削除されたファイルがあれば、該当するファイルのプレビュー画像を削除します。

プレビュー保存フォルダ（抽出テキスト・プレビュー画像の保存フォルダ）のあるドライブの空き容量に余裕がある場合は、頻繁に実行する必要はありません。

2ヶ月に1回程度の実行をお勧めします。

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > タスクスケジューラを開きます。



2. 標準で3種類のタスクが登録されています。

Ver.3.3以降にそれより前のバージョンからバージョンアップした場合は登録されていません。

ExaPadの利用状況や環境に応じて、実行時刻や頻度の設定を変更してください。

 システム設定 ▸ タスクスケジューラ

保存する

キャンセル

追加

削除

| 有効 | | 名前 | トリガ | 次回の実行時刻 | 前回の実行時刻 | 前回の実行結果 |
|--------------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|---------------------|---------|---------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/> | インデックス・プレビュー再構築 | 土 | 2016/06/04 02:00:00 | | |
| <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/> | インデックス掃除 | 1,3,5,7,9,11月の 第2 日曜日 | 2016/07/10 02:05:00 | | |
| <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/> | プレビュー掃除 | 2,4,6,8,10月の 第2 日曜日 | 2016/06/12 02:10:00 | | |

- インデックス・プレビュー再構築
- インデックス掃除
- プレビュー掃除

[注意]

- 1 回の処理にかかる時間が、タスクの周期より大きいと無限に処理し続けてしまいます

実行した翌日などに、画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況 を開いて確認し、残りの処理数が増え続けているようであれば、タスクの周期が短いと考えられます。

- 実行中はサーバーに負荷がかかり、パフォーマンスが落ちることが想定されるため、利用者の少ない時間帯や日時に設定することをお勧めします。

3. 「追加」ボタンを選択して「タスクの設定」画面を開きます。

既存タスクを編集する場合には、編集したいタスクを選択します。

標準設定のタスクは編集できません。

タスクの設定

アクション スケジュール

名前
新しいタスク

アクション
任意のコマンド

コマンド

有効にする
☒

OK キャンセル

- 「名前」と「アクション」を決定します。
- 「有効にする」にチェックが入っていないなど設定がONになりません

4. 「スケジュール」タブを開いて日時を設定します。

タスクの設定

アクション スケジュール

タスクのスケジュール 開始時刻
毎週 2016/05/30 16:15:56

タスクのスケジュール
月 火 水 木 金 土 日

OK キャンセル

- 「タスクのスケジュール」で周期を設定します。
- 「開始時刻」でタスクが最初に開始される時刻を設定します。

5. 設定後に「OK」ボタンでダイアログを閉じ、「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行うと反映されます。

3.1.9 管理者パスワードの設定

管理者向けメニューを管理権限者ではないユーザーから操作できないようにするため、管理者パスワードを設定することができます。

標準（インストールしたばかりの状態）では、管理者パスワードが設定されていません。この場合、誰でも管理者向けメニューを操作できるようになっています。

管理者パスワードを設定してから運用することをお勧めします。

管理者パスワードの設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 管理者パスワードの設定 を選択します。



2. パスワードを入力して設定します。

A screenshot of the '管理者パスワードの設定' (Set Administrator Password) dialog box. The title bar shows 'システム設定 > 管理者パスワードの設定'. In the top right corner is a button labeled '設定する' (Set). The main area contains two input fields: the first is labeled '新しいパスワード' (New Password) and the second is labeled '[再入力]' (Re-enter). Both fields are currently empty.

3. 設定されたパスワードを確認します。

設定した直後は管理者としてログインした状態になっていますので、一度ログアウトしてください。

画面下部の「システム設定」を選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

設定したパスワードを入力して管理者メニューの画面が表示されれば完了です。

管理者パスワードを入力してください

パスワード

ログイン

誤ったパスワードが設定されている場合には、本ページの「管理者パスワードの初期化」の欄を参考にして再設定してください。

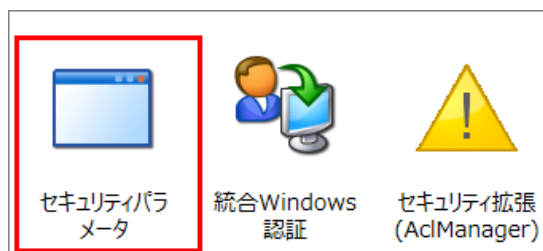
管理者グループ・ユーザーの設定

adminusers または admingroups に指定されたユーザーは、ログインすると管理者ログインなしに管理者向けメニューにアクセスできます。

ExaPadVer3.5.1.*以降、管理者以外のユーザーに管理者向けメニューをアクセスさせた場合、管理者パスワードを設定しない
でください。

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーターを開きます。



2. adminusers または admingroups を設定します。

どちらかを選択すると設定ダイアログが表示されます。

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|--------------|---------------------|--|-----|
| admingroups | | adminusersのグループ名です。詳しくは、adminusersの説明を参照してください。 | 初期値 |
| adminnetlist | 127.0.0.0/8,::1/128 | "システム管理"ページにアクセスできるクライアントのIPアドレスの範囲を改行区切りで指定します。 | 初期値 |
| adminusers | | 管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理者となり、管理者向けメニューに管理者ログインなしにアクセスできます。一方で、adminusersに指定されていないユーザーは、管理者向けメニューが非表示になります。なお、adminusersに指定がない場合には、全員に管理者向けメニューが表示されます。管理者パスワードが設定されている場合にのみ有効です。3.2以降からドメイン名を含められるようになりました（例：DOMAIN¥userid, userid@domain）。 | 初期値 |

- adminusers（管理者）、admingroups（管理者グループ）は、Windowsで設定されているユーザーとグループのことです。
- 両方を設定することはできず、両方を設定した場合には、adminusers（管理者）の設定が優先されます。

3. 改行区切りでユーザー名・グループ名を入力します。

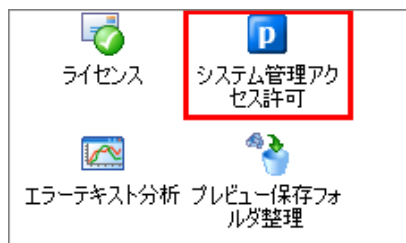
ドメイン名を含めて入力することも可能です。

例）DOMAIN¥userid、userid@domain

管理者パスワードの初期化

万が一パスワードを忘れてしまった場合は、ExaPadVer3.5.1.*以降は管理ツールから初期化することができます。

1. ExaPad管理ツール > システム管理アクセス許可 を開きます。



2. 管理者パスワード初期化の欄の「初期化」ボタンを選択すると初期化されます。

システム管理ページ(WEB)へのアクセスを制限する以下の各設定を初期化します

管理者パスワードを初期化します

パスワード入力なしでアクセスできるようになります

(ただしadmingroups/adminusersを未設定の場合)

パスワードの再設定は、システム設定>管理者パスワードの設定 より行ってください

初期化する

3.2 導入時の留意事項

ここでは管理者向けに導入時の留意事項について説明します。

3.2.1 インストールできない

現象

インストーラーが実行できない、止まってしまう

原因と対処

- ユーザーにインストール権限がない

Administrator権限を持ったユーザーで実行してください。

- 管理者権限で実行していない

Windows Vista以降では、UAC(ユーザーアカウント制御)が有効でAdministratorグループに所属していても、標準ユーザーと同じ権限しかもっていない場合があります。この場合には、インストール時に管理者へ昇格するか、UACを無効にする必要があります。

- セキュリティソフトが妨害している (Temp、プロセス、レジストリ)

セキュリティソフトによっては「一時フォルダへの書き込みを禁止する」「レジストリへの書き込みを禁止する」「プロセスの起動を制限する」「TCP/IPポートを塞ぐ」などの機能を持つため、ExaPadの内部的な処理が阻害される場合があります。インストーラーやExaPadサーバーを例外に追加するか、セキュリティソフトを無効化してください。

- インストーラーが壊れている

インストールプログラムが壊れている場合があります。実行できないような場合は再入手してください。

原因がわからない場合

弊社のサポート窓口までご連絡ください。

その時に次のファイルを送付していただくと、迅速な問題解決に役立ちます。（ファイルが存在しない場合はその旨もお知らせください。）

- ExaPad Version3.3.2以降

1. installer.log

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\ExaPad3.0\installer.log

2. ExaPadSetup Log.txt

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad Setup Log.txt

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad Setup Log.txt

- ExaPad Version3.3.1以前

1. FbInstaller.log

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad\FbInstaller.log

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad\FbInstaller.log

2. ExaPadSetup Log.txt

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad Setup Log.txt

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad Setup Log.txt

ユーザー名にはインストーラーを実行したユーザー名が入ります。

[数字]の箇所はインストールするバージョンによって異なる場合があります。

Windows Vista、Server 2008 以降は

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data

を、それぞれ次のように読み替えてください。

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Temp

C:\ProgramData

3.2.2 Fb3Indexerサービスの起動に失敗する

現象

- Fb3Indexerサービスの起動に失敗する。
- Fb3Indexerサービスが起動していない。

原因

次の原因が考えられます。

- Windowsの設定が不完全である。
- ExaPadの設定が間違っている。
- サービスの実行アカウントに設定されているユーザーのAdministrator権限（必要な権限・特権のいずれか）が不足している。

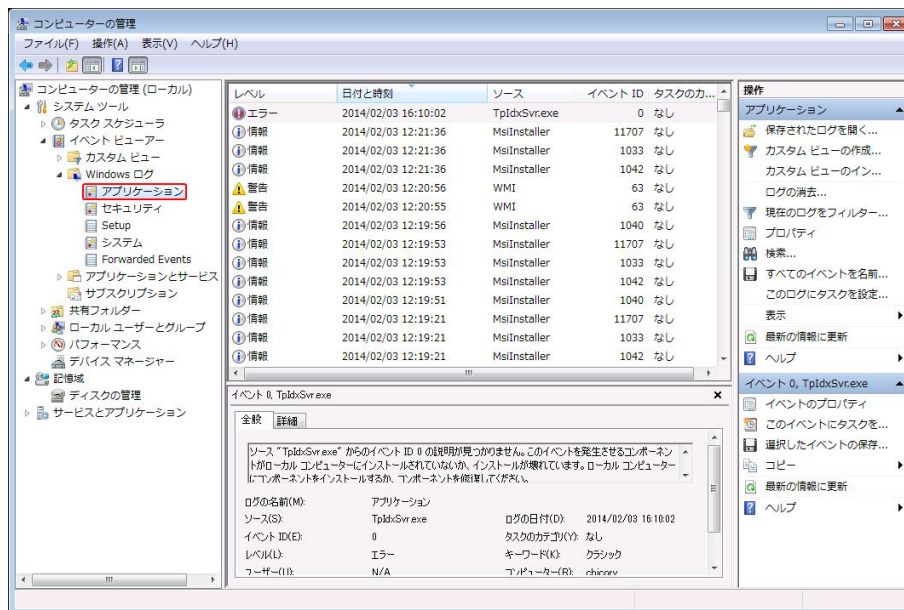
解決方法

サービスが起動に失敗した場合に、起動しない原因をFb3Indexerがログとして残している場合があります。

Fb3Indexerサービスが残したエラーログを参照する方法を説明します。

1. Windowsのイベントビューアを表示します。

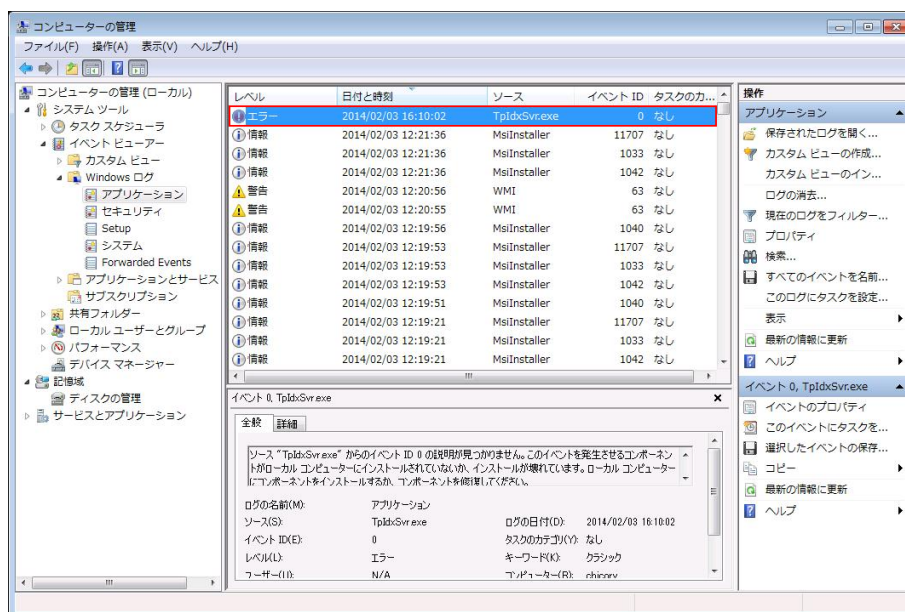
コントロールパネル > 管理ツール > コンピューターの管理を開きます。



2. システムツール > イベントビューア > Windows ログ > アプリケーションをクリックします。

3. 該当するエラー行を探します。

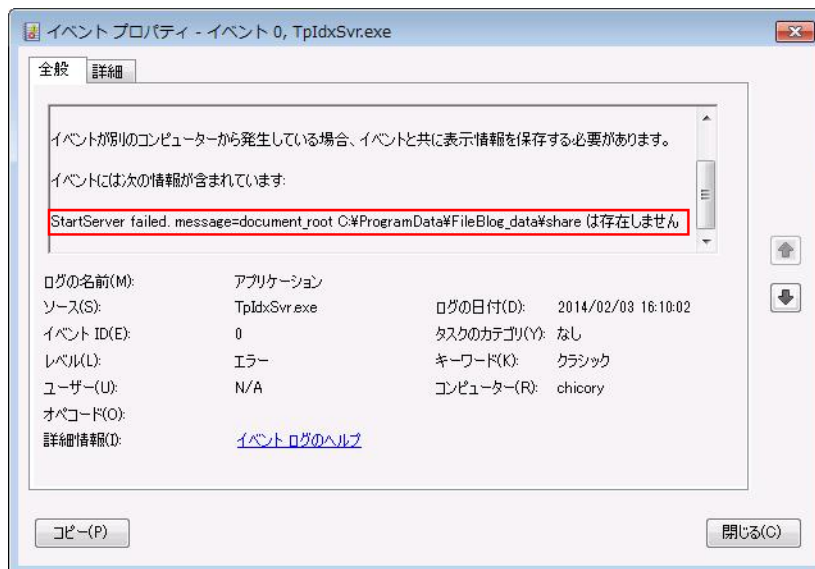
起動に失敗した時刻などをヒントに [× エラー ****] という行を探してダブルクリックします。



4. エラー原因を特定します。

最下行にb3Indxerが出力したエラーログが表示されました。

例では、ドキュメントルート (document_root) の設定が間違っているようです。



3.2.2.1 Fb3Indexerサービスの回復

現象

ExaPadサーバーとファイルサーバーを同時に再起動した場合に、ファイルサーバーの起動に時間が掛かって、ドキュメントルートフォルダにFb3Indexerがアクセスできない状況であると、Fb3Indexerの起動に失敗します。

前項の「Fb3Indexerサービスに失敗する」では主にExaPadやWindowsの設定ミスによるものを対象に説明しましたが、ここではExaPadサーバーと、ドキュメントルートフォルダが存在するファイルサーバーが別々の場合に起こりがちな現象の回避策について解説します。

原因

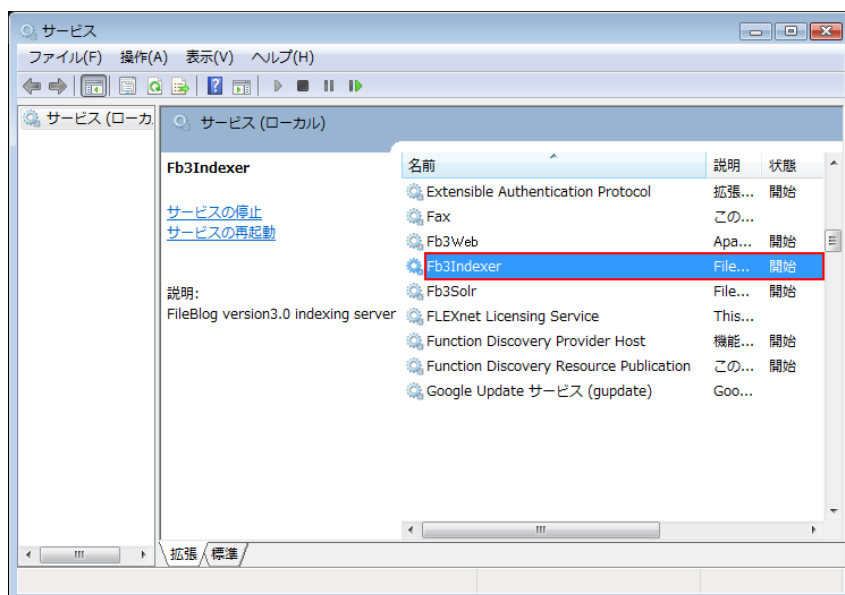
Fb3Indexerサービスの起動時に、ドキュメントルートのあるファイルサーバーのサービスが完全に立ち上がっておらず、ExaPadサーバーのサービスFb3Indexerがドキュメントルートにアクセスできない。

解決方法

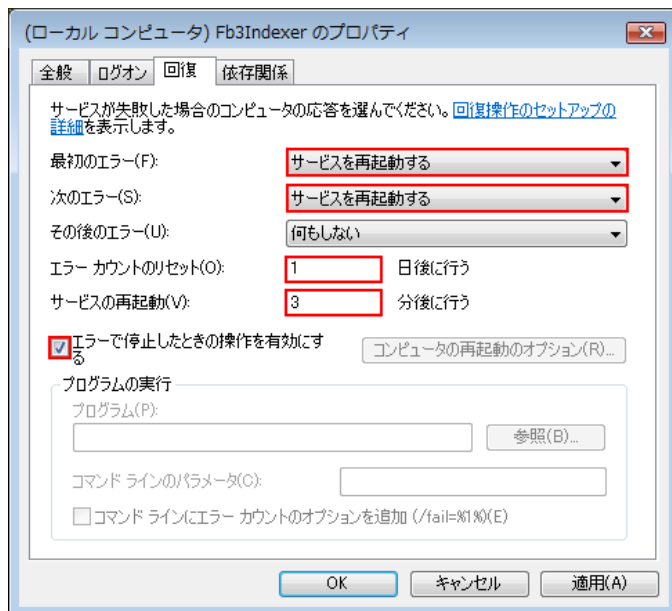
Fb3Indexerサービスの起動に失敗した場合に自動的に回復させる設定を行います。

1. スタートメニュー > 管理ツール > サービスを開きます。

(または、スタートメニュー > コントロールパネル > 管理ツール > サービス)



2. Fb3Indexerのプロパティを開きます。



- 「回復」タブを選択します。
- 「最初のエラー」と「次のエラー」の項目を「サービスを再起動する」に設定します。
- 「エラーカウントのリセット」を設定します。設定値は1日にすることを推奨します。

ゼロに設定するとカウントのリセットが行われなため、累積で何回かエラーが発生すると、二度と回復が行われなくなってしまう。

- 「サービスの再起動」の項目で再起動までの時間を設定します。ここでは3分に設定したので、サービスの起動の失敗から3分後と6分後の2度、再起動を行います。

- 「エラーで停止したときの操作を有効にする」にチェックを入れます。（Windows 7、Windows Server 2008 R2 以降）

3. 念のためFb3Webについても同様の設定を行ってください。

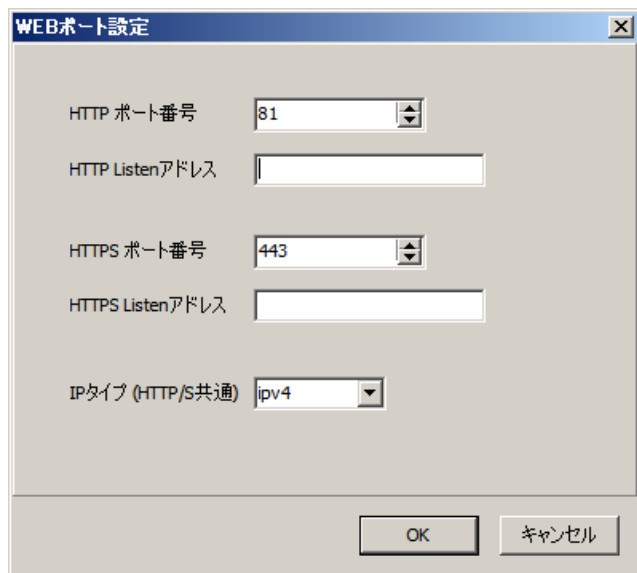
3.2.3 ポート番号をずらすには？

ケース1

現在Fb3Webを80番ポートで使用しているが、別の Web サーバアプリケーションと併用したい。

解決方法

1. ExaPad管理ツール > WEBポート設定 を開きます



HTTP ポート番号を81に変更し、OKをクリックします

2. Fb3Webサービスを再起動します。

ExaPad管理ツール > サービス を開いて再起動します。

3. ExaPadに接続します

今後、ExaPadへアクセスする時のアドレスが変更されます。（サーバ名の後に:81 を付ける必要があります）

例) `http://localhost:81/ExaPad/`

ケース2

他のアプリケーションがTCP80番ポートを使用しているためインストールを続行できません」と表示されインストールが続行できない。

原因

次の原因が考えられます。

- 他のWebサーバアプリケーションなどがTCP80番ポートを使用している。
 - インターネットセキュリティソフトなどがTCP80番ポートを監視している。
 - TCP80番ポートを使用しているアプリケーションが存在しないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合は、Skype や、セキュリティソフトなどが使用している場合があります。
- ❖ どうしても原因がわからない場合はお問い合わせください。

解決方法

1. 80番ではないポートを使用する。

他のアプリケーションがTCP80番ポートを使用している場合、インストール時にポート番号を変更可能です。空いているポートを指定してください。

2. TCP80番ポートを使用している他のアプリケーションを停止してから、ExaPadをインストールします。

3.2.4 シャットダウン・スクリプトの登録

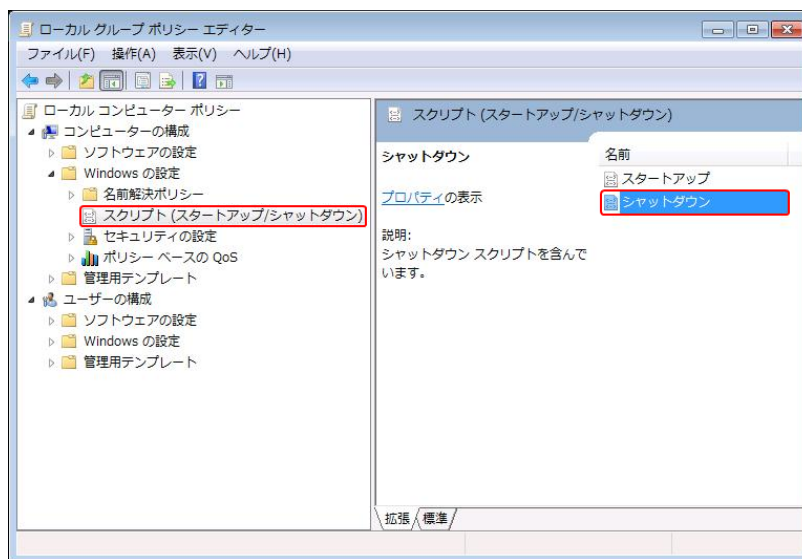
OSのシャットダウン時に インデクサーサービス(Fb3Indexer)を停止する

インデックス構築処理が頻繁に行われているときにOSがシャットダウンされると、インデクサーなどのサービスが正常に30秒以内に終了せず、イベントログエラーが記録されることがあります。

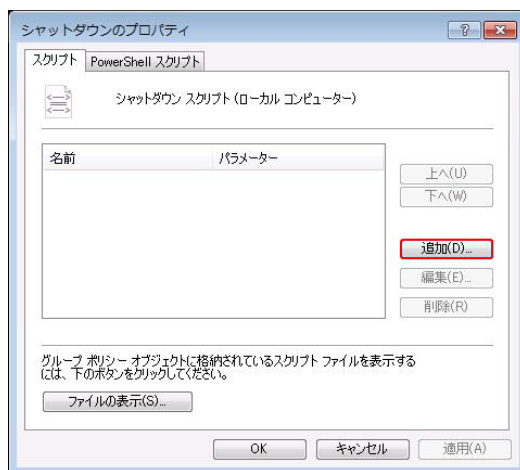
30秒以内にサービスが終了しない場合でも、検索インデックスが破損するなどのトラブルの心配はほとんどなく放置してもかまいませんが、次のようにシャットダウン・スクリプトを定義することでエラーの発生を回避できます。

シャットダウン・スクリプトの登録

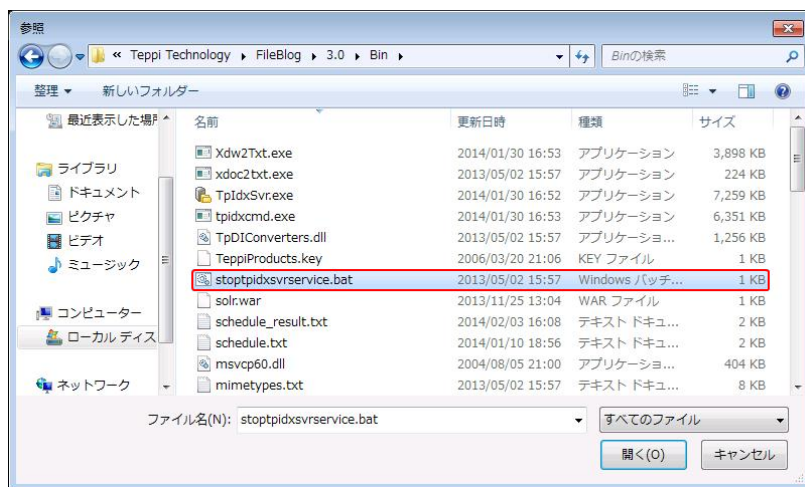
1. Windowsスタート > プログラムとファイルの検索 に「gpedit.msc」と入力します。
2. 表示された「gpedit.msc」を選択します。
3. 「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」を選択し、「シャットダウン」をダブルクリックします。



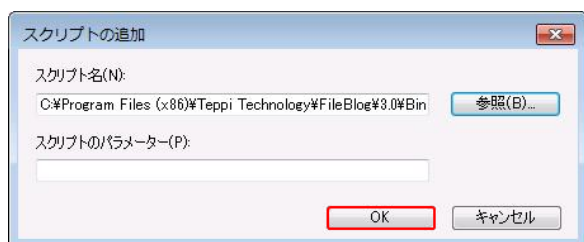
4. 「追加」をクリックします。



5. 参照...をクリックし、スクリプトを選択します。



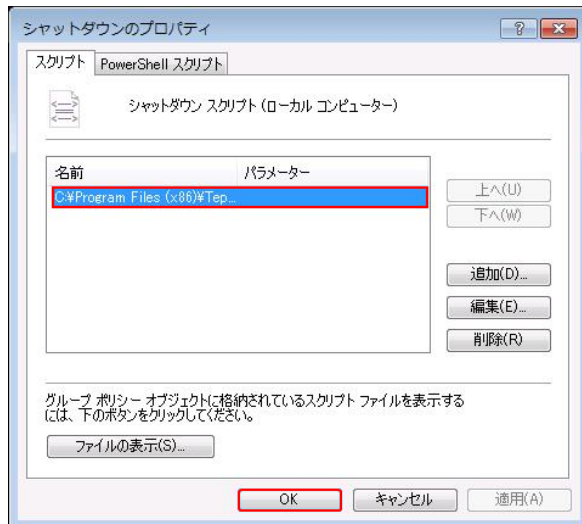
6. [ExaPadインストールフォルダ] \bin\stoptpidxsrvservice.batを選択し、「OK」をクリックします。



ExaPadのインストールフォルダにはサンプルとして「stoptpidxsrvservice.bat」が含まれています。

サービスを停止するだけのバッチファイルですが、そのまま利用もしくは修正して利用することができます。

7. シャットダウン・スクリプトが登録されているのを確認して「OK」をクリックします。



8. OS 環境によっては、設定が反映されないことがあるため、次のコマンドを実行してグループポリシーの設定を最新化してください。

Windowsスタート > プログラムとファイルの検索 > GPUupdate と入力するとコマンドプロンプトが起動し、グループポリシーが最新化されます。

登録の確認方法

次の手順で、シャットダウン・スクリプトの設定が反映されているかどうかを確認してください。

1. Fb3Indexerサービスが起動している状態で、OSを再起動してください。
2. OSの起動後、Fb3Indexerの終了ログを確認してください。終了ログは次のファイルに出力されます。

```
[APPDATA]\idxsvrlog\idxsvr.log
```

[APPDATA] は通常、C:\ProgramData\ExaPad3.0 にあります。

3. ログファイルをテキストエディタなどで開いて、出力された内容を確認します。

- 成功している場合

最終行近くに、以下のように終了ログが記述されていれば、正常に終了しています。（シャットダウン・スクリプトが機能しています。）

```
time: 2012/10/31 18:48:41.900 pt: 1040.2464 lv: INFO msg: normal end
```

- 失敗している場合

シャットダウン・スクリプトが機能せず、強制的にb3Indexerが停止されると、上記の成功時のログが出力されません。

3.2.5 検索インデックス設定

検索エンジンの設定

全文検索対象ファイル種類

画面下部のシステム設定 > ファイル種類 を開きます。



- 全文検索対象

全文検索対象となるファイル形式を指定します。

- IFilter利用

全文検索対象のファイルのうち、IFilterを使ってテキスト抽出するファイル形式を指定します。

- テキスト形式 (ascii) :

全文検索対象のファイルのうち、ここで指定されたファイル形式については、%doc2txt.exe"を使ったテキスト抽出処理をせずに、ファイルの内容をそのまま検索インデックスに登録します。該当するファイルが多い場合、検索インデックスの構築処理スピードが速くなります。

検索インデックスの設定

- 画面下部のシステム設定 > Solr (検索エンジン) を開きます。



- インデックス保存フォルダなどを設定します。

インデックス保存フォルダ

C:\ProgramData\FileBlog_data\SearchIndex

インデクサーサーバーから参照可能なWindowsパスを指定してください。変更しても既存インデックスはコピーされません

IPアドレス

ポート番号

ポート番号 (停止用)

127.0.0.1

8181

8282

初期ヒープメモリサイズ (Mb)

最大ヒープメモリサイズ (Mb)

512

512

インデックステンプレート (zip)

init_solr4_uni.zip

更新/削除のタイミング

以下のいずれかの条件が満たされた時に検索エンジンへアップロードします

最大秒数: 20

最大件数: 1000

最大サイズ(byte): 10485760

同期(hard commit)のタイミング

以下のいずれかの条件が満たされた時に同期します

最大秒数: 300

最大件数: 2000

最大サイズ(byte): 20971520

セキュリティ情報を埋め込む (aclsearch)

☒

インデックス保存フォルダの変更

インデックス保存フォルダを変更するケースとして2つあります。

- フォルダの空き容量が少なくなり、別のドライブに再配置する

フォルダの変更後、インデクサーサービスを停止し、既設フォルダをコピーしてからインデクサーサービスを再開してください。

2. 新規インストール後、インデックス構築を実行する前には標準設定のフォルダから別のフォルダに変更する

フォルダの変更後、インデクサーサービスを停止し、インデックスを初期化してからインデクサーサービスを再開します。それからインデックス再構築を行ってください。

更新 / 削除のタイミング

- インデックス再構築 / インデックス掃除 / ファイルの変更検知（追加 更新 削除）のいずれかの処理により、検索インデックスを登録もしくは削除しますが、複数ファイルをまとめて検索エンジンにアップロードさせることで、処理性能を向上させています。
- 以下のいずれかの条件にマッチした時に、検索エンジンにファイルの変更をアップロードします。
 - 最大秒数（既定値 = 20秒）
 - 最大件数（既定値 = 1000件）
 - 最大サイズ（既定値 = 10485760 byte = 10 MB）
- 検索エンジンにアップロードされれば、その直後から検索可能になります。
- 同期のタイミングは、更新 / 削除のタイミングより少ない頻度で実行されるように設定して下さい。

同期(hard commit)のタイミング

- インデックス再構築 / インデックス掃除 / ファイルの変更検知（追加 更新 削除）のいずれかの処理により、検索インデックスを登録もしくは削除し、上記「更新 / 削除のタイミング」で検索エンジンにアップロードされます。
- この段階ではまだ検索エンジン内のメモリにキャッシュされただけの状態なので、同期（検索インデックスファイルへの書き込み）が必要です。
- 以下のいずれかの条件にマッチした時に、自動的に同期(hard commit)が行われます。
 - 最大秒数（既定値 = 300秒）
 - 最大件数（既定値 = 2000件）
 - 最大サイズ（既定値 = 20971520 byte = 20 MB）
- 同期のタイミングは、更新 / 削除のタイミングより少ない頻度で実行されるように設定して下さい。

ファイルが変更されてから検索が可能になるまでの流れ

1. ドキュメントレイトにあるファイルが変更され、ExaPadがその変更を検知します。
2. 変更されたファイルから全文テキストを抽出し、検索エンジンに登録（アップロード）します。
3. 検索可能ができるようになります。

同期(hard commit)が実施されていなくても、メモリ上にキャッシュされたインデックスも検証対象となるので、アップロード直後から検索可能になります。これはSolrのsoft commit機能による効果です。

3.2.5.1 インデックス除外設定

除外設定

除外設定では、以下の設定をすることが出来ます。

- 除外パス： 特定のフォルダ以下 /ファイルパスを、インデックス登録対象外にする。
- テキスト抽出 全文検索除外パス： 特定のフォルダ以下 /ファイルパスを、テキスト抽出対象外にし、全文検索対象外にする。
- 検索除外パス： 特定のフォルダ以下 /ファイルパスを、検索対象外にする。(Version3.8.0以降で使用可能です)

除外したいファイルパスのルールは正規表現で記述し、適合するフォルダ/ファイルだけが対象となります。

またファイルパスのルールは、拡張子ごとにも設定することができるため、指定したフォルダ以下では、特定の拡張子だけインデックス登録対象外にする」といった設定も可能です。

除外パス」と除外 テキスト抽出パス」、除外 検索対象パス」の違い

| 処理対象 | 除外パス | テキスト抽出 全文検索除外パス | 検索除外パス |
|--------------|--------|-----------------|--------|
| ファイル名検索 | ヒットしない | ヒットする | ヒットしない |
| 全文検索時のファイル本文 | ヒットしない | ヒットしない | ヒットしない |
| プレビュー サムネイル | 作成しない | 作成する | 作成する |

| | | | |
|---------------|-----|----|-----|
| ライセンス文書数のカウント | しない | する | しない |
|---------------|-----|----|-----|

ご利用状況に合わせて次のよう設定してください。

- インデックス登録（検索）とプレビュー作成の両方をしないようにする

除外パス」に設定してください。（ライセンスの文書数にはカウントされません。）

- ファイルのテキスト抽出（ファイルの本文で検索）だけしないようにする

テキスト抽出 全文検索除外パス」に設定してください。（ライセンスの文書数にカウントされます。）

- インデックス登録（検索）だけしないようにする

検索除外パス」に設定してください。（ライセンスの文書数にはカウントされません。）

除外パス

1. 画面下部のシステム設定 > 除外ファイル設定 を開きます。



2. テキストエリアに 改行区切りで条件を指定します。

頻出する一時ファイルの条件が標準で設定されています。

| 除外パス | テキスト抽出・全文検索除外パス | 検索除外パス | パスの判定ツール |
|---|-----------------|--------|----------|
| <div>入力ツール</div> <div><pre>* ^/share2(/.*)?\$ * ^/share/除外パス(/.*)?\$ tmp .*%.tmp\$ bak .*%.bak\$ cmd .*%.cmd\$ kev .*%.kev\$ frm .*%.frm\$ rep .*%.rep\$ wfm .*%.wfm\$ var .*%.var\$ viw .*%.viw\$ se_ .*%.se_\$ tb_ .*%.tb_\$ tx_ .*%.tx_\$ or_ .*%.or_\$ rsc .*%.rsc\$ pos .*%.pos\$ \$00 .*%.¥\$0.\$ \$01 .*%.¥\$0.\$ \$02 .*%.¥\$0.\$</pre></div> | | | |

3. 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

行の仕様

- タブ区切りで、2列で構成されます。

[1 列目] タブ [2 列目]

- 1列目には、除外されたファイル種類を指定します。

ファイル種類を特定しない場合や、フォルダを指定する場合には半角 * を指定して下さい。

- 2 列目には、除外されたファイルパスを正規表現ルールで指定してください。（Perl5.8互換の正規表現を使用できます。）
- 1つのファイル種類について複数の条件を設定できます。（1つでも条件に当てはまれば除外されます。）

除外パスの設定例

ドキュメントルートが C:\docroot で、エイリアスが DocRoot に設定されている場合

```
.jpg.*\.jpg$
.html.*\.html$
```

```
.gif      ^/DocRoot/.*/images/.*/.*\.$  
*        ^/DocRoot/.*/temp/.*
```

- | | | |
|-------|----------------------------|------------------------|
| 1 行目： | すべてのドキュメントルートに存在する | 拡張子が jpg のファイルを除外します。」 |
| 2 行目： | すべてのドキュメントルートに存在する」 | 拡張子が html ファイルを除外します。」 |
| 3 行目： | C:\docroot\images 以下に存在する」 | 拡張子が gif ファイルを除外します。」 |
| 4 行目： | C:\docroot\temp 以下に存在する | 全てのファイル・フォルダを除外します。」 |

テキスト抽出 全文検索除外パス(検索除外パス)

1. テキスト抽出 全文検索除外パス(検索除外パス) 除外 抽出テキストパス」タブを選択します。
2. テキスト抽出を行わないフォルダやファイル種類を指定します。(指定方法は 除外パス」と同じです。)

規定値では空になっており、全てのパスがテキスト抽出パスに設定されています。

3. 設定の変更後、インデクサーサービスの再起動をします。

入力ツール

入力ツールを使うことで、パスの正規表現を簡単に記述することができます。

1. 「入力ツール」ボタンをクリックします。
2. フォルダとファイル種類を指定します。

正規表現パス 入力ツール

フォルダ

☐ すべてのフォルダ

☒ 特定のフォルダ

参照

ファイル種類

☐ すべてのファイル種類

☒ 特定のファイル種類

OK キャンセル

3. 自動で正規表現が作成され、セットされます。

除外パス テキスト抽出・全文検索除外パス 検索除外パス パスの判定ツール

入力

* ^/share/. *¥.(doc|xls|ppt)\$

パスのテスト

設定した条件をテストすることができます。

1. 「パスの判定ツール」タブを選択します。
2. テストしたいファイルパスを入力します。
3. 「判定する」ボタンを選択します。
4. 結果が表示されます。

| 除外パス | テキスト抽出・全文検索除外パス | 検索除外パス | パスの判定ツール |
|--|-----------------|--------|----------|
| パス: <input type="text" value="/share/test.txt"/> <input type="button" value="判定する"/> | | | |
| 判定結果 ○ (インデックス対象です) × (テキスト抽出対象外です。テキスト抽出・全文検索除外パスに含まれています) | | | |

3.2.5.2 テキスト抽出エンジン IFilter の使用について

IFilter について

ExaPadは、検索インデックスのテキスト抽出に xdoc2txt または IFilter プログラムを使用しています。

標準のテキスト抽出エンジンは xdoc2txt ですが、ファイル種類によっては Microsoft が提供する IFilter を用いることができます。

IFilter は Microsoft が提供するテキスト抽出エンジンで、Word, Excel, PowerPointなどのファイルのテキスト抽出に向いていて、xdoc2txt に比べて高速に処理することができます。(当社テストにおいて)

Microsoft Outlookメッセージ形式ファイル(msg) や、Microsoft Visio の全文検索を行う場合には、IFilter のインストールが必須です。

- Outlook msgファイル用IFilter、Visio用IFilterを含む『Microsoft Office 2010 ファイルタック』は2018年6月現在、下記のURLからダウンロードできます。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17062>

microsoft ファイルタックには、Microsoft Searchサービスが必要です。

ExaPadは、Windows 64bit系OSにしか対応しておりませんので、『Microsoft Office 2010 ファイルタック』の "FilterPack64bit.exe" をダウンロードおよびインストールしてください。

さらに、64bit用のIFilterである『FilterPack64bit.exe』を利用するには、ExaPadのVersion3.14以降が必要です。3.14未満のVersionでは動作しません。

使用方法

1. 画面下部のシステム設定 > ファイル種類 を開きます。



2. IFilter を使用するファイル種類を指定します。

標準では、Microsoft Office、Adobe PDF が、IFilter を使用するように設定されています。



3. 例として、Wordファイル(doc)をIFilter 使用に指定します。

a. 「全文検索対象」に、doc を指定します。

この項目に指定がないファイル種類は全文検索の対象になりません。

b. 「IFilter 利用」に doc を指定します。

この項目に指定がない場合、標準の xdoc2txt が使用されます。

対応する IFilter がインストールされていない場合も xdoc2txt が使用されます。

✓ doc に対応するFilter用のライブラリをインストールしてください。（doc については Windowsに標準でインストールされています。）

4. 「保存する」ボタンを選択して、今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

3.2.6 排他的ロックへの対応

概要

ExaPadサーバーがインデックス構築するとき、他のアプリケーションによってファイルが排他的にロックされていると、テキスト、プレビュー、属性の抽出に失敗してしまう場合があります。

排他ロックするアプリケーションの典型的な例は、Microsoft Office関連や、コンパイラ、バックアップツール、ソース管理ツール、セキュリティソフトなどです。

基本的に、これらの現象に関してはExaPadにおける解決策はありませんが、次の対応策を取ることで抽出成功率を上げることができます。

- 変更検知後の抽出・登録処理を遅延させる
- ファイルがロックされている場合に抽出を遅延させる

対策

変更検知後の抽出・登録処理を遅延させる

Fb3Indexerサービスがファイルの変更を検知した場合に、インデックスを抽出・登録する処理を一定時間遅延させます。

ただし、ユーザーが明示的に抽出・登録を実行するようなアクション（プレビュー再作成やファイルのアップロード時など）は遅延されません。

数秒から数分間の遅延をはさむことで、他のアプリケーションがロックしているファイルが開放されるのを待ちます。

- 画面下部のシステム設定 > 性能チューニングを開きます。
- onlinequeue_delaytime_minutes を選択して分単位で遅延時間を設定します。
- 「保存する」ボタンを選択し、今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

ファイルがロックされている場合に、抽出を遅延させる

Fb3Indexerサービスが、ファイルの変更を検知した場合に、ファイルの排他ロックの有無をチェックして、インデックスを抽出・登録するのを遅延します。

ファイルが排他ロックされている間は定期的にチェックを繰り返し、ファイルが開放された後に抽出を開始します。

- 画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
- filelockcheck_extlist を選択してファイルロックのチェックをする拡張子を改行区切りで指定します。

例) doc

ppt

- 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行ってください。

3.2.7 フォルダアクセスのセキュリティ

フォルダアクセスのセキュリティ

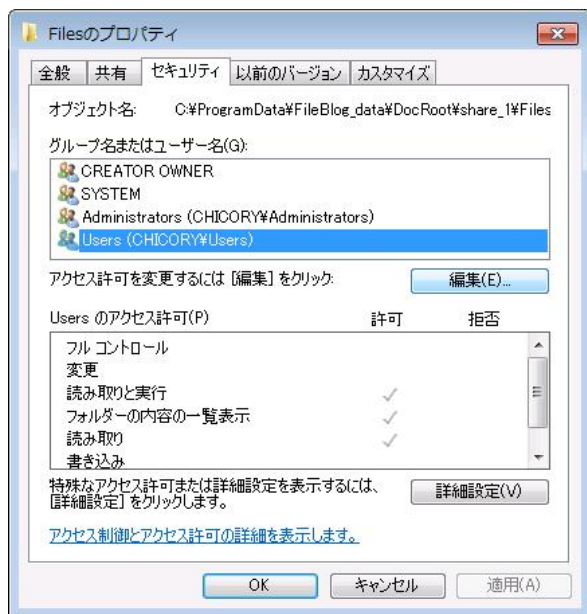
- ExaPadは、Windows OSに設定されたセキュリティ設定を利用します。
- ExaPadでの操作は、Windows OSのファイルシステムに設定されたセキュリティがそのまま適用されます。
- セキュリティの変更は、Windowsのエクスプローラーを利用して行います。
- ExaPadでは、Windowsセキュリティを設定することはできません。

セキュリティの設定方法

WindowsOS上でセキュリティを設定する方法とまったく同じです。

1. Windowsエクスプローラーを起動します。
2. セキュリティを設定するフォルダを開きます。

3. フォルダの右クリックメニューで共有とセキュリティをクリックします。
4. 各グループ、ユーザーアカウントごとに、権限を設定します。



パスワード変更機能

ExaPadでは、Windows アカウントのパスワードを変更することができます。

ユーザー自身によるパスワード変更や、パスワード期限切れ時のパスワード変更などをExaPadで行うことができます。

パスワード変更はアクセスログに出力されます。

パスワード変更機能を有効にする

1. 画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. テキストボックスにchange と入力します。

保存する キャンセル

絞り込み

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|---------------------------|-----|---|-----|
| aspchangepassword_enabled | ON | ASPログイン時のパスワード変更を行えるようにします。 | 初期値 |
| changepassword_enabled | OFF | パスワード変更を行えるようにします。初回ログイン時のパスワード変更やパスワード期限切れ時にも、ログインの直後にパスワードを変更することができるようになります。 | 初期値 |

3. changepassword_enabled を開いて値にチェックを入れます。（標準ではチェックなしのOFF に設定されています。）

changepassword_enabledの設定 ×

値

☒

OK キャンセル

4. 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

パスワードを変更する

ログイン済みのユーザーは任意のタイミングでパスワードを変更できます。

- 画面下部の「オプション」を選択します。
- パスワード変更リンクをクリックします。



オプション

言語

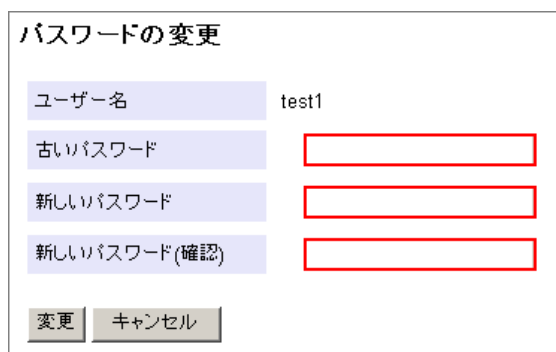
日本語 (Japanese)

パスワード

変更

設定する 閉じる

3. 古いパスワードと新しいパスワードを入力して「変更」ボタンを選択します。



パスワードの変更

ユーザー名 test1

古いパスワード

新しいパスワード

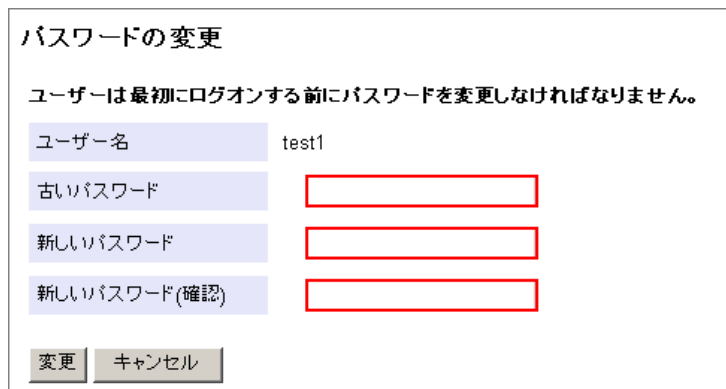
新しいパスワード(確認)

変更 キャンセル

ログイン時にパスワードを変更する

Windowsのセキュリティポリシーによって、ログイン時にパスワードの変更が必要になった場合、次の画面が自動的に表示され、ユーザーにパスワード変更を促します。

古いパスワードと新しいパスワードを入力して変更ボタンを選択してください。



パスワードの変更

ユーザーは最初にログオンする前にパスワードを変更しなければなりません。

ユーザー名 test1

古いパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認)

変更 キャンセル

パスワードが変更できない場合

ExaPadでは、パスワード変更に失敗した時にWindowsが返すエラーメッセージをそのまま表示するため、原因がわかりにくい場合があります。

- エラーメッセージ例

「パスワードはパスワードポリシーの要件を満たしていません。パスワードの最短の長さ、パスワードの複雑性、およびパスワード履歴の要件を確認してください。」

このようなエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

- パスワードが必要な長さより短い
- パスワードが長すぎる
- パスワードの更新直後である
- 一意の文字が不足している
- その他、パスワードポリシーの要件を満たしていない

参考： <http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/cc447014.aspx>

3.2.8 ExaPadのセキュリティ設定

ExaPadでは、Windowsのセキュリティ設定に従って、ファイルやフォルダに対する権限が決定されます。

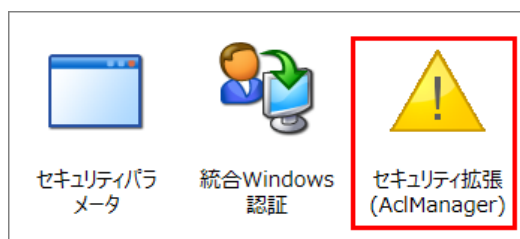
運用上それだけでは不便な場合もあり、Windowsのセキュリティに加えて、ExaPad独自のセキュリティ機能で制御することができます。

ExaPadセキュリティ機能では、インデックス再構築やプレビュー作成設定などの管理者が行う操作でも実行権限を制御することができます。

インストール後の標準のセキュリティ設定は、全ユーザーはWindowsで設定されたセキュリティに準じたアクセス権限で操作できます。

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティ拡張（AcIManager）を開きます。

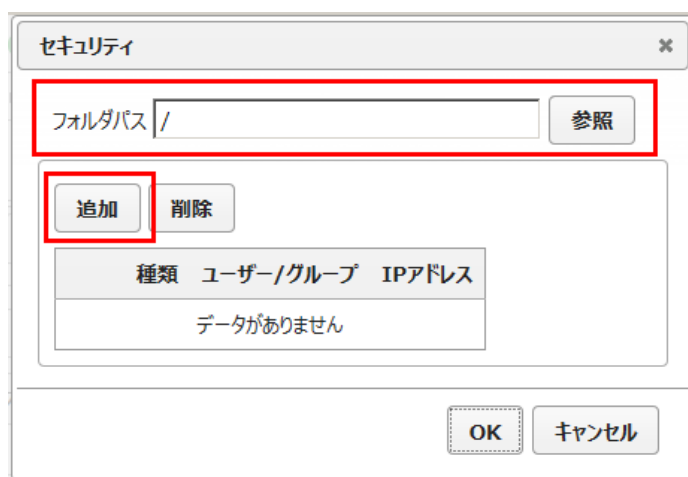


2. アクセス権設定を追加します

追加 ボタンを選択して、新しいアクセス権の設定を編集します。



3. 「フォルダパス」にアクセス権を設定したいフォルダをフルパスで指定します。



4. 「追加」ボタンを選択し、アクセス権を指定します。

- フォルダのセキュリティは、対象フォルダから最も近い親（もしくは先祖）フォルダのセキュリティ設定が使用されます。
- ExaPadVer3.5.0以降は、トップフォルダ「/」に対して必ずセキュリティを設定する必要があります。
- 本機能を設定する場合、全ユーザー・グループの全フォルダに対する権限が「拒否」された状態からの設定となります。

したがって、全ユーザー・グループの全フォルダに対する「許可」のセキュリティを必ず設定してください。

各ドキュメントルートの設定は必須です。

- 例えば、ドキュメントルートが「\\share」と「\\share2」のときに「\\share2\projects」にのみセキュリティを設定する場合は、次の2つの設定が必要です。

❖ トップフォルダ「/」 全ユーザーに対して「許可」の設定

❖ /share/projects → 任意のアクセス権の設定

Windowsで拒否されている操作は、本機能で許可の設定を行っても拒否対象のままです。

Windowsで許可された操作を本機能で拒否することはできます。

設定を間違えると、全ユーザーがアクセスできなくなる場合があるため、ご不明な点はサポートにお問い合わせください。

5. 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービスを再起動します。

| パス | |
|--------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | / |
| <input type="checkbox"/> | /share2/Projects |

対象

タイプ（許可 / 拒否）

- チェックを入れたアクションに対して、許可もしくは拒否を選択します。
- 拒否が優先です。許可されていないアクションは「拒否」とみなします。
- ユーザーにとって該当する設定が存在しない場合、アクセス許可がないと判断します。

ユーザー名もしくはグループ名

- アクセス権を設定する、ユーザー名もしくはグループ名を指定します。
- 半角カンマ区切りで複数のユーザーやグループを指定できます。
- ドメインに所属するユーザー、グループを指定する場合は、「ドメイン名\ユーザー（グループ）名」のように指定します。
- ドメイン名はセキュリティ・ドメイン一覧で指定されている表記に従ってください。

IPアドレス

- 172.19.109.0/24 のようにCIDR表記でIPアドレスの範囲を指定します。

- 半角カンマ区切りで複数のIPアドレスの範囲を指定できます。
- CIDR表記とは、IPアドレスとサブネットマスクを「/スラッシュ」で繋げて表記します。
 - 192.168.0.0/24 とは、IPアドレス 192.168.0.0、サブネットマスク 255.255.255.0 を表現します。
192.168.0.0 ~ 192.168.0.255 の範囲のIPアドレスを指定したことになります。
- ユーザー名とPアドレスの両方を指定した場合は、同時に満たすユーザーのみが対象となります。
- いずれも未入力の場合は、全ユーザーが対象になります。

アクション

それぞれのアクションでExaPadの操作権限を設定します。

操作権限がなくなったり、メニューが非表示になったり、実行してもエラーになったりします。

- 読み取り

ファイルの一覧、閲覧、検索、プロパティ編集（表示）、概要とコメント（表示）、一覧出力、直接開く

- 書き込み

ファイルの上書き、削除、名前の変更、アップロード、プロパティ編集（書き込み）、メモ・フォルダの新規作成

- 概要・コメント・タグの書き込み

概要とコメント、タグ（書き込み）

- ダウンロード

ファイル、フォルダのダウンロード

- 管理者向け機能

インデックス/プレビューの再構築

コピーは、コピー先のフォルダに書き込みの許可が必要です。

移動は、移動元と移動先のフォルダに書き込みの許可が必要です。

マクロ機能

マクロ機能を使うことによって、複数のフォルダに対して同じ設定をする手間を軽減させることができます。

例えば \$(USERS) というマクロに、複数のユーザー名を定義おけば、あとは制限したいフォルダに \$(USERS) と記入するだけですみます。

1. 「マクロ」タブを選択して定義を追加します。

保存する キャンセル

セキュリティ マクロ

追加 削除 上へ 下へ

| 名前 | 値 |
|-----------|---|
| データがありません | |

2. 名前と値を設定します

マクロ

名前

AdminGr

値

admin1
admin2
admin_gr1

OK キャンセル

3. 例として「AdminGr」という名前に、「admin1, admin2」というユーザー名と「admin_gr1」というグループ名を割り当てました。

マクロが1つ登録されました。

保存する キャンセル

セキュリティ マクロ

追加 削除 上へ 下へ

| 名前 | 値 |
|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> AdminGr | ["admin1","admin2","admin_gr1"] |

4. マクロを使う

- ユーザー名にマクロを指定します。\$(マクロ名) と入力します。
- 実行時に \$(AdminGr) が admin1, admin2, admin_gr1 に展開されます。
- IPアドレスも同様にマクロを使用することができます。

設定

タイプ

☒ 許可 ☐ 拒否

ユーザー名もしくはグループ名

\$(AdminGr)

IPアドレス範囲
(ネットワークIPアドレス/マスクビット数)

アクション

☒ 読み取り
☒ 書き込み
☒ 概要・コメント・タグの書き込み
☒ ダウンロード
☒ 管理者向け機能

OK キャンセル

5. 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービスを再起動します。

操作毎に必要なアクション

ここでは操作毎に必要なアクションの一覧をご説明します。

以下の表ではExaPadの上での操作ごとに、最低限必要なアクションに が付いています。

| 分類 | 操作 | | 読み取り | 書き込み | 概要・コメント・タグ | ダウンロード | 管理者向け機能 |
|------|----------------|---------|------|------|------------|--------|---------|
| ファイル | 閲覧 | | | - | - | - 1 | - |
| | コピー | 移動元フォルダ | | - | - | - | - |
| | | 移動先フォルダ | | | - | - | - |
| | 移動 | 移動元フォルダ | | | - | - | - |
| | | 移動先フォルダ | | | - | - | - |
| | 削除 | | | | - | - | - |
| | リネーム | | | - | - | - | - |
| | 上書き更新 | | | | - | - | - |
| | ダウンロード | | | - | - | | - |
| | 概要・コメント | 表示 | | - | - | - | - |
| | | 更新 | | - | | - | - |
| | プロパティ | 表示 | | - | - | - | - |
| | | 更新 | | | - | - | - |
| | 直接開く | | | - | - | - | - |
| | THHTML (メモ) 更新 | | | | - | - | - |
| | アップロード | | | | - | - | - |
| | プレビュー再作成 | | | - | - | - | - |
| | CSV出力 | | | - | - | - | - |
| | 新規メモ | | | | - | - | - |

| | | | | | | |
|--------------|-----------------|--|---|---|---|---|
| | 新規フォルダ | | | - | - | - |
| 管理者向け機能 2 | インデックス/プレビュー再構築 | | - | - | - | |

1 gifファイルは閲覧時にダウンロード権限が必要です。

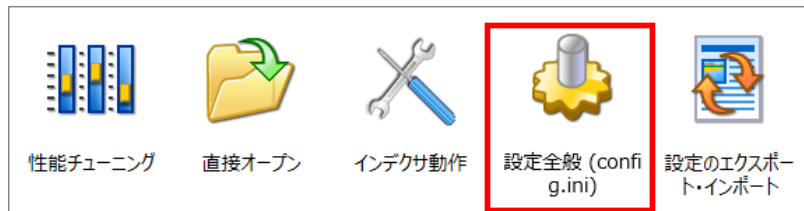
2 システム管理者メニューからは、管理者向け機能権限に関係なく実行できます。

3.2.9 詳細環境設定

詳細環境設定

全ての環境設定の項目を編集できる設定メニューです。

画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。



システム設定での設定内容は、全て config.ini ファイルとして保存されます。

config.ini ファイルは、[インストールフォルダ] \Bin に保存されています。

config.ini ファイルは、直接編集しないでください。

パラメーターの検索

- 絞り込み機能は、パラメーター名にある文字をキーワードとして入力することで候補を絞り込んで表示します。



- キーワードは部分一致が可能で、例えば user と入力すると、パラメーター名のどこかに user が含まれる、パラメーターで絞り込まれます。

| 絞り込 user | | | |
|-------------------------------|-----|---|-----|
| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
| accesslog_exclude_user_domain | OFF | ドメインを使用していない場合はこのパラメータは使用されません。 | 初期値 |
| adminusers | | 管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理 | 初期値 |

設定値の変更

- 各パラメーターの内容については、説明欄を参照してください。
- パラメーターの行をクリックして選択することで、設定値を編集するダイアログが開きます。
 - 真偽型は、チェックを入れると「ON」になります。
 - 入力型は、数値や指定する値（例えばユーザー名など）を入力します。
- 設定後にサービスを再起動することで、変更した設定値が有効になります。

3.2.1 ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合

0

概要

ロードバランサーやプロキシサーバー（以下まとめてプロキシサーバーと表記）を経由のアクセスでは、ExaPadはプロキシサーバーからアクセスされたものとして動作します。

この状態では、アクセスログに出力されるIPアドレスや、ネットワークアドレス判定（直接ファイルを開くネットワーク判定など）が期待しない動作となる場合があります。

ExaPadVer3.5.0.7以降では、プロキシサーバーではなく 接続元クライアントからのアクセスとして動作させることができます。

設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
- trusted-proxy を選択してプロキシサーバーのIPアドレスを指定します。
- 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

仕組み

HTTPヘッダの X-Forwarded-For を利用しています。

trusted-proxy で指定されたIPアドレスからアクセスされた場合に、X-Forwarded-For の一番左のIPアドレスを接続元クライアントのアドレスとして取得します。

3.2.1 IPv6接続を有効にする

1

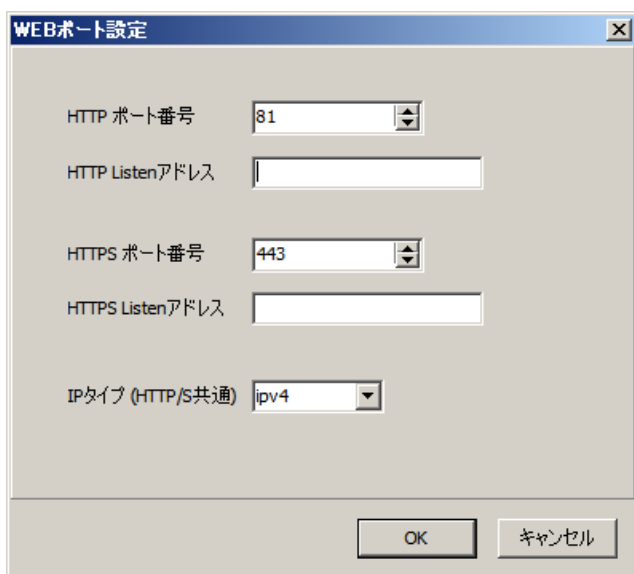
概要

デフォルトではIPv4接続のみが有効になっています。

設定を変更することでIPv6接続を有効にできます

設定方法

- ExaPad管理ツール > WEBポート設定 を開きます。



- IPタイプ(HTTP/S共通)を変更します
 - ipv4・・・IPv4接続のみ有効にします
 - ipv6・・・IPv6接続のみ有効にします
 - ipboth・・・IPv4とPv6接続を有効にします
- 「OK」を選択し、WEBサービスを再起動します。

3.3 導入後の運用について

管理者は、インデックス・プレビューの初期構築が完了して運用が開始された後は、次の事項について問題がないか確認するようにしてください。

定常的に確認していただきたいこと

インデックス構築状況を確認し、処理の残り件数が大きく増えていないことを確認してください。

画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況 を開いて確認してください。

全ての処理が完了している状態が一番安心ですが、処理残数がある場合、マシン性能によっては残り1,000件から10,000万件程度であれば一晩で終わる可能性があり、翌朝に残数がゼロ件ある場合は大きく減少していれば問題ありません。

10万件など大量の残数がある場合は、インデクサーがハングアップしている可能性があります。

放置すると検索結果に表示されるべき文書が表示されない、またはプレビューが作成されないなどの症状が発生する可能性があります。

そのような状況の時はサポートまでご連絡ください。

総文書数をチェックし、ライセンス文書数の余裕を維持してください。

インデックス構築状況の上部に表示される、各ドキュメントレートのカウント数（文書・フォルダ数）の増減を時々確認してください。

総文書数がライセンスされた文書数を超過すると、それ以降は、ファイルのインデックス登録処理が滞ります。

50万文書を超える場合には、検索エンジンのヒープメモリ割当てを増やす必要があります。

（詳細は [「ヒープメモリ割当てを増やす」](#)を確認してください。）

ディスクの容量があふれていないか定期的にチェックしてください。

検索インデックスやプレビューデータの容量は、利用するにつれて肥大化する傾向があります。

大量ファイルのアップロード、ダウンロード実行時は一時ファイル領域に大きな容量が必要です。

ディスク容量が不足する前に余裕のあるドライブへの再配置や移動を行なってください。

運用上想定される主なトラブル 設定変更

- ログインできない
- 検索できない
- プレビューできない

このような症状については、[「あれ??と思ったら」](#)の項目で解決できる可能性があります。

ExaPad画面で現在のログイン状況などの稼働状況を確認することができます。

また一部の管理機能（インデックスの再構築、掃除など）の操作や、運用ログを閲覧することができます。

稼働状況の確認

システム設定 > 稼働状況 にて、以下の情報を確認できます。

- ExaPadのバージョン
- ExaPadの設定、稼働状況
- OSの動作環境
- ログファイル
- その他

稼働状況の送信

サポートにおいてBroadLeafから、稼働状況の提出を依頼された場合には、以下の方法で送信をお願いします。

1. 「以下の情報をファイルにダウンロードします」のボタンを選択します
2. Zipファイルがダウンロードされます。
3. 必要に応じて内容を確認してください。
4. メールもしくは<http://www.broadleaf.co.jp/>でZipファイルを添付して送信してください。

(なお、稼働状況の一部には (idxsvrのログファイルなど)、ドキュメントルート以下のファイルパスが含まれる場合があるため、内容をチェックしてからお送りください。)

3.3.1 サービスの実行と停止

サービス

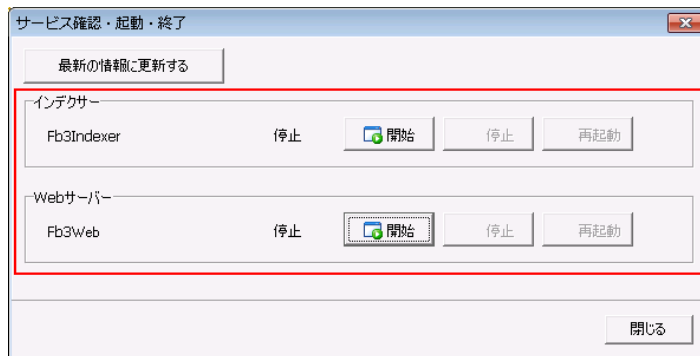
インデクサーとWebサーバーのサービスの開始、停止、再起動を行います。

実行方法は2通りあります。

1. 画面下部のシステム設定 > サービス

| サービス | 状態 | 操作 | アカウント |
|---|----|---|--------------------|
|  インデクサー | 開始 | <button>停止</button> <button>開始/再起動</button> | 設定 |
|  Webサーバー | 開始 | - <button>再起動</button> | |

2. 管理ツール > サービス で操作できます。



- 最新の情報に更新する

サービスの現在の状態を問い合わせます。

- 開始

サービスを開始します。

- 停止

サービスを停止します。

- 再起動

サービスを停止後、開始します。

- 設定

インデクサーサービスの実行アカウントを設定します。

3.3.2 作業ファイルの再配置

ExaPadが、使用するフォルダを再配置できます。

再配置の目的

| 目的 | 説明 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ディスク容量不足の回避 | <p>たとえば C : ドライブの残り容量がわずかである場合、ExaPadが作業ファイルやログファイルをC : ドライブに書き出すと、ディスク容量不足によりシステムダウンが発生するおそれ考えられます。</p> <p>このような時に、作業ファイルの書き出し場所を別ドライブに移動する必要があります。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ディスクアクセス性能の向上 | <p>単一のハードディスクドライブにおいて、複数のフォルダ・ファイルへのアクセスが同時に発生することは、アクセス性能を悪化させる原因になります。</p> <p>サーバーマシンに複数のハードディスクドライブが接続されている場合、たとえば、プレビューファイルの保存場所と、全文検索インデックスの保存場所と、作業フォルダを、それぞれ別々の物理ディスクに配置することで、ディスクアクセスの競合を回避できることが期待できます。</p> |

再配置の方法

環境設定を編集して、次の各フォルダを再配置することを推奨します。

なお、検索インデックスフォルダの変更方法については、[検索インデックス設定](#) を参照下さい。

| エントリ名 | 説明 |
|---------------------------|--|
| tpi_root (プレビュー保存フォルダ) | <p>ファイルから抽出されたテキストやサムネイル画像などを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 > トキュメントルート</p> <ul style="list-style-type: none"> プレビュー画像は、容量が大きくなる場合もあるため、独立ドライブに配置することをお勧めします。 トキュメントルートが複数ある場合、トキュメントルートごとに異なるフォルダを指定する必要があります。 全てのユーザーが読み取り可能なフォルダを指定して下さい。 |

| | |
|-----------------------|---|
| accesslog_dir | <p>ExaPadで操作されたログの保存先です。</p> <p>画面下部のシステム設定 > アクセスログ</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力されるファイルは、容量が大きくなる場合があります。 指定なし(空白)にしておくと、ログファイルは出力されません。 |
| batch_work_dir | <p>Fb3Indxerのバッチ処理の作業ファイルの保存フォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時的なデータの書き出しに使用される領域です。文書数が非常に多い場合には、数百MB以上の容量を必要とします。 指定なし(空白)にしておくと、APPDATA(1) + batch_work が設定されます。 |
| webtempdir | <p>一括ファイルダウンロードを行ったときに一時的に作成されるzipファイルの保存フォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間経過した一時ファイルは自動的に削除されますが、ある程度の容量が必要です。 指定なし(空白)にしておくと、APPDATA(1) + temp が設定されます。 |
| actionqueue_savepath | <p>Fb3Indxerのアクションキューを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検知されたファイルの変更を、一時的に記憶するために利用される領域です。 指定なし(空白)にしておくと、APPDATA(1) + action が設定されます。 |
| idxserverlog_savepath | <p>Fb3Indxerの全体の実行ログを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日に1ファイルずつ作成され、起動 終了などのイベントを記録します。 指定なし(空白)にしておくと、APPDATA(1) + log が設定されます。 |

1 APPDATA は Windows のアプリケーションデータフォルダのことで、通常は次のフォルダのことで、

- Windows 7, 8.1, 10 / Windows Server 2008 R2, 2012, 2012 R2

C:\ProgramData\ExaPad\3.0

3.3.3 運用ログについて

運用ログの種類

運用ログはアクセスログとは違い、インデクサー (Fb3Indexer) の稼働中に自動で出力されます。

各運用ログの出力フォルダは [APPDATA]\idxsvrlog となります。

| ファイル名 | 説明 | プログラム |
|-----------------|---|------------------------|
| crawler.log | インデックス構築処理のために、ドキュメントルート以下の全てのフォルダ・ファイルをスキャンします。ログファイルには、スキャンした結果のファイル数およびフォルダ数が出力されます。この数は除外設定が考慮されています。 | FbCrawler.exe |
| housekeeper.log | 古いログファイルや一時作成ファイルを削除します。ログファイルには、特に重要なログは出力されません。 | FbHouseKeeper.exe |
| idxsevr.log | ExaPad本体のログファイルです。5分おきに稼働状況（各ジョブの残数と最終実行日時）が出力されます。 | TpIdxSvr.exe |
| monitor.log | ドキュメントルートのファイルの変更を監視しています。ドキュメントルートフォルダが見えなくなった場合にエラーメッセージが出力されます。 | FbDirMonitor.exe |
| preview.log | ファイルからプレビューを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。 | FbPreviewExtractor.exe |
| solr.log | 検索エンジン (Solr) への登録 削除を行います。ログファイルには、検索エンジン(jetty)のメモリ不足が発生したときに、エラーメッセージが出力されます。 | FbSolrProxy.exe |
| text.log | ファイルから本文テキストを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。 | FbTextExtractor.exe |
| tpi.log | 抽出したテキストやプレビューファイルをプレビュー保存フォルダに配置します。ログ | FbTpiProxy.exe |

| |
|-------------------------|
| ファイルには 特に重要なログは出力されません。 |
|-------------------------|

運用ログの出力フォルダ先の変更

- 画面下部のシステム設定 > 設定全般 (config.ini) を開きます。
- idxserver とテキストボックスに入力してパラメータ絞り込みます。
- idxserverlog_savepath を開いて、出力するフォルダのパスを指定します。

TpIdxSvr.exeを実行するユーザー（通常はローカルシステムアカウント）が書き込み可能なフォルダを指定 ください。

- 「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービスを再起動します。

3.3.4 アクセスログの読み方

アクセスログの形式

ExaPadVer3.4.0以降、ファイルのパス形式が「ファイルシステムパス」へ変更されました。「ファイルシステムパス」については[こちら](#)をご覧ください。

ExaPadVer3.16.0以降、日付形式がSO8601に変更されました。

ExaPadVer3.12.0以降、検索アクセスログがキーワード以外の検索条件に対応しました。（これまでは..が出力されてました。）

アクセスログの読み方

操作につき1行が出力されます。各行は、カンマ区切りで以下に示す項目から構成されます。

例) "127.0.0.1","title.jpg","/share/img","fileblog.dll","", "ファイル参照 ", "User1", "2019-04-01T00:00:00.000+09:00", "", "MSIE 10.0..."

- ドキュメントルート C:\share
- エイリアス share

| 列位置 | 説明 |
|------|---------------|
| 1 列目 | クライアントのIPアドレス |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 2 列目 | アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名 |
| 3 列目 | 2 列目のファイルもしくはフォルダの親フォルダ |
| 4 列目 | 使用プログラム |
| 5 列目 | 備考欄（現在の仕様では何も出力されません） |
| 6 列目 | 操作名（操作一覧については後述しています） |
| 7 列目 | ユーザーID |
| 8 列目 | 操作日付 |
| 9 列目 | 任意フィールド（ファイル移動時の移動元フォルダなどが記述されます） |
| 10 列目 | クライアントのユーザーエージェント |

アクセスログが出力される操作一覧

検索

- 検索（キーワード）

```
"192.168.0.105","あいえお","share","fileblog.dll","","検索","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","55T","MSIE 10.0..."
```

C:\share フォルダにて、キーワード「あいえお」で全文検索を行い、55件の検索結果となった場合。

2 列目 検索条件

3 列目 検索対象のフォルダ

9 列目 [検索ヒット数] [TAB] [T: 全文検索 or F: ファイル名検索]

- 検索（仮想ドキュメントルート）

```
"192.168.0.105","あいえお","","fileblog.dll","","検索","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","112F","MSIE 10.0..."
```

仮想ドキュメントルートにて、キーワード「あいえお」でファイル名検索を行い、112件の検索結果となった場合。

3 列目 検索対象のフォルダが空になります。

仮想ドキュメントルートとは、複数のドキュメントルートが設定されている場合に表示される仮想の親フォルダ「トップ」のことです。

ファイル

- ファイルの閲覧（単ページもの）

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル参照","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

- ファイルの閲覧（複数ページもの）

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル参照","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","2","MSIE 10.0..."
```

複数ページのプレビューが作成されているファイルで、2 ページ目以降を閲覧した場合は、9 列目にページ番号も出力されます。

- 名前の変更

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル名変更","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/share/test2.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\test2.doc へファイル名の変更を行った。

9列目 変更後のファイルパスが出力されます。

- コピー

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイルコピー","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/share/hoge/test.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへコピー。

9列目 コピー後のファイルパスが出力されます。

- 移動

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル移動","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/share/hoge/test.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへ移動。

9列目 移動後のファイルパスが出力されます。

- 削除

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル削除","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を削除。

- アップロード

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","アップロード","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share へ test.doc をアップロード。

- ダウンロード

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ダウンロード","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc をダウンロード。

- 更新 (メモの保存、上書き更新)

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","ファイル更新","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を上書き更新。

- プロパティ(概要、コメント、Office文書プロパティ) の変更

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","拡張属性変更 ","User1","2019-04-01T00:00:00.000  
+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc のプロパティを変更。

新規メモ

```
"192.168.0.105","新しいドキュメント.html","/share","fileblog.dll","","ファイル作成 ","User1","2019-04-01T00:00:00.000  
+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\新しいドキュメント.html という名前でメモ作成。

フォルダ

- 新規作成

```
"192.168.0.105","新しいフォルダ","/share","fileblog.dll","","ディレクトリ作成 ","User1","2019-04-01T00:00:00.000  
+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\ 新しいフォルダ という名前でフォルダ作成。

- 名前の変更

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイル名変更 ","User1","2019-04-01T00:00:00.000  
+09:00","/share/NewFolder2","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder というフォルダ名をNewFolder2へ名前の変更。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

- コピー

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイルコピー ","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/  
share/target/NewFolder","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を C:\share\target へコピー。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

ExaPadVer3.4.0以降、フォルダのコピー時は親フォルダのコピーログのみ出力されるようになりました。

- 移動

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイル移動","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/share/hoge/NewFolder","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を C:\share\hoge\NewFolder へ移動。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

移動されたフォルダの中のファイルについてはログ出力されません。

- 削除

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ディレクトリ削除","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を削除。

フォルダの中のファイルについても削除ログが出力されます。

- プロパティ(概要、コメント、Office文書プロパティ)の変更

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","拡張属性変更","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder のプロパティを変更。

ログイン・ログアウト

- ログイン

```
"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","ログイン","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

- ログアウト

```
"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","ログアウト","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

- セッションタイムアウトによるログアウト

```
"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","セッションタイムアウト","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

セッションが切れた場合に出力されます。

その他

- パスワード変更

```
"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","パスワード変更","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

- 拒否

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","拒否 -ファイル削除","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","","MSIE 10.0..."
```

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","","拒否 -ファイルコピー","User1","2019-04-01T00:00:00.000+09:00","/share/hoge/test.doc","","MSIE 10.0..."
```

それぞれの操作に対して、権限のないユーザーが行った場合にも「拒否 - 」という操作名でログが出力されます。

アクセスログが出力されない操作

ファイルの一覧表示や、システム設定の操作などはアクセスログに出力されません。

古いアクセスログの削除

一定の期間が過ぎたログファイルはExaPadサーバーによって定期的に自動削除されます。

画面下部のシステム設定 > アクセスログ > accesslog_duration で期間（日数）を変更できます。

標準では150日間の保存です。

アクセスログ形式のカスタマイズ

アクセスログの出力フォーマットを変更できます。

- 画面下部のシステム設定 > アクセスログ を開きます。
- accesslog_format を修正します。
- 標準は次のように設定されています。

```
$(ip),$(name),$(parent),$(program),$(desc),$(event),$(user),$(date),$(some),$(ua)
```

- \$(ip) クライアントのIPアドレス
- \$(name) アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名
- \$(parent) 2 列目のファイルもしくはフォルダの親フォルダ
- \$(program) 使用プログラム（常にfileblog.dllです）
- \$(desc) 説明
- \$(event) 作名（操作一覧については後述しています）
- \$(user) ユーザーID
- \$(date) 操作日付
- \$(some) 任意フィールド（ファイル移動時の移動元フォルダなどが記述されます）
- \$(ua) クライアントのユーザーエージェント

アクセスログ形式をカスタマイズすると、アクセスログ集計ツール（レポートやランキング）が動かなくなります。

独自の集計ツールを使用する場合以外は変更しないでください。

ファイルシステムパスとは？

ExaPad内で使用される独自のファイルパスの形式を『ファイルシステムパス』形式と呼んでいます。

ファイルシステムパスは以下のルールに従って表記されます

```
'/' + [エイリアス名] + '/' + [ドキュメントルートからの相対パス]
```

相対パスの区切り記号は半角スラッシュ

ExaPadver3.5.0までは、 '/' + [_root_] が使用されていました

例えば、ドキュメントルートが C:\Share、エイリアスが SH1 に設定されている場合、C:\Share\hoge.txt は次のように表記されます。

```
/SH1/hoge.txt
```

ファイルシステムパスを使用すると、ドキュメントルートの実際のパスが変更された場合にもExaPadは同じパスのまま使用できるというメリットがあります。

3.3.5 インデックス再構築

キーワード検索の結果に表示されないファイルがあることが疑われる場合、そのファイルが保存されているフォルダに対してインデックス再構築を行ってください。

インデックス再構築を行うと、そのフォルダ以下の全文検索インデックスに登録されていないファイルやフォルダのインデックスが登録されます。

インデックスの再構築により行われる処理

- インデックス再構築はフォルダを指定して行うことができます。
- 対象となるフォルダのインデックスが未登録、あるいは登録済みインデックスが古いファイルのインデックスを登録します。
- 対象となるフォルダのプレビューが未作成、あるいは作成済みプレビューが古いファイルのプレビュー画像を作成設定に従い作成します。

インデックスの掃除により行なわれる処理

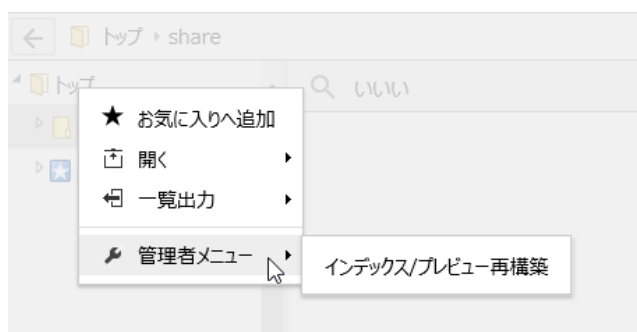
- インデックスの掃除はフォルダを指定して行うことができます。
- 対象となるフォルダに対して、ファイルがドキュメントルートに存在しないのに検索されてしまう(全文検索エンジンに登録されている) インデックスデータを削除します。
- 対象となるフォルダに対して、ファイルがドキュメントルートに存在しないのに残っているプレビューデータをプレビュー保存フォルダから削除します。

インデックスの再構築および掃除の方法

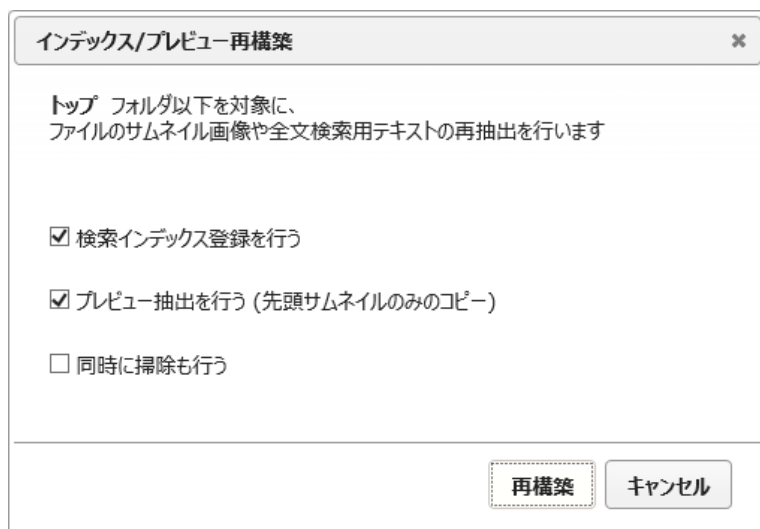
インデックスの再構築と掃除は同様の手順で実行することができます。

1. 再構築したいフォルダに移動して「ファイル」メニューの「インデックス/プレビュー再構築」を選択します。

または、フォルダツリー・フォルダパス・フォルダー一覧の右クリックでもメニューを選択します。



2. 実行したい項目にチェックをいれて「再構築」ボタンを選択すると、インデックス再構築が始まります。



- 検索インデックスを登録を行う

検索インデックス登録を行う場合にチェックを入れます。

- プレビュー抽出を行う

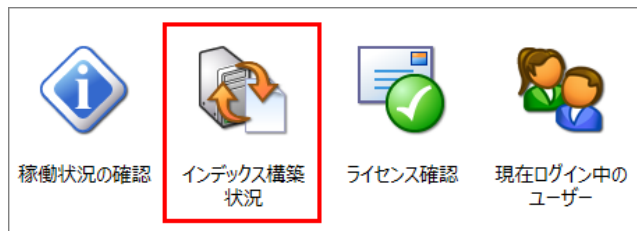
プレビュー抽出を行う場合にチェックを入れます。

- 同時には削除も行う

検索インデックスやプレビューの削除を行う場合にチェックを入れます。

インデックスの構築状況の確認

1. 画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 を開きます。



- インデックスの同期が行われるまでは検索結果に反映されません。
- 同期は検索エンジンの設定に従い自動で行われますが、手動でも行うことができます。
- 「インデックス同期」ボタンを選択すると同期が行われます。

オンライン処理とバッチ処理

- オンライン処理

ファイル・フォルダの変更を検知して始まるインデックス構築の処理です。

- バッチ処理

スケジュール登録のタスクや手動により実行されたインデックス構築の処理です。

すべてのフォルダを対象にインデックスの再構築・掃除を行う

インデックス構築を行うには2つの方法があります。

- トップドキュメントルート毎に再構築する場合

画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況 > インデックス再構築ボタンを選択します。

- 特定のフォルダ以下を再構築する場合

ファイル一覧画面にてインデックス構築を行うフォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築 を選択します。

再構築ダイアログが表示されたら「検索インデックス登録を行う」と「プレビュー抽出」にチェック入れて実行します。

インデックスを初期化する

1. 画面下部のシステム設定 > サービスを開く



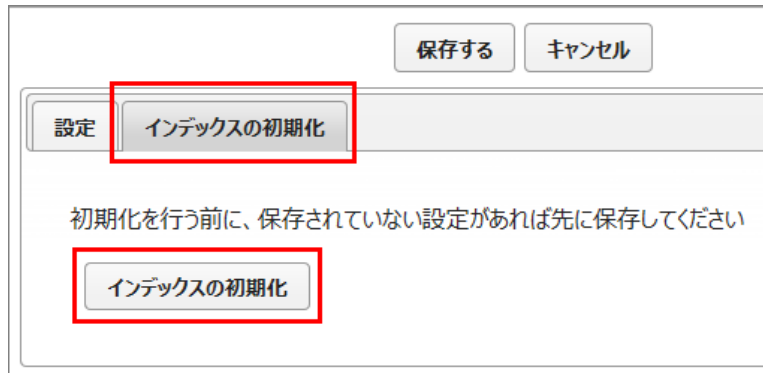
2. インデクサー (Fb3Indexer) を停止します。

| サービス | 状態 | 操作 | アカウント |
|---------------------|----|------------------|-------|
| インデクサー (Fb3Indexer) | 開始 | 停止 開始/再起動 | 設定 |
| Webサーバー (Fb3Apache) | 開始 | - 再起動 | |

3. 画面下部のシステム設定 > Solr (検索エンジン) を選択します。



4. 「インデックス初期化」タブを選択します。



5. 「インデックスの初期化」ボタンを選択して初期化します。
6. 初期化の完了後、2. の「サービス」の画面で、インデクサー（Fb3Indexer）を再開します。

| サービス | 状態 | 操作 | アカウント |
|---------------------|----|---------------------------------|-------|
| インデクサー (Fb3Indexer) | 停止 | <div>停止</div> <div>開始/再起動</div> | 設定 |
| Webサーバー (Fb3Apache) | 開始 | <div>-</div> <div>再起動</div> | |

7. インデックス再構築を行なってください。

ドキュメントレート毎の処理件数を集計する

Version3.15.0以降、「フォルダスキャン」検索インデックス登録処理のログファイルから、ドキュメントレート別の処理時間、処理件数を集計しテキストファイルとしてダウンロードできるようになりました。

1. システム設定 > Solr (検索エンジン) を選択します。



2. 「ドキュメントルート集計」をクリックしファイルをダウンロードします。

稼働状況

| | | | | |
|----------------------|-----|------|-----------|-----------------------|
| Fb3Indexerサービス | 稼働中 | | | ログファイル ジョブ進捗数のみを抽出 |
| フォルダスキャン | 稼働中 | 一時停止 | ジョブのキャンセル | ログファイル ドキュメントルート集計 |
| 変更検知 | 稼働中 | | ジョブのキャンセル | ログファイル |
| プレビュー/テキスト抽出 サーバー | 稼働中 | | | ログファイル |
| テキスト抽出 | 稼働中 | 一時停止 | ジョブのキャンセル | ログファイル |
| プレビュー抽出 | 稼働中 | 一時停止 | ジョブのキャンセル | ログファイル |
| TPI処理 | 稼働中 | 一時停止 | ジョブのキャンセル | ログファイル |
| 検索インデックス登録 | 稼働中 | 一時停止 | ジョブのキャンセル | ログファイル ドキュメントルート集計 |

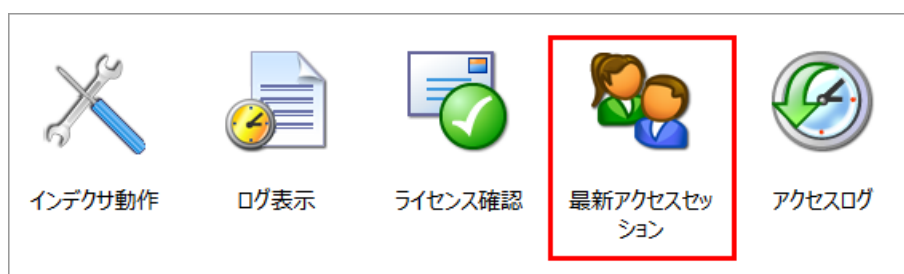
3.3.6 最新ユーザーセッション

現在、ExaPadにログイン中のユーザーアカウントの一覧を表示します。

- 最終アクセス日時が新しい順に最大30個のセッションを表示します。
- ログアウトやセッションタイムアウトしたセッションは表示されません。
- この一覧はユーザー数ライセンスの消費数を表すものではありません。

セッション一覧の表示

システム設定 > 最終アクセスセッションを選択すると、一覧が表示されます。



← システム設定 ▶ 最新アクセスセッション

最終アクセス日時が新しい順に最大30セッションを一覧します。ログアウトやセッションタイムアウトしたセッションは一覧されません。なお、この一覧はユーザー数ライセンスの消費数ではありません。

再表示

| 最終アクセス日時 | ユーザーID | IPアドレス |
|---------------------|--------|-----------|
| 2018/07/12 18:09:42 | lucky | 127.0.0.1 |
| 2018/07/12 17:56:02 | user | 127.0.0.1 |

詳細なアクセス情報を確認する場合は、アクセスログ情報をご確認ください。

- [アクセスログ出力設定](#)について
- [アクセスログの読み方](#)について

Part

IV

4 あれっ？と思ったら

よくあるトラブルの解決のためのヒントです。

4.1 ログインできない

現象

ExaPadにログインできない。

原因

次の原因が考えられます。

1. ユーザーID・パスワードが間違っている。
2. ログイン先のドメイン（もしくはWorkGroup）の設定が間違っている。
3. パスワードが127文字を超えている。

解決方法

1. ユーザーID・パスワードが間違っている

- ExaPadは、Windows に登録されているユーザーアカウントでログインすることができます。
- ログイン先のドメインを確認してください。

ログイン画面のユーザーID・パスワードの入力ボックスの下に表示されます。

表示されていない場合は、WORKGROUP（ローカルユーザー）が該当します。

- ログインに使用するユーザーIDがドメインに登録されていることを確認してください。

ログイン先が WORKGROUP の場合には、ローカルユーザーのユーザーIDであることを確認してください。

- Caps Lock キーが有効になっていないことを確認してください。

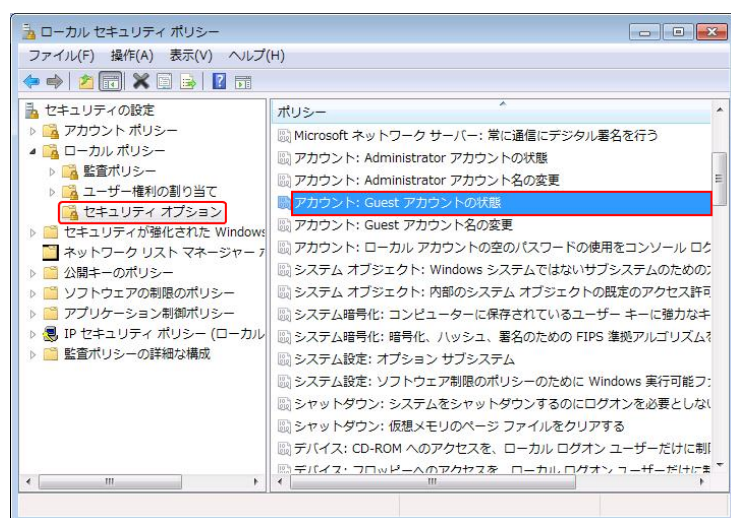
2. ログイン先のドメイン（もしくはWorkGroup）の設定が間違っているケース

- ログイン先のドメインを確認してください。

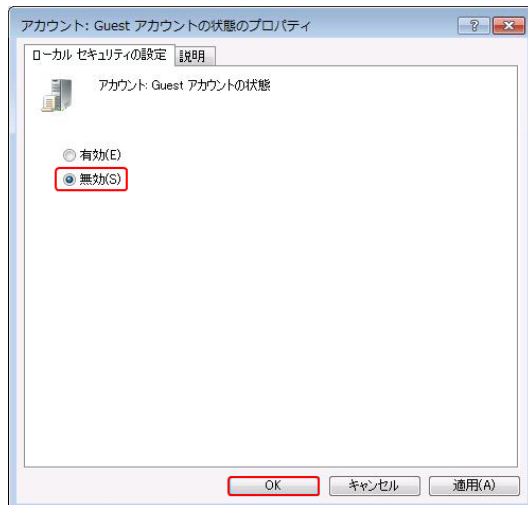
ログイン画面のユーザーID・パスワードの入力ボックスの下に表示されます。

表示されていない場合には、WORKGROUP（ローカルユーザー）が該当します。

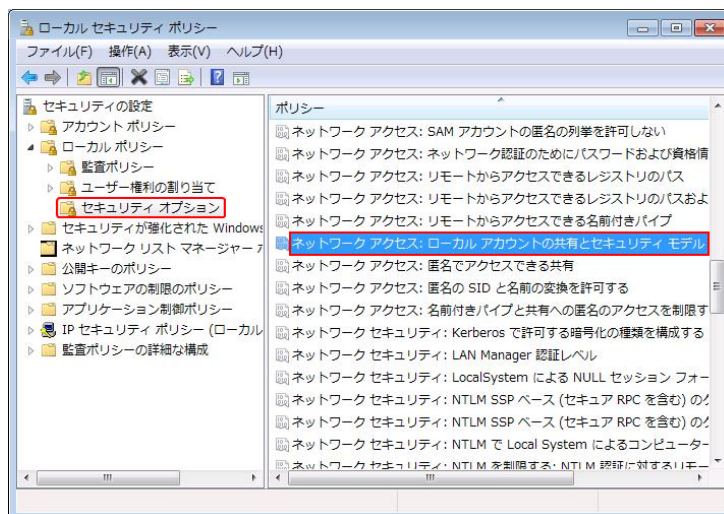
- ユーザーアカウントの設定で Guest アカウントを無効にしてください。
- ローカルセキュリティポリシーの Guest アカウントを無効に設定してください。
 - スタート > コントロールパネル > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。
 - ローカルポリシー > セキュリティオプションを開きます。
 - 「アカウント: Guest アカウントの状態」を開きます。



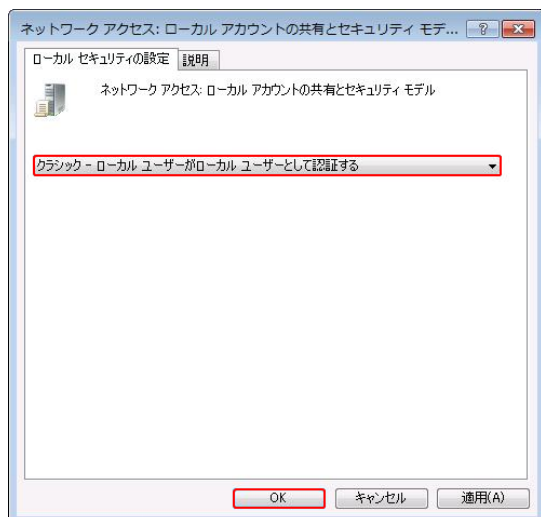
- 「無効(S)」にチェックを入れOKをクリックします。



- 続いて、「ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」を開きます。



- 「クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する」を選択します。



- 念のためPCの再起動をお勧めします。

3. パスワードが127文字を超えているケース

ExaPadでは127文字を超えるパスワードを使用できません。

パスワードを127文字以下に設定してください。

4.1.1 ローカルログオンを許可する

概要

「ログオン失敗: 要求された種類のログオンは、このコンピューターではユーザーに許可されていません。」というエラーが表示される場合があります。これは、ログインしようとしているユーザーが、ExaPadがインストールされたWindowsサーバーにて、「ローカルログオンを許可されていない」ことが原因です。

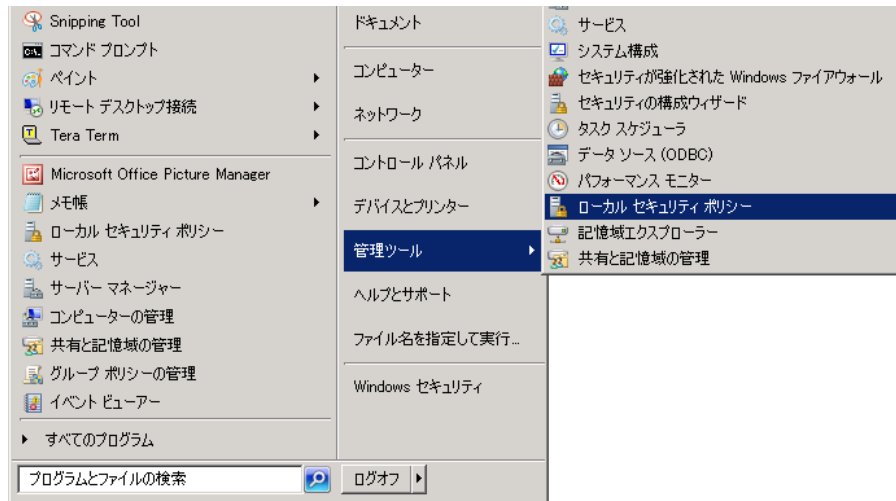
通常、Windowsサーバー（ワークグループおよびドメインメンバーのサーバー）においては、ローカルログオンの許可は「ローカルセキュリティポリシー」で設定されます。

ドメインコントローラーの役割を務めるWindowsサーバーにおいては、「ドメインコントローラーポリシー」を編集する必要があります。ローカルセキュリティポリシーより、ドメインコントローラーポリシーの設定が優先されるためです。

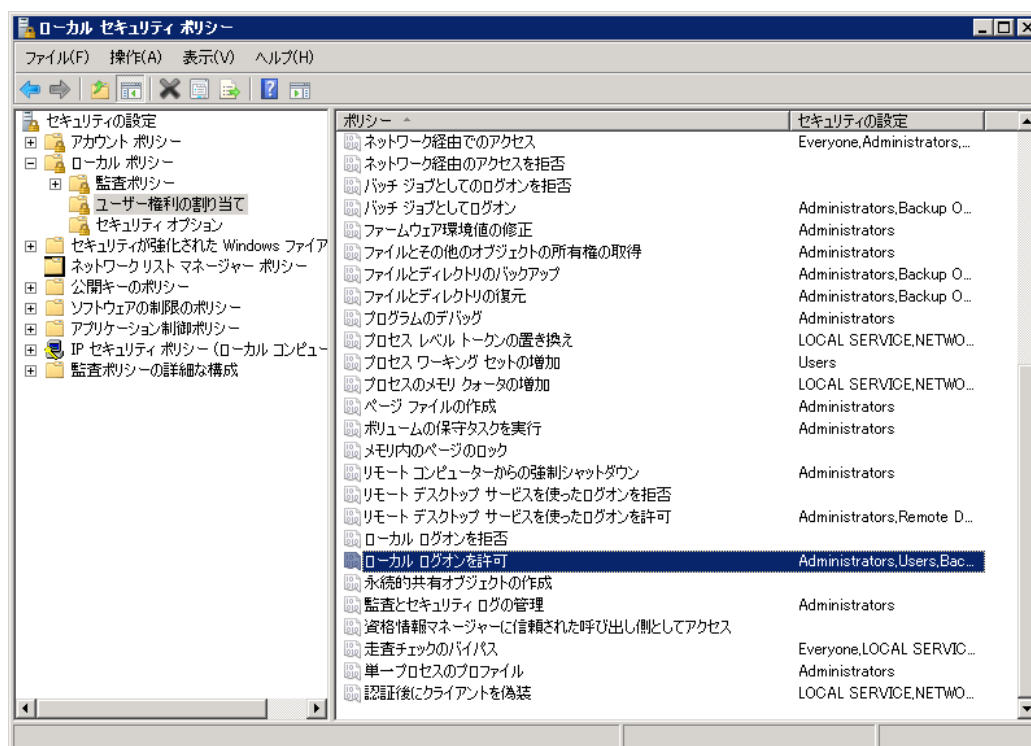
設定方法

Windows Server 2008 の場合

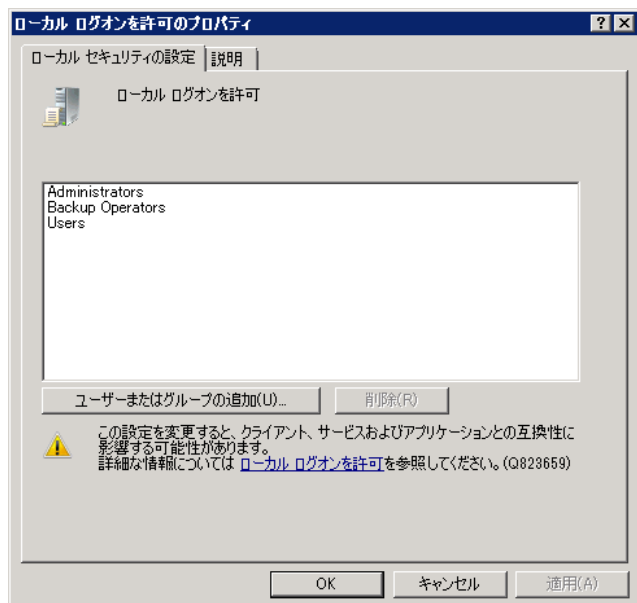
1. スタートメニュー > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。



2. ローカルポリシー > ユーザー権利の割り当て を開きます。
3. 「ローカルログオンを許可」を開きます。



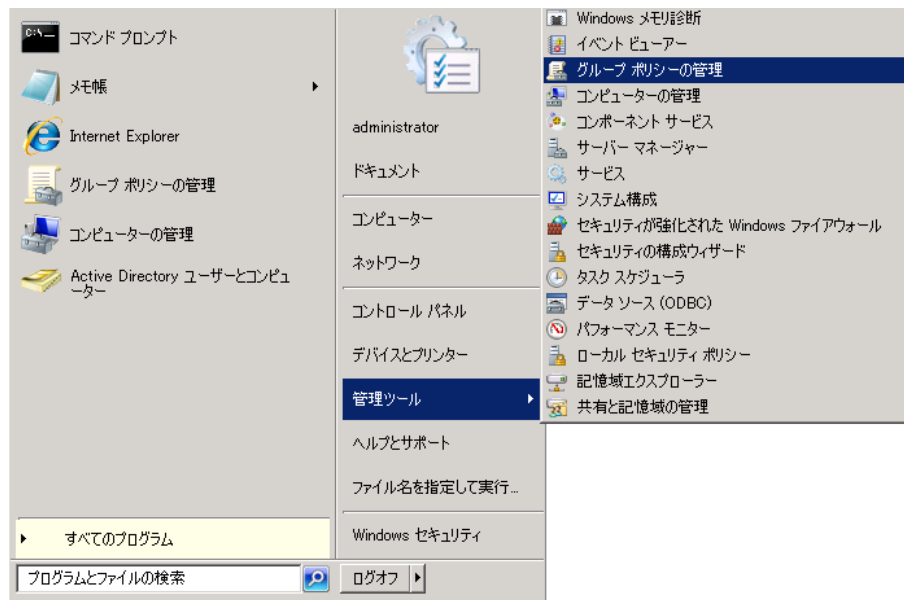
3. ログオンを許可したユーザーもしくはグループを追加します。



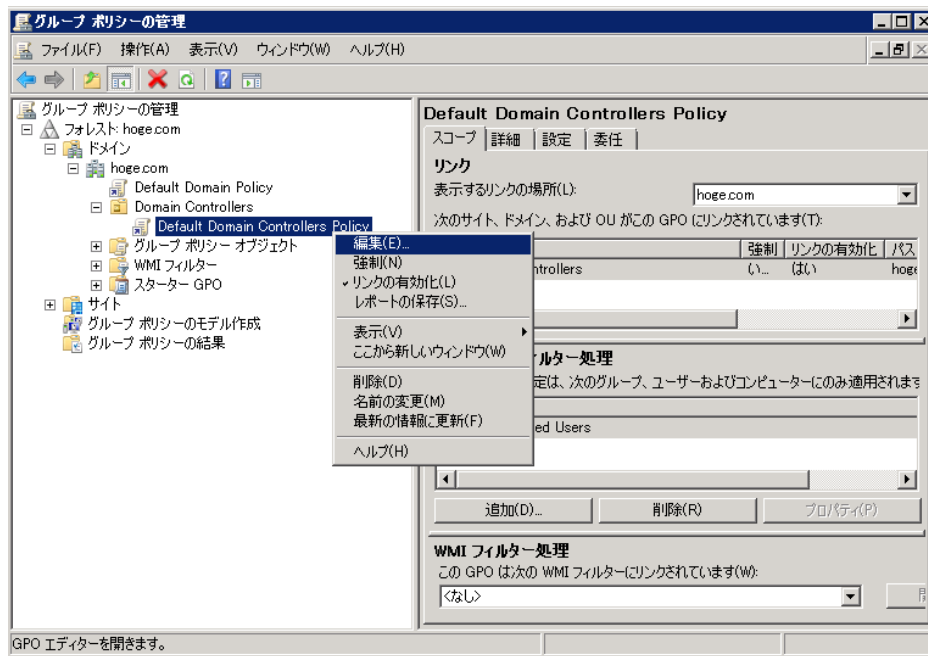
- ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。

Windows Server 2008 ドメインコントローラーの場合

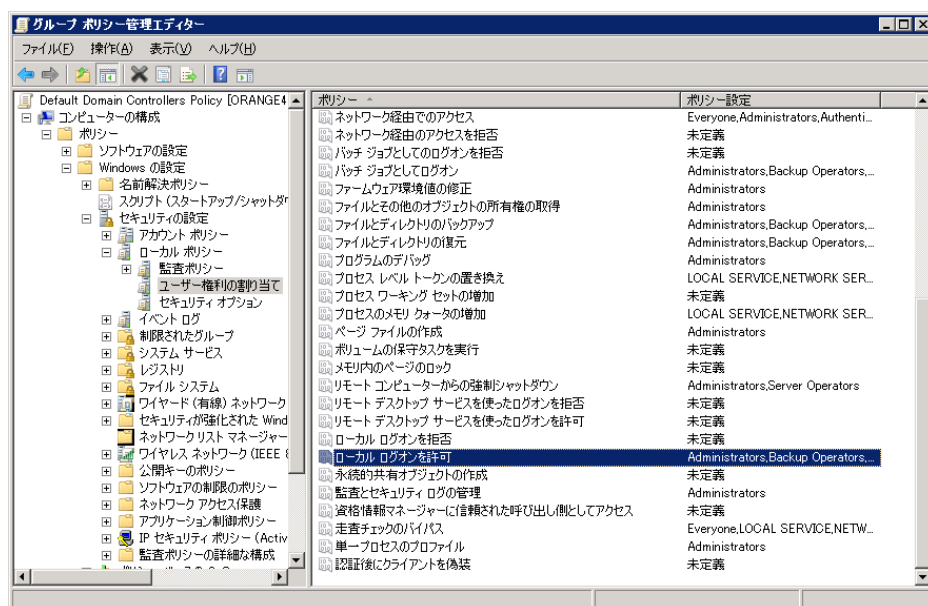
1. スタートメニュー > 管理ツール > グループポリシーの管理 を開きます。



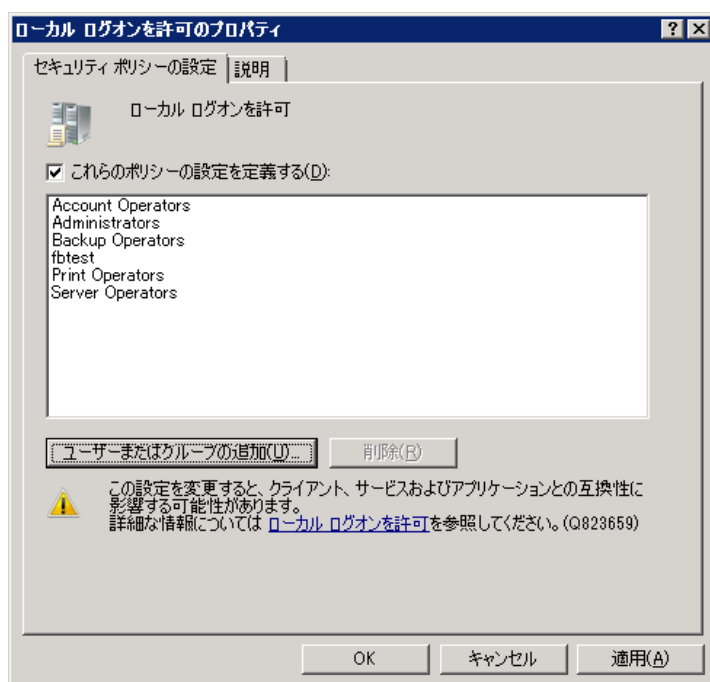
4. Default Domain Controller を右クリック > 編集 を選択します。



3. コンピューターの構成 > ポリシー > Windows の設定 > セキュリティの設定 > ユーザー権利の割り当て を開きます。
4. 「ローカルログオンを許可する」を開きます。



5. ログオンを許可したユーザーもしくはグループを追加します。



- ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。
- ActiveDirectory環境の場合には、グローバルグループを追加できないので注意してください。追加可能なのはローカルグループです。

既存のグループがグローバルグループの場合には、ExaPad用にローカルグループを作成し、そのメンバーとしてグローバルグループを所属させ、作成したExaPad用ローカルグループをローカルセキュリティポリシーの「ローカルログオンを許可する」に追加するようにします。

4.1.2 LANのPCからログインできない

現象

LANで接続されているローカルエリアネットワーク内の端末からExaPadにログインできない。

インストールしたサーバーのローカル環境からは正常に接続できる。

原因

次の原因が考えられます。

1. IPアドレスが間違っている。
2. サーバー名が間違っている。
3. IPアドレス、端末名のいずれも正しい場合は、Windowsファイアウォールにより遮断されている。

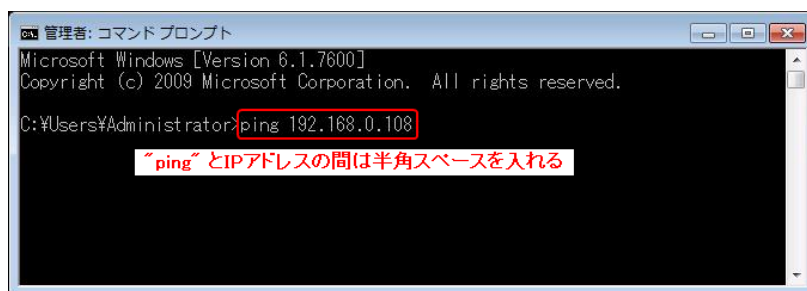
解決方法

1. IPアドレスが間違っている

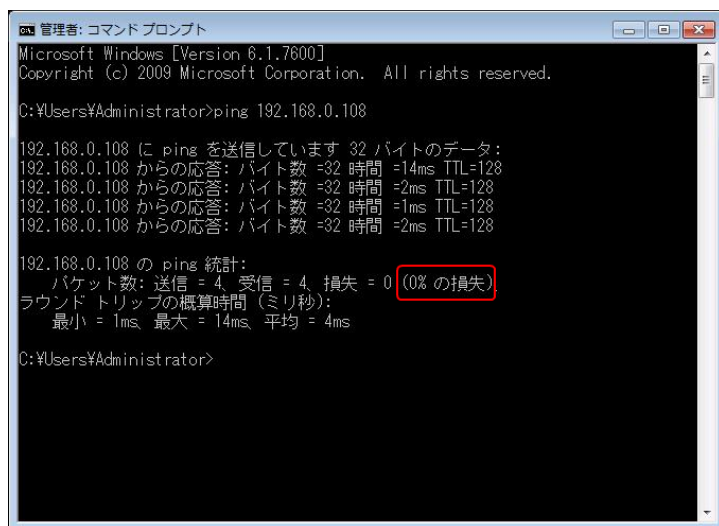
ping コマンドを用いて、ExaPadサーバーから応答があるかどうかを確認してください。

- スタート> プログラムとファイルの検索 に「cmd」と入力して コマンドプロンプトを起動します。
- ping コマンドを入力し、Enterキーを押します。

例) ping 192.168.0.12



- 次のように (0% の損失) と表示されれば、サーバーマシンは稼動しています。

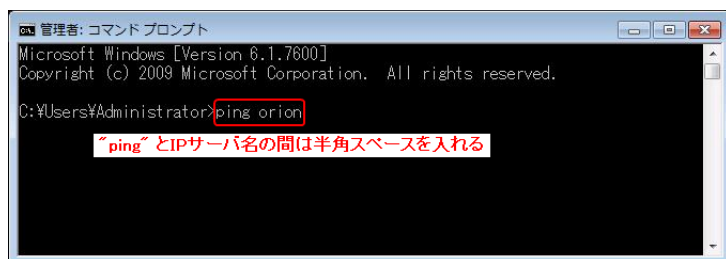


(100% の損失) と表示された場合はサーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。ネットワーク管理者に問い合わせてください。

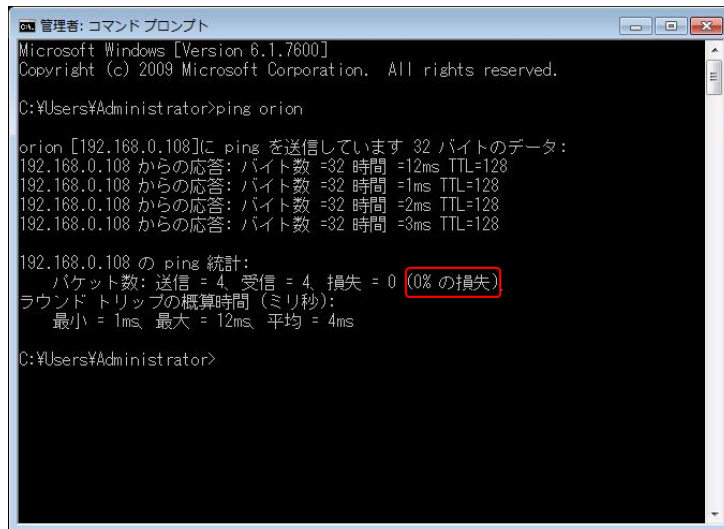
2. サーバー名が間違っている

pingコマンドを用いて、ExaPadサーバーから応答があるかどうかを確認して下さい。

1. スタート > プログラムとファイルの検索に 'cmd' と入力すると cmd.exeが表示されます。クリックして起動して下さい。
2. Windowsのコマンドプロンプトが表示されますので、'ping サーバー名'を入力して、Enterキーを押します。



3. 以下のように (0% loss) と表示されれば、サーバーマシンは稼動しています。



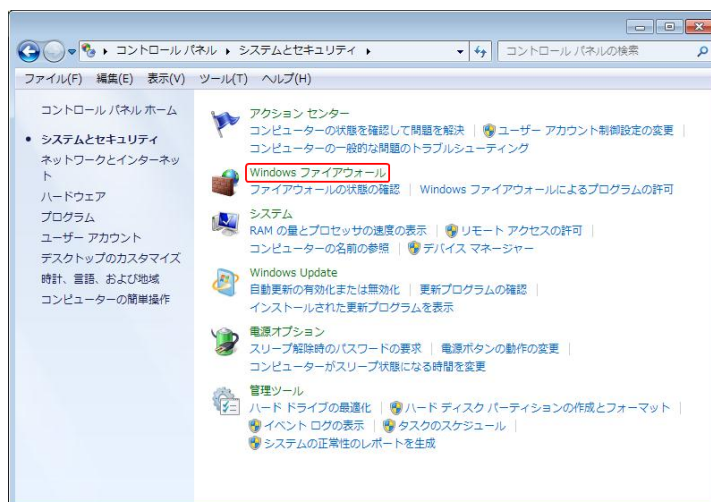
"100% loss" と表示された場合は、サーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. Windows ファイアウォールによって遮断されている

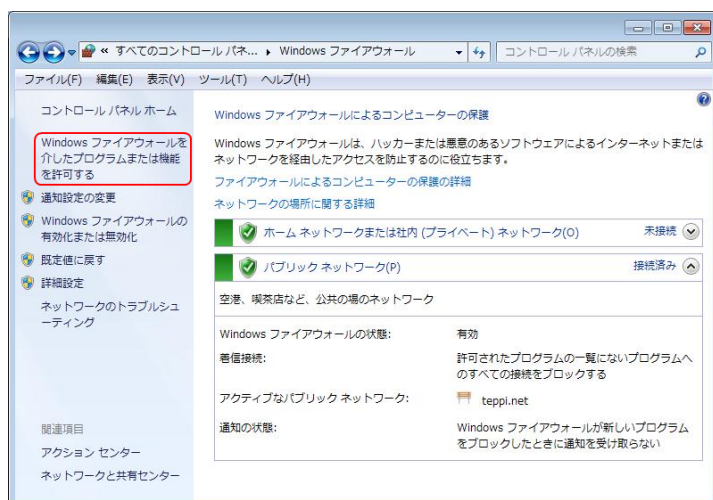
Windows ファイアウォールでHTTPやfb3Indexerの通信が遮断されていると、外部の端末からExaPadに接続できません。

Windows ファイアウォールに通信を許可する設定をしてください。

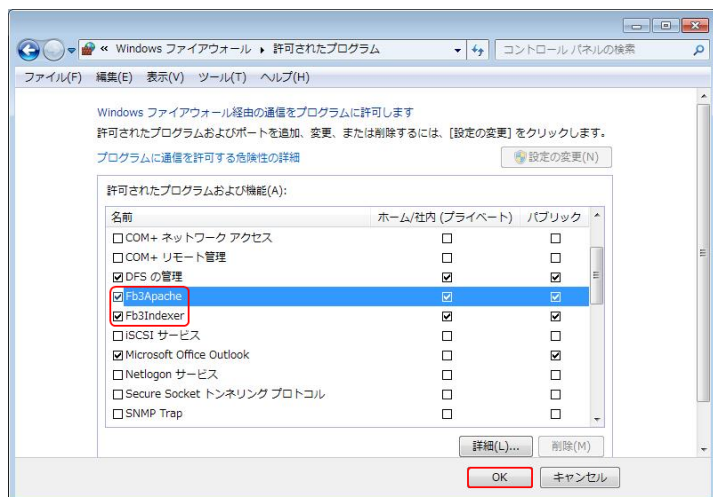
- スタート > コントロールパネル > システムとセキュリティ > Windows ファイアウォール を開きます。



- 「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を開きます。



- Fb3Web (Webサーバー) および Fb3Indexer (インデクサー) の両方にチェックを入れてOKをクリックします。



- 設定完了後に、ログインテストを行って下さい。

4.2 フォルダが「存在しません」と表示される

現象

ログイン直後や、ログイン後にフォルダ/ファイルを選択すると「[/ /] は存在しないか、読み取り権限がありません」と表示される。

原因

- フォルダ/ファイルに対して、ログインユーザーにアクセス権限がない。
- Windowsの共有設定のアクセス許可に、ログインユーザーが含まれていない。
- ExaPadのセキュリティ拡張（AclManager）の設定で、フォルダ/ファイルに対してログインユーザーの読み取りが許可されていない。
- フォルダ/ファイルが存在しない。

解決方法

- Windowsエクスプローラーでフォルダ/ファイルに対するユーザーのアクセス権を確認し、権限が不足している場合は適切な権限を与えてください。
- Windowsのフォルダの共有設定では、通常のアクセス権設定とは別に「共有のアクセス権設定」が必要です。
- 共有のアクセス権設定で、適切なユーザー/グループに許可を与えてください。
- システム設定 > セキュリティ拡張（AclManager）を開いてアクセス権設定を確認してください。

不要なアクセス権が設定されている場合は、適切なアクセス権設定に変更してください。

- ドキュメントルート（ファイルサーバー）にフォルダ/ファイルが存在するか確認してください。

4.3 検索にヒットしない・ヒットしすぎる

インデックス構築状況の問題

この項では全文検索インデックスの問題について解説しています。

現象

キーワード検索に、目的のファイルが検索結果に表示されない。

原因

次の原因が考えられます。

- 目的のファイルが全文検索インデックスに、まだ登録されていない。（登録待ちの状態）
- 目的のファイルが全文検索インデックスに、登録されていない。（登録もれの状態）

解決方法

- 検索インデックスの登録処理状況は、画面下部のシステム設定 > インデックス構築状況」で確認できます。処理中のステータスの各項目で処理状況を確認してください。完了していない場合は、全ての処理が完了してから再度検索を行ってください。
- 検索インデックスの登録処理が完了しているのに検索結果に表示されない場合は、目的のファイルが保存されているフォルダをExaPadで開いて、「ファイルボタン > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築」で、インデックスの再構築を行ってください。
- インデックス登録にもれてしまったファイルの場合には、インデックスの再構築で改善されます。

検索キーワードの問題

現象

「あれ、なんで見つからないの？」「なんでこんなファイルが検索されるの？」など、全文検索の結果に違和感を覚えるケースです。

原因

ExaPadが採用している検索方法の特性により、検索結果が予期したものと異なってしまう場合があります。

解説

- 全文検索の特性

1. 全角文字列と半角英数文字列は区別して扱われます。

例文）英語で「おはよう」はGood morningになります。」

これは、英数文字列「Good morning」部分と、その他に分けて扱われます。

2. 半角文字列は、原則として単語全体の一致で検索します。

例文では、「Good」や「morning」で検索できますが、「Goo」や「ng」などの部分的な文字列では検索できません。

このため、ID番号や日付などの数字の文字列では、部分一致の検索はできません。

例えば、「20100615」は、「2010」では検索できません。

ただし、アンダースコア（`_`）やハイフン（`-`）などの記号で区切られた文字列の場合は、記号を区切りとして検索ができます。

例えば、「2010_0615」は、「2010」で検索できます。

3. 半角英数の前方一致、後方一致検索はワイルドカードを使用すると検索できます。

たとえば「20100615」は「2010*」や「*0615」でヒットします。

- ファイル名検索の特性

ファイル名検索では、文字が半角全角にかかわらず部分的な文字列で検索できます。

全文検索では検索できない半角の文字列も検索できるように、ファイル名検索用の検索インデックスを構築しています。

ファイル名検索用のインデックスでは、ファイル名の単語分割に文字列長 1～15 のNグラム方式にしています。

15文字を超えるキーワードで検索する場合、キーワードが一つであれば検索できます。

- 全文検索・ファイル名検索の共通特性

英数・カタカナについては、全角・半角の区別なく検索することができます。

例文）『「Good morning」はグッド・モーニング、「123」はワンソースリーになります。』

「g o o d」「MORNING」「グッド」「1 2 3」「ワンソースリー」などで検索できます。

4.4 検索できなくなった

現象

検索ができなくなりました。全文検索サービスからの応答がありません」と表示されます。

原因

次の原因が考えられます。

- たまたま検索サービスが起動しなかった。
- 検索インデックスが壊れている。

検索インデックスが壊れている場合の解決方法

検索インデックスが壊れている場合は、インデックスの初期化が必要です。

[こちら](#)を参考にインデックスを初期化してください。

- インデクサー (Fb3Indexer) サービスを停止します。
- 画面下部のシステム設定 > Solr (検索エンジン) を開きます。
- 「インデックスの初期化」タブを選択して、「インデックスの初期化」ボタンを選択します。
- インデクサー (Fb3Indexer) サービスを起動します。
- インデックス再構築を行って、あらたにインデックスを登録します。

4.5 プレビューが見えない

プレビューが閲覧できない原因

プレビューが閲覧できない (作成されない) 原因として考えられることです。

- 機能が不足している
- ファイル種類が対応していない
- プレビュー画像が作成されていない
- アクセス権限が不足している

- ファイルに原因がある
- 設定が不足している
- 他のアプリケーションが影響している

機能が不足している

- ライセンスが不足している

オプションであるAutoCADファイルプレビュー、DTPファイルプレビューのライセンスが不足しています。

オプションライセンスの購入が必要です。

- .NET Framework がインストールされていない

.NET Framework がインストールされていない環境では、DOC・XLS・PPTなどのファイルはプレビューできません。

.NET Framework を有効化してください。

1. Word, Excel, PowerPoint, Visioから画像を抽出する場合には、.NET Framework4が必要です。

他フォーマットのプレビューにつきましてはお問い合わせください。

○ .NET Frameworkのインストール状況は、画面下部システム設定 > 稼働状況 で確認できます。

2. 設定完了後にプレビュー再作成を行ってください。

- 必要なプログラムがインストールされていない

DocuWorks ファイルのプレビューには、DocuWorks プログラムのインストールが必要です。

動画ファイルのサムネイル作成には、オープンソースプログラム[FFmpeg](#)のインストールが必要です。

ファイル種類が対応していない

- 拡張子のないファイルは対応していません。（Macで作成したファイルなど）
- [プレビュー仕様](#)に対応していないファイル種類（拡張子）である
- ファイルが古いバージョンのアプリケーションで書かれている。（Microsoft Office 95以前のファイルなど）

プレビュー画像が作成されていない

- プレビュー作成のプログラムが実行されていない
- プレビューが作成中である

ExaPadサーバーの性能によってはプレビュー作成に時間を要する場合があります。

インストール後の初期構築や一度に大量のファイルを移動 / コピーした場合などは、プレビュー作成に時間を要する場合があります。

アクセス権限が不足している

- ユーザーのアクセス権が不足している。
 - ファイルに対するアクセス権限が不足している。

ファイルに対する一覧権限はあるが読み取り権限を持っていないなど場合があります。

- プレビュー保存フォルダに対するアクセス権限が不足している。
 - フォルダのスキャン / ファイルの実行
 - フォルダの一覧 データの読み取り
 - 属性の読み取り
 - 拡張属性の読み取り
- インデクサー (Fb3Indexre) サービスの実行アカウントのアクセス権が不足している。

実行アカウントは、プレビュー保存フォルダに対して読み取り権と書き込み権が必要です。

ファイルに原因がある

- ファイルが壊れている。
- ファイルにパスワードが設定されている。
- ファイルが暗号化されている。

- ファイル内容の一部にプレビューコンバーターで読み込めない文字やオブジェクトがある。
- 動画ファイルにおいて拡張子に対応しているがコーデック方法が対応していない

設定が不足している

- プレビュー作成の設定が行われていない。
- ファイルサイズ上限により制限されている。
- コンバータプログラムへの割り当てメモリが不足している。
- コンバータプログラムへの割り当て時間が不足している。
- erroru.txt ファイルが未削除である。

プレビュー作成に一度失敗するとerroru.txt が作成され、次回からプレビュー作成がスキップされます。

[こちら](#)をご覧ください。

他のアプリケーションに原因がある

- 他のアプリケーションによりファイルが暗号化されている。
- ウィルス検知等のセキュリティ対策ソフトによりファイルの読み取りが阻害されている。

4.5.1 プレビューが作成されない

現象

- 「このファイルはプレビューを作成できませんでした。 - 原因を表示」と表示されファイルをプレビューできない。
- プレビューが作成されない原因を取り除いた後、インデックス再構築をしてもプレビューが作成されない。

原因

- ファイルのプレビュー作成に失敗すると、ファイルごとに失敗した原因を erroru.txt というファイルに保存します。

erroru.txt は、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所に保存されます。

- erroru.txt が存在するファイルは、プレビュー再作成を行ってもプレビュー抽出をスキップされます。

プレビューが作成されない原因を取り除いただけでは、インデックス再構築のときにプレビューが再作成されません。

解決方法

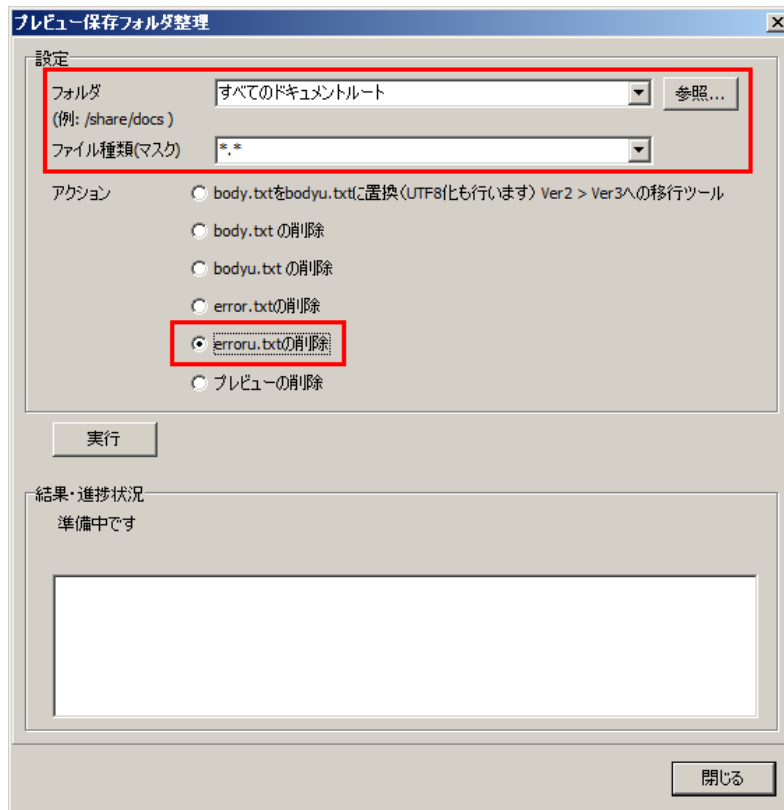
原因を取り除いたあとに、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所から erroru.txt を削除してから、プレビュー作成を実行してください。

プレビュー作成に失敗したファイルが複数ある場合は、次の方法で erroru.txt を一括削除することができます。

1. 管理ツール > プレビュー保存フォルダ整理 を開きます。



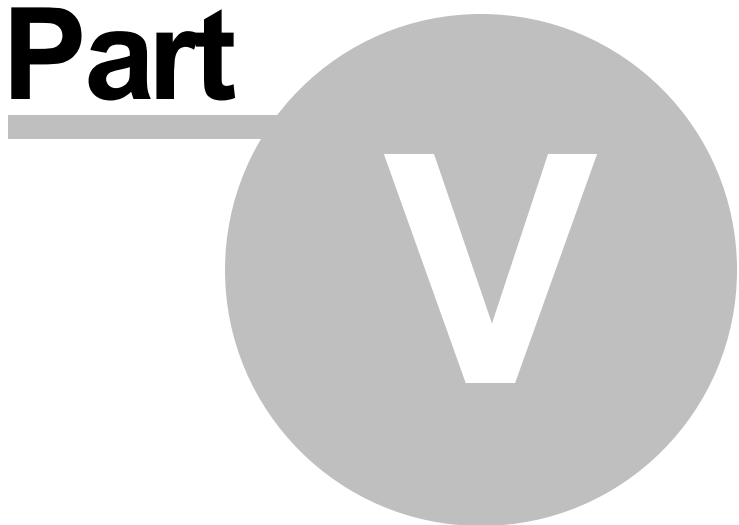
2. erroru.txt を削除します。



- 「すべてのドキュメントルート」を選択します。
- ファイル種類「 *.* 」を選択します。
- 「error.txtの削除」をチェックします。
- 「実行」ボタンを選択します。

3. 削除完了後に、プレビュー作成を行ってください。

Part



5 こんな機能もあります

ExaPadの様々な機能について解説します。

5.1 メニューや機能のカスタマイズ

ファイル操作メニューの有効・無効の設定

有効・無効の切替えが可能な機能一覧

ファイル操作のメニューをExaPad全体で有効・無効の設定ができます。

ExaPadをプレビュー専用のツールとして用いたい場合や、属性変更専用のツールとして用いたい場合などには、不要な機能を無効にすることで対応できます。

- 画面下部のシステム設定 > メニュー項目 を開きます。
- パラメーター名を選択して設定値を変更します。
- OFF（チェックを外す）にすると機能が無効になり、ON（チェック）にすると有効になります。
- 設定変更後に、「保存する」ボタンを選択して「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

| <div>保存する キャンセル</div> | | | |
|-------------------------|-----|------------------------------|-----|
| 絞込 <input type="text"/> | | | |
| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
| menu_addcomment | ON | 「コメントを追加」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |
| menu_backup | ON | 現在使われていません。 | 初期値 |
| menu_copy | ON | 「コピー」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |
| menu_delete | ON | 「削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |
| menu_deletecomment | ON | 「コメントを削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |
| menu_directopen | ON | 「直接開く」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |
| menu_download | ON | 「ダウンロード」メニューの表示・非表示を切り替えます。 | 初期値 |

ダウンロードの禁止について

ダウンロードを禁止するために menu_download を無効にすると、ファイルのダウンロードだけでなく、次の動作も禁止されます。

- PDF ファイルの表示（ブラウザのPDF プラグインを利用する表示のことです。）
- GIF、PNG ファイルの閲覧
- SWF（Flash）ファイル閲覧
- プレビューの作られていない UPEG ファイル閲覧

これらの動作は、ブラウザの動作としてファイル自体を表示するためのダウンロードとなるからです。

単純にダウンロードメニューを非表示にした場合は、menu_download は有効のまま、代わりに menu_downloadbutton を無効にしてください。

こうすることでメニューからダウンロードを非表示にするだけになり、上記の動作は禁止されません。

ただし、menu_downloadbutton はメニュー（ボタン）を非表示にするだけなので、直接URL入力してダウンロードを実行することは禁止できないため、セキュリティホールになる可能性があります。

5.1.1 ファイラー一覧でのクリック動作

ファイラー一覧画面でのクリック時の動作

ファイラー一覧画面でファイルをクリックしたときの動作を変更することができます。

標準では、クリック後にファイルの閲覧ページが開きますが、ファイルのダウンロードやファイルを直接開く動作に変更することができます。



設定の変更方法

1. 画面下部のシステム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. テキストボックスにgridview を入力します。
3. gridview_pathlink_type を開きます。

絞り込み

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|------------------------|----------|---------------------------------|-----|
| gridview_pathlink_type | showview | ファイル一覧の各ファイルのパスのクリック時の動作を指定します。 | 初期値 |

4. 標準では showview に設定されています。

showviewの他に指定可能な 動作の一覧です。

| ID | 意味 |
|--------------|--|
| showview | ファイルの閲覧ページ(デフォルト)にジャンプします。 |
| download | ファイルをダウンロードします。 |
| downloadopen | ファイルを一時フォルダにダウンロードしてブラウザ内で表示します。ただしブラウザ内で直接開ける形式の場合のみ。 |

| | |
|-------------|---|
| directopen | ファイルを直接開きます。 ファイル直接オープンオプションが必要 |
| shownewview | ファイルの閲覧ページを別のウインドウで開きます。 Ver3.4.0以降で設定可能です |
| file | fileスキーム(file:///**)でファイルを開きます。 fileスキームについては こちら をご覧ください |

5. IDを変更することで、ファイル一覧のクリック動作を変更することができます。

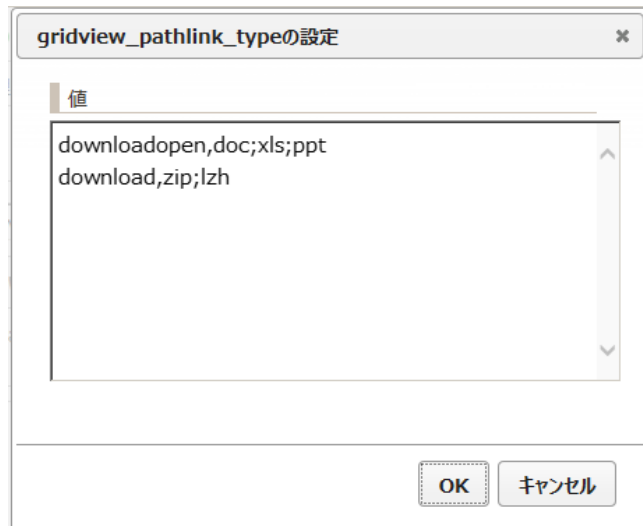


6. ファイル種類ごとにgridview_pathlink_type を指定することができます。

[動作ID] [カンマ] [ファイル種類] [セミicolon] [ファイル種類] ... の形式で記述します。

例1) doc、xls、ppt についてはdownloadopen、zip とlzh についてはdownload を指定する場合は次のように記述します。

```
downloadopen,doc;xls;ppt
download,zip;lzh
```



gridview_pathlink_typeの設定

値

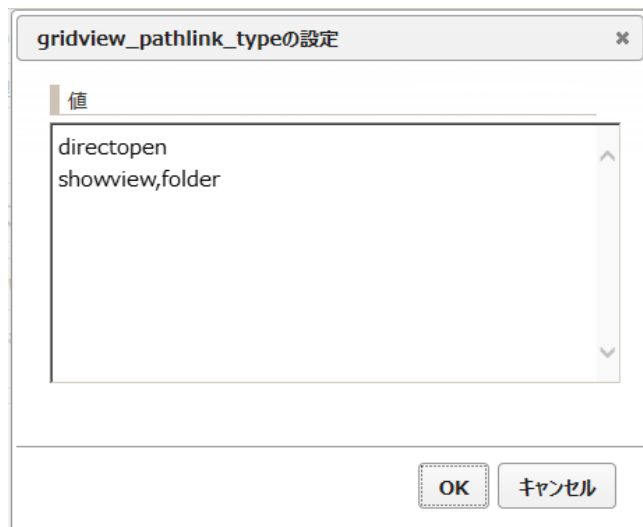
downloadopen,doc;xls;ppt
download,zip;lzh

OK キャンセル

例2) フォルダの動作も指定することができます。

フォルダ (folder) は showview、それ以外は directopen とする場合は次のように記述します。

directopen
showview,folder



gridview_pathlink_typeの設定

値

directopen
showview,folder

OK キャンセル

カンマやセミコンの前後に半角スペースを入れないで下さい。

- モバイル端末の場合は、directopen など使えない機能があり、その場合は showview で動作します。

- ダウンロードできないファイル形式などでは、エラーメッセージが表示される場合があります。

fileスキームについて

Version 3.6.1からgridview_pathlink_typeにfileを指定することでfileスキーム(file:///)でファイルを直接開くことができるようになりました。

例えば以下のように設定することでファイルのみ直接開くことができます

```
file
showview,folder
```

現状ではいくつかの制限があります。

- Internet Explorer11(Microsoft Edgeは未対応)であること、他のブラウザでは開くことができません
- Internet Explorerのインターネットオプションにてアクセスするサイトを信頼済みサイトに登録すること
- DocumentRootをネットワークフォルダにするか、DocumentRootPatternにネットワークフォルダパスを登録すること
- アクセスログは出力されません

5.1.2 拡張プロパティ

Version3.15.0以降、この機能は廃止されました。詳しくは[こちら](#)を参照してください。

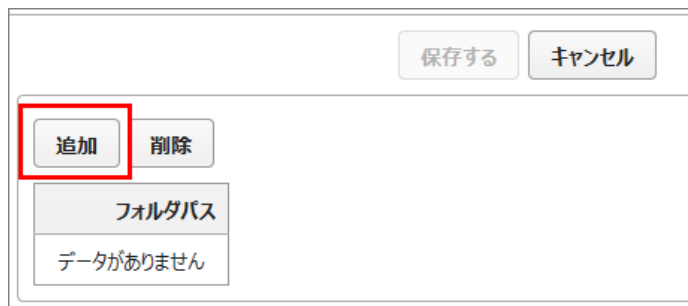
ExaPadでは、概要・コメント・プロパティの表示・非表示、キャプションの変更をフォルダごとに設定できます。

プロパティの変更方法

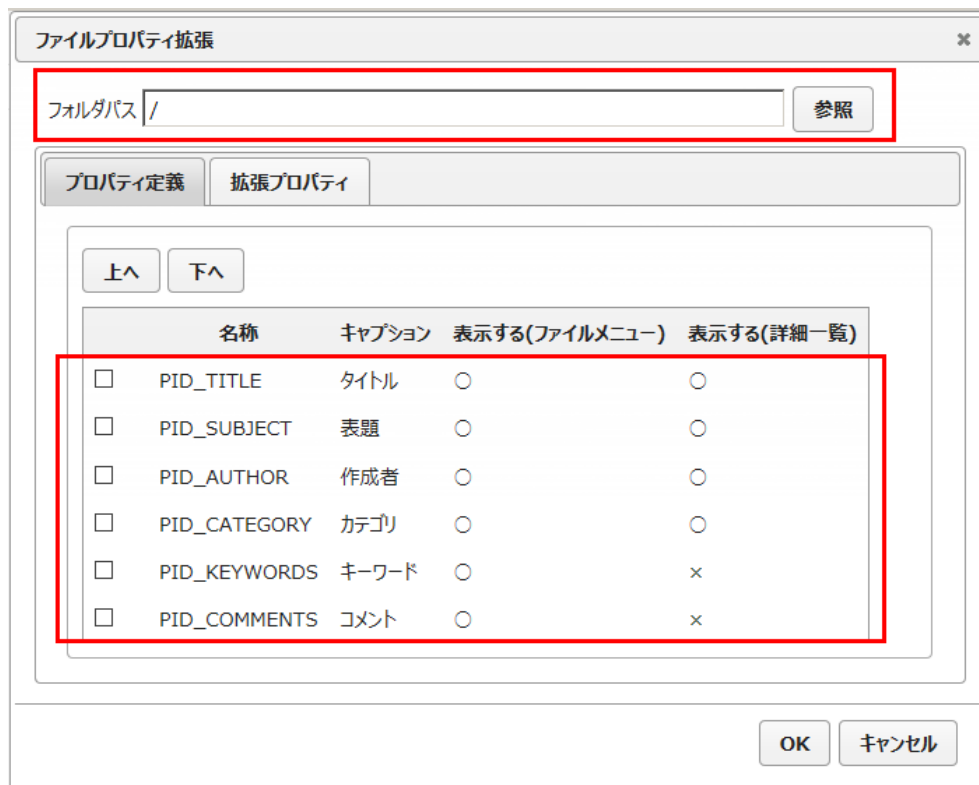
1. 画面下部のシステム設定 > ファイルプロパティ拡張 を開きます。



2. 「追加」ボタン、または既定の設定「/」などを選択して設定ダイアログを開きます。



3. 対象のフォルダを選択し、変更するプロパティ名称を選択して設定ダイアログを開きます。

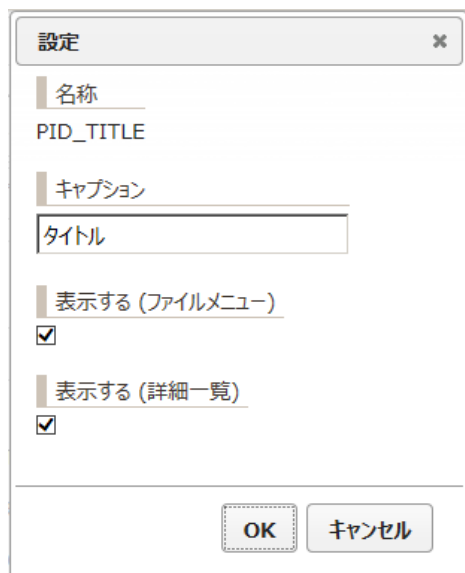


- ドキュメントルート以下のフォルダを設定してください。

- 指定したフォルダ以下全てのサブフォルダで有効になります。
- フォルダパスにはドキュメントルートは指定してある表記にしてください。

ドキュメントルートに \\MyServer\Share と指定されている場合、同じフォルダを意味していても E:\Share とすることはできません。

4. キャプションなど変更します。



- キャプション 画面に表示される項目名称です。
- 表示する (ファイルメニュー) プロパティ画面での表示 非表示を指定します。
- 表示する (詳細一覧) フォルダの一覧出力において出力の有無を指定します。

5. プロパティ項目の表示の並び順を変更することができます。



- プロパティチェックを入れて、「上へ」「下へ」ボタンで順番を入れて変えてください。
- ExaPadでプロパティ画面を表示すると設定の並び順になります。

6. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択し「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

拡張プロパティの変更方法

1. 画面下部のシステム設定 > ファイルプロパティ拡張 を開きます。
2. 「追加」ボタン、また既定の設定「/」などを選択して設定ダイアログを開きます。
3. 「拡張プロパティ」タブを選択します。



4. プロパティ変更の方法と同様に、フォルダを指定してプロパティ名称を選択します。
5. キャプションなどを変更します。
6. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

5.1.3 タグ定義

概要

Ver3.7.0以降、ファイルやフォルダにタグ（メタ情報）を付加することができるようになりました。

タグ項目は、文字列型、日付型、真偽型、整数型の指定ができます。Ver3.16.0から浮動小数点型に対応しました。

Ver3.15.0以降、概要、コメント、Office プロパティがタグに統合されました。また、Office プロパティは標準では無効化されています。有効化するには[こちら](#)をご覧ください。

設定方法

システム設定 > タグ定義 からタグ定義画面を開きます。

追加
削除
複製
上へ
下へ
既定プロパティから選択して追加
一括編集

| | フィールド名 | 表示名 | カテゴリ | データ型 | 編集方式 | プロパティパネルでの表示を、読み取り専用にする |
|--------------------------|-----------------|------|------|--------------------|----------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | tfb_description | 概要 | | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | tfb_comment | コメント | | 文字列 (text_cjk_uni) | コメント追記型 | いいえ |

追加ボタンを選択します。

タグの設定 ✕

フィールド名

表示名

カテゴリ

データ型

文字列 (text_ngram) ▼

編集方式

テキストボックス ▼

複数行入力を許可する

☒

入力制限 (空白=制限なし)

正規表現

$^[\text{¥x21-¥x7e¥s}]+\text{\$}$

メッセージ

半角英数記号で入力して下さい

プロパティパネルでの表示を、読み取り専用にする

☐

OK

値を入力しOKをクリックします。

各パラメータの意味は以下のとおりです。

| 名前 | 説明 |
|----|----|
|----|----|

| | |
|------------|---|
| フィールド名 | システム内で使用されるフィールド名を指定します。半角英数のみ入力できます。ほかのフィールド名と重複しないようにしてください。 |
| 表示名 | 画面には表示されるフィールド名です。 |
| カテゴリ | <p>タグをグループ化します。同じカテゴリ名のタグがグループ化されます。カテゴリを（半角スラッシュ）で区切ると階層を持たせることもできます。</p> <p>例）</p> <p>基本 概要</p> <p>基本 コメント</p> <p>注文 発行日</p> <p>注文 アクセスNo</p> |
| データ型 | <p>文字列 / 日付 / 真偽値 / 整数値 / 浮動小数点 のいずれかを指定します。</p> <p>文字列は text_ngram / text_cjk_uni / 完全一致 を選択できます。違いについては下記を参照してください。詳しくは弊社サポートまでお問合せください。</p> |
| 編集方式 | <p>テキストボックス（標準）は、ユーザーに直接入力させた場合に指定します。</p> <p>データ型を文字列に指定した場合に「選択式」を指定できます。ユーザーに選択させた文字列の候補を複数指定します。</p> <p>選択式はテキスト編集も可能にすることができ、「通常は選択させるが例外的な場合は入力させる」といった使い方ができます。</p> <p>選択式は=（半角イコール）を使用すると表示名を変更することができます。</p> <p>例）</p> <p>公開=pub</p> <p>非公開=sec</p> <p>その他=oth</p> <p>コメント追記型は、テキストを追加していくことができます。</p> |
| 複数行入力を許可する | 編集方式をテキストボックスにすると、値に改行を入力できるようになります。 |
| 候補値（検索用） | <p>データ型が整数、浮動小数点の時に使用されます。</p> <p>値の範囲=表示名のようなフォーマットで指定します。詳細検索時に候補として選択できるようになります。</p> |
| 入力制限 | Ver3.16.0にて対応しました。 |

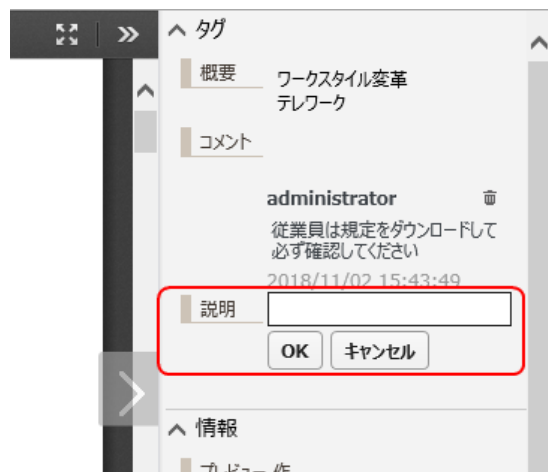
| | |
|------------------------|--|
| | <p>文字列の場合は、正規表現による入力制限を指定できます。空白は無制限となります。</p> <p>整数、浮動小数点の場合は、最小値、最大値を設定できます。</p> |
| プロパティパネルでの表示を読み取り専用にする | ユーザーによる変更を禁止します。 |

文字列の説明は以下のとおりです。

| 文字列 | 説明 |
|--------------|---|
| text_ngram | <p>インデックス登録はファイル名検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文検索（全角文字）：部分一致検索 全文検索（半角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード） 型番やIDなどの1行テキストの入力に向いています 文字量が増えるとインデックスサイズも大きくなります |
| text_cjk_uni | <p>インデックス登録はの全文検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文検索（全角文字）：部分一致検索 全文検索（半角文字）：単語や文字列の塊 コメントやフリーテキストの入力に向いていて長文テキストも可能 |
| 完全一致 | <p>インデックス登録は完全一致の方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文検索（全角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード） 全文検索（半角文字）：完全一致 自由入力を禁止し、選択肢で「分類」を入力するものに向いています インデックスサイズが小さいです |
| 完全一致 空白区切り | 上記の完全一致と異なり、空白で単語を区切ります。 |

「保存する」をクリックし、「今すぐ再起動する」を選択してサービスを再起動します。

タグを追加しないファイルを開きます。



閲覧画面の右側の情報パネルに追加したタグが表示され、編集ができるようになりました。

データ型の文字列にした場合は全文検索で検索できるようになります。

タグ一覧

Ver3.16.0において、ファイル一覧の表示メニューにタグ一覧が追加されました。

| 🔍 ファイルを検索 | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------|--------|----|-----|------|-------|------|--------|---------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 名前 ▲ | 概要 | タイトル | 表題 | 作成者 | カテゴリ | キーワード | コメント | サイズ | 更新日時 | 種類 |
| <input type="checkbox"/> IMGP0986.JPG | | | | okd | サンプル | | | 612 KB | 2019/04/01 15:46:04 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP0991.JPG | | たいとるです | | okd | サンプル | | | 601 KB | 2019/04/01 15:46:04 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP0992.JPG | | | | okd | サンプル | | | 626 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP0994.JPG | がいようです | | | okd | サンプル | | | 626 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1004.JPG | | | | okd | サンプル | | | 641 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1006.JPG | | | | okd | サンプル | | | 622 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1009.JPG | | | | okd | サンプル | | | 623 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1010.JPG | | | | okd | サンプル | | | 633 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1011.JPG | | | | okd | サンプル | | | 588 KB | 2019/04/01 15:46:03 | jpg |
| <input type="checkbox"/> IMGP1013.JPG | | | | okd | サンプル | | | 605 KB | 2019/04/01 15:46:04 | jpg |

タグ一覧には定義されているタグのうち

・文字列型（ただし複数行入力が許可されていないもの）

・文字列型以外

のみが表示されます。

列の表示順は、タグ定義の順番通りになります。

既定プロパティから選択して追加（旧Office プロパティの有効化）

Ver3.15.0以降、Office プロパティがタグに統合され標準では無効化されています。有効化するには以下の操作を行ってください。

← システム設定 > タグ定義

保存する キャンセル タグインポート (CSV形式)

追加 削除 上へ 下へ **既定プロパティから選択して追加** 一括編集

| | フィールド名 | 表示名 | データ型 | 編集方式 | プロパティパネルを開覧モードで表示 |
|--------------------------|-----------------|------|--------------------|----------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> | tfb_description | 概要 | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | tfb_comment | コメント | 文字列 (text_cjk_uni) | コメント追記型 | いいえ |

既定プロパティから選択して追加」をクリックします。

既定プロパティから選択して追加

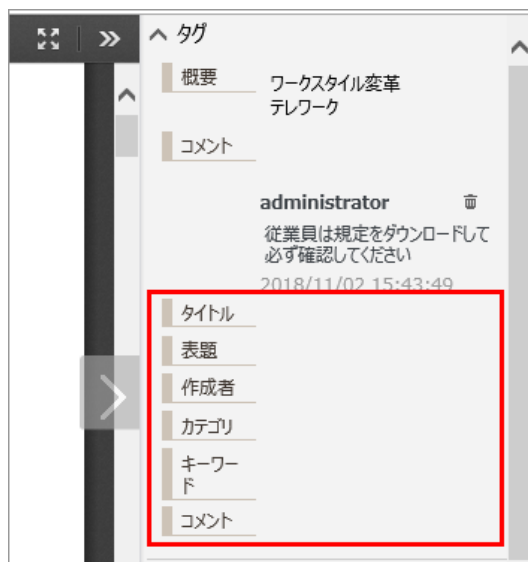
概要 (tfb_description)
コメント (tfb_comment)
タイトル (PID_TITLE)
表題 (PID_SUBJECT)
作成者 (PID_AUTHOR)
カテゴリ (PID_CATEGORY)
キーワード (PID_KEYWORDS)
コメント (PID_COMMENTS)

OK キャンセル

| <div>追加 削除 上へ 下へ 既定プロパティから選択して追加 一括編集</div> | | | | | |
|---|-----------------|-------|--------------------|----------|-------------------|
| | フィールド名 | 表示名 | データ型 | 編集方式 | プロパティパネルを開覧モードで表示 |
| <input type="checkbox"/> | tfb_description | 概要 | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | tfb_comment | コメント | 文字列 (text_cjk_uni) | コメント追記型 | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_TITLE | タイトル | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_SUBJECT | 表題 | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_AUTHOR | 作成者 | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_CATEGORY | カテゴリ | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_KEYWORDS | キーワード | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |
| <input type="checkbox"/> | PID_COMMENTS | コメント | 文字列 (text_cjk_uni) | テキストボックス | いいえ |

有効化した Office プロパティを選択してOKをクリックします。

設定を保存し、サービスを再起動します。



情報パネルにOffice プロパティが表示されました。

エクスポート

複数ファイルのタグの値をCSV形式で一括してエクスポートすることができます

エクスポートしたフォルダのメニューから

一覧出力 > タグエクスポート (CSV形式) を実行します

インポート

複数ファイルのタグの値をCSV形式で一括してインポートすることができます。

フォルダのメニューから 一覧出力 > タグインポート (CSV形式) を実行します。

備考

- タグエクスポート (CSV形式) で出力したCSVファイルのフォーマットがそのまま使えます。
- CSVファイルのエンコーディングは ShiftJIS, UTF8 のいずれも可能です。
- システム管理のタグ定義に設定のないフィールドは取り込むことができません。
- CSVファイルには必ず「PATH列」が必要で、/から始まる相対パスを指定する必要があります。
- 「PATH列」以外は、タグ定義にて定義された「表示名」を列名として使用します。
- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行以降の取り込みはキャンセルされます。
- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行より前の行の取り込み結果を元に戻すことはできません。
- 途中の行で取り込みに失敗する原因の例です。
 - ファイルに対してプロパティのアクセス権・書き込み権がない場合
 - 型変換に失敗した場合（真偽型に"ABC"などを設定）
 - PATH列の値が、不正な形式の場合
 - 存在しないファイルのパスを指定した場合
- 真偽型はエクスポートすると "TRUE"・"FALSE" に変換されます。画面表示では "はい"・"いいえ" です。
- 日付型は、エクスポートするとシステム日付形式 (jaならyyyy/mm/dd) で出力されます。インポート時には同じ形式もしくはUTC形式（例：2016-10-23T15:00:00Z）を指定できます。
- 空白値を指定した場合、そのプロパティはファイルから削除されます（文字列型以外の場合に限ります）
- インポートが正常に完了した場合、メッセージを表示することなくダイアログが閉じられます。
- インポートに失敗するか中断された場合、エラーメッセージを表示した後にダイアログが閉じられます。CSVファイルを修正して、再度CSVファイルをアップロードしてください。

5.2 画面カスタマイズ

ExaPadでは、ロゴ画像や文言をカスタマイズすることができます。

カスタマイズ可能な範囲

1. ヘッダー
2. ロゴ画像
3. フッターメニュー



4. ログイン画面

ユーザー名

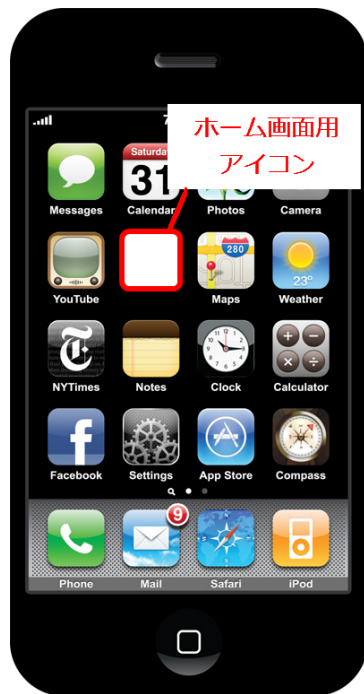
パスワード

ログイン

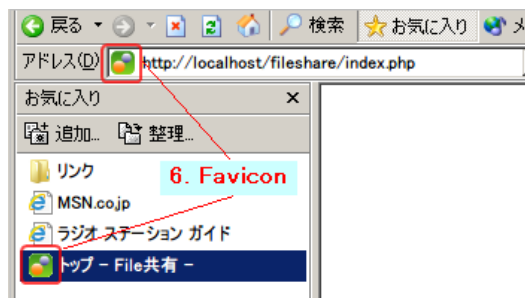
4. ログイン画面 ゲストログインはこちら

Windows OSに登録されているユーザーアカウントでログインできます
例) ユーザー名 : administrator パスワード : *****

5. iPhone / iPad / Android のホーム画面用アイコン



6. Favicon (ブラウザのURLやお気に入りに表示されます)



7. 文言のカスタマイズ (企業名や製品名など)

8. スタイルシートのカスタマイズ (ExaPadで使われているスタイルシートを上書きできます。)

カスタマイズ内容は、ExaPadのバージョンアップ後もそのまま反映されます。

カスタマイズしたファイルや設定は、バージョンアップ時に削除・上書きされることはありません。

ホスト名ごとのカスタマイズ

Web サーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

5.2.1 ヘッダーのカスタマイズ

ヘッダーのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに header.php という名前のテキストファイルを作成します。(custom フォルダが存在しない場合には作成してください)

2. 内容はHTML形式で自由に記述できます。

```
<h1>共有フォルダ</h1>
<span style="color:red;">
```

HTML タグを使用できます。

3. ファイルのエンコーディングをUTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

ヘッダー画像のカスタマイズ

1. [ProgramDataフォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに logo.png という名前の画像ファイルを作成します。(custom フォルダが存在しない 場合には作成してください。)
2. 標準のヘッダー画像は、ブラウザに次のURLを入力すると確認ができます。画像サイズの参考にしてください。

logo.png の標準 : [トップページURL]/img/logo.png

例) http://localhost/ExaPad/img/logo.png

画像サイズが標準と極端に違う場合は、レイアウトが正常に表示されなくなる場合があります。

3. ロゴ画像はGIF形式にも対応しています。ファイル名、ファイル形式の優先順位は下記の通りです。

- 1) custom / logo.png
- 2) custom / logo.gif
- 3) custom / fblogo.gif
- 4) ExaPad 標準の logo.png

5.2.2 フッターのカスタマイズ

フッターのカスタマイズ

1. [ProgramDataフォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに footer.php という名前でテキストファイルを作成します。(custom フォルダが存在しない 場合には作成してください。)
2. 内容は、次の例を参考にして記述してください。

```
<div class="footer-body">
  <a href="http://www.broadleaf.co.jp/">BroadLeaf</a>
  - <a href="http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php">お問い合わせ</a>
  - <a href="about.php">ExaPadについて</a>
  - <a href="http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/">ヘルプ
  - <a class="menu" href="javascript:(function(){$.fb.openOptionDialog();})();">オプション</a>
```

```
- <a href="adminindex.php">システム設定
</div>
<div class="footer-bottom">
    Copyright 2000-2019 BroadLeaf Co.Ltd.
</div>
```

3. ファイルのエンコーディングをUTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

ログイン画面のカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに loginfooter.php という名前のテキストファイルを作成します。（custom フォルダが存在していない場合には作成してください。）
2. 内容は、次のテンプレートをベースに記述してください。（PHPスクリプトやHTML タグが使用できます。）

```
<p>Windows OSに登録されているユーザーアカウントでログインできます</p>
```

4. ファイルのエンコーディングをUTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

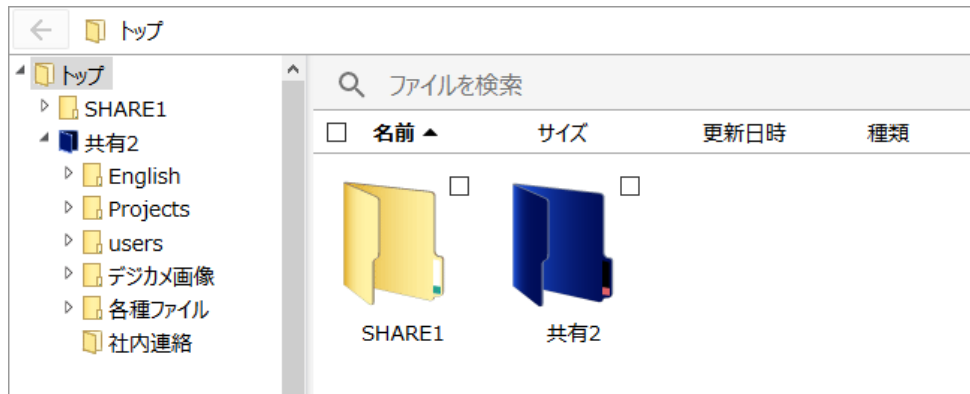
5.2.3 フォルダアイコンのカスタマイズ

概要

ドキュメントレートのフォルダアイコンを任意のアイコンに変更することができます。ドキュメントレートごと色分けしたり、デザインを変えたいすることができます。

変更用のアイコン画像ファイルは、お客様にてご用意ください。

サブフォルダのアイコンは変更できません。（各ドキュメントレートの1階層目のフォルダのみが変更対象です。）



設定方法

アイコン用画像ファイルのサイズとファイル種類

- フォルダツリー用アイコンのサイズ 16× 16px
- サムネイル（一覧表示）用アイコンのサイズ 170× 170px
- 画像ファイルの種類 .png（Portable Network Graphics）

設定

- 上記のサイズを目安にアイコン用画像を1種類につき2つまたは3つを用意します。（標準仕様のフォルダは3つのアイコン画像を用意しています。）
 - フォルダツリー標準アイコン
 - フォルダツリー展開用アイコン（フォルダを選択・展開したときに表示されます）
 - サムネイル（一覧表示）用アイコン
- 画像ファイルを所定のフォルダに決められたファイル名で保存します。
 - 保存場所： c:\programdata\ ExaPad 3.0\htdocs\custom
(custom フォルダのない 場合には作成します。)
 - ファイル名：
 - xxxx_icon.png フォルダツリー（展開）

- xxxx_icon_closed.png フォルダソリ（標準）
- xxxx_thumbnail.png サムネイル用
- xxxx_thumbnail_large.png サムネイル用（画像一覧 [大] ）

“xxxx ”は任意の半角英数字（プレフィックス）です。

3. ExaPadの設定を変更します。

- 画面下部のシステム設定 > 設定全般（config.ini）を開きます。



- custom_icon を選択して入力画面を開きます。
- トキュメントレートに対するアイコンを指定します。

トキュメントレートのパスと 2. で保存した画像ファイルのファイル名（任意のプレフィックス部分）をコロン（:）で結合した値を入力します。

例） /DocRoot:xxxx,/Share:yyyy

- トキュメントレートのパスはエイリアス名で指定します。
 - 複数を指定する場合には、カンマ（,）で区切ります。
4. 設定完了後に「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。
 5. 再起動後、ログインして変更を確認してください。

5.2.4 iPhone/iPadのホーム画面用アイコンなど

iPhone / iPad のホーム画面用アイコンのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに apple-touch.jpg という名前のJPEG ファイルを作成します。（custom フォルダが存在しない場合には作成してください）

2. 標準のアイコン画像はブラウザに次のURLを入力すると確認ができます。画像サイズの参考にしてください。

logom.gif の標準 : [トップページのURL]/img/apple-touch.jpg

例) http://localhost/ExaPad/img/apple-touch.jpg

Faviconのカスタマイズ

[ProgramDataフォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダにfavicon.ico の名前の画像ファイルを作成します。(custom フォルダが存在していない 場合には作成してください)

5.2.5 直接ファイルオープンツール インストール画面

ヘッダー・フッターのカスタマイズ

ExaPad3.5.1.*から直接ファイルオープンツールのインストール画面をカスタマイズできるようになりました。

カスタマイズできる部分は、ヘッダーとフッターです。

ヘッダー (fbclient_install_header.html)

直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル)を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイルのアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？
エラーなく終了していたら「はい」を押してください。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

はい

キャンセル

【注】新しいブラウザを導入したら

新しいブラウザを導入する都度、本画面の手順を再度実行してください。また将来、ブラウザがバージョンアップしたり、早まって「はい」を押してしまったりで、直接ファイルオープンツールの再インストールが必要になる可能性もありますが、そのような時は、「オプション」画面から本画面を呼び出せます。

【注】動作環境

Macintoshでは直接オープン機能は使用できません

フッター (fbclient_install_footer.html)

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに次のファイルを作成します。

- ヘッダーのカスタマイズ: fbclient_install_header.html
- フッターのカスタマイズ: fbclient_install_footer.html

custom フォルダが存在していない場合には作成して下さい。

2. 内容はHTML形式で自由に記述できます。

```
<h1>直接ファイルオープンツール</h1>
```

```
<span style="color:red;">
```

HTML タグを使用できます。

3. ファイルのエンコーディングを UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

5.2.6 その他カスタマイズ

文言のカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに const.php という名前のテキストファイルを作成します。(custom フォルダが存在しない場合には作成してください。)
2. 内容は、次のテンプレートをベースに適宜記述してください。

```
<?php
    define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
    define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
    define("COPYRIGHT_STRING",       "Copyright 2000-2019 BroadLeaf Co.Ltd.");
    define("URL_MANUFACTURER",       "http://www.broadleaf.co.jp/");
    define("URL_MANUAL",              "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/");
    define("URL_MANUAL_LOGIN",       "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/fbmanlogin.htm");
    define("URL_LICENSE",            "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php");
    define("URL_TRIAEXT",             "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/
    trialexextension.php");
?>
```

例えば PRODUCT_NAME (製品名) と PRODUCT_MANUFACTURER (組織名) を変更する場合は、

```
define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
```

の ExaPad と BroadLeaf の部分を編集します。他の項目についても同様です。

3. ファイルのエンコーディングは UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。

- <?php ~ ?> の外には空白 改行を入れないで作成してください。
- Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

スタイルシートのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに custom.css という名前のテキストファイルを作成します。(custom フォルダが存在していない場合には作成してください)
2. 標準のスタイルシートはブラウザに次のURLを入力すると確認できます。

[トップページのURL]/main.css

例) http://localhost/ExaPad/main.css

ホスト名ごとのカスタマイズ

Web サーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

例えば、http://hoge/ExaPad/ でアクセスするユーザーと http://foo/ExaPad/ でアクセスするユーザーとで異なるカスタマイズ画面を表示させることができます。

- 画面カスタマイズにて作成するファイルの保存場所を変更します。

[ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom\ホスト名

そのホスト名でアクセスした場合に、custom\ホスト名 フォルダは custom フォルダの設定より優先して表示されます。

- ホスト名だけでなく IPアドレスや、ゲストメイン名も指定可能です。
- 文言のカスタマイズ const.php はホスト名ごとカスタマイズできません。

5.3 直接ファイルオープン

直接ファイルオープン機能について

ファイルメニューの「直接開く」を選択すると、サーバーからファイルをダウンロードすることなく、ファイルを直接開くことができます。

Windowsエクスプローラーでファイルを開くのと同じで、開いたファイルは編集後に上書き保存ができます。

この機能はオプションのため、別途ライセンスが必要になります。

注意事項

- この機能はローカルエリア内でのみ使用できます。
- Windowsエクスプローラーで対象ファイルの参照ができない場合は、本機能の使用ができません。
- タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末では、本機能は使用できません。
- Mac OSのPCでは本機能を使用できません。
- 64bit版のブラウザでは、本機能は動作しません。（64bit OSで使用されているブラウザは、32bit版が大多数を占めています。）

クライアントPCの準備

PCに専用のアプリケーション（fbclient.exe）をインストールする必要があります。

fbclient.exe は、次の手順でインストールできます。

1. ExaPadにおいて任意のファイルで、メニューの「直接開く」を選択します。




2. ブラウザで「直接開く」を初回に実行した時に、ExaPadクライアントインストーラーのダウンロード案内が表示されます。

直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル) を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイル のアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？
エラーなく終了していたら「はい」を押して下さい。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

はい

キャンセル

3. STEP1の操作方法に沿って、ExaPadClientInstaller.zip をダウンロードします。

ダウンロード後にはブラウザを終了して下さい。

4. ExaPadClientInstaller.exeを実行し、fbclient.exeをインストールします。

fbclient.exeをインストールするためには管理者権限が必要です。

5. ブラウザを起動してExaPadにログインし、任意のファイルで「直接開く」を実行します。

再び、ExaPadクライアントインストーラのダウンロード案内が表示されます。

6. STEP2の「はい」をクリックします。

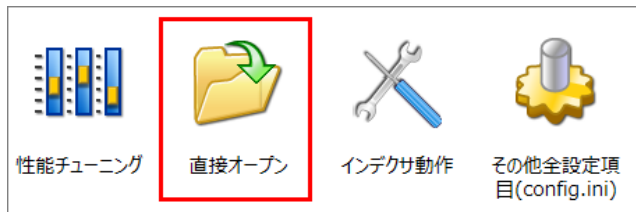
以降に「直接開く」を選択した場合には、ファイルが直接開くようになります。

直接ファイルオープンツール（fbclient.exe）をアンインストールした場合の注意

- アンインストール後に直接ファイルオープンを選択しても、ツールのダウンロード画面が表示されない場合は、ブラウザのCookieを削除してから操作を行ってください。
- 画面右上に表示されているログインユーザーを選択しても、ダウンロード画面を開くことができます。

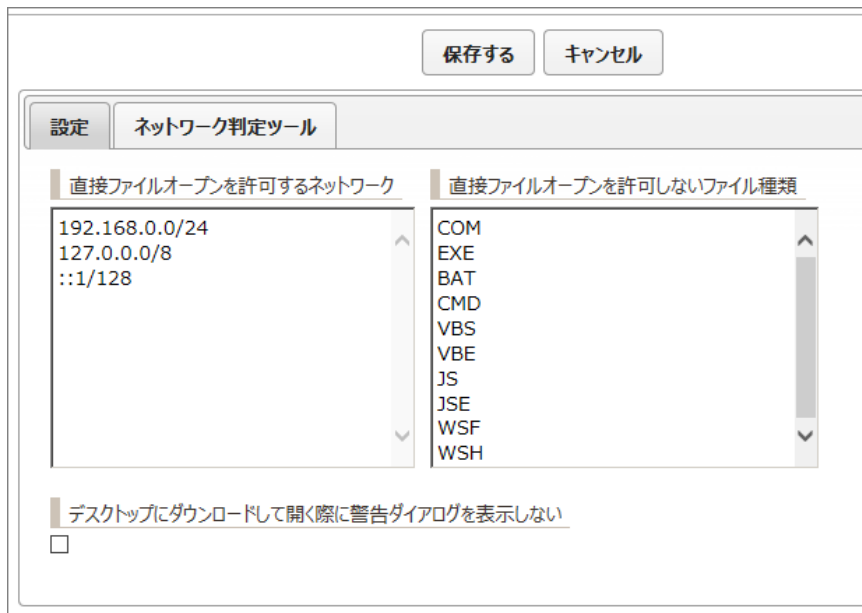
サーバ側の準備

1. 画面下部のシステム設定 > 直接オープンを開きます。



2. 「直接ファイルオープン」を許可するネットワークを、次のように「IPアドレス範囲（ネットワークIPアドレス/ マスクビット数）」形式で複数指定します。

192.168.0.0/24
127.0.0.0/8



ネットワークアドレスを指定しておくことで、Webサーバー（Fb3Web）サービスに対するアクセスが、ローカルエリア内からのアクセスが判定します。

ローカルエリアに割り当てられたネットワークアドレス（IPアドレスのホスト部を0にしたもの）と、ビットマスクをスラッシュ（/）で繋げたものを指定します。改行区切りで複数の指定が可能です。

ローカルレブバック「127.0.0.0/8」を必ず設定してください。

例1）ローカルエリアにグローバルIPアドレス（例：134.56.xxx.xxx）が割り当てられている場合

134.56.0.0/16
127.0.0.0/8

例2) LANをプライベートアドレス (192.168.0.xxx) で管理している場合

192.168.0.0/24
127.0.0.0/8

3. ネットワークアドレスの設定後、許可・不許可のIPアドレスをチェックします。



- 「ネットワーク判定ツール」タブを開きます。
- IPアドレスを入力し、「判定」ボタンを選択します。
 - 「マッチしました」の結果 IPアドレスは許可されています。
 - 「マッチしません」の結果 IPアドレスは許可されません。

4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

ドキュメントルートがローカルドライブの場合

ドキュメントルートが C:\share のようにサーバーのローカルドライブを指定している場合、クライアントPCからはWindowsエクスプローラーでアクセスできないためファイルを直接開くことができません。

本機能はクライアントPCがファイルサーバーにあるファイルをWindowsエクスプローラーで参照できるパスで公開されている必要があります。

このような場合には、ドキュメントルートをフォルダ共有で公開してください。

(フォルダの共有化により外部からWindowsエクスプローラーのみでアクセスが可能になる場合があるため、適切にセキュリティを設定してください)

Windowsのフォルダ共有を設定後に、ドキュメントルートフォルダを変更する必要があります。

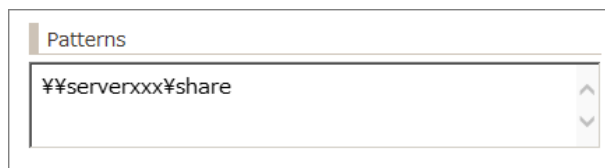
\\serverxxx\share のように変更し、サービスを再起動してください。

ドキュメントルートを変更するとインデックスの再構築が必要です。

(大規模環境で既にインデックスを構築済みの場合にはおすすめでできません。)

ドキュメントルートの変更が難しい場合には、ドキュメントルートフォルダは変更しないで、公開フォルダのパターンだけを追加する方法があります。

ドキュメントルートの設定において、Patterns に共有フォルダのパス(ここでは\\serverxxx\share)を追加します。



ここで指定するパスは、ドキュメントルートで指定しているローカルフォルダと同一の場所が指定されるようにしてください。

設定完了後、サービスを再起動して直接ファイルを開けるか確認してください。

5.4 ポータルオプション

概要

ポータルページを作成する機能です。

本機能はオプション機能のため、別途ライセンスが必要です。



index.thtml という名前のテキストファイルをドキュメントルートの任意の場所に作成することで、そのフォルダにアクセスした時にポータルページが表示できるようになります。

index.thtml は、HTML や JavaScript で編集します。

サンプルコードをご希望のお客様は、弊社までお問い合わせください。


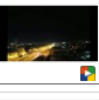


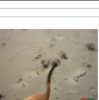
| 最近更新されたPDF | | | 最近更新されたWord | | |
|---|-----------|-----|---------------------|---|---|
|  | 1-2-6.pdf | PDF | 2013/04/16 17:06:04 |  | 会議開催通知.doc demo 2013/04/17 11:15:08 |
|  | 1-2-5.pdf | PDF | 2013/04/16 17:05:52 |  | 1997-05-21_土地売買契約書.doc... 2013/04/17 11:14:22 |
|  | 1-2-4.pdf | PDF | 2013/04/16 17:05:27 |  | O14_ふりがな.docx demo 2013/04/17 11:12:37 |
|  | 1-2-3.pdf | PDF | 2013/04/16 17:05:06 |  | 請負契約書.doc demo 2013/04/17 11:11:29 |
|  | 1-2-2.pdf | PDF | 2013/04/16 17:04:51 |  | お客様各位.doc demo 2013/04/17 11:11:17 |
| 結果をさらに表示 | | | 結果をさらに表示 | | |

最新の写真/PDF

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| IM01OLYM-P2 130021.jpg | IM01OLYM-P2 110009.jpg | IM01OLYM-P2 110006.jpg | IM01OLYM-P2 130024.jpg | 1-2-6.pdf |
| USA視察 | USA視察 | USA視察 | USA視察 | PDF |
|  |  |  |  |  |
| 1-2-5.pdf | 1-2-4.pdf | 1-2-3.pdf | 1-2-2.pdf | 1-2-1.pdf |
| PDF | PDF | PDF | PDF | PDF |

結果をさらに表示




新着Movie

| | |
|---|--|
|  | Clouds, snow and the mountain.flv 更新日時:2010/07/06 18:14:14 サイズ:7,600 KB /demo/FileFormats/Movie/Flv形式 |
|  | Mount Timpanogos - 010809.flv 更新日時:2010/07/06 17:52:38 サイズ:5,950 KB /demo/FileFormats/Movie/Flv形式 |
|  | Sulphur Mountain, Banff.flv 更新日時:2010/07/06 17:43:30 サイズ:1,883 KB /demo/FileFormats/Movie/Flv形式 |
|  | Ninja at Six Flags Magic Mountain.flv 更新日時:2010/07/06 17:41:22 サイズ:5,693 KB /demo/FileFormats/Movie/Flv形式 |
|  | rob-jen-baird-dog-buddy.flv 更新日時:2010/07/06 17:39:32 サイズ:840 KB /demo/FileFormats/Movie/Flv形式 |

結果をさらに表示

| 最新のCADデータ | |
|---|-------------------------------------|
|  visualization_-_aerial.dwg | 更新日時:2012/11/06 15:51:03 サイズ:716 KB |
| CAD | |
|  blocks_and_tables_-_metric.dwg | 更新日時:2012/11/06 15:50:58 サイズ:253 KB |
| CAD | |
|  blocks_and_tables_-_imperial.dwg | 更新日時:2012/11/06 15:50:55 サイズ:222 KB |
| CAD | |
|  architectural_-_annotation_scaling_and_multileaders.dwg | 更新日時:2012/11/06 15:50:38 サイズ:185 KB |
| CAD | |
|  visualization_-_sun_and_sky_demo.dwg | 更新日時:2012/11/06 15:50:35 サイズ:541 KB |
| CAD | |

社内規定







グループ内企業
転籍制度規程.d
OC

パートタイマー・ア
ルバイト規程.do
C

フリータイム勤務
制度規程.doc

申請書式

Fax送付状.docx

プロジェクト費用の内訳.xlsx

総務・経理

2012年度
2013年度
2014年度

営業

1課
2課
3課
共通

開発

サポート
開発
製品

ファイルの配置

ドキュメントレートの各フォルダ

index.html という名前のファイルを作成して、ドキュメントレートの任意のフォルダに保存します。

index.html ファイルがあるフォルダを開くとポータルページ（index.html の内容）が表示されます。

（index.html 自体をファイル一覧に表示させたくない場合は、Windowsエクスプローラーで「隠しファイル」属性に設定してください。）

その他のフォルダ

| 表示される場所 | パス |
|----------------|--|
| トップフォルダ | [WEBAPP_ROOT]\custom\top.html |
| 1 目目のドキュメントルート | [WEBAPP_ROOT]\custom\portal_root\1 目目のドキュメントルートのエイリアス名 \index.html Ver3.5.1以降で対応 |
| 2 目目のドキュメントルート | [WEBAPP_ROOT]\custom\portal_root\2 目目のドキュメントルートのエイリアス名 \index.html Ver3.5.1以降で対応 |

- [WEBAPP_ROOT] = [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs
- 上記3つのファイルは、ホスト名ごとのカスタマイズに対応しています。
- エイリアス名については[こちら](#)をご覧ください

ファイルの形式

HTML形式です。

拡張タグを使用することで、ExaPad 独自機能を扱えます。

外部 Javascript や CSS の読み込み、<script> タグの実行などは、レイアウトの崩れ、ファイル一覧や他の機能が不具合を引き起こす可能性があります。

ランキング

検索キーワードランキング、閲覧ランキング、ダウンロードランキングを表示できます。

ポータル機能でランキングを表示させるには、あらかじめアクセスログ集計を行う必要があります。

ランキングのデータは、アクセスログ集計時の順位です。（ポータルを表示した時点での順位ではありません。）

アクセスログ集計機能はオプションのため、別途ライセンスが必要です。

| ダウンロードランキング 出力済みのアクセスログを集計して、ファイルのダウンロード回数の多い順にランキングを表示します。 | キーワードランキング 出力済みのアクセスログを集計して、検索キーワードの使用回数の多い順にランキングを表示します。 | 閲覧ランキング 出力済みのアクセスログを集計して、閲覧回数の多い順にランキングを表示します。 |
|--|--|---|
| #1 A3_FileBlogリーフレット.pdf Leaflet 37 回 | #1 fileblog 273 回 | #1 20150916_つかえる文書管… 12 回 |
| #2 20150916_つかえる文書管理.pdf FileBlog_Docume… 31 回 | #2 文書 186 回 | #2 index.thtml 06_Ranking 10 回 |
| #3 20130703_FileBlogカスタム事例.pdf Custom 19 回 | #3 見積 53 回 | #3 A3_FileBlogリーフレット.pdf… 8 回 |
| #4 20150323_オプション紹介.pdf Option 18 回 | #4 pp 51 回 | #4 20150323_オプション紹介.p… 4 回 |
| #5 A4_FileBlogリーフレット.pdf Leaflet 18 回 | #5 ファイル 48 回 | #5 20161117_FileBlog_3_7_… 4 回 |
| #6 自衛隊と世界各国の東日本大震災災害派遣活動記録… 17 回 | #6 価格 42 回 | #6 FileBlogV32_mgd説明.pdf… 4 回 |
| #7 20161117_FileBlog_3_7_価格表_早見表.pdf P… 10 回 | #7 交通費 32 回 | #7 20130703_FileBlogカスタム… 3 回 |
| #8 20130114_会社案内.pdf TeppiTechnology 7 回 | #8 abc 31 回 | #8 20140401_FileBlogV33特… 3 回 |
| #9 20150323_オプション紹介.pdf FileBlog_Documents 7 回 | #9 前川 26 回 | #9 FileBlogWhitePaper_3_1_… 3 回 |
| #10 FileBlogV32_mgd説明.pdf various 6 回 | #10 ライセンス 23 回 | #10 20151119_ライセンス説明.p… 3 回 |

5.5 プレビューの大きさを変更する

概要

標準プレビューと拡大プレビューのサイズを変更することができます。

ファイル一覧の画像形式で表示されるサムネイルの大きさ（大170px、小100px）は変更できません。

標準ではファイルのプレビュー最大サイズは、縦横で長い方が次のように制限されています。

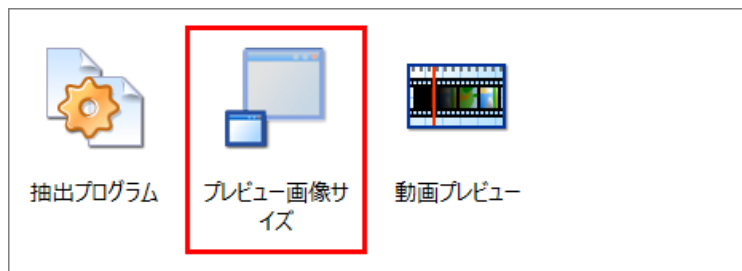
- 標準プレビュー 640ピクセル
- 拡大（全画面）プレビュー 1440ピクセル

たいていは標準設定で問題ありませんが、解像度の高いファイルが多い環境や、Office文書をA4より大きいサイズで印刷している環境などでは、文字が小さくなり読れてしまった場合があります。

実際にファイルを開かないと読めなかったファイルが、プレビューだけで判読できるようになることができます。

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > プレビュー画像サイズを開きます。



2. 各パラメーターを変更してプレビュー画像のサイズを変更します。

絞込

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|--------------------|------|--|-----|
| preview_l_size | 640 | 標準プレビューのサイズ(px)を指定します。 | 初期値 |
| preview_l_size_ext | | 標準プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,...のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_l_sizeになります。 | 初期値 |
| preview_p_size | 1440 | 拡大プレビューのサイズ(px)を指定します。 | 初期値 |
| preview_p_size_ext | | 拡大プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,...のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_p_sizeになります。 | 初期値 |

- preview_l_size 標準プレビューのサイズ (px) を指定します。(初期値 640px)
- preview_p_size 拡大プレビューのサイズ (px) を指定します。(初期値 1440PX)
- preview_l_size_ext 標準プレビューのサイズ (px) を拡張子別に指定します。

設定は、拡張子1: サイズ1,拡張子2: サイズ2,... のように指定します。

例) doc: 2000,dwg: 2880,dxf: 2880

指定されていない拡張子のサイズは、preview_l_size が適用されます。

- preview_p_size_ext 拡大プレビューのサイズ (px) を拡張子別に指定します。

設定は、拡張子1: サイズ1, 拡張子2: サイズ2, ... のように指定します。

例) doc: 2000, dwg: 2880, dxf: 2880

指定されていない拡張子のサイズは、preview_p_size になります。

- DXF、DWG、SVGなどのCAD ベクターファイルは、preview_p_size が標準で 2560px に変更されています。

拡大プレビューのサイズを変更した場合は、preview_p_size_ext で個別に設定する必要があります。

3. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択して、「今すぐ再起動する」を選択してサービスを再起動します。

4. プレビュー作成を行ってください。（作成済みプレビューは、削除後に再作成する必要があります。）

❖ 初期値から大幅に設定値を大きくすると、プレビュー画像の容量が増えてディスク領域を圧迫する原因になります。

❖ ネットワーク環境や端末の仕様によっては、プレビューの表示に時間がかかる場合があります。

❖ 旧型の iPod など システムメモリが少ない 端末の場合、画素数(縦× 横px)が3MPixelsを超えるプレビューの表示に失敗します。

❖ 既に作成済みのプレビューファイルは自動では再作成されないため、既存プレビューデータを削除してからプレビューを再作成してください。

5.6 もしかして検索

概要

次の画面のように検索結果ページの上部に、「もしかして…」を表示し、検索ワードの候補を提示します。



- 「もしかして…」に表示される検索ワードは、あらかじめ辞書を作成しておく必要があります。
- 表示された「もしかして…」のリンクを選択すると、選択したワードをキーワードに指定して検索が行われます。
- 設定ファイル (synonym.txt) が存在しない場合や、紐づくキーワードが未登録の場合には、「もしかして…」は表示されません。

-
- synonym.txt への変更は、サービスを再起動しなくても適用されます。

設定方法

1. [InstallFolder]\bin\synonym.txt のファイルを作成します。

synonym.txt は UTF-8形式で保存してください。

2. 1 行につき1 設定をタブ区切りで入力します。

一番左側の列に、"もしかして..."に表示するキーワードを指定します。

2 列目以降に、ユーザーが入力する検索キーワードを指定します。

| | | | | |
|-------|-------|-----|--------|------|
| GlyFX | glyph | グリフ | glyphx | icon |
|-------|-------|-----|--------|------|

\$(もしかして)TAB\$(ユーザー検索ワード) TAB\$(ユーザー検索ワード)...

この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると「GlyFX」が「もしかして...」に表示されます。

3. 複数の「もしかして...」を表示させた場合、次のように設定します。

| | | | | |
|----------------|-------|-----|--------|------|
| GlyFX | glyph | グリフ | glyphx | icon |
| 20040919_GlyFX | glyph | グリフ | glyphx | icon |

この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると「GlyFX」と「20040919_GlyFX」の2 つが「もしかして...」に表示されます。

検索ワードの一致判定において、大文字小文字、半角全角は区別されません。

5.7 ACLサーチ(アクセス権高度検索)の適用

ACLサーチとは

- 検索インデックスを構築するときに、アクセス権情報を含めたインデックス構築を行うことができます。

- 検索を実行するログインユーザーの権限でアクセス可能なファイルのみを検索結果として表示します。

ACLサーチのメリット

- 検索インデックスにアクセス権情報を含めることで、検索実行時にアクセス権のあるファイルだけを高速に抽出することができます。
- ACLサーチを使用しない場合、権限の小さいユーザーが広範囲を対象に検索すると、検索結果のほとんどがアクセス権不足で表示できないため、アクセス可能な検索結果を表示する最初の1ページ分を取得するだけで時間が掛かります。

ACLサーチの利用条件

ExaPadは、下記のいずれかの条件において、ファイルのアクセス権を検索インデックスに格納することで、高速なエンタープライズ検索を実行します。

1. ExaPadサーバと、ファイルサーバが同一のWindows Active Directory ドメインメンバーの場合で、ファイルサーバ上のファイル・フォルダのセキュリティ設定が、当該ドメイン上のグループに対して行われている場合
2. ExaPadをファイルサーバ自体にインストールした場合

上記1.2.以外の場合には、aclsearch=offにする必要があります。例えば、ExaPadサーバとファイルサーバが同一ドメインに所属していてもファイルサーバ上のローカルグループにアクセス権を付与し、そのローカルグループにドメインユーザ・ドメイングループを含めることで間接的にドメインユーザ・グループにアクセス権が与えられる場合や、ExaPadサーバと、ファイルサーバがドメインに所属しない、独立のWORKGROUP上のサーバである場合などがそのケースとなります。

ACLサーチの適用範囲

- Version 3.3以降、ACLサーチは標準で適用されています。
- Version 3.3より前のバージョンからバージョンアップした際には、既存の検索インデックスにアクセス権情報は負荷されません。

検索インデックスを初期化して再構築する必要があります。

ACLサーチの適用方法

検索インデックスを初期化して再構築します。

1. 画面下部のシステム設定 > 設定全般 (config.ini) を開きます。
2. テキストボックスに acl を入力します。

絞り込み

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|-----------|-----|--|-----|
| aclsearch | ON | 検索エンジンに、ACL（フォルダのセキュリティ情報）を埋め込むことで高速に検索できるようになります。※ACLサーチを利用するには、ドメイン環境下、もしくはローカルフォルダをドキュメントルートにしている必要があります。※検索エンジン登録後にアクセス権がなくなった場合でも、検索後の権限チェック機構より検索にはヒットしません。ただし、検索エンジン登録後にアクセス権が付与された場合は検索にヒットしません。 | 初期値 |

3. aclsearch を選択して、設定ダイアログで値にチェックを入れます。
4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択し、「今は再起動しない」をクリックし閉じます。
5. インデクサーを停止します。方法は[こちら](#)をご覧ください。
6. 検索インデックスの初期化します。方法は[こちら](#)をご覧ください。
7. 初期化後にサービスを再起動します。
8. 検索インデックスを再構築します。方法は[こちら](#)をご覧ください。

5.8 *.dat, *.bin, *.hogeファイルをテキストファイルとして扱う

概要

ファイル内容はASCII形式であるが、拡張子が一般的でないテキストファイル(*.dat, *.bin, *.hoge など) を「*.txt」ファイル同様に検索・閲覧できるようします。

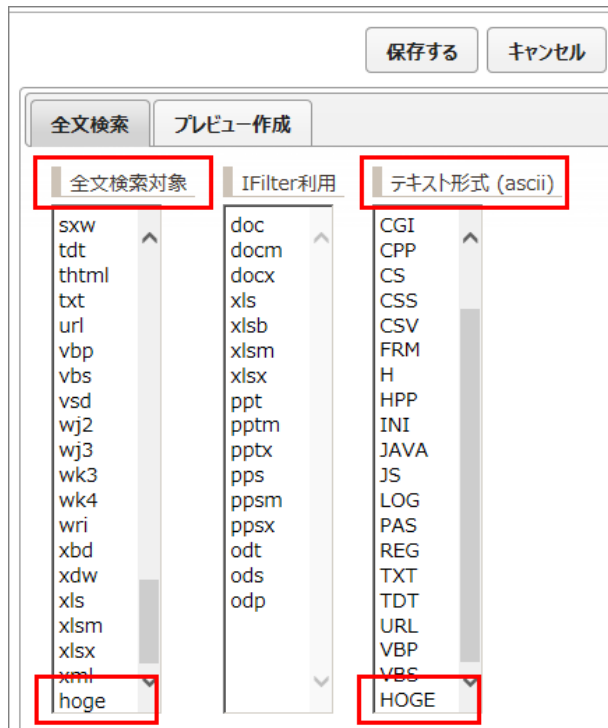
設定方法

例として、「*.hoge」ファイルをテキストファイルに指定しています。

1. 画面下部のシステム設定 > ファイル種類 を開きます



2. 「全文検索対象」に, hoge を追加します。



3. 「テキスト形式 (ascii)」に HOGE を追加します。

4. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

5.9 セッションタイムアウト時間の変更(ブラウザ再起動時に自動でログインする)

セッションタイムアウト時間の変更

ExaPadにログイン状態でブラウザを終了すると自動的にログアウト状態になります。

その後、ブラウザを起動してExaPadにアクセスするとログイン操作が再び必要になります。

ブラウザを終了するたびに毎回ログイン操作を必要とする設定を、一定時間内であればブラウザを再起動してもセッションを保持することにより、ログイン操作を省略させることができます。

セッション情報はブラウザの Cookie に保存され、標準では有効期間がゼロに設定されておりブラウザを閉じるとCookie は削除されます。

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーター を開きます。
2. 「stay_logged_in_after_closing_browser」の値にチェックを入れ（ONにして）、Cookieの保存を有効にします。

| | | | |
|--------------------------------------|------|-----------------------------------|--------|
| session_lifetime_seconds | 7200 | 一定時間アクセスの無いSessionを無効化します。単位は秒です。 | 初期値 |
| stay_logged_in_after_closing_browser | ON | ブラウザを閉じてもログインしたままの状態にします。 | ユーザー設定 |

3. 「session_lifetime_seconds」の値を指定して、Cookie の有効期間を設定します。（単位：秒）
4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択し「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

5.1 アクセスログ集計（オプション）

0

アクセスログ集計機能はオプションです。別途ライセンスが必要です。

アクセスログ集計を使うと、出力済みのアクセスログを集計してシステムの利用状況、普及度合いを分析することができます。

ExaPad3.4.0からアクセスログに記録されるファイルパスが[システムファイルパス](#)へ変更されました。

集計ツールは旧バージョンのアクセスログに対応しているため、そのままご利用になれます。

アクセスログを集計する前に

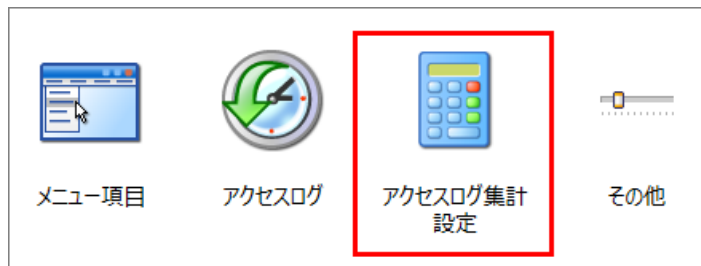
アクセスログを集計するためには、各ユーザーの操作を記録したアクセスログが必要です。

アクセスログは、標準では出力されない設定になっているため、集計する前にアクセスログを出力するように設定してください。

設定方法は[こちら](#)をご覧ください。（画面下部のシステム設定 > アクセスログ > accesslog_dir）

アクセスログレポートの集計

1. 画面下部のシステム設定 > アクセスログ集計設定 を開きます。



2. 出力したいレポートを選択してください。

☒ 月の初め

1

☐ 週の初め

月

集計

ランキング

☐ ユーザー別ログイン状況[日単位]
☒ ユーザー別ログイン状況[週単位]
☒ ユーザー別ログイン状況[月単位]
☐ 端末別ログイン状況[日単位]
☒ 端末別ログイン状況[週単位]
☒ 端末別ログイン状況[月単位]
☒ ユーザー別利用状況[週単位]
☒ ユーザー別利用状況[月単位]
☐ 週別利用状況推移
☐ 月別利用状況推移

- 月の初め 月単位のレポートで使用され、月の開始日を指定します。
- 週の初め 週単位のレポートで使用され、週の開始曜日を指定します。

| 種類 | 意味 |
|------------------|---|
| ユーザー別ログイン状況[日単位] | 1 日間におけるユーザーのログイン回数のレポート |
| ユーザー別ログイン状況[週単位] | 1 週間におけるユーザーのログイン回数のレポート |
| ユーザー別ログイン状況[月単位] | 1 月間におけるユーザーのログイン回数のレポート |
| 端末別ログイン状況[日単位] | 1 日間における端末のログイン回数のレポート |
| 端末別ログイン状況[週単位] | 1 週間における端末のログイン回数のレポート |
| 端末別ログイン状況[月単位] | 1 月間における端末のログイン回数のレポート |
| ユーザー別利用状況[週単位] | 1 週間におけるユーザーのログイン / ファイル参照 検索の実行回数のレポート |

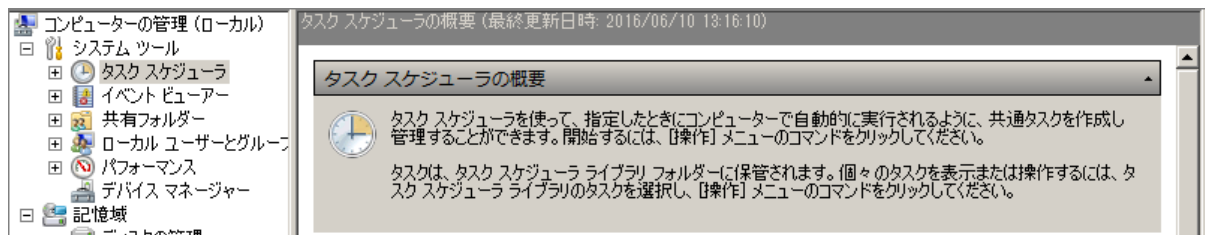
| | |
|----------------|---|
| 位] | |
| ユーザー別利用状況[月単位] | 1 月間におけるユーザーのログイン / ファイル参照 検索の実行回数のレポート |
| 週別利用状況推移 | 過去 4 週間における週別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート |
| 月別利用状況推移 | 過去 3 月間における月別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート |

3. アクセスログの出力先を確認してください。

画面下部のシステム設定 > アクセスログ > accesslog_dir で確認できます。

4. アクセスログ集計プログラムを Windows タスクスケジューラに登録します。

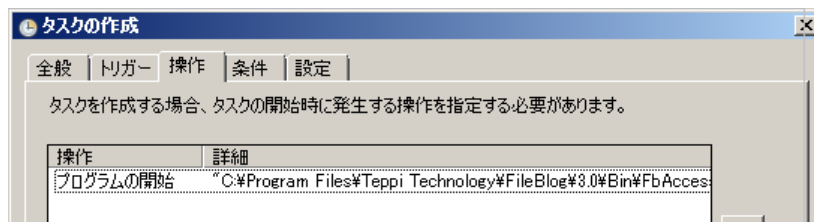
- Windows スタートメニュー > 管理ツール > タスクスケジューラ (Windows 2008以降の場合) を開きます。



- 新規タスクに FbAccessLogSummarizer.exe の実行を登録します。

FbAccessLogSummarizer.exe は

C:\Program Files (x86)\BroadLeaf\ExaPad\3.0\Bin にあります。

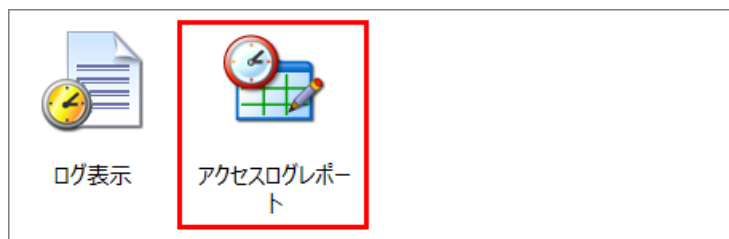


- 毎朝未明に実行するように設定します。

- タスクの実行ユーザーは、ローカルマシンの管理者権限を有するユーザーに設定してください。（通常は Administrator ユーザーです。）

アクセスログ集計（レポート）を閲覧する

- 画面下部のシステム設定 > アクセスログレポート開きます。



- レポート種別を選択すると集計種類を絞り込みます。

| アクセスログレポート一覧 | | |
|-------------------------|-----------------|---------------------|
| レポート種別: 全て | | |
| 1 2 3 4 次へ | | |
| 期間 | レポート種別 | 出力日時 |
| 2016/05/30-2016/06/05 | ユーザ別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:42:52 |
| 2016/05/30-2016/06/05 | 端末別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:49 |
| 2016/05/30-2016/06/05 | ユーザ別利用状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:00 |
| 2016/05/23-2016/05/29 | ユーザ別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:42:52 |
| 2016/05/23-2016/05/29 | 端末別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:58 |
| 2016/05/23-2016/05/29 | ユーザ別利用状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:00 |
| 2016/05/16-2016/05/22 | ユーザ別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:42:52 |
| 2016/05/16-2016/05/22 | 端末別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:41:17 |
| 2016/05/16-2016/05/22 | ユーザ別利用状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:00 |
| 2016/05/09-2016/05/15 | ユーザ別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:42:52 |
| 2016/05/09-2016/05/15 | 端末別ログイン状況[週単位] | 2016/06/10 15:41:34 |
| 2016/05/09-2016/05/15 | ユーザ別利用状況[週単位] | 2016/06/10 15:40:00 |

- レポートを選択します。

システム設定 ▶ アクセスログレポート

ユーザ別利用状況[月単位] [2016/05/01 - 2016/05/31]

[一覧に戻る](#)

| ユーザーID | ログイン回数 | ファイル参照回数 | 検索回数 | ファイル参照 (先頭ページのみ)回数 | ダウンロード回数 |
|------------------|--------|----------|------|-----------------------|----------|
| user1@hoge.co.jp | 377 | 118 | 74 | 111 | 41 |
| user2@hoge.co.jp | 222 | 154 | 209 | 140 | 152 |
| user3@hoge.co.jp | 218 | 122 | 63 | 122 | 51 |
| user4@hoge.co.jp | 79 | 34 | 15 | 34 | 143 |
| user5@hoge.co.jp | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |

アクセスログランキング

1. 「ランキング」タブを開きます。

保存する キャンセル

月の初め 週の初め

1 月

集計 ランキング

追加 削除

| ユニークID | ランキング種類 | ランキング数 | 期間(日数) |
|-----------|---------|--------|--------|
| データがありません | | | |

2. 「追加」を選択してクリックし、集計するランキングを設定します。

アクセスログ集計

基本設定 ファイル/フォルダ絞込 ネットワークアドレス絞込 ユーザー名/ドメイン名絞込 検索ワード

ユニークID
summary

ランキング種類
☒ ファイル参照 ☐ 検索 ☐ ダウンロード

上位N件を取得する
1

期間日
1

OK キャンセル

- ユニークID ユニークなるIDを指定します。この値がポータル機能で使用するID属性です。
- ランキング種類 出力するランキングの種類を選択します。
- 上位のN件を取得する 上位何番目までをランキングするか指定します。（上位50位など）
- 期間日 集計日から何日間前までを集計対象とするか指定します。（過去180日間など）
- 絞込み設定：正規表現を使って集計「対象」「対象外」を設定できます。

3. ランキングに出力する対象を絞り込むことができます。

- 絞り込みの設定には、システムファイルパスの正規表現を使用して指定します。
- 入力ツールを利用すると便利です。

基本設定 ファイル/フォルダ絞り込み ネットワークアドレス絞り込み ユーザー名/ドメイン名絞り込み 検索ワード

対象ファイル/フォルダ 除外ファイル/フォルダ

集計対象のファイルやフォルダを正規表現で記述します

入力ツール

OK キャンセル

○ ファイル/フォルダ絞り込み

対象ファイル/フォルダ、または 除外ファイル/フォルダを指定します。

対象ファイル/フォルダが指定されていない場合は、全ての「ファイル/フォルダ」が集計対象となります。

- /share2/Projects/.*\$
「Projects」フォルダ以下、全ファイルの指定です。

- /share2/Projects/2016年度 /.*\.(doc|docx)\$
「2016年度」フォルダ配下、doc と docx ファイルの指定です。

検索ランキングの集計では、絞り込み対象が「対象ファイル/フォルダ」+「検索キーワード」という形式になります。

- /share2/Projects/いろいろ
「Projects」フォルダ以下、キーワード「いろいろ」の指定です。

○ ネットワークアドレス絞り込み

対象ネットワークアドレス、または 除外ネットワークアドレスを指定します。

対象ネットワークアドレスが指定されていない場合は、全ての「ネットワークアドレス」が集計対象となります。

- 192.168.0.0.*\$
192.168.0.0～192.168.0.255 の指定です。

○ ユーザー名 /ドメイン名絞り込み

対象ユーザー名 /ドメイン名」、または 除外ユーザー名 /ドメイン名」を指定します。

対象ユーザー名 /ドメイン名」が指定されていない場合は、全ての「ユーザー名 /ドメイン名」が集計対象となります。

- *.*@company.co.jp
ドメイン「company.co.jp」の全ユーザーを指定です。

ドメイン名は、パラメーター「windows_domain」で指定した値を使用してください。

○ 検索ワード

検索ランキング集計時に対象となるキーワードを正規表現で指定します。

- 対象検索ワード」...特定のキーワードが含まれる検索ログを集計する場合。
- 除外検索ワード」...特定のキーワードが含まれない検索ログを集計する場合。

キーワードが対象検索ワードと除外検索ワードの両方に指定されている場合は、除外検索ワード」が優先されます。

- ^テスト-
テスト-で始まる場合に、対象または、除外となります。

5.1 Windowsのショートカットファイルへの対応

1

Windowsショートカットファイル

ExaPadでは、Windowsのショートカットファイル（*.lnk）に対応しています。

リンクファイルにアクセスすると、リンク先ファイルのページにジャンプします。

ショートカットが機能するのは、リンク先がドキュメントルート配下の場合に限定されます。

ドキュメントルート= C:\docroot の場合

- ショートカットファイルは、リンク先のファイルのページにジャンプします。

ショートカットファイルのリンク先 = C:\docroot\sample.doc

- ドキュメントレート外にリンク先が指定されているショートカットファイルは、ジャンプすることができません。

ショートカットファイルのリンク先 = C:\share\test.xls

共有フォルダをドキュメントレートにしている場合


ドキュメントレートである C:\docroot を共有フォルダとして公開しているとき、ショートカットのリンク先が \\ServerA\C\$\docroot や \\ServerA\docroot などと表記される場合があります。

この場合、ドキュメントレート外と判定されてしまい、適切なリンク先にジャンプすることはできませんが、「ドキュメントレートパターン」を設定することで解決できます。

ドキュメントレートパターンの設定

- ドキュメントレート設定の「pattern」でパターンを指定します。

画面下部のシステム設定 > ドキュメントレートを開きます。



- パターンを指定します。

| | |
|-----------|------------|
| ドキュメントレート | C:\docroot |
|-----------|------------|

| | |
|--------------|------------------------------|
| ショートカットのリンク先 | \\ServerA\docroot\sample.doc |
|--------------|------------------------------|

| | |
|----------|-------------------|
| Patterns | \\ServerA\docroot |
|----------|-------------------|

ExaPadサーバーは、\\ServerA\docroot\sample.docのショートカットを C:\docroot\sample.doc として扱うようになります。

- 複数のドキュメントルートパターンを指定することができます。

```
\\ServerA\docroot  
\\ServerA\C$\docroot  
T:\
```

- 改行区切りで指定します。
- T:\ は、ネットワークドライブの例です。TドライブにドキュメントルートのマッピングしているPCでショートカットを作成した場合です。

5.1 パスワードオートコンプリートの有効化、無効化

2

概要

ブラウザのオートコンプリート機能を使うと、ログイン時のユーザーIDやパスワードを省略できます。

しかし、セキュリティについては問題となる場合もあります。

ExaPadでは、パスワードのオートコンプリート機能を制御する設定ができます。

注意事項

- 標準では、パスワードのオートコンプリートは無効に設定されています。
- オートコンプリートが有効な状態の時に保存されたパスワードが、本機能を無効にしても自動入力されるブラウザがあります。(Firefoxなど)
- 有効から無効の設定に変更する場合は、ブラウザの履歴やCookie情報を全て消去してから利用してください。
- ExaPadで推奨していないブラウザでは、本機能を利用できない場合があります。(Operaなど)

設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーターを開きます。
2. テキストボックスに、auto を入力します。

| パラメータ名 | 設定値 | 説明 | 状態 |
|-----------------------------|-----|--|--------|
| autocomplete_login_password | ON | ログインフォームのパスワードボックスのautocompleteをOn/OFFします | ユーザー設定 |
| autocomplete_login_userid | ON | ログインフォームのユーザーIDボックスのautocompleteをOn/OFFします | 初期値 |

3. 「autocomplete_login_password」を開いてチェックを入れ、ONにするとパスワードが保存されるようになります。
 4. 「autocomplete_login_userid」を開いてチェックを入れ、ONにするとユーザーIDが保存されるようになります。
- オートコンプリートを有効にする場合は、両方とも「ON」にしてください。
 - 片方が「OFF」になっていると、ブラウザの仕様によりID・パスワードともに保存されない場合があります。
 - 設定前に、ユーザーID、パスワードが保存されている場合は、ユーザーIDのみ「自動入力」を利用できる場合もあります。
5. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択し「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

5.1 CADファイルのプレビュー（オプション）

3

背景

ExaPadのVersion 3.3.2以降、CADプレビューには以下の変更が加えられています。

- SHXフォントに対応しました。
- 拡大プレビューサイズを大きく(2560px) しました。

- 拡大プレビューの背景色を透過にしました。

ExaPadのVersion 3.7.0以降、CAD プレビューには以下の変更が加えられています。

- PDF プレビューに対応しました

概要

SHX フォントに対応しました

以前は、CAD ファイルで使用されているフォントが存在しない場合、システムのフォントに置き換わっていました。

Version 3.3.2以降は、フォントを所定の場所に置くことでプレビューファイル作成時にそのフォントを使用できるようになり、プレビューの再現性が向上します。

- [インストールフォルダ] \bin\tools\shx_font に SHX フォントをコピーしてください。
- shx_font フォルダは新規に作成してください。

拡大プレビューサイズを大きく(2560px) しました

一般的にCAD ファイルは、Office ファイルなど比べて解像度が高く設定されています。

そのためExaPad標準の 1440px では、見づらいという問題があり、またプレビューサイズを過度に大きなサイズに変更してしまうと、ブラウザによっては表示できない問題があるため、標準の拡大プレビューサイズを 2560px に設定しました。

プレビューサイズを変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

拡大プレビューにおいて、背景色を透過にしました

以前は、CAD プレビューの背景色は白色で出力されていました。

しかし、CAD ファイルの背景色の設定はCAD アプリケーション側で設定されているため、背景色が黒で作成されたCAD ファイルは、ExaPadのプレビューでは図形が消えてしまったり、見えにくくなってしまっていました。

Version 3.3.2以降、プレビューの背景色を透過にしてビューワーの背景色を変更できるようにしました。

背景色を変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

PDF プレビューに対応しました

Version 3.7.0以降、CADファイルのPDF プレビューに対応しました。これによりプレビューを拡大しても綺麗に表示できるようになります。

CADファイル内のテキストは全文検索対象ですが、PDF プレビュー内での検索には対応していません

背景色の変更

PDF プレビューのデフォルト背景色は黒、文字色は白に設定されていますが、設定で変更することが可能です。

ブラウザでログイン後、システム設定 > 設定全般(config.ini) から以下のパラメーターを変更してください

cad_background_color .. 背景色を#000000のようにRGBで指定します

cad_default_color .. 既定色 (文字、線色など) を#ffffffのようにRGBで指定します

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様は設定を変更しない限り、CADファイルのPDF プレビューは作成されない設定になっています

CADファイルのPDF プレビューを作成する場合は、設定を変更し、その後一旦すべてのプレビューファイルを削除する必要があります

詳しくは以下の手順にしたがってください

- 1 . Ver3.7.0へアップデートします。
- 2 . ブラウザからログインし、システム設定 > プレビュー作成設定 にて、"随時作成設定"を[PDF_HTML]にするか個別にCADファイルでPDF プレビューが作成されるように設定してください。

[PDF_HTML]はWord, PowerPoint, CADファイルはPDFで、ExcelファイルはHTML形式でプレビューする設定です

- 3 . サービスを再起動します。
- 4 . 管理ツールを起動し、保守ツール > プレビュー保存フォルダ整理 画面から "ファイル種類(マスク)"をcadファイルに変更し、"プレビュー削除"にチェックを入れ実行ボタンをクリックします。これにより既存のCADファイルのプレビュー画像が全て削除されます
デフォルトでは全てのドキュメントに対してプレビューの削除を行いますので注意してください！

- 5 . ブラウザからログインし、各ファイルの閲覧ページに移動してください

プレビュー作成処理が開始され、しばらくするとPDF形式でプレビューが表示されます

5.1 統合Windows認証

4

概要

ExaPadVersion 3.4.1.1から 統合Windows認証に対応しました。

この機能をActive Directoryドメイン環境内で利用すると、Internet Explorerブラウザを使用してExaPadにアクセスした場合、ExaPadへのログイン認証が自動的に行われ、ID/パスワードの入力なしにExaPadを利用することができるようになります。

Ver3.7.0.12では使用できません。Ver3.8.0以上にアップグレードしてください

Ver3.9.0以降、Internet Explorer以外のブラウザでも統合Windows認証機能を利用できるようになりました。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

要件

- Version 3.4.1.1 以降を使用していること。
- Active Directoryドメイン環境を使用していること。
- Active Directoryがケルベロス認証をサポートしていること。
- ファイルサーバーがケルベロス認証および委任をサポートしていること。
- 対象のクライアントとサーバーがActive Directoryドメインに参加していること。
- ログインするユーザーがActive Directoryユーザーであること。
- サーバーとクライアントの時刻が同期されていること。

認証Ticketには使用期限が設定されており、クライアント時刻とサーバー時刻に大きなずれがあると認証に失敗する可能性があります。

- Windows Server（2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016）を使用していること。
- Internet Explorer 11を使用すること。（Windows版 Google Chrome, Firefox, Microsoft Edge, 古いInternet Explorerも統合認証可能ですがサポート対象外となります）
- HTTPプロキシサーバーを経由しないこと。
- 長時間のバックグラウンド処理（コピー、移動、削除、圧縮、解凍、プロパティ更新）を行う必要がある場合、統合認証は利用しないでください。バックグラウンド処理中に統合認証チケットが無効になり処理が中断される可能性があるためです。

システム構成

以下では下記のようなシステム構成を例に、ご説明しています。

| サーバー種類 | 説明 | マシン名 |
|---------------------|-------------------------------|----------|
| ExaPadサーバー | ExaPadをインストールしたマシン | CARROT |
| ActiveDirectoryサーバー | ActiveDirectoryサービスが稼働しているマシン | BROCCOLI |
| ファイルサーバー | ドキュメントルートフォルダが置いてあるサーバー | KIWI |

BROCCOLI、KIWI、CARROT の全てが、同一ドメインに所属しています。

サーバー設定

ExaPadサーバーの設定

ExaPadをインストールしたマシン（CARROT）で次の設定が必要です。

1. Fb3Web（Webサーバー）サービスの実行アカウントは、LocalSystemアカウントにします。

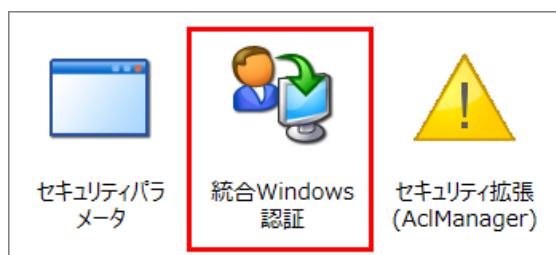
- 標準の設定で、LocalSystemアカウントになっています。
- LocalSystemアカウントは統合認証を行うための権限が与えられています。

2. 管理ツールでドメインの設定を行います（設定は[こちら](#)をご覧ください）。

- 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーター > windows_domain を開きます。
- ドメイン名は必ず NetBios 形式で指定してください。アクセスログなどで FQDN 形式と混在してしまいます。

3. システム設定で統合認証の設定を行います。

- 画面下部のシステム設定 > 統合Windows認証 を開きます。



- 「統合Windows認証を利用する」
 - チェックを入れます
- 統合認証するブラウザのユーザーエージェントを正規表現で指定します。
 - 通常は変更する必要はありません。統合認証の対象となるブラウザ種別（ユーザーエージェント）を限定・拡張した場合に変更します。
- Kerberosの制限付き委任におけるネガティブキャッシュの保存期限
 - 通常は変更する必要はありません。[こちらの症状](#)が発生した場合には設定を検討します。
- 統合Windows認証を許可するクライアントの「IPアドレス範囲（ネットワークIPアドレス／マスクビット数）」
 - お客様のネットワーク構成に合わせて変更して下さい。

設定

ネットワーク判定ツール

統合Windows認証を利用する際の注意
 Windowsドメイン環境が必要です。
 外部ファイルサーバの共有フォルダを参照している場合、ファイルサーバのCIFSサービスがFileBlogサーバを信頼するように委任設定が必要です。
 設定が不足すると、統合認証ログイン時にドキュメントルートフォルダが見えなくなります。(詳しくはマニュアルをご覧ください)

統合Windows認証を利用する
☒

Kerberosの制限付き委任におけるネガティブ キャッシュの保存期限(単位:分)
 デフォルト(15分) ...

統合Windows認証を許可するクライアントのブラウザユーザーエージェントを正規表現で指定します
 msie|trident(?:=Windows).*Chrome

統合Windows認証を許可するクライアントの「IPアドレス範囲（ネットワークIPアドレス／マスクビット数）」
 192.168.0.0/16

統合Windows認証を利用できるサーバーのホスト名を制限します。複数指定できます。未指定時すべてホスト名が許可されます。

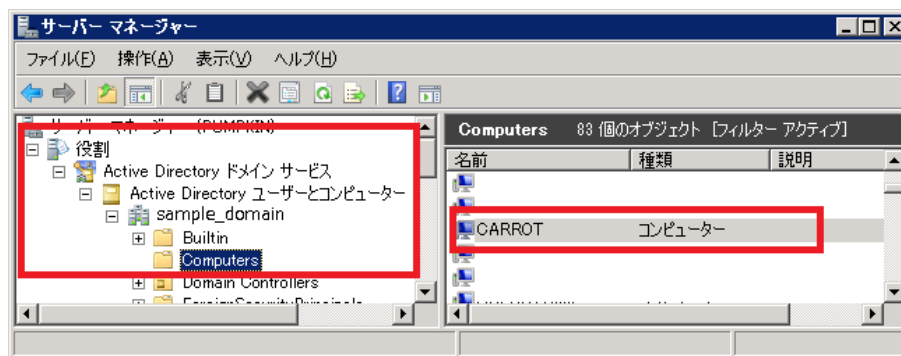
- 設定完了後に「保存する」ボタンを選択して「今すぐ再起動する」をクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

ActiveDirectoryサーバーの設定

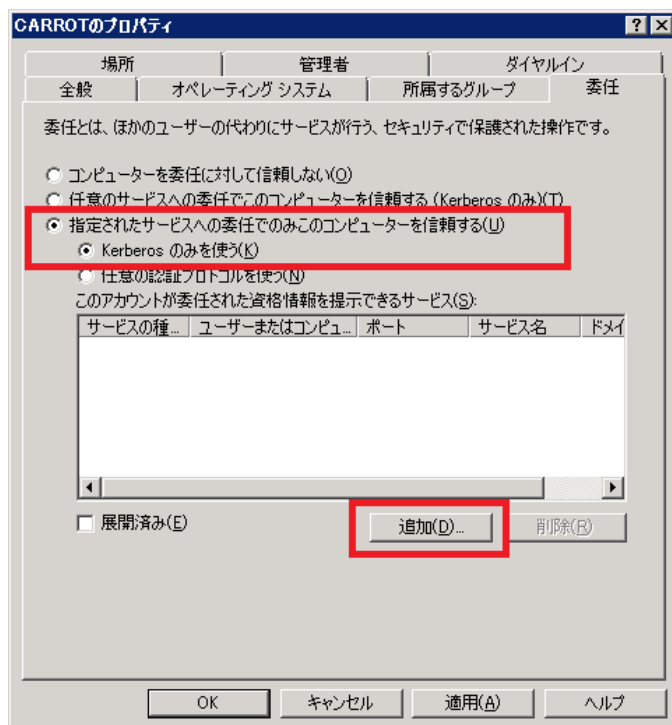
ドキュメントルートが ExaPadサーバー（CARROT）ではなく、リモートのファイルサーバー（KIWI）にある場合、ログインユーザーの代理で CIFS サービスを利用するための委任設定が必要になります。

ドキュメントルートが CARROT のローカルドライブにある場合は、委任設定は不要のためスキップしてください。

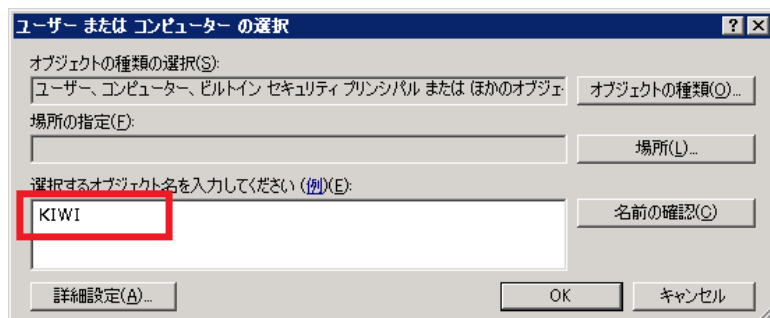
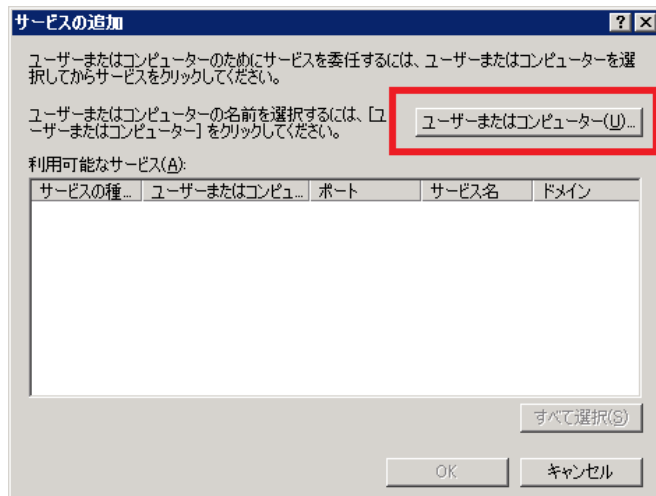
1. Active Directory サーバー（BROCCOLI）に Windowsログインします。
2. サーバーマネージャー > Active Directoryユーザーとコンピューター > ドメイン > Computers > CARROT のプロパティを表示します。



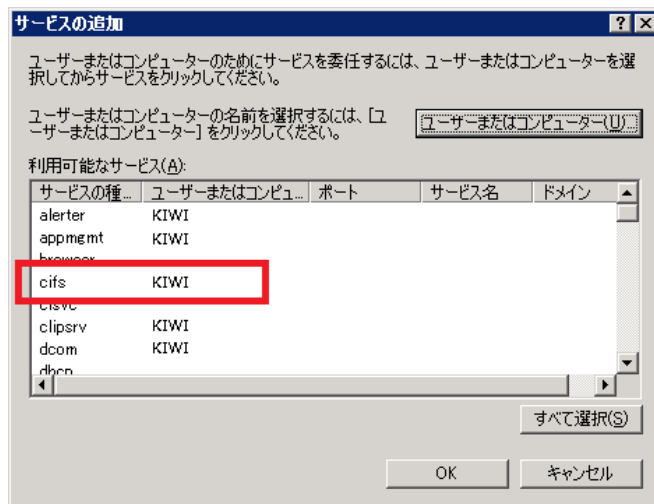
3. 委任タブの「指定されたサービスへの委任でのみこのコンピューターを信頼する」と「Kerberosのみを使う」にチェックを入れて、追加ボタンを選択します。



4. 「ユーザーまたはコンピューター」でファイルサーバー (KIWI) を選択します。



5. 列挙されるサービスの「cifs」を指定しOKボタンを選択します。



6. ExaPadサーバーのOSを再起動します。

注意点

- トキュメントレートが複数あり接続先ホストが異なる場合、それぞれのホストに設定が必要です
- トキュメントレートの設定では、「\\ホスト名\\共有名」の形式で指定します。
- Kerberos の委任設定で使用するコンピュータ名とホスト名を一致させてください。
- ホスト名はIPアドレスやFQDNではなくコンピュータ名(NetBIOS名)で指定してください。

○ トキュメントレートフォルダのパスの入力形式の例示

× \\192.168.0.100\share

\\KIWI\share

○ Kerberos委任設定で入力するExaPadサーバーを信頼するコンピュータ名の入力形式

× 192.168.0.100

× KIWI.teppi.net

KIWI

クライアント設定

対象ブラウザ

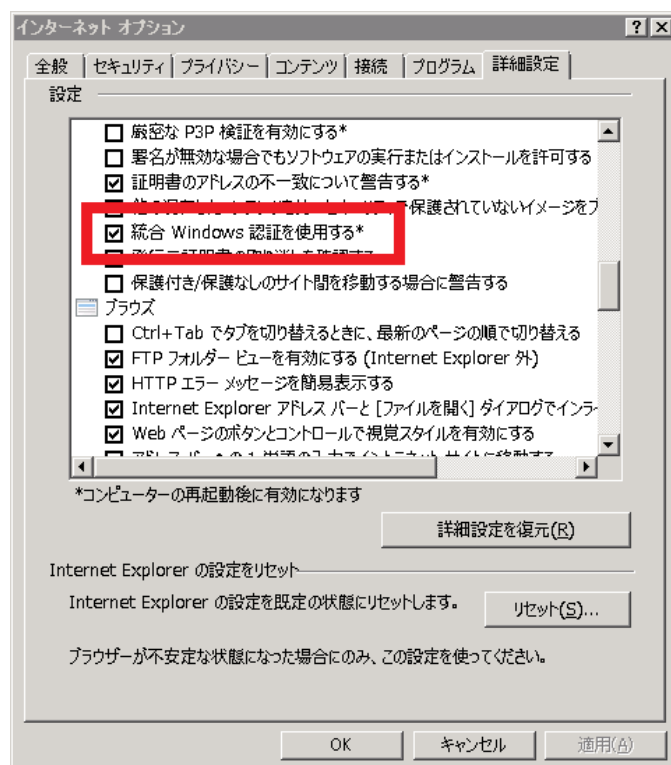
Internet Explorer 11 のみに対応しています。

統合認証の設定を行っても Internet Explorer とは別のブラウザでも使用できます。その場合、通常のログイン操作が必要です。

Internet Explorer の設定

1. Internet Explorer の「統合 Windows 認証を利用する」を有効にします。

- インターネットオプション > 詳細設定 > 統合 Windows 認証を利用する を確認してください。



2. ExaPadサーバー (CARROT) のURL をローカルイントラネットのサイトに追加します。

- コンピュータ名 (NetBIOS 名) で URL を指定している場合、標準 (イントラネットのネットワークを自動で検出するが ON の場合) でローカルイ

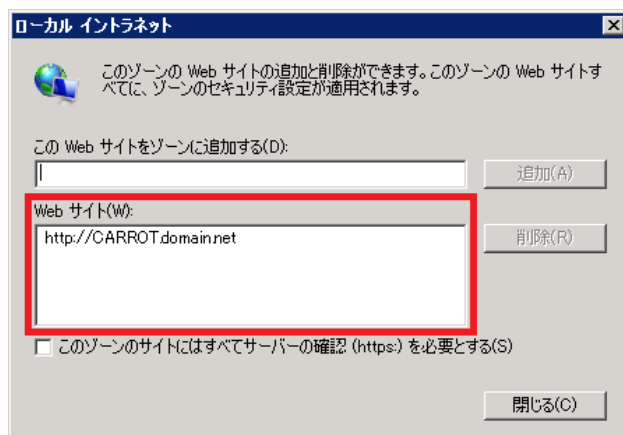
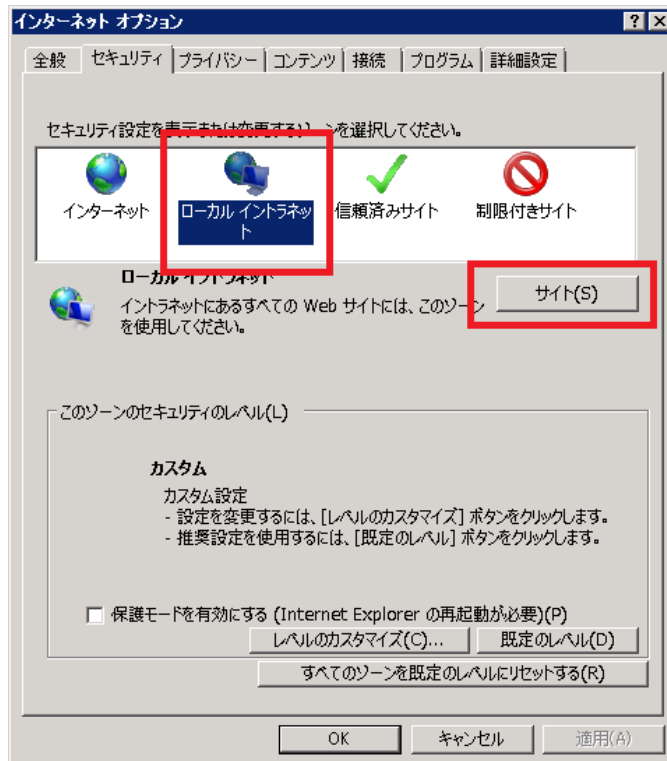
イントラネットに含まれるため設定は不要です。

例) http://CARROT/

- コンピュータ名(NetBIOS名)ではなくドメイン含む形式 (FQDN名) でURLを指定している場合、標準ではローカルイントラネットには含まれていないため、設定が必要です。

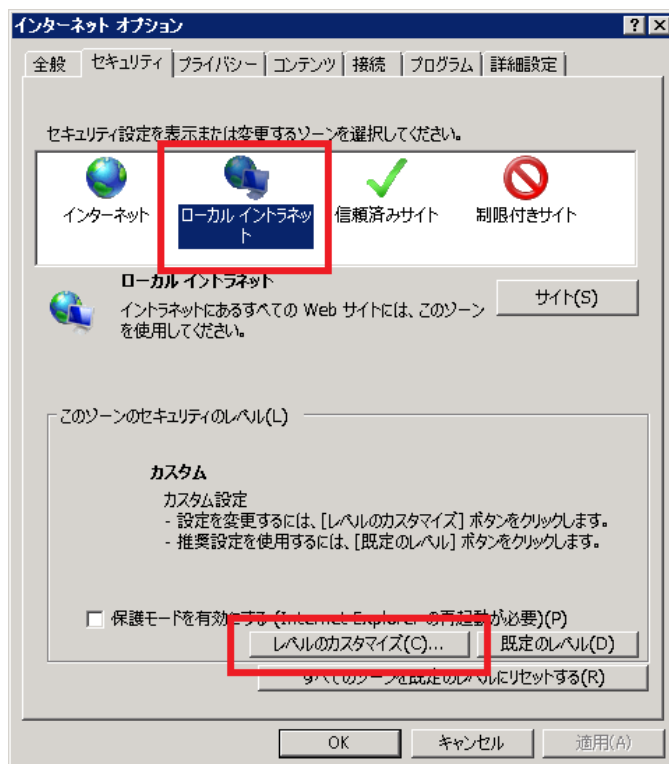
例) http://CARROT.domain.net/

- インターネットオプション > セキュリティ > ローカルイントラネット > サイト > 詳細設定

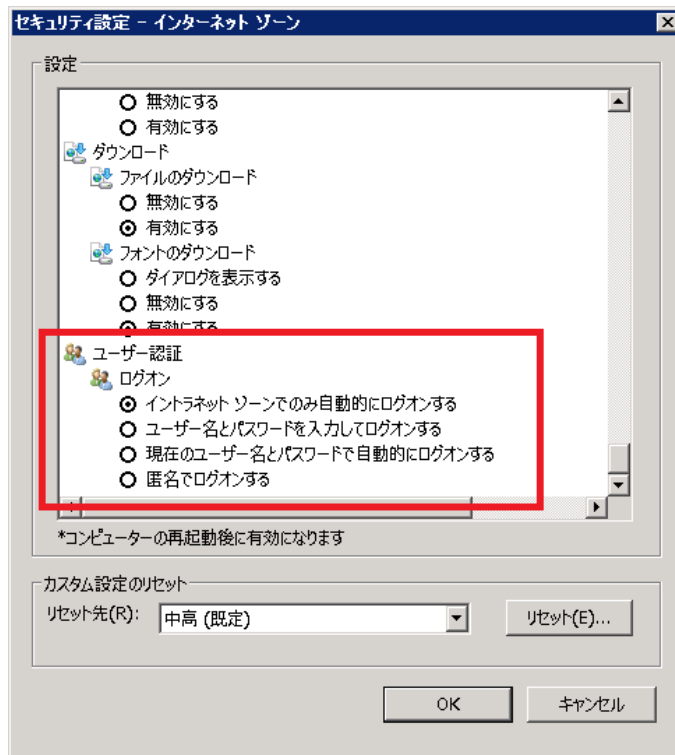


3. ローカルイントラネットのセキュリティレベルにおいてユーザー認証を設定します。

- インターネットオプション > セキュリティ > ローカルイントラネット > レベルのカスタマイズ > ユーザー認証



- ログオン設定において、「イントラネットゾーンでのみ自動的にログオンする」（イントラネットで利用している場合）、または現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする」にチェックを入れます。



注意点

- ExaPadサーバーへアクセスするときに、HTTPプロキシサーバーを経由させないようにしてください。
- ショートカットやブックマークに使用するURLは、http://CARROT/ExaPad/ としてください。
 - http://CARROT/ExaPad/login.php の場合は、必ずログイン画面が表示されてしまいます。
 - /index.php、/adminindex.php、/index.php?path=*** などであれば自動的に統合認証されます。

Internet Explorer以外のブラウザについて

Ver3.9.0以降、弊社サポート対象外とはなりますが、Internet Explorer以外のブラウザからも統合Windows認証機能が使用可能となりました。

弊社で動作の確認が取れたブラウザは以下のようになります（いずれもWindowsOSで稼働することが条件になります）

- Microsoft Internet Explorer 9, 10
- Microsoft Edge
- Google Chrome

- Mozilla Firefox

Internet Explorer以外のブラウザで統合Windows認証するには、ブラウザエージェントを指定する必要があります。

設定 ネットワーク判定ツール

統合Windows認証を利用する際の注意
 外部ファイルサーバの共有フォルダを参照している場合、ファイルサーバのCIFSサービスがFileBlogサーバを信頼するように委任設定が必要です。設定が不足すると、統合認証ログイン時にドキュメントルートフォルダが見えなくなります。(詳しくはマニュアルをご覧ください)

統合Windows認証を利用する Kerberosの制限付き委任におけるネガティブ キャッシュの保存期限(単位:分)

☒ デフォルト(15分) ...

統合Windows認証を許可するクライアントのブラウザユーザーエージェントを正規表現で指定します

msie|trident|(?=Windows).*Chrome

統合Windows認証を許可するクライアントの「IPアドレス範囲（ネットワークIPアドレス／マスクビット数）」

192.168.0.0/24

例えば、Internet Explorer, Microsoft Edgeと Windows版 Google Chrome, Firefoxを対象とした場合は以下のように設定します。

```
msie|trident|(?=Windows).*Chrome|(?=Windows).*Firefox
```

Mozilla Firefoxはデフォルトでは統合Windows認証機能が無効に設定されています。有効にするには以下の設定を行ってください。

Firefox のアドレスバーに "about:config" と入力し、警告を受け入れて詳細設定編集モードにして次の2つの設定を行います。

network.automatic-negotiate-auth.trusted-uris に、ExaPadサーバーのURIを設定します。

network.automatic-negotiate-auth.allow-non-fqdn は

ExaPadサーバーのURIがFQDN形式ならfalse でよいが、

ExaPadサーバーのURIがピリオドを含まない形式ならtrue にします。

統合Windows認証の方式として「NTLM」と「Kerberos」の2つの方式がありますが、ExaPadは「Kerberos」方式を採用しています。

Firefoxの設定画面には「html」関連のエントリがありますが無視してかまいません。

network.automatic-ntlm-auth.trusted-uris

network.automatic-ntlm-auth.allow-non-fqdn

トラブルシューティング

統合認証できない、ログイン画面が表示されてしまう

- システム設定において、「統合Windows認証を利用する」にチェックが入っていますか？
- ExaPadサーバーは再起動しましたか？
- ブラウザは Internet Explorer11 ですか？
- HTTPプロキシサーバーを使用していないですか？

ドキュメントルートが表示されない・ドキュメントルートが1つもありません

- ドキュメントルートにレポートフォルダを登録している場合
 - [ActiveDirectoryサーバーの設定](#)の通り、委任設定は正しく設定されていますか？ドキュメントルートのホスト名と委任設定のコンピュータ名がそろっていることも必要です。
 - 委任設定後にExaPadサーバーのOSを再起動しましたか？
 - 委任設定が正しく設定されていても、レポートフォルダを参照できなくなることがあります。詳しくは[こちら](#)を参照下さい。

Kerberos の制限付き委任におけるネガティブ キャッシュの影響で、ドキュメントルートを表示できない

- 再現条件
 - 参照できないドキュメントルートがレポートフォルダ（ExaPadサーバーのローカルフォルダでない）である
 - ExaPadサーバーがWindows2012以上である
 - クライアントからhttp://192.168.0.10/のようなホスト名やFQDN名ではなくIPアドレス形式のURLでアクセスし統合認証した
- 症状
 - 再現すると、一時的に全てのクライアントからレポートフォルダにアクセスできなくなります。ただし一定時間（デフォルトでは15分）経過すると参照できるようになります。

- 原因
 - Kerberos の制限付き委任におけるネガティブ キャッシュが効いています。
 - <https://blogs.technet.microsoft.com/jpntsblog/2017/06/22/cross-forest-kcd/>
- 解消方法
 - システム設定 > 統合Windows認証 を開きます。
 - 「Kerberosの制限付き委任におけるネガティブ キャッシュの保存期限(単位:分)」を「0」に設定して保存します。
 - ブラウザを再起動し現象をご確認下さい。

ファイルの書き込み系の操作だけができない

ExaPadサーバーのユーザーアカウント制御（UAC）がONの場合に、ドキュメントレートをローカルドライブにあると ExaPadサーバーの Internet Explorerからアクセスすると、アップロードやファイル更新などの書き込み系の操作が行えません。

5.1 SSL設定

5

概要

ExaPadへの接続は、HTTPまたはHTTPSで行います。よりセキュアな通信方式であるHTTPSを利用するためには、WebサーバーにSSLサーバー証明書のインストールが必要です。

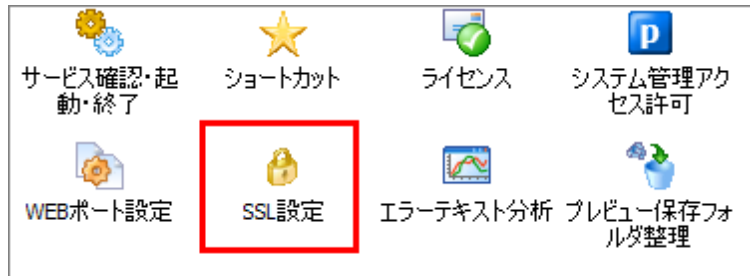
SSLサーバー証明書を入手してインストールする方法は、大きく下記の二つがあります。

1. 証明書発行業者（認証局）に、SSLサーバー証明書の発行を申請して、クレジットカードなどで費用を払って購入する
2. 自己署名証明書を、自分で勝手に作成し、各端末に配布して使う（費用はかかりませんが、端末への証明書配布の手間がかかります。）

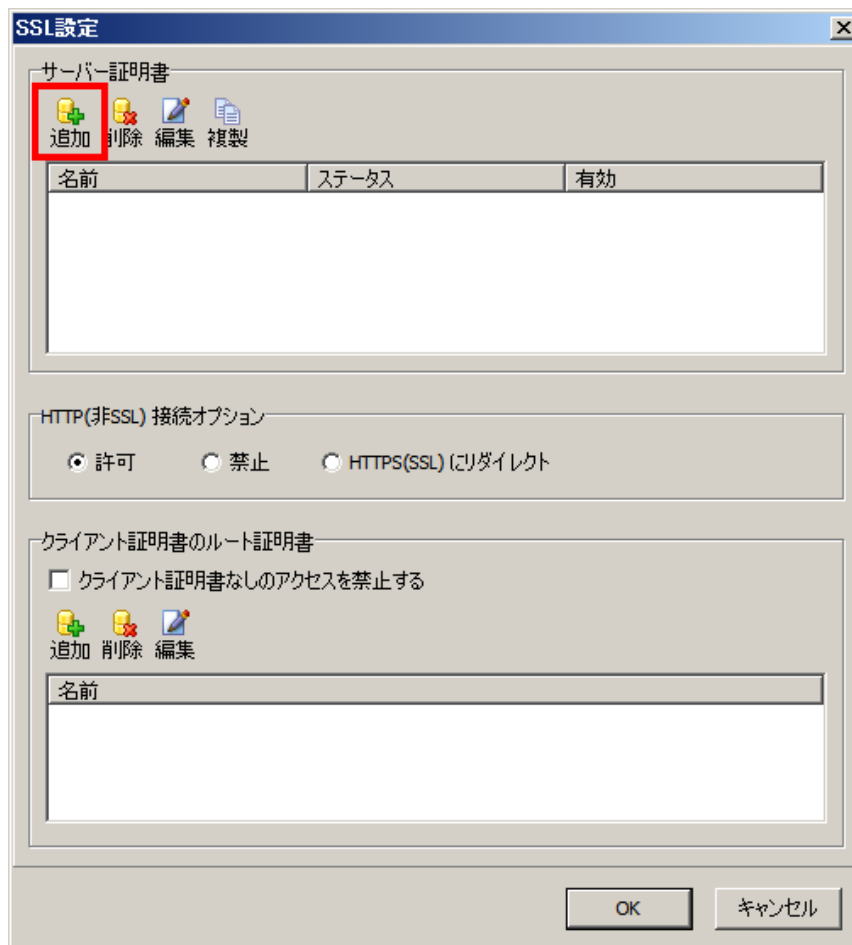
設定（認証局の発行した証明書を使用する場合）

1. サーバー証明書の申請

1. 管理ツール > SSL設定 を開きます。



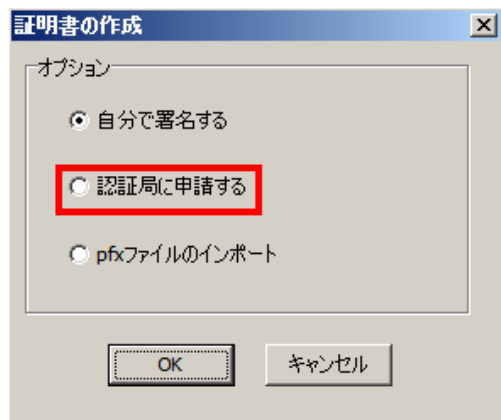
追加」を選択します。



2. 証明書を自分で署名する(自己署名証明書)か、認証局に申請するか選択します。

ここでは「認証局に申請する」が選択された場合の説明です。

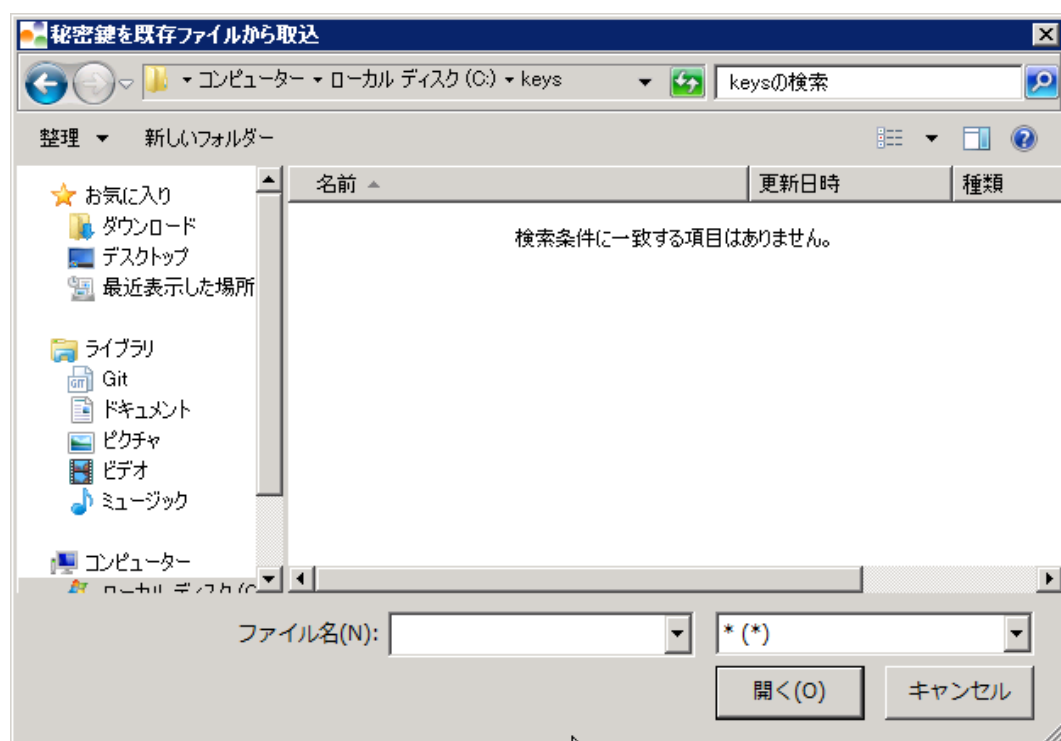
自己署名証明書の場合は[こちら](#)をご覧ください。



3. 項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

既存の秘密鍵をインポートする場合は、「秘密鍵を自動生成する」のチェックを外してください。

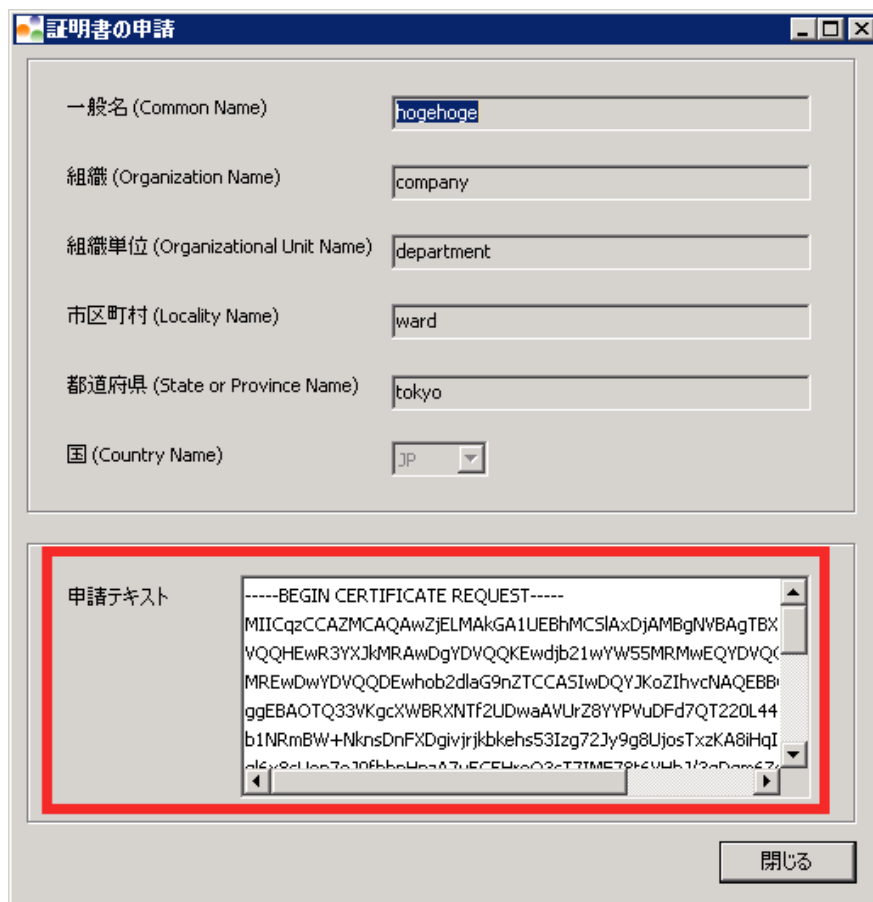
4. 既存の秘密鍵をインポートする場合はここで、秘密鍵を指定してください。



5. SSL証明書発行ベンダー（レジストラ）への証明書発行の申し込みのときに、この申請テキストが必要です。

申請テキストは、あとから管理ツールで再表示できます。

RSA秘密鍵は2048bitで作成されます。



証明書申請

一般名 (Common Name) hoge hoge

組織 (Organization Name) company

組織単位 (Organizational Unit Name) department

市区町村 (Locality Name) ward

都道府県 (State or Province Name) tokyo

国 (Country Name) JP

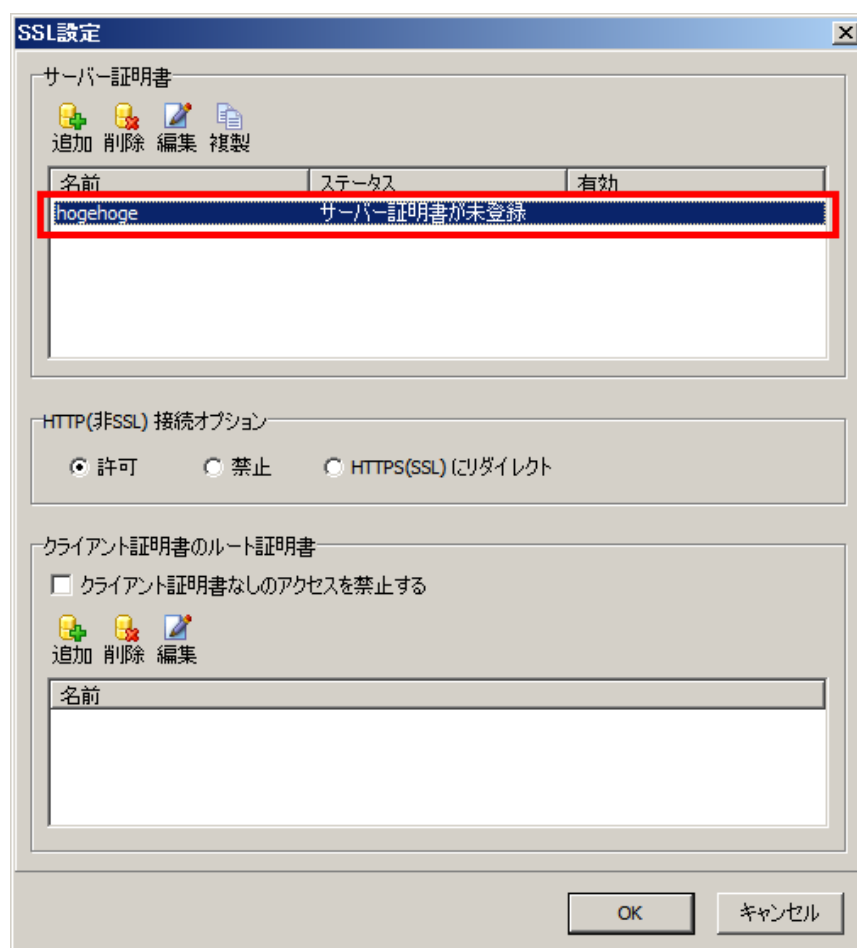
申請テキスト

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIICqzCCAZMCAQAwZjELMAkGA1UEBhMCIAxDjAMBgNVBAgTBX
VQQHEwR3YXJkMRAdBgYDVQKEwdjb21wYW55MRMwEQYDVQK
MREwDwYDVQQDEwhob2dlaG9nZTCCASIwDQYJKoZIhvcNAQEB
ggEBAOTQ33VKgcXWBRXNTf2UDwaAVUrZ8YYPVuDFd7QT220L44
b1NRmBW+NknsDnFXDgivrjkbkehs53Izg72Jy9g8UjosTxzKA8IHqI
c6fy8d1ap7a30fhhcHm-a3u5CEHx03eT7IME78f6Vuh1/3eDm67
-----
```

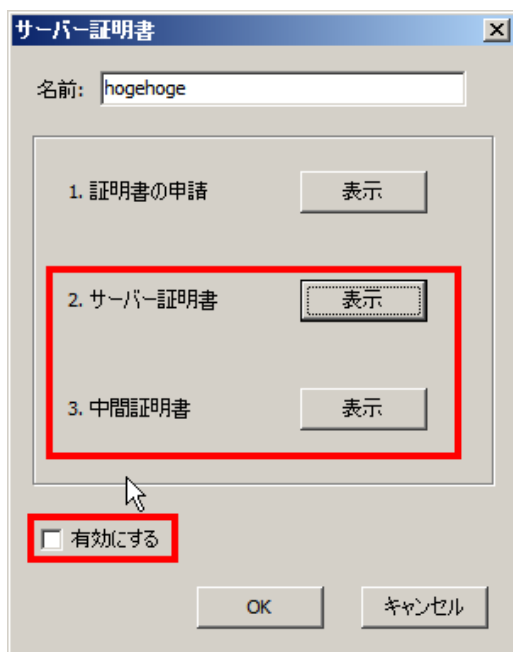
開じる

2. サーバー証明書の登録

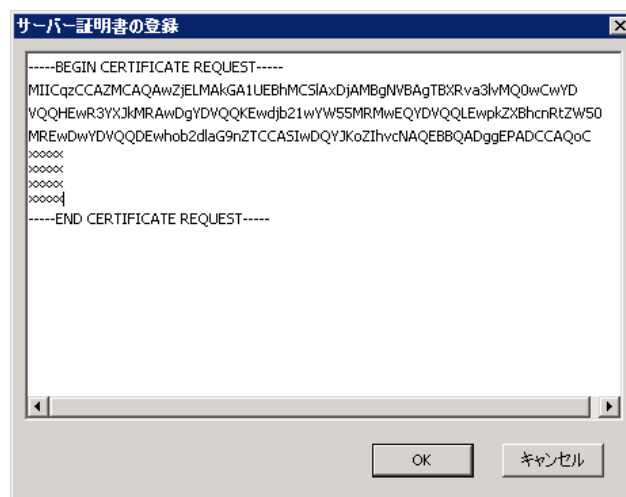
1. レジストラから証明書を受け取り後、登録されたサーバー証明書を選択して証明書内容の登録画面を開きます。



2. 「サーバー証明書」中間証明書」の登録ボタンを選択して証明書内容を入力します。



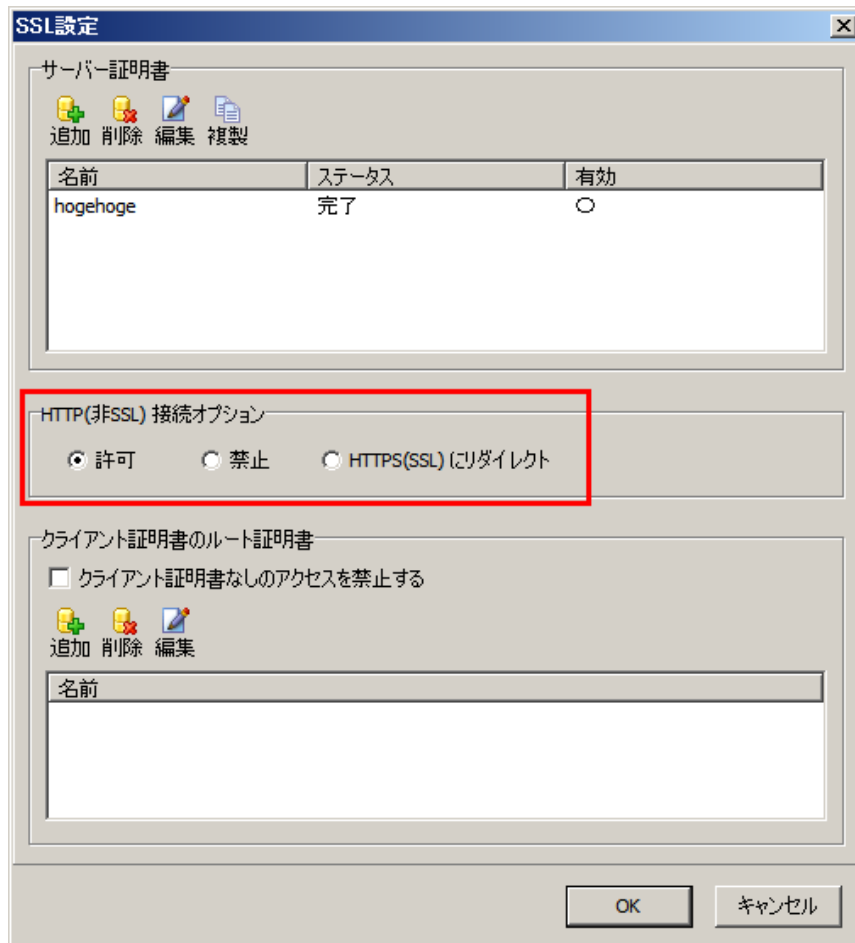
有効にする」にチェックを入れます



3. サービスを再起動する

1. HTTP接続の許可 / 禁止 / リダイレクトを選択します。

通常は `http://SeverName/ExaPad` での接続をできないようにするため、**禁止** か **HTTPS(SSL)にリダイレクト**を選択します。



2. OKをクリックし、WEBサービスを再起動します

4. 接続確認

1. Webブラウザで、https://SeverName/ExaPad にアクセスして接続できるか確認します。
2. HTTP接続を禁止にした場合は念のため、http:// が接続不可になっているか確認してください。

備考

管理ツールで設定した情報は、C:\ProgramData\ExaPad3.0\ssl に保存されています。

5.15. 自己署名証明書の作成

1

概要

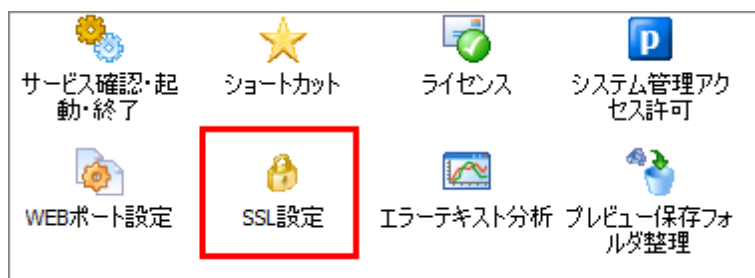
SSL自己署名証明書の作成方法の説明です。

本機能は、ExaPad3.5.1.*より追加されました。

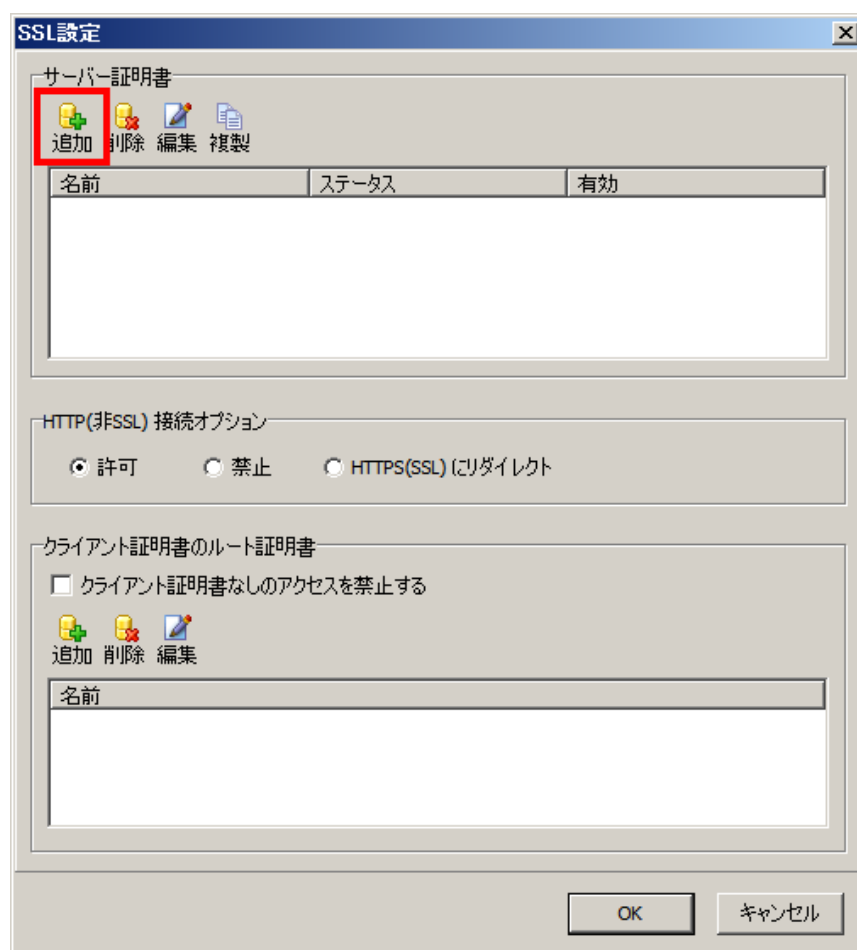
設定

サーバー証明書の申請

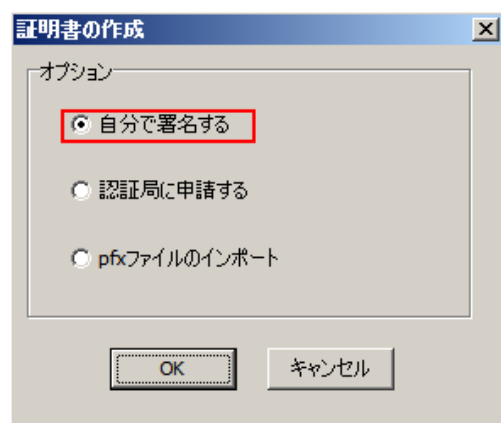
1. 管理ツール > SSL設定 を開きます。



追加」を選択します。



2. 自分で署名するにチェックを入れます。



3. 項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

既存の秘密鍵をインポートする場合は、「秘密鍵を自動生成する」のチェックを外し、「作成」を選択します。



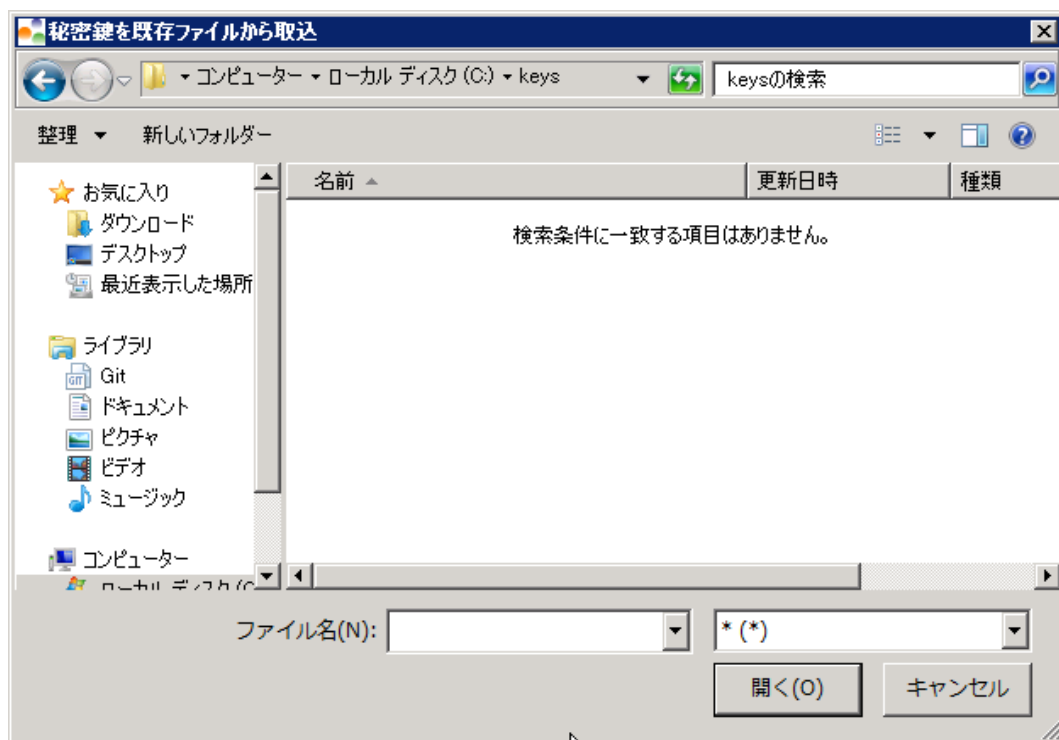
証明書申請 (Certificate Request) dialog box. It contains fields for: 一般名 (Common Name), 組織 (Organization Name), 組織単位 (Organizational Unit Name), 市区町村 (Locality Name), 都道府県 (State or Province Name), 国 (Country Name), and 期限日数 (Validity Period). The 国 field is set to JP and 期限日数 is set to 365. There is a checkbox for 秘密鍵を自動生成する (Generate private key automatically) which is checked. Buttons for 作成 (Create) and 閉じる (Close) are at the bottom right.

| | | |
|---------------------------------|----------------------|--------------------------------------|
| 一般名 (Common Name) | <input type="text"/> | 例. www.kantei.go.jp |
| 組織 (Organization Name) | <input type="text"/> | 例. Cabinet Secretariat |
| 組織単位 (Organizational Unit Name) | <input type="text"/> | 例. Cabinet Public Relations Office-1 |
| 市区町村 (Locality Name) | <input type="text"/> | 例. Chiyoda-ku |
| 都道府県 (State or Province Name) | <input type="text"/> | |
| 国 (Country Name) | JP | 期限日数 365 |

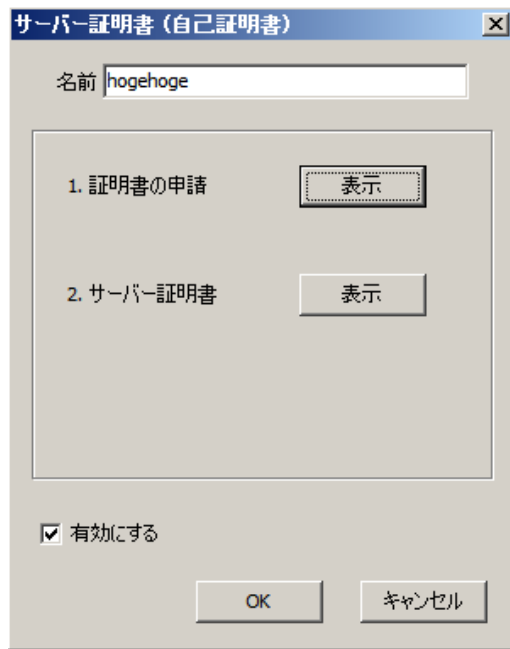
☒ 秘密鍵を自動生成する

作成 閉じる

4. 既存の秘密鍵をインポートする場合はここで、秘密鍵を指定してください。



5. 以上で証明書が作成されます。



作成された証明書を使ってSSL通信する場合は、クライアント側のブラウザに証明書をインポートする必要があります。

5.15. クライアント認証

2

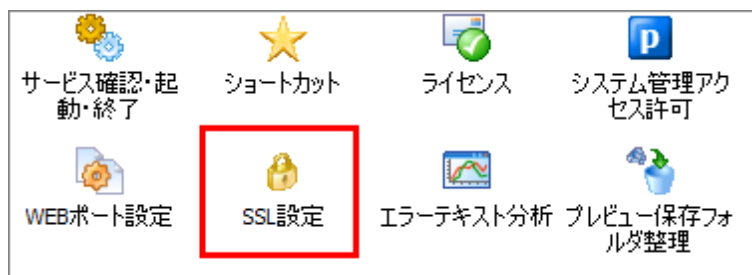
概要

認証局が発行するルート証明書を登録して、クライアント証明書に基づく端末認証 / ユーザー認証が可能です。Windows Active Directory証明局などの外部の認証局が発行した証明書に対応します。

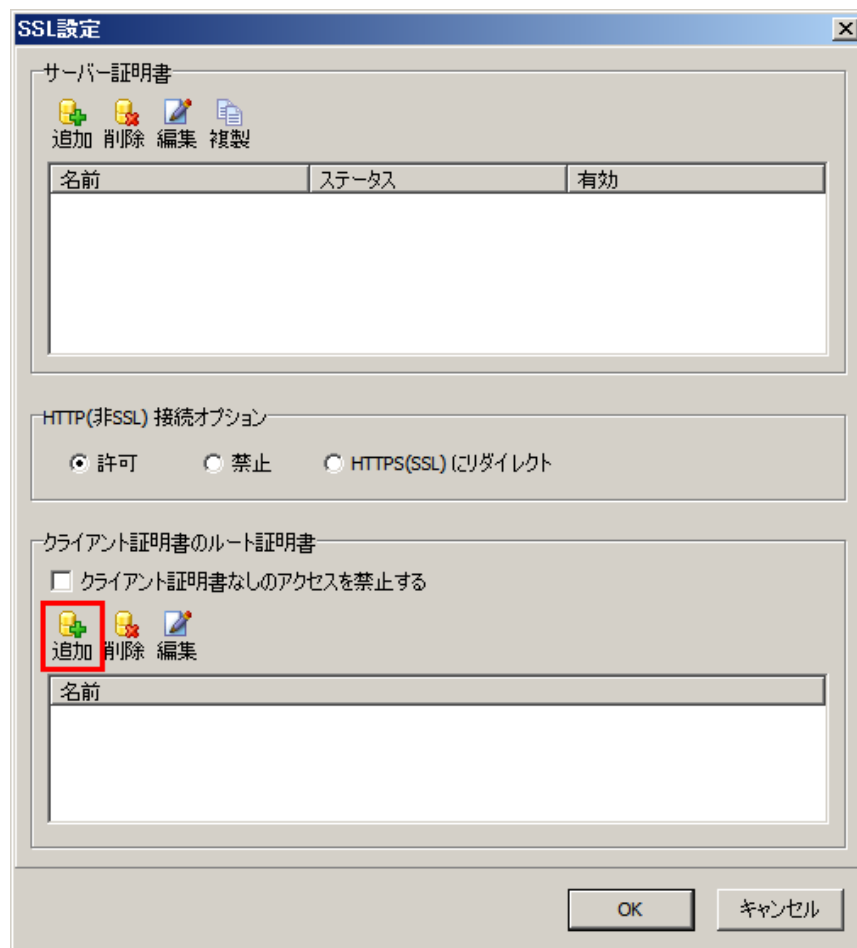
本機能は、ExaPad3.15.0.*より追加されました。

設定

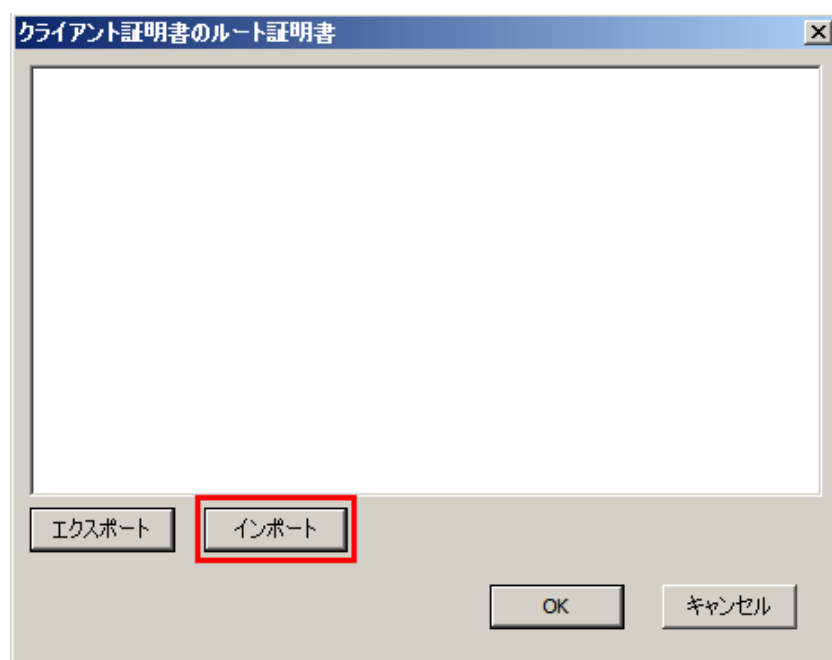
1. 管理ツール > SSL設定 を開きます。



2. クライアント証明書のルート証明書 > 追加 をクリックします。

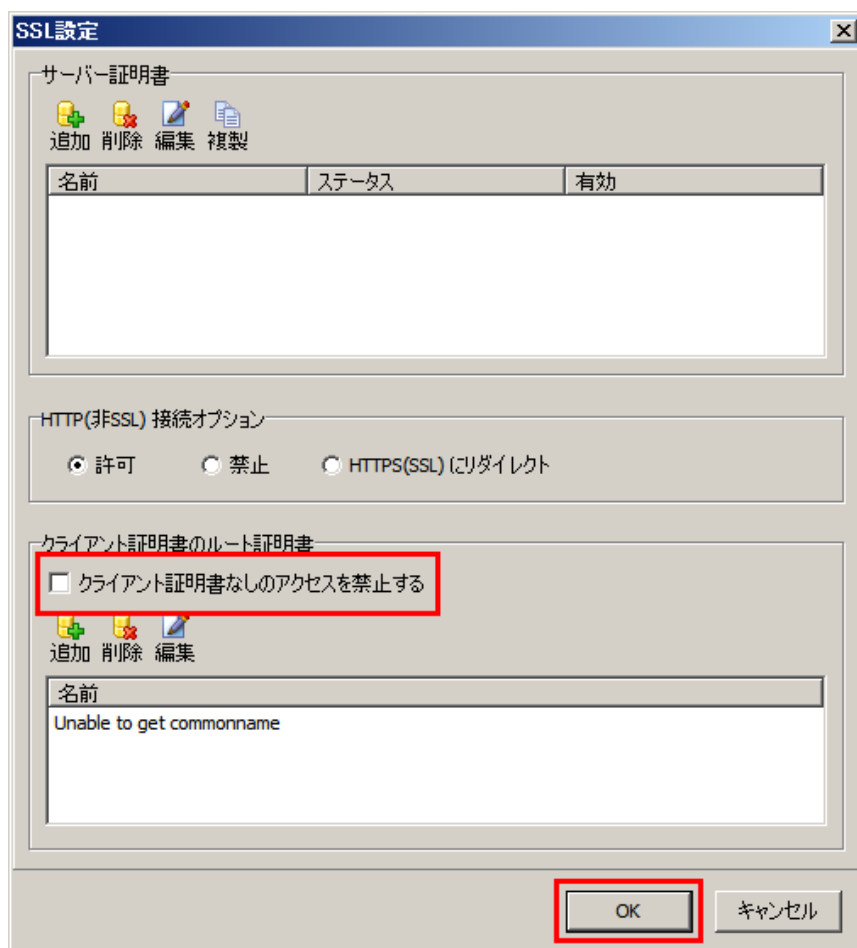


3. インポートをクリックし、証明書ファイルを読み込みます。



4. 「OK」を選択します。

「クライアント証明書なしのアクセスを禁止する」を選択すると、クライアント証明書がなくてもログインできるようになります。



5. WEBサーバーを再起動します

以上でサーバー側の準備は整いました。

証明書をインポートしたクライアント(ブラウザ)で接続できるか確認してください。

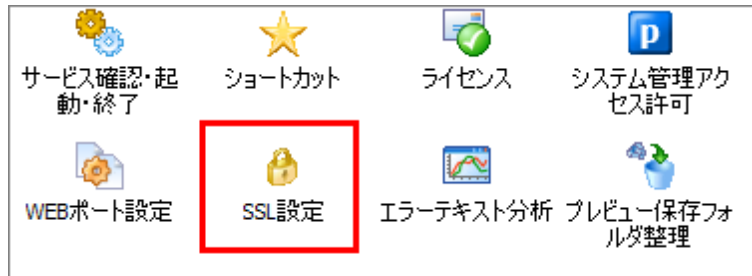
5.15. pxfファイルのインポート 3

概要

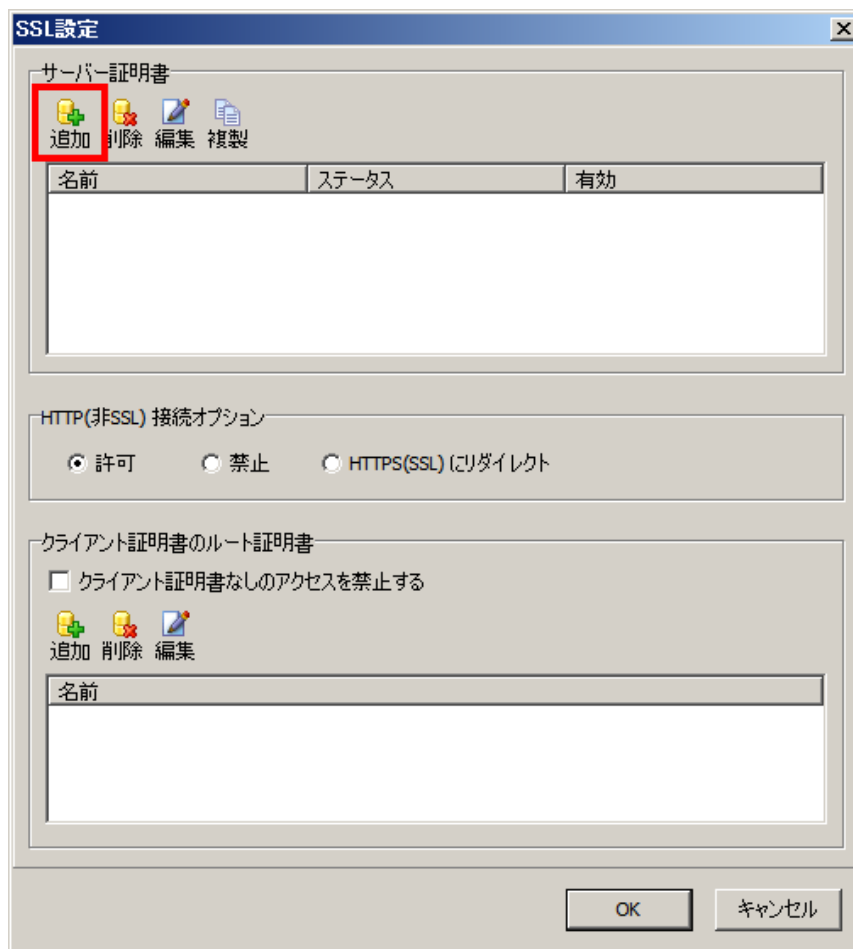
Ver.3.16.0にてpxf形式の証明書のインポートに対応しました。

設定

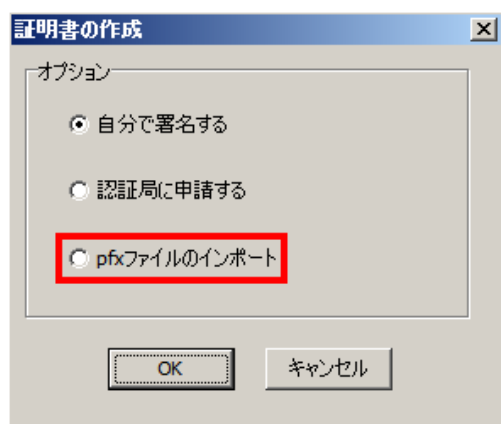
1. 管理ツール > SSL設定 を開きます。



追加」を選択します。



2. pfxファイルのインポートを選択します。



3. pfxファイルを選択します。

5.1 ファイル一覧の並び順を固定する

6

概要

ExaPadVersion 3.7.0から、ファイルの一覧画面における並び順を固定する機能が追加されました。

設定方法

- システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
- 各パラメータを設定します。
- 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行うと設定が反映されます。

パラメータの説明

| パラメータ名 | 意味 |
|------------------------------|---|
| filelist_scan_sortdescending | ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順 |
| filelist_scan_sortfield | ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順フィールドの設定。name,size,date,type のいずれかを指定します。 |

| | |
|--------------------------------|---|
| filelist_scan_sortfix | ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順を固定する設定。OFF = 非固定 |
| filelist_search_sortdescending | ファイル一覧(検索結果)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順 |
| filelist_search_sortfield | ファイル一覧(検索結果)における標準並び順フィールドの設定。name,size,date,typeのいずれかを指定します。 |
| filelist_search_sortfix | ファイル一覧(検索結果)における標準並び順を固定する設定。OFF = 非固定 |

設定例：一覧画面の並び順を更新日時の新しい順に固定する

- filelist_scan_sortdescending: ON
- filelist_scan_sortfield: date
- filelist_scan_sortfix: ON
- filelist_search_sortdescending: ON
- filelist_search_sortfield: date
- filelist_search_sortfix: ON

5.1 標準の表示形式を変更する

7

概要

ExaPadVersion 3.8.0から、ファイルの一覧画面におけるデフォルトの表示形式を変更する機能が追加されました。

表示形式をユーザーが変更した場合はブラウザのCookieに状態が保存されそちらが優先されます

設定方法

- システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
- 各パラメータを設定します。

- 保存する」ボタンを選択し、今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行うと設定が反映されます。

パラメータの説明

| パラメータ名 | 意味 |
|--------------------------------|--|
| filelist_scan_viewwid | ファイル一覧(検索時でない)の標準の表示形式フィールド。thumbnails,card,detailsのいずれかを選択できます。ブラウザ上で最初に表示形式を変更するまでの標準の表示形式です |
| filelist_scan_viewwid_mobile | モバイル端末におけるファイル一覧(検索時でない)の標準の表示形式フィールド |
| filelist_search_viewwid | ファイル一覧(検索時)の標準の表示形式フィールド。thumbnails,card,detailsのいずれかを選択できます。ブラウザ上で最初に表示形式を変更するまでの標準の表示形式です |
| filelist_search_viewwid_mobile | モバイル端末におけるファイル一覧(検索時)の標準の表示形式フィールド |

5.1 タグ・プロパティの自動バックアップ

8

概要

ExaPadのタグは、NTFSファイルシステム（ドキュメントルート上のファイル）の拡張属性として記録されます。NTFSファイルシステムに完全互換のバックアップソフトウェアを使えば、ファイルサーバーのバックアップだけでなく、拡張属性をバックアップすることが可能ですが、非互換のバックアップソフトウェアを使っている場合、拡張属性がバックアップされない可能性があります。

このような場合に備えてExaPad Ver3.16以降では、タグ（NTFSの拡張属性）をバックアップする機能が搭載されています。

仕様

タグのバックアップは、検索インデックスを用いて行われます。検索インデックスに未登録のファイルはタグのバックアップ対象外となりますのでご注意ください。

デフォルトでは以下のような設定になっています。

- バックアップスケジュール

毎週 土曜日のAM2:15にプロパティのバックアップを実施します。

- **バックアップ先**

\$(APPDATA)\property_backup

\$(APPDATA)はデフォルトでは「C:\ProgramData\ExaPad3.0」となります。

- **バックアップファイルの保存期間**

365日

バックアップ設定

バックアップ設定は以下の手順で変更することができます。

- **バックアップスケジュール**

1. システム設定 > タスクスケジューラを開きます。
2. 「プロパティのバックアップ」をクリックし、スケジュールを変更します。

- **バックアップ先**

1. システム設定 > 設定全般(config.ini)を開きます。
2. property_backup_directory にバックアップ先フォルダを指定します。

- **バックアップファイルの保存期間**

1. システム設定 > 設定全般(config.ini)を開きます。
2. property_backup_retention_period_days に保存期間を指定します。-1を指定すると無期限に保存されます。

5.1 開いているファイルを閉じる

9

概要

エラーなどにより、ネットワーク上の共有ファイルが開いたままになっている場合に強制的にリソースを閉じる機能です。

Ver3.16.0以降でご利用可能です。

詳細

人為的またはプログラムのバグなどにより、ネットワーク上のファイル(\\で始まるパスのファイル)が開いたままになってしまった場合に、そのファイルを強制的に閉じることができます。

1. システム設定 > 開いているファイルを開きます。



開いているファイル

2. 閉じるボタンをクリックし、ファイルを閉じます

←

システム設定 ▶ 開いているファイル

絞込

ドキュメントルート: share ▼

パス: ¥¥orange3¥share

| 開いているファイル | アクセス | ロック数 | オープンモード | タスク |
|-------------------|---------------|------|-----------|-----|
| /share/ | administrator | 0 | 読み取り | 閉じる |
| /share/ | administrator | 0 | 読み取り | 閉じる |
| /share/育児・介護.docx | administrator | 0 | 読み取り | 閉じる |
| /share/育児・介護.docx | administrator | 0 | 読み取り,書き込み | 閉じる |

Part

VI

6 API V3 マニュアル

ここではExaPad API Version3 についてご説明いたします。

ExaPad API とは

ExaPad Version3.9.0以降、ファイル操作などの一部の機能をAPIとして公開しています。

ExaPad APIはHTTPプロトコルを介して呼び出せるので、ユーザーはOSや端末を問わず独自のアプリケーションを簡単に構築することができます。

ExaPad API を利用するには別途ライセンスを購入する必要があります。

また、このAPIマニュアルの機能をお求めの場合は弊社サポートまでご相談ください。

API 呼び出しの基本

APIはExaPadサーバが稼働しているホストマシンに対して、以下のようなURLでHTTPリクエストを送信することで実行します。

```
http(s)://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/<APIグループ名>/<API名>
```

例

```
http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
```

各APIは、いくつかの例外を除きHTTPヘッダに以下の2つのフィールドを含める必要があります。

| フィールド名 | 値 |
|---------------|---|
| Authorization | Bearer <アクセストークン> を指定します。<アクセストークン>は /auth/login APIで取得します。 |
| Content-Type | application/json; charset=utf-8 を指定します。 |

リクエストとレスポンスのデータは共にJSON（JavaScript Object Notation）形式で文字コードはUTF8を使用します。

API 呼び出しの流れ

各APIは実行前にExaPadにログインして、アクセストークンを取得しておく必要があります。

以下のサンプルでは、ログイン([/auth/login](#))を実行し、取得したアクセストークンを使ってファイル一覧([/files/list_folder](#))を実行する流れをご説明します。

ログイン

ログインしてアクセストークンを取得します。

リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/login
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  userid: "test",
  password: "pass",
  domain: "ExaPad"
}
```

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "access_token": "CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F"
}
```

access_tokenに<アクセストークン>が格納されています。

ファイル一覧

取得したaccess_tokenを使用して[/files/list_folder](#)を実行します。

リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/"
}
```

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
{
  "entries": [
    {
      "name": "DocRoot",
      "path": "/DocRoot",
      "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "is_dir": true,
      "size": -1
    }
  ]
}
```

/ (トップ) フォルダ内のファイル フォルダー一覧が取得できました。

6.1 更新履歴

こちらではExaPad API Version3 の更新履歴についてお知らせいたします。

2018/11/07 Version3.15.0

各API リクエストに[GET メソッド](#)を利用できるようになりました。

[/auth/login](#) にsso引数が追加されました

2018/03/09 Version3.12.0.16

[/files/view](#) を追加しました。

[/system/status](#) を追加しました。

[/files/list_folder](#), [/files/search](#), [/files/get_metadata](#) において、attributesパラメータに指定できる値(pathcaption)が追加されました。

[/files/search](#) が、ファイル名、種類、日付、サイズ検索に対応しました。

[/files/download_tpi/create](#), [/files/download_tpi/download](#) の仕様が変更されました。従来のリクエストパラメータ レスポンスパラメータで使って呼び出すことができなくなっています。

2017/08/01 Version3.10.0.4

[/files/list_folder](#), [/files/search](#), [/files/get_metadata](#) において、attributes/パラメータに指定できる値(openable, has_thumbnail, page_count)が追加されました。

6.2 リファレンス

/auth APIはユーザー認証に関する機能を提供します。

| API名 | 説明 |
|-------------------------|----------------------------|
| /auth | ユーザー認証に関する機能を提供します。 |
| /files | ファイル操作に関する機能を提供します。 |
| /system | ExaPadのシステム操作に関する機能を提供します。 |

6.2.1 auth

/auth APIはユーザー認証に関する機能を提供します。

| API名 | 説明 |
|-------------------------|---------------------------------|
| /login | ExaPadにログインし、アクセストークンを取得します。 |
| /logout | ExaPadからログアウトし、アクセストークンを無効にします。 |

6.2.1.1 login

ExaPadにログインし、アクセストークンを取得します。

アクセストークンとは

アクセストークンとは、認証済みユーザーを識別するための半角英数32バイトの文字列です。

各APIは[/auth/login](#)で取得したアクセストークンをHTTPヘッダに以下の形式で指定する必要があります。

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

取得したアクセストークンはログアウト([/auth/logout](#))するか、セッションがタイムアウトするまで有効です。

万一、有効なアクセストークンが流出した場合ExaPadに不正アクセスされる危険があります。アクセストークンが不要になった場合は速やかにログアウト([/auth/logout](#))を実行してアクセストークンを無効にしてください。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/login
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  userid: "test",
  password: "pass",
  domain: "ExaPad"
}
```

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|----------|------------|--|
| userid | String, 必須 | ユーザー名を指定します。 |
| password | String, 必須 | パスワードを指定します。 |
| domain | String | ドメイン名を指定します。デフォルトは空です。 |
| sso | Boolean | シングルサインオン用のアクセストークンを取得する場合にTrueをセットします。取得したアクセストークンは <code>http://\$(host)/ExaPad/login.php?sessionid=\$(access_token)</code> のURLをブラウザに開かせることでシングルサインオンできます。ただし、このアクセストークンはAPI呼出しには利用できません。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "access_token": "CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson文字列で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------------|--------|-------------|
| access_token | String | アクセストークンです。 |

エラーレスポンス

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.1.2 logout

ExaPadからログアウトし、アクセストークンを無効にします。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/logout
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

リクエストパラメータ

なし

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson文字列で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------------|
| result | Boolean | リクエストが成功するとtrueが返されます。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2 files

/files APIはファイル操作に関する機能を提供します。

| API 名 | 説明 |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| /list_folder | 指定したフォルダ直下のファイルもしくはフォルダの一覧を取得します。 |
| /search | ファイル/フォルダを検索します。 |
| /get_metadata | ファイル/フォルダの情報を取得します。 |

| | |
|--|-------------------------------------|
| /upload | ファイルをアップロードします。 |
| /upload_session/start | ファイルの分割アップロードを開始します。 |
| /upload_session/append | 分割されたファイルをアップロードします。 |
| /upload_session/finish | ファイルの分割アップロードを終了します。 |
| /download | ファイルをダウンロードします。 |
| /view | ファイルをダウンロードします。 |
| /has_folder | フォルダがサブフォルダを1 つ以上持つか? を調べます。 |
| /create_folder | フォルダを作成します。 |
| /delete | ファイル/フォルダを削除します。 |
| /copy | ファイル/フォルダをコピーします。 |
| /move | ファイル/フォルダを移動します。 |
| /rename | ファイル/フォルダをリネームします。 |
| /setfiletime | ファイル/フォルダの日時を変更します。 |
| /comment/add | コメントを追加します。 |
| /comment/remove | コメントを削除します。 |
| /download_tpi/create | プレビューファイル保存フォルダのダウンロードを準備(zip化)します。 |
| /download_tpi/download | zip化されたプレビューファイルの保存フォルダをダウンロードします。 |
| /get_thumbnail | プレビュー画像をダウンロードします。 |

6.2.2.1 list_folder

指定したフォルダ直下のファイルもしくはフォルダの一覧を取得します。

HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/",
  attributes: "description,is_readonly"
}
```

attributesを指定したサンプル

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|-------------------|------------|--|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス についてはこちらをご覧ください。 |
| mask | String | ファイル、フォルダ名のマスクを指定します。デフォルトは*です。 |
| limit | Integer | 最大取得件数を指定します。デフォルトは100です。 |
| offset | Integer | 取得開始オフセット、先頭から取得する場合0を指定します。デフォルトは0です。 |
| attributes | String | <p>追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。以下で指定する属性名の他、実存する拡張属性名を指定できます。デフォルトは空です。</p> <p>description - 概要 (ExaPad) comment - コメント (ExaPad) physicalpath - フルパス (Windowsパス形式) is_readonly - 読み取り専用かどうか? (NTFS) is_hidden - 隠し属性 (NTFS) is_sysfile - システム属性 (NTFS) is_archive - アーカイブ属性 (NTFS) lastaccesstime - 最終アクセス日時 (NTFS)</p> <p>Ver3.10.0.4 ~ 利用可能 openable - そのファイル/フォルダを開く権限を持っているか? (ExaPad) has_thumbnail - サムネイル画像が生成済みか? ただし生成済みでもopenableでない場合falseが返ります (ExaPad) page_count - ファイルのページ数。プレビュー未作成や作成対象でない場合 -1。ただしプレビュー生成済みでもopenableでない場合 -1が返ります (ExaPad)</p> <p>Ver3.12.0.16 ~ 利用可能 pathcaption - 表示用のパス文字列 (名前を含む) です。pathとname値の連結した後に同じ値ですが、ドキュメントルートエイリアス値の代わりにドキュメントルート表示名が割り当てられます。</p> |
| orderby | String | <p>ソート (昇順) に使用するフィールド名を指定します。以下の値を使用できます。指定しない場合はファイルシステムが返した順番になります。</p> <p>name text strcmplogical size creationtime lastwritetime extension</p> |
| orderbydescending | String | <p>ソート (降順) に使用するフィールド名を指定します。orderbyが指定されていた場合は無視されます。デフォルトはnameです。</p> |

| | | |
|---------------|--------|--|
| orderpriority | String | folder,file,bothのいずれかを指定できます。昇順時においてファイルとフォルダのどちらを上にもってくるかを指定します。bothならば考慮せずファイルとフォルダを混在させます。デフォルトはfolderです。 |
|---------------|--------|--|

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "DocRoot",
      "path": "/DocRoot",
      "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "is_dir": true,
      "size": -1
    }
  ],
  "total_count": 1
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

attributesを指定したレスポンスは以下のようになります。

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "DocRoot",
      "path": "/DocRoot",
      "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "is_dir": true,
      "size": -1,
      "attributes": {
        "description": "これは概要です",
        "is_readonly": false
      }
    }
  ]
}
```

```
] ,  
  "total_count": 1  
}
```

概要が見つからない場合はdescription: nullが返ります。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|---------------|-----------|---|
| entries | 配列 | entry(ファイル、フォルダ情報)の配列です。 |
| name | String | ファイル、フォルダ名です。 |
| path | String | 親フォルダのパスです。 |
| creationtime | Timestamp | 作成日時(ISO8601 形式)です。 |
| lastwritetime | Timestamp | 更新日時(ISO8601 形式)です。 |
| is_dir | Boolean | ディレクトリの場合はtrueが返されます。 |
| size | Integer | ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。 |
| attributes | | リクエスト時にattributesを指定した時にだけ(指定した属性のみ)返されます。 |
| total_count | Integer | ヒットした件数です。entryの数ではなく条件にマッチした総数、この値を上限にlimit,offset値を指定してpagingが可能です。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.2 search

ファイル/フォルダを検索します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/search  
Authorization: Bearer <アクセストークン>  
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{  
  path: "/",  
  query: "keyword"  
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|-------------------|------------|---|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。このフォルダ直下および全子孫フォルダの中から検索します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| query | String, 必須 | 検索文字列。 Ver3.12.0.16 ~ 利用可能 ファイル名、種類、日付、サイズ検索に対応しました。 例えば以下のようにquery値を指定することで、ファイル名、種類、日付、サイズ検索が可能です。 例) あいうえお title:xyz type:word date:today size:10MB- 検索式の仕様は、検索ツールバーのテキストボックスに入力できる書式と同じです。 詳しくは こちら を参照してください。 |
| limit | Integer | 最大取得件数を指定します。デフォルトは100です。 |
| offset | Integer | 取得開始オフセット、先頭から取得する場合0を指定します。デフォルトは0です。 |
| attributes | String | 追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。指定できる属性名については files/list_folder を参照してください。 |
| orderby | String | ソート(昇順)に使用するフィールド名を指定します。以下の値を使用できます。デフォルトはnameです。 name size creationtime lastwritetime extension なお、list_folderと違いsearchではorderbyパラメータはext,strcmplogicalを指定できない仕様になっています。 |
| orderbydescending | String | ソート(降順)に使用するフィールド名を指定します。orderbyが指定されている場合は無視されます。デフォルトはnameです。 |
| utcoffset | Integer | 協定世界時(UTC)との差を単位:分で指定します。サーバーとクライアントのタイムゾーンが一致する場合には指定しなくても正しい検索結果を得られますが、異なる場合には、例えば日本であれば540のように指定してください。ただし、queryに日付条件を含める場合にのみ必要です。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "sample.txt",
      "path": "/DocRoot",
```



```

        "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "is_dir": false,
        "size": 1024
    }
],
"total_count": 1
}

```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|---------------|-----------|---|
| entries | 配列 | entry(ファイル、フォルダ情報)の配列です。 |
| name | String | ファイル、フォルダ名です。 |
| path | String | 親フォルダのパスです。 |
| creationtime | Timestamp | 作成日時(ISO8601 形式)です。 |
| lastwritetime | Timestamp | 更新日時(ISO8601 形式)です。 |
| is_dir | Boolean | ディレクトリの場合はtrueが返されます。 |
| size | Integer | ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。 |
| attributes | | リクエスト時にattributesを指定した時にだけ(指定した属性のみ)返されます。 |
| total_count | Integer | ヒットした件数です。entryの数ではなく条件にマッチした総数、この値を上限にlimit,offset値を指定してpagingが可能です。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.3 get_metadata

ファイル/フォルダの情報を取得します。

HTTP リクエスト

```

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/get_metadata
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------------|------------|---|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス についてはこちらをご覧ください。 |
| attributes | String | 追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。指定できる属性名については files/list_folder を参照してください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "name": "sample.txt",
  "path": "/DocRoot",
  "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
  "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
  "is_dir": false,
  "size": 1024
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|---------------|-----------|--|
| name | String | ファイル、フォルダ名です。 |
| path | String | 親フォルダのパスです。 |
| creationtime | Timestamp | 作成日時(ISO8601 形式)です。 |
| lastwritetime | Timestamp | 更新日時(ISO8601 形式)です。 |
| is_dir | Boolean | ディレクトリの場合はtrueが返されます。 |
| size | Integer | ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。 |
| attributes | | attributesを指定した場合にdescription, comment, physicalpathが設定されます。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.4 upload

ファイルをアップロードします。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルとパラメータを送信してください。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

< ファイルボディ >

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path:"/DocRoot/sample.txt", mode:"add"}

-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は"parameters"を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は"file"を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | アップロード先のファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| mode | String | 同名ファイルが存在した場合の動作を指定します。addが指定された場合に、既存ファイルがあると上書きを失敗させます。overwriteは上書きします。デフォルトはaddです。 |

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は"parameters"としてください。またContent-

Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

modeパラメータにaddもしくはoverwrite以外の値が指定されました

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/upload\": \"parameters\" in multipart/form: unsupported mode (allowed=add,overwrite)"
  }
}
```

addもしくはoverwriteを指定してください。

0バイトのファイルをアップロードしようとしています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "0KB のファイルはアップロードできません (/DocRoot/bbb5.txt)"
  }
}
```

```
}
```

1バイト以上のファイルをアップロードしてください。

同名ファイルが存在しています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "同じ名前のファイルが既に存在しています。削除してからアップロードしてください (/DocRoot /
sample.txt)"
  }
}
```

アップロード先に同名ファイルが存在しました。（削除してからアップロードするか、modeにoverwriteを指定して上書きすることもできます）

アップロードサイズ上限を超えています

```
HTTP/1.1 413 Request Entity Too Large
{
  "error": {
    "message": "Request Entity Too Large"
  }
}
```

アップロードするファイルのサイズが設定上限を超えています。システム設定のupload_max_filesize_kbを確認してください。

ディスクに空き領域がありません

```
{
  "error": {
    "message": "ディスクに十分な空き領域がありません。 (112) (/DocRoot/sample.zip)"
  }
}
```

ディスクに空き領域がないためアップロードに失敗しています。

アップロードを許可されていないファイル種類です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "これらの拡張子以外のファイルはアップロードできません (exe) (/DocRoot/sample.exe)"
  }
}
```

アップロードするファイルの拡張子が設定で許可されていません。システム設定のuploadable_extlistを確認してください。

ファイル本体部の(file)パートが見つかりません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/upload\": \"parameters\" in multipart/form: missing required field \"file\" in multipart/formdata."
  }
}
```

ファイル本体部のデータ名は"file"を指定してください。

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.5 upload_session/start

ファイルの分割アップロードを開始します。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルの先頭とパラメータを送信してください。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/start
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

<ファイルボディ>

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{path: "/DocRoot/sample.txt", mode: "add"}
-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | アップロード先のファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| mode | String | 同名ファイルが存在した場合の動作を指定します。addが指定された場合に、既存ファイルがあると上書きを失敗させます。overwriteは上書きします。デフォルトはaddです。 |

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。またContent-Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "session_id": "61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|------------|--------|---|
| session_id | String | アップロードセッションIDです。このIDを続く append, finishに指定します。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.6 upload_session/append

分割されたファイルを追加します。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルの途中部分とパラメータを送信してください。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/append
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

< ファイルボディ >

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path: "/DocRoot/sample.txt", session_id: "61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E", offset: 1024}

-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------------|-------------|---|
| path | String, 必須 | アップロード先のファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| session_id | String, 必須 | /files/upload_session/start で取得したアップロードセッションIDを指定します。 |
| offset | Integer, 必須 | ファイルの書き込み位置を指定します。前回までのアップロードが成功しているかのチェックに使用されます。それまでに書き込まれたファイルサイズと等しくなるよう指定してください。 |

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。またContent-Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result":true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------------|
| result | Boolean | アップロードに成功するとtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.7 upload_session/finish

ファイルの分割アップロードを終了します。

multipart/form-data形式でアップロードした、1ファイルの最後尾とパラメータを送信してください。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/finish
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

<ファイルボディ>
-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path:"/DocRoot/sample.txt", session_id:"61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E",offset:534773760}
```

```
-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------------|-------------|--|
| path | String, 必須 | アップロード先のファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| session_id | String, 必須 | /files/upload_session/start で取得したアップロードセッションIDを指定します。 |
| offset | Integer, 必須 | ファイルの書き込み位置を指定します。前回までのアップロードが成功しているかのチェックに使用されます。それまでに書き込まれたファイルサイズと等しなるよう指定してください。 |

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。またContent-Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにJson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------------|
| result | Boolean | アップロードが成功するとtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.8 download

ファイルをダウンロードします。フォルダのダウンロードには対応していません。

[/files/view](#) apiとの違いは、レスポンスヘッダーのContent-Disposition, Content-Type値だけです。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | ファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
Content-Disposition=attachment
```

```
Content-Type=application/force-download
```

```
< ファイル本文 >
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにファイル本体が返されます。

レスポンスパラメータ

なし。

エラーレスポンス

pathに指定されたファイルが見つかりません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (2) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルが存在しません。値を確認してください。

pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません。

フォルダのダウンロードはできません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "You can not download a folder (/DocRoot/subDir)"
  }
}
```

pathにフォルダパスが指定されています。

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.9 view

ファイルをダウンロードします。フォルダのダウンロードには対応していません。

</files/download> apiとの違いは、レスポンスヘッダーのContent-Disposition, Content-Type値だけです。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/view
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | ファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
Content-Disposition:inline
```

```
Content-Type=$(ファイルの拡張子から判断したファイルのMimeType)
```

```
<ファイル本文>
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにファイル本体が返されます。

レスポンスパラメータ

なし。

エラーレスポンス

pathに指定されたファイルが見つかりません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
```

```
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (2) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルが存在しません。値を確認してください。

pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません。

フォルダのダウンロードはできません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "You can not download a folder (/DocRoot/subDir)"
  }
}
```

pathにフォルダパスが指定されています。

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.10 has_folder

フォルダがサブフォルダを1つ以上持つかを調べます。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/has_folder
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "has_folder": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|------------|---------|--------------------------|
| has_fodler | boolean | サブフォルダが存在した場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.11 create_folder

フォルダを作成します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/create_folder
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.12 delete

ファイル/フォルダを削除します。フォルダを指定した場合は空でなければ削除できません。

HTTP リクエスト


```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/delete
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|---|
| path | String, 必須 | ファイル/フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.13 copy

ファイル/フォルダをコピーします。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/copy
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  to_path: "/DocRoot/sample_copied.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|---------|------------|--|
| path | String, 必須 | コピー元のファイル/フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| to_path | String, 必須 | コピー先のパスを指定します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.14 move

ファイル/フォルダを移動します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/move
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  to_path: "/DocRoot/sample_moved.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|---------|------------|---|
| path | String, 必須 | 移動元のファイル/フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| to_path | String, 必須 | 移動先のパスを指定します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにJson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.15 rename

ファイル/フォルダの名前を変更します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/rename
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  name: "sample_renamed.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|---|
| path | String, 必須 | 変更元のファイル/フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| name | String, 必須 | 変更後の名前を指定します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.16 setfiletime

ファイル/フォルダの日時を変更します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/setfiletime
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  lastwritetime: "2000-01-01T00:00:00.000Z"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|----------------|------------|--|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| creationtime | Timestamp | 作成日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。 |
| lastwritetime | Timestamp | 更新日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。 |
| lastaccesstime | Timestamp | 作成日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにJson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.17 comment/add

コメントを追加します。

HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/comment/add

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  comment: "コメントです"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|---------|------------|--|
| path | String, 必須 | フォルダのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| comment | String, 必須 | コメントの本文を指定します。 |

レスポンス

HTTP/1.1 200 OK

```
{
  "comment": {
    "userid": "user",
```

```
"lastwritetime": "2017-04-17T10:46:58.820Z",
"comment": "コメントです"
}
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|---------------|--------|---------------------------------|
| userid | String | 成功の場合はtrueが返ります。 |
| lastwritetime | String | コメントを追加した日時がISO8601形式の文字列で返ります。 |
| comment | String | 追加したコメントが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.18 comment/remove

コメントを削除します。

ExaPad管理者でない場合は他人の追加したコメントは削除できません。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/comment/remove
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  "userid": "user",
  "lastwritetime": "2017-04-17T10:46:58.820Z"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|---------------|------------|---|
| path | String, 必須 | ファイル/フォルダのパスを指定します。 パス についてはこちらをご覧ください。posted,useridが省略された場合は全てのコメントが削除されます。 |
| lastwritetime | String, 必須 | 特定のコメントを削除する場合にコメント日付を指定します。ISO8601形式の日付文字列を指定してください。ExaPad管理者の場合は省略できます。その場合は全てのコメントが削除されます。 |
| userid | String, 必須 | lastwritetimeとセットでコメントユーザー名を指定します。ExaPad管理者の場合は省略できます。その場合は全てのコメントが削除されます。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  result:true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|---------|------------------|
| result | Boolean | 成功の場合はtrueが返ります。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.19 download_tpi/create

プレビューファイル保存フォルダのダウンロードの準備をします(Zipアーカイブ化のキューを登録する)。実際のダウンロードは[download_tpi/download](#)で行います。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download_tpi/create
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```



```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|---|
| path | String, 必須 | プレビューファイル保存フォルダをダウンロードしたいファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "fileid": "636657408"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------|--------|--|
| fileid | String | ダウンロード用に発行されたfileの一時IDです。この値を files/download_tpi/download に渡します。 |

エラーレスポンス

tpi (プレビュー) が未作成です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "tpi not found (/DocRoot/.tpi/sample.txt)"
  }
}
```

このAPIは作成済みのtpi（プレビュー）をip化しますが、プレビュー未作成のファイルに対してプレビューを作成しません。プレビュー未作成のファイルの対してこのAPIを実行すると上記のようにエラーが返ります。

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.20 download_tpi/download

[download_tpi/create](#)によってzip化されたプレビューファイルの保存フォルダをダウンロードします。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download_tpi/download
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  fileid: "636657408"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|--------|------------|---|
| path | String, 必須 | プレビューファイル保存フォルダをダウンロードしたいファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| fileid | String, 必須 | download_tpi/create で取得したfileidを指定します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
<Zip化されたpiフォルダ>
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにzip化されたpiフォルダが返されます。

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.2.21 get_thumbnail

プレビュー画像をダウンロードします。

まだ作成されていないプレビューファイルや、プレビュー作成対象外のファイルはダウンロードできません。

HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/get_thumbnail

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | ファイルのパスを指定します。 パス については こちら をご覧ください。 |
| type | String | ダウンロードするプレビューのタイプ(s,m,l,p)を指定します。デフォルトはsです。 s - プレビュー作成設定のサムネイル ありの場合に出力される画像。 m - プレビュー作成設定の標準プレビュー ありの場合に出力される画像。 l - プレビュー作成設定の拡大プレビュー ありの場合に出力される画像。縦横比維持で、長辺の最大サイズがpreview_l_size(既定値=640px) p - プレビュー作成設定の拡大プレビュー ありの場合に出力される画像。縦横比維持で、長辺の最大サイズがpreview_p_size(既定値=1440px) |
| page | Integer | ダウンロードするプレビューのページを指定します。デフォルトは1です。 |

レスポンス

HTTP/1.1 200 OK
<プレビュー画像本文>

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにプレビュー画像が返されます。

レスポンスパラメータ

なし。

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.3 system

/system APIはExaPadのシステム操作に関する機能を提供します。

| API名 | 説明 |
|----------------------------------|---------------------------------|
| /get_resource | resource フォルダ以下のファイルをダウンロードします。 |
| /check_async_job | 非同期処理の結果もしくは進捗を取得します。 |
| /status | バージョン番号やドメイン設定などの稼働状況を取得します。 |

6.2.3.1 get_resource

resource フォルダ以下のファイルをダウンロードします。(resource フォルダは設定値["resource_dir"]にて変更可能です。デフォルトでは [APPDATA]ExaPad3.0resourceが設定されます。)

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/get_resource
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|------|------------|--|
| path | String, 必須 | resource フォルダ以下のファイルパスを指定します。'subdir/sample.txt'のように resource フォルダからの相対パスで表記します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
< ファイル本体 >
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスファイルの本体が返されます。

レスポンスパラメータ

なし。

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.3.2 check_async_job

非同期処理の結果もしくは進捗を取得します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/check_async_job
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  async_job_id: "362F0DB245384E88BAAF3E471C56BEE8"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

| 名前 | 型 | 説明 |
|--------------|------------|--------------------------------|
| async_job_id | String, 必須 | 各非同期処理で取得したasync_job_idを指定します。 |

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
```

```
"job_response": {  
    "tempfileid": 962370710  
},  
"status": "done"  
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|--------------|--------|---|
| job_response | String | 各非同期処理の結果もしくは進捗がセットされます。内容はジョブによって異なります。 |
| status | String | done,running,idle,aborted,のいずれかがセットされます。それぞれ、処理完了、処理中、処理開始待ち、中断を表します。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.2.3.3 status

バージョン番号やドメイン設定などの稼働状況を取得します。

HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/status
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

リクエストパラメータ

なし

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK  
{  
    "time": "2017-12-28T00:22:19.843Z",
```

```
{
  "Version": "3.9.0.5",
  "domains": ["BROCCOLI","TEPPI"]
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスファイルの本体が返されます。

レスポンスパラメータ

| 名前 | 値 | 説明 |
|---------|-----------------|---|
| time | String | サーバーの現在時刻 |
| version | string | ExaPadのバージョン番号 |
| domains | array of string | システム設定>設定全般(config.ini)のwindows_domainに設定されているドメイン名の一覧です。ただし、設定されている値が .(ピリオド) の場合、サーバーのコンピュータ名に置換されます。 |

エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

6.3 パラメータの指定方法について

1. RequestBodyにJson文字列を指定する方法（推奨）

- METHODをPOSTとし、Content-Typeをapplication/json; charset=utf-8として、RequestBodyにJson形式の文字列を指定する方式です。
- RequestBodyに指定できる文字数に制限はありませんので、ファイルパスが長くなった場合でも制限にかかることなく呼出しが可能な方式で、最も推奨されるやり方です。

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/"
}
```

2. "arg" URL ParameterにURLEncodeされたJson文字列を指定する方法

- METHODをGETとして、"arg" という名前のUrlエンコードされたJson文字列 (UTF8) を指定する方式です。
- HTTP Range Requestを送信しない (動画再生など) 場合など METHODとしてGETしか使えない場合に有効です。
- ただし、利用するHTTPクライアントの仕様によっては、URLの文字数上限を超える大きなサイズのパラメータを指定できない可能性があります。

```
GET http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder?arg=%7B%0D%0A%09path%3A%22%2F%22%0D%0A%7D
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

6.4 ファイルシステムパス (パス) について

ファイルシステムパスとは

ファイルシステムパス (パス) とはExaPad上でファイルやフォルダの所在を示す文字列です。

区切り記号には半角スラッシュ(/)が使用され、以下の形式で表記されます。

```
/エイリアス名 /ドキュメントルートフォルダからの相対パス
```

例えば

```
ドキュメントルートフォルダ = C:\Share
エイリアス名 = DocRoot
```

である場合に

```
C:\Share\subFolder\sample.txt
```

は以下のように表記します。

```
/DocRoot/subFolder/sample.txt
```

トップについて

各ドキュメントルートフォルダの上には"トップ"と呼ばれる共通の仮想フォルダが存在します。

トップのファイルシステムパスは

```
/
```

で表します。

/files/list_folder APIのpathに/(トップ)を指定すると、ドキュメントレートの一覧を取得することができます。

6.5 エラーについて

エラーレスポンスの形式

API実行時にエラーが発生すると以下のようなレスポンスが返ります。

```
HTTP/1.1 4XX エラータイプ
{
  "error": {
    "message": "エラー内容"
  }
}
```

各API 共通のエラーレスポンス

ここでは各APIで共通して発生するエラーについてご説明します。

URLが間違っています

```
HTTP/1.1 404 Page Not Found
{
  "result": false,
  "exception": "Page Not Found",
  "exceptiontype": "EPageOrActionNotFoundException"
}
```

URLが以下のようになっているか確認してください。

http(s)://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/<APIグループ名>/<API名>

HTTPメソッドが間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Your request's HTTP request method is \"GET\". This function only accepts the
HTTP request method \"POST\"."
  }
}
```

GETではなくPOSTを指定してください。

API 名が間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Unknown API function: file/list_folder"
  }
}
```

/file/list_folderではなくfiles/list_folderに修正します。

認証に失敗しました (Authorizationの指定がない)

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized
{
  "error": {
    "message": "Must provide HTTP header \"Authorization\"."
  }
}
```

HTTPヘッダにAuthorizationフィールドが見つかりません。

Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F のように指定してください。

認証に失敗しました (Authorizationの間違い)

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized
{
  "error": {
    "message": "Invalid authorization value in HTTP header \"Authorization\":"
  }
}
```

```
\\"CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F\\". Expecting \\"Bearer <access_token>\\\"."
  }
}
```

HTTPヘッダのAuthorizationフィールドの値が正しく指定されていません。

Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F のように指定してください。

認証に失敗しました（その他）

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized
{
  "error": {
    "message": "Invalid access token."
  }
}
```

以下の理由が考えられます。

- セッションがタイムアウトした。
- アクセストークンの指定方法が間違っている。指定方法については[こちら](#)をご確認ください。

Content-Typeが間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \\"files/list_folder\\": Bad HTTP \\"Content-Type\\" header: \\"text/plain;charset=UTF-8\\". Expecting one of \\"application/json\\", \\"application/json; charset=utf-8\\"."
  }
}
```

application/jsonを指定します。

リクエスト本文が指定されていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \\"files/list_folder\\": This function requires its argument
```

```
in the HTTP request body, but your request body is empty."
```

```
    }  
}
```

本文をjson形式で指定します。

リクエスト時の本文がjson形式になっていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
```

```
{  
  "error": {  
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: could not decode  
input as JSON."  
  }  
}
```

本文をjson形式で指定します。

必須パラメータが指定されていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
```

```
{  
  "error": {  
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: missing required field  
\"path\"."  
  }  
}
```

パラメータを指定してください。もしくはpathの綴りが間違っていないか確認してください。

パラメータの値が空になっています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
```

```
{  
  "error": {  
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: empty value on \"path\" field is  
not allowed"  
  }  
}
```

値を設定してください。

パラメータ名が間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: unknown field \"limit\"
  }
}
```

パラメータ名を確認してください。（ここではlimitのスペルが間違っています）

pathに指定されたファイル/フォルダが見つかりません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (3) (/DocRoot/aaa)"
  }
}
```

pathに指定されたファイル・フォルダが存在しません。値を確認してください。

Windowsセキュリティの読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 403 Access Denied
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/win_security/cannotRead)"
  }
}
```

pathに指定したフォルダのWindowsセキュリティの読み取り権限がありません。

ExaPadセキュリティの読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 403 Access Denied (securityconfig)
```

```
{
  "error": {
    "message": "読み取り権限が不足しています (ExaPadセキュリティ設定が原因です) (/DocRoot/fb_security/cannotRead)"
  }
}
```

pathは指定したフォルダのExaPadセキュリティの読み取り権限がありません。

ドキュメント外です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "ルートフォルダ外です (/sample/sample.txt)"
  }
}
```

指定したパスがドキュメント外です。パスの表記が間違っていないかエイリアス名が間違っていないか確認してください。パスについてはこちらをご覧ください。

ファイルが読み取り専用になっています

```
HTTP/1.1 403 Access Denied
{
  "error": {
    "message": "このファイルは読み取り専用のため更新できません (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

書き込み先のファイルが読み取り専用になっています。（読み取り専用フラグを外してください）

他のプロセスによって使用されています

```
HTTP/1.1 403 Sharing Violation
{
  "error": {
    "message": "プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。(32) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

```
}
```

書き込み先のファイルが他のプロセスによって使用されています。他のプロセスを終了するか、ファイルを閉じてください。

Part

VII

7 仕様

ExaPad使用上の注意

有効なファイル名について

- ExaPadは、ファイルやフォルダをWindowsのファイルシステムに保存しています。
- ExaPadを使うにあたり次の制限があります。
 - ファイル名、パス名の長さ制限はありません。
 - ただし、長いファイル名（文字数259文字、文字長512バイトを超えるフルパス）を持つファイルの場合、プロパティ変更などの一部機能が制限されます。
 - ファイル名が長すぎる場合、全文検索やサムネイル表示を行えない場合があります。

ファイルから抽出した検索用テキストや、プレビュー画像を保存に使用されるファイル名にも同様の制限があり、元のファイル名が長すぎるとプレビュー保存フォルダ（拡張領域フォルダ）に保存することができません。この場合、プレビュー保存フォルダの場所を短いパス名のフォルダに変更するなどの措置が必要です。

ユーザー数の制限

- ExaPadにログインできるユーザー数には制限があります。
- ユーザー数は、「同時アクセスユーザー数」ではなく「累積ユニークユーザー数」を基準に制限されます。
- ユーザーライセンスが10ユーザーの場合、ExaPadサーバーを起動してから、新しいユーザーが1人ログインするごとに、ログインできるユーザー数の残数が1ずつ消費され、11人目のユーザーのログインが拒絶されます。ただし、同じログイン名のユーザーによる繰り返しログインは「新しいユーザーのログイン」として扱われません。

ExaPadサービス起動中の電源操作

- ExaPadサービス起動中は、サーバーの電源をスタンバイや休止状態にしないでください。
- ExaPadは、原則として24時間稼働のサーバー機で動作することを前提に設計されています。
- Fb3Indexerサービスを稼働しているマシンではファイルやフォルダの変更を常時監視しているため、インデックス更新中にスタンバイや休止状態になると、インデックス更新に漏れが生じたり、インデックスが壊れたりする場合があります。（マシンによって休止状態の動作が異なる問題）

題ない場合もあります。)

- 評価目的などで一時的にノートPC や個人 PC にインストールされる場合には、スタンバイや休止状態にする前にFb3Indexerを停止してください。(Fb3Indexer を停止すると、全文検索エンジンのプロセスも自動的に停止され、検索インデックスのディスク同期が安全に行われます。)

7.1 動作環境

サーバー

- OS : Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016
 - Ver3.9.0以降は64bitのみ対応しています
 - ユーザー数分のWindows CALが必要です。
 - 評価利用環境として、Windows 7 / 8.1 / 10 でも稼働します。
- CPU : Core i3 / XEON の最新世代マルチコアCPUを推奨します。(詳細はお問い合わせください。)
- メモリ : 4GB 以上
- ハードディスク容量 :
 - プログラム容量は600MBの空き容量を必要とします。
 - 運用には1GB 以上の空き容量を必要とします。
 - 空きディスク容量は対象のデータ件数およびファイルサイズにより大きく変わります。(詳細はお問い合わせください。)
- ❖ ファイル登録時のプレビュー画像作成は、印刷処理と同じくらい重い処理のため、快適な利用にはマルチコア CPU と大容量メモリの搭載を推奨します。
- ❖ Windows OS 以外に必要な次のアプリケーションは、ExaPadのインストール時に一緒にインストールされます。
 - Java ランタイム
 - Jetty
 - Apache Solr
 - Postgre SQL (標準では使用しませんがカスタマイズにおいて使用する場合があります。)
 - .Net Framework4 (Version 3.9.0以降 Net Framework4がインストールされていない環境には導入できません。)

- ✓ Word、Excel、PowerPoint のプレビュー画像作成には、Net Framework 4が必要です。
- ✓ Excel形式の一覧出力を行うには、NET Framework 4のインストールが必要です。
- ❖ サーバーの画面の色数は、16ビット以上を設定してください。ExaPadで表示されるサムネイルやプレビュー画像の色数に影響します。
- ❖ Windowsドメイン環境で運用する場合には、あらかじめインストール先のサーバーをドメインに参加させておいてください。

クライアント

PC

- ブラウザ : InternetExplorer 11, Microsoft Edge、Safari、Firefox、Chromeの最近のバージョン。
 - InternetExplorer 6, 7, 8, 9, 10 はサポート対象外です。
 - 64bit版の "ブラウザ" では、直接ファイルオープン機能は動作しません。(ブラウザは、64bit OSでも32bit版が大多数を占めています。)
- 本体 : 上記ブラウザが動作可能な機器
 - Firefox、Chromeは、なるべく最新のものを推奨します。
 - Firefoxは、Windows版のみ対応しています。Mac版では一部の機能が動作しない可能性があります。
 - Safariでは、一部の機能が制限されます。(ファイルのアップロード時に同時に選択できるファイル数に制限があるなど)
 - 直接ファイルオープン機能用のExaPad Clientは、Windows OS のPC のみに対応します。

モバイル

- ブラウザ : Safari / Android標準ブラウザ / Chrome
- 本体 : iPhone / iPad / Android端末各種

Internet Explorerのサポート

ExaPadのInternet Explorerへのサポート対応は、基本的にMicrosoft社のサポート期限に準じます。

| Window OS | IEバージョン | サポート期限 |
|----------------|---------|------------|
| Vista | IE 9 | 2017年4月12日 |
| 7 | IE 11 | 2020年1月15日 |
| 8.1 | IE 11 | 2023年1月23日 |
| 10 | IE 11 | 2025年1月15日 |
| Server 2008 R2 | IE 11 | 2020年1月15日 |
| Server 2012 | IE 10 | 2023年1月11日 |
| Server 2012 R2 | IE 11 | 2023年1月11日 |

7.1.1 推奨ハード構成

必要ハードウェア

- 上段： CPU / 下段： メモリ / Disk容量はプレビュー作成設定により大きく変わります
- 文書の更新頻度が低く 参照中心に使用する場合は、1～2ランク下げても良いかもしれません

| | 文書数 | 20万文書 | 30万文書 | 50万文書 | 100万文書 | 200万文書 | 300万文書 | 400万文書 | 500万文書 | 700万文書 | 1000万文書 | 2000万文書 | 3000万文書 | 5000万文書 |
|---------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| | Disk容量 最小 Disk容量 最大 | 200GB 2TB | 200GB 2TB | 200GB 2TB | 200GB 2TB | 200GB 2TB | 300GB 3TB | 400GB 4TB | 500GB 5TB | 700GB 7TB | 1TB 5TB | 2TB 10TB | 3TB 30TB | 5TB 50TB |
| ユーザ数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10ユーザ | | 2core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 30ユーザ | | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 50ユーザ | | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 80ユーザ | | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 100ユーザ | | 4core×1 4GB | 4core×1 4GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 150ユーザ | | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 200ユーザ | | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 300ユーザ | | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 500ユーザ | | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 700ユーザ | | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×1 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 1000ユーザ | | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 1500ユーザ | | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 8GB | 4core×2 12GB | 4core×2 16GB | 4core×2 24GB | 6core×2 32GB | 8core×2 64GB | 10core×2 96GB | 12core×2 192GB |
| 2000ユーザ | | 6core×2 8GB | 6core×2 8GB | 6core×2 8GB | 6core×2 8GB | 6core×2 8GB | 6core×2 8GB | 6core×2 12GB | 6core×2 16GB | 6core×2 24GB | 8core×2 32GB | 10core×2 64GB | 12core×2 96GB | 14core×2 192GB |
| 3000ユーザ | | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 12GB | 8core×2 16GB | 8core×2 24GB | 10core×2 32GB | 12core×2 64GB | 14core×2 96GB | 14core×2 192GB |
| 5000ユーザ | | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 8GB | 8core×2 12GB | 8core×2 16GB | 8core×2 24GB | 10core×2 32GB | 12core×2 64GB | 14core×2 96GB | 14core×2 192GB |

7.2 全文検索対応形式

ExaPadの全文検索エンジンはUnicodeに対応しています。

Microsoft OfficeなどUnicode対応ドキュメントについては日本語・英語に限らず、世界中の言語・文字コードの文書を検索可能です。

ただし、各国別文字コードで記入されたテキストファイルなどについては、正しく検索されないことがあります。

全文検索対応およびテキストビューワーが対応するファイル形式

| 拡張子 | 説明 |
|-----------------------|---|
| rtf | リッチテキスト |
| docx / docm | Microsoft Word 2007/2010/2013 |
| xlsx / xlsm / xlsb | Microsoft Excel 2007/2010/2013 |
| pptx / pptm | Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013 |
| doc | Microsoft Word ver5.0/95/97/2000/XP/2003 |
| xls | Microsoft Excel ver5.0/95/97/2000/XP/2003 |
| ppt | Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 |
| vsd | Microsoft Visio 2003/2007/2010 |
| sxw / sxc / sxi / sxd | OpenOffice.org |

| | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| odt / ods / odp / odg | Open Document |
| jaw / jtw | 一太郎 ver5 |
| jbw / juw | 一太郎 ver6 |
| jfw / jvw | 一太郎 ver7 |
| jtd / jtt | 一太郎 ver8/9/10/11/12 |
| oas / oa2 / oa3 | OASYS/Win |
| bun | 新松 松5/松6 |
| wj2 / wj3 / wk3 / wk4 / 123 | Lotus 123 |
| wri | Windows3.1 Write |
| pdf | Adobe PDF |
| ai | Adobe Illustrator |
| mht | Webアーカイブ |
| html | HTML |
| eml | OutlookExpress のエクスポート形式 |
| txt | テキストファイルなどの ASCII 形式ファイル |
| dxf / dwg / dwf | AutoCAD 図面 |
| svg | SVG(Scalable Vector Graphics) ファイル |
| msg | Microsoft Outlook メッセージ形式ファイル |
| ibooks | 電子書籍 iBooks |
| md | Markdown |
| zip | Zipアーカイブ アーカイブ内のファイル名でのみ検索可能 |
| jww | JW_CAD図面ファイル |

- 旧バージョンからバージョンアップする場合、ExaPadの新しいバージョンで全文検索対象に追加されたファイル形式は、バージョンアップ後に手動で検索対象ファイル種類に追加しないと検索できません。

画面下部のシステム設定 > ファイル種類 > 全文検索対象 に拡張子を追加してください。

- 全てWindows OSのマシンで作成されたファイルが前提です。
- 一部のPDFファイルや表に記載されているファイル形式でも、全文検索できないファイルが存在する可能性があります。
- 暗号化されたファイルはテキスト抽出できません。
- TXT形式以外でも、ASCII形式のファイルは全文検索できます。

画面下部のシステム設定 > ファイル種類 > テキスト形式 (ascii) を参照してください。

- Microsoft Outlookメッセージ形式ファイル (msg) のテキスト抽出には、IFilter のインストールが必要です。
- Ver 3.3.2以降から Microsoft Visio の全文検索を行うFilter のインストールが不要になりました。
- Ver 3.14以降から Jwwファイルに対応しました(外部プログラム不要です)。

オプションで対応可能なファイル形式

| 拡張子 | 説明 |
|-----------|----------------------|
| xdw / xbd | XEROX Docuworks 文書 1 |

1 XEROX DocuWorks 6.1 以降の製品版を、ExaPadサーバ環境にインストールする必要があります。

アンテーション(テキスト、付箋)の全文検索には、Ver 3.4.0以降で対応しています

2 Ver 3.4.0以降で対応しています。

7.3 画像プレビュー対応フォーマット

ExaPadでは次のファイル種類のサムネイル表示やプレビュー表示に対応しています。専用のビューワーなどは必要ありません。

プレビュー画像作成に対応するファイル形式

| 種類 | 拡張子 | 説明 |
|--------------------|----------------------------------|----------------------------|
| 単ページ画像 | bmp gif jpeg jpg png | 一般的なラスタ画像 (Web デジタルカメラ) |
| | ico | アイコン |
| 単ページ図形 | emf wmf | Windows メタファイル |
| 複数ページ画像 | tif tiff | TIFF 画像 (スキャナ FAX 形式) |
| デジタルカメラ RAW画像形式 | arw sr2 | ソニー |
| | crw cr2 | キヤノン |
| | dcr | コダック |
| | dng | Adobe |
| | mrw | ミルタ |
| | nef | ニコン |
| | orf | オリンパス |

| | | |
|------------------------|--|--|
| | pef | ペンタックス |
| | raf | 富士フイルム |
| 複数ページ PDF | pdf | Adobe Acrobat |
| オフィス文書 (Office97以降) | ppt pptx pptm pps ppsx ppsm | Microsoft PowerPoint |
| | doc docx docm | Microsoft Word |
| | xls xlsx xlsm xlsb | Microsoft Excel |
| 図面 | vsd | Microsoft Visio |
| | m3d | 3D オフィスデザイナー / 3D マイホームデザイナーファイル |
| テキストファイル | txt xml html mht | テキストファイル、WEB ページ、Web アーカイブファイル |
| 電子書籍 | ibboks | Apple iBooks サムネイルがあるもの |
| 動画ファイル | flv mp4 avi mov asf rm wmv ogv mpeg mpg | <p>別途 ffmpeg.exe が必要です。</p> <p>対応フォーマットは「Fmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」です。列挙されたファイル以外で対応可能なファイルフォーマットもあれば、特殊なコーデックを使った動画の場合は、対応フォーマット一覧にあっても対応できないケースもあります。</p> |

オプションで対応可能なファイル形式

| 種類 | 拡張子 | 説明 |
|----------------|---|--|
| DocuWorks ファイル | xdw xbd | 富士ゼロックス DocuWorks 文書。 XEROX DocuWorks 6.1 以降の製品版を、ExaPad サーバー環境にインストールする必要があります。 |
| CAD 図面 | cxf dwg dwf svg hpgl cgm plt jww | <p>AutoCAD、プロッタファイル、JW_CAD図面ファイル</p> <p>Ver.3.3以降、AutoCAD 2013に対応しました。 Ver.3.3.2以降、SHXフォントに対応しました Ver.3.14以降、Jwwファイルに対応しました（外部プログラム不要です）</p> |

| | | |
|-----------|--------------------------|---|
| DTP関連ファイル | psd ai indd eps | Adobe PhotoShop Adobe Illustrator Adobe InDesign (TIFF プレビューが必要など一部制限あり) |
|-----------|--------------------------|---|

オフィス文書（パワーポイント、ワード、エクセル）のプレビューに関する注意

- ファイル中に埋め込まれたOLEオブジェクト、たとえばPowerPoint ファイルに埋め込まれたExcelワークシートなどは、正確にプレビューできない場合があります。
- Wordアートなどはプレビューできない可能性があります。
- Word、Excelファイルのプレビュー画像・サムネイル画像の生成には、文書の全ページを印刷するのと同等の処理時間が必要です。
- 対象のファイル数が膨大な場合、全ファイル・全ページのプレビュー作成には長期の時間が必要です。
- プレビューの作成は、フォルダ毎・ファイル種類ごとに、作成の有無を選択できます。

動画プレビュー作成に関するおことわり

- ExaPadの動画プレビュー画像生成機能は、オープンソースの動画エンコーダー FFmpeg に依存して実現します。
- FFmpeg および組み込まれる各種コーデックについては、それぞれに知的所有権の権利者が存在します。
- 配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご了承のうえ、自らの責任においてFFmpeg をご導入・ご利用してください。
- 弊社では、ExaPadがFFmpeg を適切に呼出するための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのプレビュー作成を含むFFmpeg自体の動作については、一切の保証をいたしかねます。
- FFmpeg および各種コーデックの使用許諾についても弊社は関知いたしません。

CAD ファイルのプレビューについて

- CADファイルの拡大プレビューは背景が透過されるため、[こちら](#)をご参考に、お使いのCAD環境に合わせてビューワーの背景色を変更してください。
- ExaPadのVer 3.3.2以降、SHXフォントに対応しました。そのままでは有効にならないため、[こちら](#)を参考に設定してください。
- ExaPadのVer 3.7.0以降、PDF プレビューに対応しました。そのままでは有効にならないため、[こちら](#)を参考に設定してください。

その他の注意

- プレビュー作成は、ファイルの拡張子から判断して行われています。Windows以外で作成されたファイルで拡張子が与えられていないファイルなどはプレビューを作成できません。また、一部ファイルについては、サムネイルやプレビューの作成の失敗、レイアウトが元のファイルと一致しないなどの場合があります。
- Word, Excel, PowerPoint, Visio から画像を抽出する場合には、Net Framework4が必要です。
- AI ファイルについては、PDF形式で保存されたAI ファイルのみプレビューが可能です。
- 暗号化されたOffice文書や、PDFなどは画像プレビューできません。

7.4 データ領域とバックアップ対象

データ領域について

ExaPadでは大きく以下の3つのデータ領域を使用します。

| | |
|--------------|---|
| ドキュメント領域 | 管理対象の文書を格納する領域です。 通常のWindows NTFS ファイルシステムで、ファイルサーバーの共有フォルダとしてそのまま併用することが可能です。 |
| 全文検索インデックス領域 | 検索を高速にするために使用する索引データ領域です。 |
| ファイル拡張データ領域 | ファイルのサムネイル・プレビュー画像および、ファイルから抽出したテキストを保持する領域です。 |

ドキュメント領域（ドキュメントルート）

ExaPadが管理するデータ本体です。

| | |
|------------|-----------------------------|
| バックアップの必要性 | あり（ファイルサーバーのバックアップ） |
| 保存場所 | DocumentRoot（ドキュメントルートフォルダ） |

全文検索インデックス

高速にファイル名検索、全文検索を行うために生成されたデータです。

| | |
|------------|--|
| バックアップの必要性 | なし (ドキュメントレートのデータから再構成可能です。) |
| 保存場所 (標準値) | C:\ProgramData\ExaPad_data\SearchIndex |

ファイル拡張データ

WordやExcelなどのバイナリファイルやHTMLなどのテキストファイルから、表示可能な文字列を抽出してこの領域に保存しています。

プレビュー画像・サムネイル画像も、この領域に格納されます。

| | |
|----------------|--|
| バックアップの 必要性 | なし (ドキュメントレートのデータがあれば、再構成可能です。) |
| 保存場所 (標準値) | C:\ProgramData\ExaPad_data\Preview (プレビュー保存フォルダ) |

Part



8 バージョンアップに関する重要な情報

ExaPadのバージョンアップによって生じる、重要な変更点についてお知らせします。

8.1 バージョンアップに関する注意事項

バージョンアップについて

ExaPad のプログラムは、機能の改善および追加などにより随時更新され、最新版として公開されます。

重要な更新・変更のある場合には、お客様にEメールでお知らせしております。

バージョンアップの権利を保有するお客様

- ExaPad 売り切りライセンスをご購入され、年間保守サービスの期間内のお客様
- ExaPad 年間ライセンス（期限付きライセンス）をご利用中のお客様（年間契約ライセンスには、年間保守サービスが含まれていません。）

バージョンアップに必要な、ライセンスおよびライセンスファイル

ライセンスファイルの入れ替えについて

- Ver.3.x からVer.3.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えが必須です。
- Ver.3.x.x からVer.3.x.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えは不要です。
- ライセンスファイルについての詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- ライセンスファイルについて、ご不明な点はサポート窓口までご連絡ください。

現在稼働中の、ExaPad バージョンの確認方法

1. 管理者として ExaPad にログインします。
2. 画面下部のシステム設定 > 稼働状況 を開きます。
3. ExaPad バージョン番号 を確認してください。

| | | | |
|------|---------|--------------------------------------|--------------|
| 基本環境 | サーバーOS | Windows Vista or Windows Server 2008 | |
| | バージョン番号 | 3.2.2.225 | |
| | CPU | ベンダ名 | GenuineIntel |

バージョンアップ後に設定の変更が必要になるケース

ExaPad Ver.3.3（2013/12/20リリース）より古いバージョンからバージョンアップを行った場合

- 全角1文字キーワードでの全文検索、半角文字列をアンダースコア(_)で分割したキーワードでの検索
 - 画面下部のシステム設定 > Solr（検索エンジン）を開きます。
 - 「インデクステンプレート(zip)」を「fnit_solr_uni_zip」に変更します。
 - 検索インデックスの初期化と再構築を実行します。
- 定期実行タスク（クロール処理、パージ処理）を登録している場合
 - Windowsのタスクスケジューラの登録を削除するか、ExaPad管理ツールのタスクスケジューラを削除してください。
 - ExaPadに新しく実装されたスケジューラが、バージョンアップ時に「有効」になっています。

ExaPad Ver.3.2.2（2013/04/09リリース）より古いバージョンからバージョンアップを行った場合

- 1文字キーワードでのファイル名検索に対応させるには、検索インデックスの初期化と再構築が必要です。
- 新ユーザーインターフェイスへ切り替えるには設定の変更が必要です。（新規インストールの場合は不要です。）

設定方法は [Ver.3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更](#) をご覧ください。

ExaPad Ver.3.0（2010/09/29リリース）より古いバージョン（Ver.2.3.0など）をご利用中のお客様

新しいバージョンは、Unicode 対応により検索インデックスの形式が変わるため、インデックスの再構築が必要です。

ExaPad Ver.3.1.7.4（2012/03/29リリース）より古いバージョンをご利用中のお客様で、Apache の環境を変更している場合
弊社サポートまでお問い合わせください

バージョンアップの手順

ライセンスファイルの確認

バージョンアップ前に、ライセンスファイルの入れ替えの必要性について確認をしてください。

ライセンスファイルのバージョンが合わない場合は、インストーラー時に次のようなメッセージが表示されます。

無効なライセンス

新しいバージョンのライセンスファイルをご請求 ください

この場合、新しいライセンスを適用するまでインストーラーの実行を先に進めることができません。

新しいライセンスファイルを入手して適用を行ってから、インストーラーを実行してください。

新しいライセンスファイルは、インストール途中の「無効なライセンス」画面から右適用することができます。

インストーラーの実行

最新のインストーラーを入手して実行してください。

バージョンアップ時は、データのバックアップは必要ありません。

バージョンアップ時は、新規インストール時とは違い、各種設定項目はそのまま引き継がれます。

3.5.1.1 以降へのバージョンアップ時にアクティベーションが必要

アクティベーションが済んでいない場合は、インストール中にアクティベーションを促す画面が表示されます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

8.2 追加・変更された機能一覧

各リリースで、追加・変更された機能

ExaPad Ver.3.2.2以降に、各バージョンで追加・変更された機能の一覧です。

2019/04/08 ver.3.16.0.39

- 新機能
 - 全文検索エンジン Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました。ただし、バージョンアップした場合にはVer5のまま動作します。
 - 複数のタイムゾーンにまたがる環境でご利用している場合に、各クライアント端末の現地時間でファイルのタイムスタンプが表示されるようになりました。
 - オープン中のファイルの一覧をドキュメント別の一覧できる機能が追加されました。システム管理者向けの機能となります。システム管理 > 開いているファイルメニューから利用できます。
 - Office文書やPDFファイルの閲覧画面（pdfjs形式）の拡大率設定がブラウザに記憶されるようになりました。これにより一度変更した拡大率設定が他のファイルを開いた後も維持されるようになります。
 - 検索結果の一覧の親フォルダリンクに 親フォルダを直接開くが追加されました。これにより親フォルダをエクスプローラーで直接開けるようになります。なお、「直接オープンオプション」ライセンスが必要です。
 - 「管理ツール>SSL証明書>サーバー証明書>追加」にて、pfx形式の証明書（秘密鍵含む）を取り込めるようになりました。
 - ファイル一覧の表示形式として「タグ一覧」を選択できるようになりました。「システム設定 > タグ定義」で設定されているタグを一覧できます。
 - 未登録（値が入力されていない）のタグを検索できるようになりました。検索条件の入力ダイアログにて、いずれかのタグを選択した後、右端にある「ボタン」を押して「未登録」を選択して検索してください。
 - タグのバックアップ機能が実装されました。
 - 「システム設定 > タグ定義」にて数値型を定義できるようになるなど機能が追加されました。
- 仕様変更

- 一覧表示した際の並び替える列はフォルダを開くたびに「名前昇順」でリセットするように仕様変更されました。変更前は、前回開いたフォルダで並び替えていた列が記憶される仕様でした。
- 「ファイル> プロパティ」メニューの名称が「ファイル> タグ・プロパティ」に変更され、ダイアログのデザインが修正されました。
- PC向け画面の左側に表示されるフォルダツリーの表示速度が改善されました。
- 「ライセンスの有効期限 保守期限」が30日以内になると警告バーが表示されますが、それ以前(30日以上365日未満)にシステム設定に同様の警告を表示されるようになりました。これによりシステム管理者様はシステム設定にアクセスすることでより早く期限日を確認できるようになります。
- Zipファイルの展開時にzipファイル名のフォルダを作らないオプション(extract_zip_in_folder)が追加されました。
- フォルダのプロパティには、更新者と作成者が表示されるようになりました。
- 不具合修正
 - 「管理ツール> エラーテキスト分析」にて「error.txtを削除」を実施しても、実施の度に1件ずつしか削除されない不具合を修正しました。
 - システム設定> プレビュー作成設定」にて、随時作成設定を「プレビューなし」にできない不具合を修正しました。
 - Zipファイルを解凍しても、Zipファイルに含まれる「空のフォルダ」が作成されない不具合を修正しました。
 - 大きいサイズのファイル(100MB程度以上)の上書き更新に失敗する不具合を修正しました。

2018/11/06 ver.3.15.0.13

- 新機能
 - クライアント証明書認証に対応しました。ExaPad管理ツール> SSL設定にて設定できます。
 - クライアント証明書や統合シングルサインオン基盤と連携しシングルサインオンできるようになりました。本機能を利用するためにはシングルサインオンオプションが必要になります。
 - jpg, jpeg, tif, tiffファイルのEXIFプロパティを全文検索できるようになりました。抽出対象のプロパティ名の一覧は「システム設定> 設定全般」のexif_propertiesで変更できます。
 - HTTPS(SSL)接続を有効にしている場合に、HTTP接続をHTTPS接続へリダイレクトできるようになりました。ExaPad管理ツール> SSL設定にて設定できます。
 - 検索バーに「DocRoot/folder/文書 docx」のようにフルパスを入力して実行すると、検索する代わりに直接そのファイル(もしくはフォルダ)を開けるようになりました。
 - モバイル端末からPDFビューアーを表示した場合に、モバイル専用のツールバー(ボタンを押しやすい高さを大きくし不要なメニューを除外)が表示されるようになりました。

- システム設定 > インデックス構築状況において、「フォルダスキャン」検索インデックス登録処理のログファイルから、ドキュメント別別の処理時間、処理件数を集計しテキストファイルとしてダウンロードできる機能を追加しました。
- SolrCloud利用環境において、Solrサービスの再起動をタスクスケジューラーから登録できるようになりました。
- FbClient(直接オープンクライアント) およびFbDriveのインストーラーがサイレントインストールに対応しました。
- 仕様変更
 - ExaPad拡張プロパティ(filepropertydef.cfg)機能が廃止され、タグ定義に統合されました。この仕様変更により、従来は標準で表示・編集が可能であった「Office文書プロパティ」はシステム設定 > タグ定義にて設定が必要になります。なお、「概要」と「コメント」は既定でタグ定義に設定されます(既定の設定のまま表示・編集が可能です)。
 - 各種WebAPIは従来POSTメソッドにしか対応していませんでした。本バージョンからGETメソッドを利用できるようになりました。
 - 巨大なテキストファイルを連続してテキスト抽出・インデックス登録処理を行った場合に、サーバーのメモリノースの空き状況に応じてメモリが不足する(「メモリが足りません」というメッセージがログに出力)症状が確認されました。本不具合が発生しにくくなるよう、利用できるメモリの上限を設定できるようにしました。
 - 検索結果の各ファイルの親フォルダへのリンクをクリックした時、直接親フォルダを開くのではなくメニューを表示させるようにしました。本修正は、本当はファイルを開いたつもりなのに、誤って親フォルダを開かれてしまう問題への対応です。
 - ファイル一覧のエクスポート処理を高速化しました。
 - システム設定 > プレビュー作成設定において、随時作成設定が事前作成設定を包含していない場合には保存できないようにしました。
 - システム設定 > タスクスケジューラーが改良されました。スケジュール種別に「1回」を設定できるようになりました。開始時刻の初期値の時・分・秒が00:00:00にリセットされるようになりました。などです。
 - SolrCloud構成環境において、zookeeper\data フォルダが肥大化しないようトラザクションファイルの1ファイルあたりの上限サイズを小さくしました。
- 不具合修正
 - 一部のWordファイルで「オブジェクト参照がオブジェクト インスタンスに設定されていません」というエラーが発生しプレビューを抽出できませんでした。本不具合を修正しました。
 - システム設定 > 最終アクセスセッションの一覧が、最終アクセス日時降順に並ばない不具合を修正しました。
 - アクセスログファイルに出力されるIPアドレスが、Proxyサーバーのアドレスになってしまう不具合を修正しました。Proxyサーバーから提供されるX-Forwarded-Forヘッダ値を代わりに出力するよう修正されました。なお、この修正の影響はProxyサーバーを経由してExaPadにアクセスしていない場合に限定されます。
 - タスクスケジューラーなどでほぼ同時刻にインデックス掃除とプレビュー掃除を実行させると、片方のジョブが実行されない場合があります。本不具合を修正しました。
 - 統合Windows認証時に直接オープンが失敗する不具合を修正しました。

- 統合Windows認証 でログインしたセッションが、システム設定 > 稼働状況にアクセスしてもLoadingのままになってしまう場合があります。本不具合を修正しました。

2018/07/13 ver.3.14.0.5

- 新機能

- システム設定 > インデックス構築状況 において、再構築を行うドキュメントレートを選択できるようになりました。
- API[/system/status]が追加されました。
- 64bit版IFilterを使用してテキスト抽出できるようになりました。
- プレビュー抽出エンジン(doc,xls,ppt,vsd)を最新化しました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、アクセスログ集計 が追加されました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、プレビュー再構築(検索式) が追加されました。検索式を設定することでプレビュー再構築対象を絞り込みます。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、フォルダスキャン処理停止、再開 が追加されました。
- JW-CADのファイル(拡張子jwwのみ対応)のプレビュー、全文検索に対応しました。ただし、プレビューにはCADプレビューオプションが必要です。

- 仕様変更

- 一覧出力 > CSV形式 において、ダウンロードされるCSVファイルのエンコーディングがShift_JISからUTF8(BOM)に変更されました。
- ファイルの検索中に待機中アイコンが表示されるようになりました。
- システム設定 > セキュリティ拡張(AclManager) において、ダウンロードが許可されていない場合でもPDF形式のプレビュー表示およびPDFファイル表示できるように変更されました。
- システム設定 > セキュリティ拡張(AclManager) において、ダウンロードが許可されていない場合にはダウンロードボタンを非表示にしました。
- インデックス再構築ダイアログにおいて、チェックボックスの選択状態をクッキーに記憶するように変更されました。
- システム設定 > 現在ログイン中のユーザー 機能は廃止され、代わりに「最新アクセスセッション」が追加されました。
- プレビューフォルダ(tpi_root)フォルダの読み取りは、Fb3Webサービスの実行アカウントで行うよう修正されました。この修正により、プレビューフォルダのアクセス権は、Fb3Webサービスの実行アカウントに対して読み取り権限を、Fb3Indexerサービスの実行アカウントに読み書き権限を許可すれば動作するようになります。

- 不具合修正

- システム設定 > サービス実行アカウントにおいて、アカウント名が16文字以上の場合にエラーになる不具合を修正しました。

- システム設定 > タスクスケジューラー において、処理停止(fn=suspendagent)、処理開始(fn=resumeagent)アクションの実行時にすべてのエージェントが停止、開始してしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、複数のタスクを追加した場合に、全てのスケジュールが同一になってしまう不具合を修正しました。
- ドキュメントレートが複数設定されていて且一つ目のエリアスが"default"になっている場合に、2つ目以降のドキュメントレートにアクセスできない不具合を修正しました。
- Apple iPad/iPhoneでHTML プレビューやhtmlファイルの閲覧時に画面がスクロールできなくなる不具合を修正しました。
- PDF ファイルのプレビュー作成処理がタイムアウト等で強制終了された場合にWindowsTemporary フォルダに一時ファイルが残ってしまう現象が確認されました。定期的に不要ファイルを削除するように修正されました。
- WEBドキュメントレートのトップでインデックス再構築した場合に、ログインユーザー権限でアクセス権のチェックをしてしまう不具合を修正しました。
- 詳細検索において、サブフォルダ指定時に特定の文字「[];'」がエスケープされない不具合を修正しました。
- Internet Explorer11において、ファイルのドラッグ&ドロップができない不具合を修正しました。この不具合はVersion3.12においてのみ発生します。
- Androidにおいて画面のフッターに空白が表示されてしまう不具合を修正しました。
- 複数ファイルの一括ダウンロード時に、巨大なファイルをダウンロードできない不具合を修正しました。
- インデックス再構築時にプレビューのみを選択した場合にも検索インデックス登録が行われてしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > タグ定義 において、編集方式を「選択式」にした場合に値をクリアできない不具合を修正しました。クリアできるようにするためには、まず「候補値」に空白行を追加してください。こう設定しておけば、空白行を選択することで値をクリアできるようになります。複数入力を許可する」にチェックを入れている場合にも同様の効果があります。
- 統合Windows認証を利用中で、Internet Explorerを利用時に、フォルダ作成や概要更新などの操作を行うと"action not found" というエラーが発生する場合がありますが、修正されました。
- 統合Windows認証を利用中で、ポータルオプション用ファイル(index.html,top.htmlなど)を表示すると読み込み中のままになる場合がありますが、修正しました。
- 統合Windows認証を利用中で、ドキュメントレートにレポートフォルダを指定している場合、Windows Active Directoryの「Kerberosの制限付き委任におけるネガティブキャッシュ」が原因でそのフォルダ以下を表示できなくなる症状が、Windows 2012 Server以降で確認されました。この問題の回避機能（S4UCacheTimeout）を実装しました。

2018/03/09 ver.3.12.0.16

- 新機能

- ドラッグ& ドロップによるファイルの上書き更新に対応しました。
- 情報パネルのデフォルトの表示状態を設定できるようになりました。
`config.ini[default_infopanel_visibility_of_folder(_file)]`を設定してください。
- PDFビューワーのデフォルトの表示倍率を設定できるようになりました。`config.ini[pdfjs_option]`を`zoom=100`のように指定します。
- 選択した複数フォルダ以下のファイルを検索できるようになりました。ファイル一覧にて複数のフォルダを選択した時の右クリックメニューに「選択フォルダ内で検索する」が追加されています。
- `max_files_per_folder`(既定値:2000)を超えるファイル/フォルダはその表示に時間がかかるため一覧できないように制限されていますが、代わりに検索を行うことで一部を列挙できるようになりました。
- システム設定>インデックス構築状況のドキュメントレートの稼働状況をエクスポートできるようになりました。
- システム設定からプラグインの追加・削除・設定が可能になりました。
- アクセスログ集計・キーワードランキングにおいて検索ワードを除外指定できるようになりました。
- 仕様変更
- ファイル・フォルダの検索時におけるURLとアクセスログの仕様が変更されました。
- トップからのインデックス再構築処理は、各ドキュメントレート毎の再構築ジョブに分散させるようにしました。
- 0kbのファイルでもアップロードできるようになりました。
- システム設定>設定全般(`config.ini`)におけるエクスポート機能を、いずれのプラグインであってもファイルとしてダウンロードできるように修正しました。
- WebApiに機能が追加されました。
- システム設定>稼働状況>設定の送信/ダウンロードの対象に`plugins`フォルダ(プラグインファイル)が追加されました。
- システム設定・インストーラ・管理ツールの一部が英語対応されました。
- プラグイン外からドラッグ& ドロップしてファイルをアップロードする際にマウスカーソルに表示される文言を「移動」から「コピー」に修正しました(ただしプラグインによります)。
- システム設定>タグ設定にて、数値型を定義できるようになりました。
- システム設定>タグ設定にて、文字列型が複数値入力に対応しました。選択した各値は半角空白で区切られた文字列として入力されます。
- ポータル(`index.html`, `top.html`等)を使用しているフォルダにおいて、フッターを表示するように変更されました。なお非表示にするには`show_footer_in_portal`を`off`にして下さい。
- 不具合修正

- 一部のinddファイルでプレビュー作成に失敗する不具合を修正しました。
- 統合認証の不具合が修正されました。「ログインできない」、「一定時間放置してから操作するとフォルダツリーの展開やポータル画面の描画において不具合が出る」といった症状が、統合認証使用時に発生していましたが、解消されました。この問題はすべての環境で起こるわけではなく Windows2000互換のActiveDirectory環境や古いInternetExplorerから接続した場合に再現していました。

2017/11/27 ver.3.11.0.2

● 新機能

- 検索ツールバーで使えるファイル名検索ショートカットを追加しました。「キーワード入力 + Ctrl + Enter」でファイル名検索できます。
- インデックス構築状況画面を刷新しました。
- ファイル名がピリオドで始まるファイルやフォルダを非表示にする機能を追加しました。config.ini[hide_dotfile] をONにしてください。
- ファイルの作成日時及びサイズで検索できるようになりました。
- 特定のファイル種類を除いた検索ができるようになりました。type:-docxのように拡張子の前に半角ハイフンを付けて検索してください。
- 日付範囲検索で、N日以上前や N年以上前 などでの検索ができるようになりました。
- タスクスケジューラに「設定をバックアップ」アクションが追加されました。config.ini[config_backup_directory] で指定したフォルダにバックアップされます。

● 変更点

- Fb3Indexerサービスの終了にFb3Solrサービスを停止しないように修正しました(設定で変更可能です)
- 除外パスもしくは検索除外パスに設定されているフォルダでは、検索ツールバーが表示されなくなりました。
- システム設定 > 除外ファイル設定 の仕様を変更しました。
- インデックス/プレビューの再構築や掃除時に常にサブフォルダが含まれるようになりました。
- 一覧出力に、作成日時とタグ情報が出力されるようになりました。

● 不具合修正

- inddファイルのプレビュー抽出処理を改良しました。
- テキスト抽出 /全文検索除外パスに設定されているASCII系テキストファイルが、全文検索できてしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > 設定全般において「ユーザ設定のみ表示」チェックを入れても絞り込まれない不具合を修正しました。
- 除外 検索対象パスにおいて、フォルダやテキスト抽出対象でないファイルが除外されない不具合を修正しました。
- menu_overwriteをOFFにすると、新規アップロードできない不具合を修正しました。

- システム設定 > ドキュメントルートにて、TPIフォルダに共有フォルダパスを指定していると存在しているのに警告が表示され保存できない不具合を修正しました。

2017/05/11 ver.3.9.0.4

- 不具合修正
 - 一部のセキュリティソフトがFbOpenWeb.exeのマルウェア感染を誤検知する問題を回避

2017/05/01 ver.3.9.0.3

- 新機能
 - Zipファイルの展開先を選択できるようになりました

2017/04/27 ver.3.9.0.2

- 新機能
 - ファイル検索ユーザーインターフェースを改良しました
 - Internet Explorer以外でも統合Windows認証でログインできるようになりました
 - トップ フォルダの名称を変更できるようになりました
 - ドキュメントルートのフォルダアイコンを変更できるようになりました
 - WEBシステム設定ユーザーインターフェースを改良しました。メニュー階層を無くし一覧性を向上させました。
 - 管理ツールのユーザーインターフェースを改良しました。メニュー階層を無くし一覧性を向上させました。
 - RTF (リッチテキストフォーマット) ファイルのプレビューができるようになりました
 - ExaPad API V3を公開しました
 - 一部の情報管理のためにPostgresqlデータベースを利用するようになりました
- 変更点
 - Windows Vistaがサポート対象外OSになりました
 - Windows Server 2016 がサポート対象OSになりました
 - .Net Framework 4 が導入されていないマシンへはインストールできなくなりました
 - 32Bit OSへはインストールできなくなりました

- WindowsOSのInternet Explorer9,10サポート終了に伴い、Internet Explorer9,10がサポート対象外ブラウザになりました。

- 不具合修正

- 2GBを超えるファイルの通常アップロード(JAVAアップロードでない)に失敗する不具合を修正しました

2017/01/26 ver.3.8.0.2

- 新機能

- 内部で使用しているWebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバーへ変更されます
- デフォルトの表示形式を変更できるようになりました
- 特定のフォルダを検索対象外 (検索対象除外パス)に設定できるようになりました
- Google Chromeにてフォルダのドラッグ& ドロップによりファイルのアップロードができるようになりました
- MHT ファイルの閲覧ができるようになりました。 javascriptが使用されているmht ファイルなど一部のファイルは表示できません

- 変更点

- SSL設定にて複数の証明書を有効にできるようになりました
- Ver3.7.0にて無効化されていた統合Windows認証が使用可能になりました
- DWG ファイルにおいて、コントロールコードの検索ができるようになりました
- Microsoft Wordファイルのプレビューファイルに変更履歴が埋め込まれなくなりました
- Microsoft Excelファイルのプレビューファイルに非表示タブが埋め込まれなくなりました

2016/11/17 ver.3.7.0.12

- 新機能

- ユーザー・インターフェース(UI)を刷新して使い勝手をより良くしました
- md(Markdown) ファイルの閲覧 /編集に対応しました
- Acrobat Readerを使わずにPDFファイルをプレビューできるようになりました
- CAD ファイルをPDF形式でプレビューできるようになりました
- ログイン画面のユーザー名入力ボックスのヒントを非表示にできるようになりました。システム設定 > 設定全般 (config.ini) > [hide_userid_hint_in_login] をONに設定してください

- ファイル一覧において並び順を固定できるようになりました
- ファイルやフォルダにタグ (ExaPad独自のメタ情報) を付加できるようになりました
- 不具合修正
 - 管理ツール > サーバー証明書 設定画面の幅が狭く なる 不具合を修正しました
 - フォルダパス(breadcrumbs) やフォルダツリーにて「一覧出力」右クリックメニューが表示されない 不具合を修正しました
- 変更点
 - 統合Windows認証 機能を一時的に無効化します
 - 他の人が追加したコメントは削除できなくなりました
 - 新しい「テキスト」「新しいメモ」にてファイル作成時に、更新者と作成者を保存するようにしました

2016/09/29 ver.3.6.1.6

- 新機能
 - ファイルのクリック時にfileスキーム(file:///**) でファイルを開けるようになりました
- 不具合修正
 - インデクサーのクロール時に、アクセスできないフォルダがあるとクロール処理が停止してしまう不具合を修正しました。これはVer3.5.1.1から含まれる不具合です
 - ショートカットファイル(*.lnk) が開けられない 不具合を修正しました。これはVer3.6.0.1から含まれる不具合です
- 変更点
 - ポータルページにおいて検索ボックスのデフォルトの表示状態を変更できるようになりました。システム設定 > 設定全般 (config.ini) > [show_searchbar_in_portal] を設定してください

2016/07/07 ver.3.6.0.1

- 新機能
 - 環境設定をWebブラウザから変更できるようになりました
 - ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードできるようになりました
 - Excel ファイルをHTML プレビューする時の最大行数を変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目 (config.ini) > [xls_max_rowcount] を設定してください
 - テキスト抽出するファイルのサイズ上限を拡張子毎に変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目

(config.ini) > [max_extract_text_file_size_kb_extlist] を設定してください

- HTML ファイルプレビューにおいて電話番号リンク(href="tel:電話番号)を使用できるようになりました

- 不具合修正

- ログイン時のパスワードをWebブラウザに記憶できない 不具合を修正しました
- ファイルのタイムスタンプを過去日付に戻した場合に、検索インデックスに反映されない 不具合を修正しました
- ドキュメントルートが一つの場合に、そのドキュメントルート隠し属性を割り当てても中身を一覧できてしまう不具合を修正しました

- 変更点

- ドキュメントルートのエイリアス名は省略できるようになりました
- ドキュメントルートが1 つの場合でも必ずトップが表示されるようになりました
- 初回インストール時に使用していた初期化ウィザードが廃止されました

2016/02/29 ver.3.5.1.1

- 新機能

- ファイルのパスを直接入力できるようになりました
- ファイルリストとフォルダツリーにて、Windowsエクスプローラーと同様のキーボード操作でファイルが閲覧できるようになりました
- ExaPad管理者パスワードをクリアすることができるようになりました
- アップロード可能なファイルの拡張子を制限できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [uploadable_extlist]に拡張子をカンマ区切りで指定してください
- 直接オープンインストール画面をカスタマイズできるようになりました
- SSLの自己署名証明書を作成することができるようになりました

- 不具合修正

- ファイル名検索において半角スペースを含むファイルがヒットしない 不具合を修正しました
- iOS9 Safariにおいて画像の全画面表示時にツールバーが表示されない 不具合を修正しました
- ログイン時にWindowsアカウントのパスワード変更ができない 不具合を修正しました
- Internet Explorerにおいてファイル検索でヒットしたExcelファイルを開覧時にページを切り替えるとファイル検索条件がクリアされてしまう 不具合を修正しました
- webtempdirに設定されている一時フォルダのリフレッシュが実行されない 場合がある不具合を修正しました

- 変更点
 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました
 - Internet Explorer8がサポート対象外ブラウザになりました
 - Microsoft Edgeがサポート対象ブラウザになりました
 - Windows8.0がサポート対象外OSになりました。Windows8.1は引き続きサポート対象となります
 - ExaPadが使用するApache, Java, Jettyのバージョンを最新化しました。(Apache=2.2.31, Java=8.0.740.2, jetty=9.3.6.v20151106)
 - adminusers/admingroupsが指定されてかつExaPad管理者パスワードが設定されていない場合に、管理者でないユーザーは管理者メニューが表示されなくなりました
 - Javaアップローダーの証明書を更新しました
 - Javaアップロード機能の非対応ブラウザにGoogle Chrome, Microsoft Edgeが追加されました

2015/11/26 ver.3.5.0.7

- 新機能
 - ロードバランサーやプロキシサーバー経由でExaPadにアクセスした場合に、本来のクライアント端末のIPアドレスでネットワークアドレス判定ができるようになりました
 - 統合Windows認証ログイン後に、別ユーザーでもログインできるようになりました
- 変更点
 - 「フルパスを表示」にて表示されるファイルのパスを、ドキュメントルートパターンを考慮したパスで表示するように変更されました
- 不具合修正
 - 管理ツールにてSolr(検索エンジン)のヒープメモリサイズ(MB)を10000以上に設定できない不具合を修正しました
 - ExaPadと関係のないローカルディスクの残容量警告が出力される不具合を修正しました

2015/11/12 ver.3.5.0.4

- 不具合修正
 - Javaアップローダー画面やシステム設定画面において、custom/header.phpがロードされてしまう不具合を修正しました

2015/11/03 ver.3.5.0.3

- 新機能
 - xdoc2txt(全文テキスト抽出コンバーター) がUnicode文字を抽出できるようになりました
 - Office文書に定義されたユーザー定義プロパティを全文検索できるようになりました
 - ファイルダウンロード時のチャンク(分割)サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [download_chunksize]から設定できます
 - 変更点
 - URLおよび各種パスの形式が変更されました。バージョンアップの際には影響がありますので必ず事前にご確認ください
 - ファイル/フォルダの削除を検知した際にその親フォルダをインデックス再構築する仕様が削除されました
- 不具合修正
 - 除外設定(exclude.txt)されているファイルが閲覧画面にて「プレビュー作成中です」と表示されてしまう不具合を修正しました。これはver.3.3.2.59から含まれる不具合です
 - 除外テキスト抽出パス(exclude_extracttext.txt)に指定されたファイルが検索インデックスに載らない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
 - htmlやhtmlファイル内のハイパーリンクがURLエンコードされている場合にリンク先を参照できない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
 - リートフォルダ上のショートカットファイルが開けない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です

2015/10/19 ver.3.4.1.9

- 変更点
 - フォルダのコピーや移動時に、フォルダ内の一部のファイル・フォルダが原因で中断した場合、そのパスもアクセスログに出力されるようになりました
- 不具合修正
 - 読み取り権限のないドキュメントレートが表示されてしまう不具合を修正しました。これはver3.4.1.1からver3.4.1.5にのみ含まれる不具合です
 - ドキュメントレートまたはそのファイルのコピーや移動時に更新日が継承されない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる

不具合です

- Internet ExplorerにてJavaアップロード完了後にファイル一覧が更新されない 場合がある不具合を修正しました

2015/10/01 ver.3.4.1.5

- 不具合修正
 - ファイルやフォルダの削除を検知した際に、その親フォルダがクローラされてしまう不具合を修正しました。これはver.3.4.1.1からver.3.4.1.3にのみ含まれる不具合です

2015/09/17 ver.3.4.1.3

- 変更点
 - ツリービュー内のドキュメントレートの順番が五十音順から 管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートに変更されました。ver.3.4.0.4にて五十音順に変更されましたが、ver.3.3.4.19までと同様の表示順になるようにしました
- 不具合修正
 - 管理ツール タスクスケジューラの「インデックス・プレビュー再構築」アクションが実行されない 不具合を修正しました

2015/08/31 ver.3.4.1.1

- 新機能
 - 統合Windows認証に対応しました。Internet Explorerでのアクセス時に自動でログインできるようになります
 - 管理ツールにSSL(https接続)導入支援機能を追加しました
- 変更点
 - Windows XP, 2003のサポートが終了しました。今バージョンから本体および直接オープンクライアントは左記OS上にはインストールできなくなります
 - WebサーバーサービスはLocal System以外のアカウントでは起動できなくなりました
 - 同一ドキュメントレート内のファイルおよびフォルダの移動時に、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれるようになりました。従来は移動元のWindowsセキュリティが引き継がれていました
 - 直接オープンクライアントのインストール方法が変更されました

- "新しいテキスト、新しいメモ、テキスト編集、メモ編集" のいずれかによって保存したファイルの改行コードがLFからCRLFに変更されました。Windowsのメモ帳で開いても改行として表示されるようになります
- 不具合修正
 - テキスト抽出上限サイズの設定値 (max_extract_text_size_kb) が設定値よりも小さいサイズしか抽出されない 不具合を修正しました
 - ドキュメントルートにローカルドライブ(C:\やD:\など)を指定できない 不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4からver.3.4.0.14にのみ含まれる不具合です

2015/07/02 ver.3.4.0.14

- 新機能
 - ファイル名のソート順を単純な50音順に切り替えられるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [no_strcmp_logical]にチェックを入れてください
- 不具合修正
 - ドキュメントルートが1つのみ設定されている場合に、ポータル機能の検索キーワードランキングが表示されない 不具合を修正しました
 - システム設定において、インデックス構築状況、現在ログイン中のユーザー、アクセスログレポートの時刻が12時間形式で表示されていた 不具合を修正しました
 - installer.logが読み取り専用である場合にバージョンアップインストールを開始できない 問題を修正しました
 - ACLサーチが有効な場合に長いファイル名(260文字以上)のファイル、フォルダの検索ができない 問題を修正しました

2015/05/28 ver.3.4.0.7

- 不具合修正
 - 設定パラメーター[filelist_maxsize_mb]の値を2048(2Gバイト)以上に設定できない 不具合を修正しました
 - 一括ダウンロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4にのみ含まれる不具合です

2015/05/11 ver.3.4.0.4

- 変更点

- クラシック表示機能が廃止されました。これによりInternet Explorer6,7はサポート対象外となります。
- ツリービュー内のドキュメントレートの順番が管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートの順番から 五十音順に変更されました
- アクセスログファイル内のファイルパス表記が変更されます
- /resへの参照が無くなりました
- フォルダコピー時のアクセスログが親フォルダのログのみになりました。旧バージョンではフォルダ内の全てのファイル・フォルダについて出力されていました
- FbStorage.exe, FbProperty.exe FbAclManager.exe のサポートを終了いたします
- ユーザー招待機能が廃止されました
- 新機能
 - ファイル一覧画面をクリック時に別ウィンドウで開く機能が追加されました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [gridview_pathlink_type]にshownewviewを指定してください
 - ファイルアップロード時にプログレスバーが表示されるようになりました。(Google Chrome, Firefox, Internet Explorer10以降 で対応しています)
 - Jw_cadファイル(jwwのみ)のプレビュー、テキスト抽出に対応しました。(Ver3.14以降、外部プログラムなしで抽出できるようになりました)
 - XDW(DocuWorks)ファイルのアノテーション(テキスト、付箋)の全文検索に対応しました。PDF プレビューにも対応しました
 - Excelファイルのhtmlプレビューの最大ページ数を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [xls_max_sheetcount]から設定できます
 - プレビュー未作成のファイルを開覧時にプレビューが作成されたかを問い合わせる間隔を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [preview_reload_interval]から設定できます
 - ダウンロードできるファイルの種類を制限することができるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu_download_extlist]から設定できます
 - Javaアップロードメニューを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu_javaupload]から設定できます
 - Javaアップロード時の分割時サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [javaupload_chunksize]から設定できます
 - 検索ボックスを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu_search]から設定できます
 - ファイルコピー処理の終了を待機できるようになりました。旧バージョンではコピー処理は時間がかかる場合にブラウザがタイムアウトしていました

- 不具合修正
 - 除外テキスト抽出パスに指定されているファイルのテキストが抽出されてしまう不具合が修正されました
 - 管理ツールの数値エディットで2147483648(32bit整数)以上を設定できない不具合が修正されました
 - 異なるドライブが指定されているドキュメント間でのファイルの移動に失敗する不具合を修正しました
 - ファイルのリネーム時に大文字小文字のみの変更をした場合にファイルが削除されてしまう不具合を修正しました。(フォルダのリネーム時は発生しません)

2015/02/24 ver.3.3.4.19

- ドキュメントのファイルサーバー上でバックアップサービス(WindowsServer DFSレプリケーション等)が稼働している場合で一定サイズ以上のファイルをJavaアップローダーでアップロードすると失敗する問題を修正しました

2014/12/01 ver.3.3.4.10

- ファイルの画像プレビューの全画面閲覧中にブラウザの「戻る」ボタンを押すとフリーズしてしまう不具合を修正しました
- Javaアップロードにおいて同名ファイルが存在するときに「スキップします」にチェックが入っているにもかかわらず、「アップロード」ボタンを2回押すことで上書きされてしまう不具合を修正しました

2014/11/27 ver.3.3.4.8

- 管理ツールにてドキュメントを変更した場合に、ユーザーID/パスワード入力を促して読み取り権限のチェックを行えるようになりました
- プレビューが作成途中のファイルを閲覧時に、すでに作成されたプレビューを「すぐ見る」ボタンを押さずに自動で表示できるようになりました
- 検索時における詳細表示ビューの親フォルダへのリンク表示を見やすくしました
- 一覧出力メニューを非表示にできない不具合を修正しました。(管理ツール 基本設定 WEBアプリ メニュー menu_getcsvlist から設定できます)
- フォルダに対して削除権限のないユーザーが新規アップロードできるようになりました。(ただし、上書きアップロードは従来どおり失敗します)

2014/08/28 ver.3.3.3.34

- 新機能
 - Microsoft Office ファイルの表示・編集に対応しました(別途ライセンスが必要)
 - 初期導入ウィザード機能が追加され、インストール作業が簡単になりました
- 変更点
 - 内包するWebサーバー(Apache)のバージョンが新しくなりました。これによりIPv6に対応されました
HTTPポートを80番以外でご利用されているお客様は必ずご確認ください
 - 複数ファイルアップロードに対応しました
 - パスワード付きZipファイルの展開ができるようになりました
 - ファイル閲覧画面において、プレビュー作成が完了した場合に自動で再表示されるようになりました
 - システム設定 -稼働状況 から設定ファイルを一括でダウンロードできるようになりました
- 不具合修正
 - Google Chromeにてログアウトできない不具合を修正しました
 - ファイルパスが260文字を超えるファイルのアップロードに失敗する不具合を修正しました

2014/06/30 ver.3.3.2.71

- キーワード「*」で検索を繰り返すとWebサーバーがフリーズしてしまう不具合を修正しました

2014/04/03 Ver.3.3.2.59

- 新機能
 - 一覧出力がEXCEL形式に対応しました
 - テキストファイルの編集ができるようになりました
 - Zipファイルの展開ができるようになりました
 - pps, ppsm, ppsx, docm, pptm, xlsb, xlsx ファイルのプレビューに対応しました

- docm, pptm, xlsb, xlsx ファイルの全文検索に対応しました

- 変更点

- プレビュー作成方法が変わりました
- ブラウザ上でレビュー作成設定はできなくなります。
- .Net Framework2.0がシステム要件に追加されました
- ファイルの閲覧画面が新しくなりました
- ビューワーが使いやすくなりました
- 背景色を変更できるようになりました
- コメント、概要を畳めるようになりました
- Apple iPadでの操作レスポンスが向上しました
- システム設定画面がInternet Explorer6,7はサポートされなくなりました
- PCブラウザでは検索パネルが常時表示されるようになりました

- 不具合修正

- Javaアップロードに失敗する不具合が修正されました
- プロパティを空白で更新すると、それ以後更新できなくなる不具合が修正されました
- 特定のPDFファイルにおいて、ICC profile エラーが出てレビュー作成に失敗する不具合が修正されました
- PHPモジュールがロードされたままになっていた不具合が修正されました
- ExaPad3.1.8.0から3.3.1.10までのバージョンへアップグレードされたお客様は、本バージョンへアップデートすることでPHPモジュールがロードされます

2014/01/27 Ver.3.3.1.5

- Javaアップローダーが、最新のJava (Version 7 Update 51) に対応しました。
- Javaアップローダーにおいて、ファイル選択のチェックボックスがなくなり、反転することによって選択状態を表すようになりました。（よりWindowsエクスプローラに近づきました。）
- バージョンアップ時に、Solr（検索エンジン）のメモリ設定が引き継がれるようになりました。

2013/12/20 Ver.3.3.0.79

- 基本機能

- CAD プレビューが、AutoCAD 2013に対応しました。
- DWF ファイルに対応しました。
- プレビュー品質が向上しました。
- プレビューが最新でない場合、ファイル閲覧画面に、メッセージを表示するようになりました。
- EXIFのOrientationに対応しました。写真のレビュー作成時に、向きを正しく再現できます。
- 一部のEPS形式のレビューの背景が、黒になる事象について、プログラムの変更を行いました。
- 非常用ライセンスが新たに追加されました。有効にすると30日間、ログイン可能ユーザー数が無制限になります。
- ACLサーチがデフォルトで有効になりました。（新規インストール時のみ）
- 長いパス（255文字以上）に対応できるようになりました。ファイルの検索やレビュー閲覧などの基本機能を使うことができます。
- DocuWorks ファイルの、Date型のプロパティが化けて検索できない現象を改善しました。
- ワイルドカード検索で、大文字小文字を区別しなくなりました。
- ユーザーインターフェイス
 - 全画面 プレビューにおいて、マウスホイールやダブルクリックで拡大操作をする際、ポインタ位置を中心に拡大されるようになりました。
 - ipadでログイン時に、パスワードを記憶することができるようになりました。（設定を変更することにより有効になります。）
 - スワイプ操作でのページ送り機能が、iOS 7にも対応しました。
 - セッションハイジャック対策で、直接開く場合にダウンロードして開く動作は行わなくなりました。
- インデックスサーバー
 - Java 64bitに対応しました。64bit版のWindows OSの場合は、自動的インストールされます。
 - デフォルトの検索インデックスのスキーマがinit_solr_uni.zipに変更されました。これにより、全文検索において、アンダースコア(_)で半角文字列キーワードをが分割されるようになります。また、日本語の1文字検索が可能になります。（バージョンアップの場合は、自動的に変更されません。）
 - Apache TomcatがJettyに変更されました。
 - ログファイルの形式と、保存場所が変更されました。
 - インデクサーをAgent化し、負荷を分担させることで、安定性が向上しました。
- 管理ツール
 - 管理ツールのメニューがカテゴリ別に分類され、新しくなりました。

- システム設定メニューの、インデックス構築状況画面を改良しました。
- ライセンスファイルの形式が変わり、マシンキーのパラメーターが増えました。（ライセンスファイルの発行時は、マシンキーをお送りいただく必要があります。）
- Tpldx サービスにスケジュール機能が付きました。バージョンアップしたお客様は、デフォルトでは無効に設定されます。
- FbAclManager.exe（拡張セキュリティツール）は管理ツールに統合されました。

2013/09/19 Ver.3.2.7.5

- ファイルのプレビューやインデックスの更新条件を、「更新日時が新しい場合」から「更新日時が不一致の場合」に変更しました。
- EPS ファイルのプレビュー精度が向上しました。（EPS のプレビューには、DTP プレビューオプションが必要です。）

2013/08/30 Ver.3.2.6.18

- ファイル一覧画面の、ファイル表示件数を変更できるようになりました。
- xls, doc ファイルのhtml プレビューがハイパーリンクに対応しました。
- フォルダを除外して検索ができるようになりました。
- ファイル属性の一括編集時の対象ファイル/フォルダ数の上限値を設定できるようになりました。既定では、100ファイルになっています。
- インデックス再構築の実行画面から、「登録済チェックをスキップする」が非表示になりました。常に登録済チェックをするようになります。

2013/08/08 Ver.3.2.5.21

- Apache, Java, Tomcat のバージョンが新しくなりました。

Apache httpd : 2.2.25 / Java SE : 7u25 7.0.250.17 / Apache Tomcat : 6.0.37

- パスワードオートエンコード機能の有効化、無効化を設定できるようになりました。
- DocuWorks 8に対応しました。DocuWorks ファイル（.xdw, .xbd）の全文検索、プレビュー作成を行うには、ExaPad のサーバ環境には DocuWorks の製品版がインストールされている必要がありますが、ExaPad 動作環境のすべてにおいて、DocuWorks がインストールできるものではありません。DocuWorks の動作環境などにつきましては、事前に富士ゼロックス様へご確認ください。

2013/06/28 Ver.3.2.4.20

- 全画面プレビューにおいて、マウススクロールでプレビュー画像を、拡大・縮小できるようになりました。
- ファイルプロパティの一括編集ができるようになりました。

2013/05/23 Ver.3.2.3.0

- Internet Explorer8では、ファイルプレビューを全画面表示しても、画面幅にフィットしたプレビュー表示しかできませんでした。この事象について、プレビューサイズが画面幅を超えている場合は、元の大きさを保持して表示するように改良を行いました。

2013/04/12 Ver.3.2.2.207

- XLS, PDF ファイルのプレビュー生成の内部解像度が上がり、より細部まで明瞭になりました。

8.3 Ver.3.3.2 - プレビュー作成設定の仕様変更

対象： Ver.3.3.1 までをご利用のお客様

概要

ExaPadはVersion3.3.2から、プレビューの作成方法が大きく変更されました。

背景

これまでのExaPadでは、全てのファイルのプレビューを予め作成しておく「事前作成方式」によって、高速にファイルの閲覧をすることができていました。

しかし、この方式には「導入に時間がかかる」「ファイルサーバーの容量を消費してしまう」といった弊害がありました。そのためにプレビューの上限ページ数を設定しなければならず、全てのページを閲覧できない、などの問題も発生していました。

変更点

ExaPad Ver.3.3.2からは、ファイルに初めて開いたタイミングで、プレビューを作成する「随時作成方式」も採用しました。

これにより、開いたファイルは全ページ（ページ数は設定で変更可能）が閲覧可能になり、閲覧されないファイルのプレビューは作成されないため、時間と容量を削減できます。

また、フォルダを開いたタイミングで、そのフォルダにある全てのファイルの先頭ページサムネイルを作成します。

「随時作成方式」で作成されたプレビューには保存期限があり、プレビューの掃除を行うことで120日間（設定で変更可能）閲覧されていないプレビューが削除されます。

バージョンアップされるお客様は、今まで通りの「事前作成方式」のままで動作します。「随時作成方式」を動作させるには設定の変更が必要です。

大きく以下の3点が変更されました

- プレビュー設定は管理ツールで設定します。
- プレビュー作成方法が「事前作成」と「随時作成」の2つの方式に分けられました。
- 「随時作成」で作成されたプレビューには保存期限が設けられ、掃除を行ったタイミングで期限の過ぎたプレビューは削除されます。

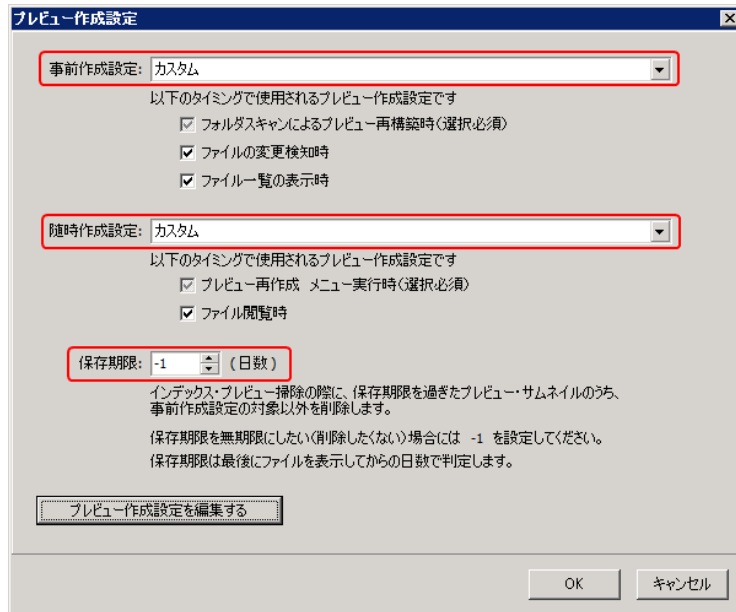
「随時作成方式」への変更方法

Ver.3.3.2へバージョンアップ後、「随時作成方式」を利用する場合は次の手順で設定してください。

- 事前作成設定：先頭サムネイルのみ
- 随時作成設定：先頭100ページ
- 保存期限：120日

1. 管理ツール > 高度な設定 > テキスト・プレビュー抽出 > プレビュー作成設定 を開きます。

- 以前のプレビュー作成設定が「カスタム」として移行されています。
- 保存期限が「1」に設定されているため、プレビューに保存期限はな削除されません。



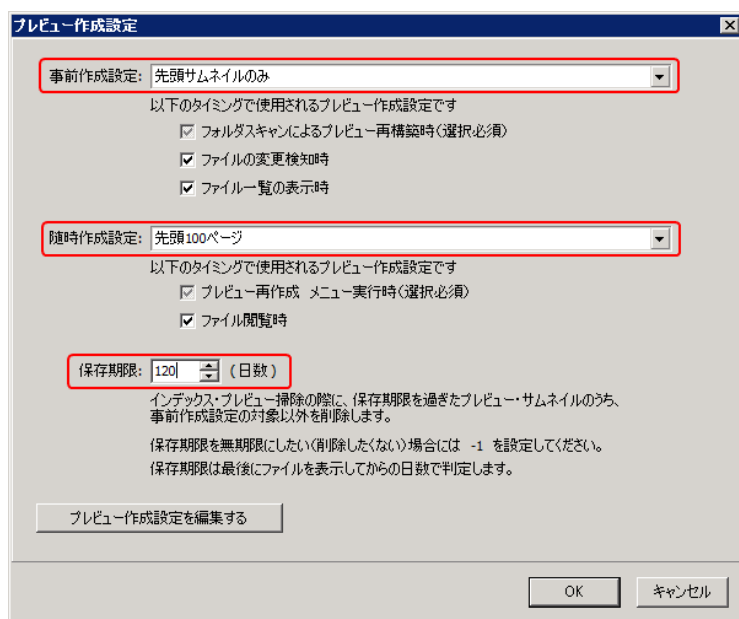
2. 事前作成設定を変更します

- プレビュー作成設定を「先頭サムネイルのみ」に変更します。
- 「ファイルの変更検知時」「ファイル一覧の表示時」にチェックを入れます。

3. 随時作成設定を変更します

- プレビュー作成設定を「先頭100ページ」に変更します。
- 「ファイル閲覧時」にチェックを入れます。

4. 保存期限を120に変更します



5. 「OK」ボタンを選択し、サービスを再起動します。

8.4 Ver. 3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更

ExaPad Ver.3.2.2のリリースに際しては、グラフィカルユーザインタフェース(以下GUI)を刷新して、使い勝手の向上を目指しました。

一部機能においては仕様の変更点があり、バージョンアップされる場合は必ず確認してください。

バージョンアップされるお客様へ

上書きインストール直後は、従来のGUIのままで表示されます。(アイコン等一部の表示は変更されます。)

新しいインターフェイスでご利用になるには設定の変更が必要です。

新UIで表示する方法

1. ExaPad管理ツール > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. 「use_classic_ui」の行をダブルクリックで開き、「値」のチェックを外します。(設定値がOFFになります。)
3. 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、Webサーバー(Apache) を再起動します。

新機能

- ファイルを全画面表示した場合に、ページの移動が楽にできる、スワイプ機能を搭載しました。
- プレビューが作成されていないファイルを表示した際に自動でプレビューを作成するようになりました。
- 「このページへのリンク」を廃止して、新たに「フリパスを表示」機能を追加しました。
- モバイル端末からのアップロードやコピー・移動などの各種ファイル操作がPCと同様に可能となりました。

(アップロードの可否については端末の機能にも依存します。)

- Adobe Illustrator形式 ".ai" ファイル (PDF 互換のみ) が全文検索対象ファイルになりました。
- ファイル名検索が、全角・半角1文字キーワードでの検索に対応しました。

(バージョンアップ後に本機能を有効にするには、検索インデックスの初期化と再構築が必要です。)

- 「フォルダを開く」に失敗した場合、アクセスログに「拒否 - ファイル参照」が出るようになりました。

廃止された機能

- PC画面とモバイル画面の切り替え機能は無くなりました。

(モバイル端末からアクセスするとPCでは表示されるフォルダツリーが自動的に非表示になります。)

- フォルダのコメント機能は廃止されました。旧バージョンで使用していたコメントは、バージョンアップすると表示されなくなります。

(各ファイルのコメント機能や、フォルダの概要については従来通り利用できます。)

- プロパティ一括更新機能、コメント一括削除機能は廃止されました。プロパティ一括更新機能は、Ver.3.2.4.20で再実装されました。
- Flashアップローダーは廃止されました。

その他注意事項

- Internet Explorerの対応バージョンが8.0以降になりました。

(Internet Explorer 6, 7 を使用した場合、新しいGUIでは表示されずに、旧GUIでの表示となります。)

- 管理者の設定により、モバイル端末を含むすべてのブラウザで、旧GUIを表示して使うこともできます。

(廃止された機能を旧UIでは使用可能です。旧UIでは自動プレビュー作成機能のみ新機能が動作します。)

1 文字キーワードでのファイル名検索を有効にする方法

この設定は、Ver.3.2.2 より古いバージョンからバージョンアップしたお客様が対象です。

新規にインストールした場合は必要ありません。

1. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、インデクサー (Fb3Indexer) とWebサーバー (Apache) を停止してください。
2. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > 検索インデックス構築 を開きます。
3. 全文検索インデックスの項目の「初期化」ボタンを押します。
4. ダイアログに従って操作を進めてください。初期化しました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンを押してダイアログボックスを閉じます。

これまでの操作で、検索インデックスの初期化が完了しました。続いて、検索インデックスの再構築をおこないます。

5. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、インデクサー (Fb3Indexer) とWebサーバー (Apache) を開始してください。
6. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > 検索インデックス構築 を開きます。
7. インデックス再構築の項目の「検索インデックス登録を行う」と登録済チェックをスキップする」の2か所にチェックを入れます。
8. 実行ボタンを押すと「それでは実行します」と表示されるので、「OK」を選択してください。
9. 検索インデックスの再構築が開始されました。完了するまでお待ちください。

検索インデックスの再構築操作は、WEBブラウザでExaPadにアクセスして、システム設定 > インデックス再構築 からでもできます。

[補足：旧GUIで使用する]

- ExaPad3.2.2管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 を開きます。
- use_classic_uiをダブルクリックして「値」にチェックを入れて「OK」を押します。(設定値がONになります。)
- 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 > Webサーバー(Apache) を再起動します。以上で設定は完了です。

8.5 Ver.3.2.1.0 - PHPの利用廃止

概要

ExaPadVer.3.2.1.0から、従来のプログラムで使用していたPHPの利用を廃止しました。

ExaPadVer.3.2.1.0より古い環境から ExaPad最新版を上書きインストールすることが可能です。

旧バージョンのインデックスデータはそのまま引き継ぐことができますので、インデックスの初期化は必要ありません。

対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.8.0 を含む、それ以前のバージョンをご利用中で、Ver.3.2.1.0以降にバージョンアップされるお客様。

備考

PHPの廃止に伴い、旧ExaPadで設定されていたPHP関係のパラメータ値は、廃止もしくは新パラメータとして自動で移行されます。

自動移行される php.ini のパラメーター

| 移行元 php.ini パラメータ名 | 移行先パラメータ名 | 意味 |
|----------------------------|--|--|
| session gc_maxlifetime | session_lifetime_seconds | ログインセッションを維持する時間(秒) |
| session cookie_lifetime | stay_logged_in_after_closing _browser | ブラウザを閉じて開いたときに、ログイン状態を維持するかどうか。session cookie_lifetime が 0 より大きい値に設定されていた場合に 1 に設定されます。 |
| upload_max_filesize | upload_max_filesize_kb | ファイルアップロード時の最大ファイルサイズ (KB) |

削除された php.ini のパラメーター

| パラメータ名 |
|----------------------------|
| phpmodules_timeout_seconds |
| max_phpmodules |

- ❖ IISでPHPを運用していた場合、Ver.3.2以降では使用できなくなります。
- ❖ 統合Windows認証機能 (windows_authentication=1) は使用できなくなります。

8.6 Ver.3.1.8.0 - Solr3.6への自動バージョンアップ

概要

ExaPad Ver.3.1.8.0 から Apache Solr のバージョンが 1.4 から 3.6 へバージョンアップされました。

これにより、ワイルドカードによる後方一致検索に対応し、検索時のパフォーマンスが向上します。

ExaPad Ver.3.1.8.0より古い環境からも、ExaPad 最新版をインストールすることで自動で Apache Solr のバージョンアップが行われます。

旧バージョンのインデックスデータはそのまま引き継ぐことができるため、インデックスの初期化・再構築は必要ありません。

対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.7.5 を含む、それ以前のバージョンをご利用中で、Ver.3.1.8.0以降にバージョンアップされるお客様。

備考

インストール中に Apache Solr のバージョンアップに失敗した場合は、旧バージョンのSolrを引き続き使用します。

失敗原因を取り除いた後、ExaPadを再度インストールすることでバージョンアップできます。

Apache Solr のバージョンアップに失敗する原因は、他のアプリケーションによって [インストールフォルダ]\Fb3Solr のフォルダがロックされている場合です。

ロックするアプリケーションの代表例としては、Windowsエクスプローラーや、セキュリティソフトなどが考えられます。

8.7 Ver.3.1.7.4 - Apache2.2への自動バージョンアップ

概要

ExaPad Ver.3.1.7.4から Apache のバージョンが 2.0 から 2.2 へバージョンアップされました。

ExaPad Ver.3.1.7.4より古い環境からも、最新版をインストールすることで自動的に Apache のバージョンアップも行われます。

Apache の自動アップグレードでは、既存 Apache の環境が移行されないため、Apache の環境を変更されている場合には再設定が必要です。

Ver.3.1.7.5からポート番号については旧環境から引き継がれるようになりました。

対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.7.4より前のバージョンから 3.1.7.4 以降のバージョンへバージョンアップし、かつ Apache の環境を変更している場合。

例) SSL環境で使用している場合

再設定方法

自動で Apache がバージョンアップされた場合、古いバージョンのApacheは

< インストールフォルダ > \Apache

から

< インストールフォルダ > \Apache2_0_backup

へリネームされています。

必要に応じて設定ファイルを移行してください。

8.8 Ver3.3.3.34 - Apache2.2.27(IPv6対応版)への自動バージョンアップ

概要

ExaPad Ver.3.3.3.34から、使用するApache のバージョンが 2.2.25 から 2.2.27 へバージョンアップされました。

ExaPad Ver.3.3.3.34より古い環境からも、最新版をインストールすることで自動的にApacheのバージョンアップも行われます。

Apache の自動アップグレードは、既存 Apache の環境が移行されたため、そのままご利用できます。

このバージョンのApacheからIPv6 接続が可能になりますが、標準ではIPv4 でのみ接続するように設定されています。

Apache を 80 (SSL443) 番ポート以外でご利用中のお客様は、IPv4・IPv6 両方で接続できる状態になる可能性があります。アクセスログにIPv4・IPv6 のIPアドレスが混在してしまうなどの弊害がでるため、どちらか一方 (IPv4) での運用を推奨いたします。

対象となるお客様

Ver.3.3.3.34より以前のバージョンをApache を 80(SSL443)番ポート以外でご利用中で、かつIPv6 に対応したネットワーク環境で運用されているお客様。

設定方法

ここでは、IPv4固定の設定を行います。

```
<インストールフォルダ>\Apache\conf\httpd.conf
```

を開き、Listen で始まる行を探してください。

通常は以下のように

```
Listen 80
```

や

```
Listen 0.0.0.0:80
```

などのようになっています。

- 0.0.0.0:80 のようポート番号の前に初めから0.0.0.0: がついている場合は、IPv4 接続で固定化されているため変更は不要です。
- 0.0.0.0: がついていない場合は、付与してください。
- SSL環境のお客様はhttpd-ssl.confもご確認ください。
- 設定後、WEBサーバーを再起動してください。

8.9 Ver3.4.0 - 旧UIの廃止と仕様変更

概要

ExaPad Ver.3.4.0から、旧UI(クラシック表示)が完全に廃止され、Ver.3.2.2から導入されている新UIで動作します。

Internet Explorer6・7 ではご利用できません。

それに伴う仕様変更と、それ以外の重要な変更についてお知らせします。

旧UIの廃止 (Internet Explorer 6・7のサポート終了)

これまで Internet Explorer6・7 からアクセスした場合には、自動的に旧UIで表示されていましたが、本バージョン以降ではこの機能がなくなり、必ず新UIで表示されます。(旧UIは使用できません。)

そのため Internet Explorer6・7 では、Javascript や CSS が動作しないなどの理由で正常にご利用いただけません。

旧UIの廃止に伴い、次の設定項目が削除されます。

use_classic_ui

breadcrumbs_contextmenu_enabled

breadcrumbs_pathlink_enabled

contextmenu_file

contextmenu_folder

dateselector_yearrange

filelist_fixedfirst

filelist_fixedorder
filelist_fixedviewtype
filelist_hidesubdir
filelist_showsubdir_ingrid
filestorage_disabled
flatsubdir_agents
gridview_contextmenu_enabled
gridview_pathlink_enabled
gridview_pathlink_type_dclick_list
menu_advsearch
menu_list_copy
menu_list_delete
menu_list_move
menu_list_recreate
menu_m_lang_select
menu_m_loginlogout
menu_m_pc_or_mobile
menu_m_propertylink
menu_m_referer
menu_searchbody
menu_searchbutton
menu_searchname
mobile_android_forcedownload
mobile_gridview_pathlink_type_list
mobile_links_in_grid
mobile_pages_maxcache

prefer_flash_uploader

showdownloadlinkdialog

showfileselector

subdir_contextmenu_enabled

subdir_pathlink_enabled

textsearch_enabled

upload_file_dialog

アクセスログファイルのパス形式の変更

本バージョンからアクセスログに記録されるファイルのパス形式が、ExaPad独自の「ファイルシステムパス」形式へ変更されました。

例えば、ドキュメントルートが C:\Share、エイリアスが SH1 に設定されている場合、C:\Share\SubDir フォルダは次のように出力されます。

- 旧バージョン

C:\Share\SubDir

- 新バージョン (ファイルシステムパス)

/SH1/SubDir

アクセスログ集計ツールは旧バージョンのアクセスログファイルにも対応しているため、そのままご利用できます。

ランキング集計時に「ファイル/フォルダ絞込み」を指定している場合は、修正が必要になります。

ファイルシステムパスについて、詳しくは[こちら](#)をご覧ください

旧ツールのサポート終了

次のツールはExaPad Ver.3.4.0以降使用できません。

- FbProperty.exe

ファイル拡張属性設定ツール。今回のインストーラーから含まれません。今後はAPI[setfileproperty, getfileproperty]をご利用ください。

次のツールは既に使用できません。

- FbStorage.exe

旧ファイル拡張属性設定ツール。FbProperty.exeの前身。既にインストーラーには含まれていません。

- FbAclManager.exe

旧セキュリティ拡張設定ツール。既にインストーラーには含まれていません。

8.1 Ver3.4.1.1 - Windows XP, 2003のサポート終了と仕様変更 0

概要

1. Windows XP, 2003 がサポート対象外となりました。
2. Webサーバー(Fb3Apache)サービスは、Local System 以外のアカウントでは起動できなくなりました。
3. 同一ドキュメント内のファイル・フォルダの移動時に、移動先のセキュリティ権限を継承するようになりました。
4. 直接ファイルオープンツールのインストール方法が変更されました。

変更点

1. Windows XP、2003 がサポート対象外となりました。

- Ver.3.4.1.1以降、ExaPad本体および直接ファイルオープンツールはサポート対象外のOSにインストールできなくなります。
- 旧バージョンを上記OSで使用しているお客様のサポートは引き続き継続されます。

2. Webサーバー(Fb3Apache) サービスは、Local System 以外のアカウントでは起動できなくなりました。

- 旧バージョンでは Webサーバーの実行アカウントを変更することが可能でしたが、今後は Local System アカウント以外では使用できなくなります。
- Local System 以外のアカウントでもサービスは起動されますが、ExaPadにブラウザからアクセスしたときにエラー画面へ移動します。

3. 同一ドキュメントルート内のファイル・フォルダの移動時に、移動先のセキュリティ権限を継承するようになりました。

- 従来は移動元のWindowsセキュリティ権限が引き継がれていましたが、Ver.3.4.1.1以降は同一ドキュメントルート内のファイルおよびフォルダの移動時に、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれるようになりました。
- Windows 7 / 2008 など、新しいWindowsエクスプローラーの動きに合わせた仕様変更です。
- 異なるドキュメントルート間の移動も従来どおり、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれます。

4. 直接ファイルオープンツールのインストール方法が変更されました。

- 旧バージョンでは、直接ファイルオープンツール (FbClient) のインストール時に各ブラウザのプラグインもインストールすることで、FbClient がインストールされているかを判定していました。
- 最新のブラウザやExaPadが対応していないブラウザでは判定に失敗する場合があります。Ver.3.4.1.1からはFbClientのインストール有無はユーザーの申告に基づいて判断するように変更されました。
- 詳しいインストール方法は[こちら](#)をご覧ください。

8.1 Ver3.5.0 - パス形式の変更

1

概要

ExaPad Ver.3.5.0から URLおよび各種パスの表記法がファイルシステムパス形式に変更されました。

Ver.3.4.1.9まで (path & dra 方式) の例

- URL

```
http://server/ExaPad/index.php#path=/sample&dra=DocRoot
```

- 設定ファイルなどの表記法

```
C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot\sample
```

Ver 3.5.0以降 (ファイルシステムパス形式) の例

- URL

```
http://server/ExaPad/index.php#path=/DocRoot/sample
```

- 設定ファイルなどの表記法

```
/DocRoot/sample
```

背景

従来のExaPadでは、ファイルのパスを C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot のような実際のパスを指定していました。この方式ではドキュメントレートの場所が変更された場合に、実際のパスが指定されている全ての設定箇所の修正が必要であり不便でした。

そこで実際のパスではなく、仮想のパス(ファイルシステムパス)で設定できるようにして、実際のパスはドキュメントレートの設定にのみ指定し、他の設定はファイルシステムパスで指定できるようにしました。

既にプレビュー設定や、アクセスログファイルなどに使用されていましたが、今回URLと設定ファイルなどの表記法もファイルシステムパスを使用するように統一しました。

ファイルシステムパスの仕様

エイリアスが指定されている場合

- ドキュメントルート: C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot
- エイリアス: Document

C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot\sample.txt は次の表記になります

```
/Document/sample.txt
```

エイリアスが指定されていない場合

/エイリアスが省略され、ドキュメントルートからの相対パスで表記します。

- ドキュメントルート: C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot
- エイリアス: 指定なし

C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot\sample.txt は次の表記になります。

```
/sample.txt
```

注意点

1. URLの表記法

- 前述のようにURLはファイルシステムパスが適用されます。
- 下位互換のためにindex.php経由のアクセスやポータル機能では、従来のpath+dra方式でも開くことができ、自動的にリダイレクトされます。
- ブラウザのブックマーク等はそのままだで使用できます。（今後サポートされなくなる可能性もあるため、なるべくお早めに更新してください。）

2. 設定ファイルの表記法

- 管理ツールの「除外設定」「アクセスログ集計」「ファイルプロパティ拡張」「セキュリティ拡張」で、ファイル・フォルダを指定している箇所は ExaPadVer.3.5.0までは実際のパスで表記されていましたが、全てファイルシステムパスが適用されます。
- バージョンアップ時に自動で変換されるため修正は不要ですが、念のためバージョンアップ後に確認ください。

3. ユーザー招待機能のドメインフォルダ

- ユーザー招待機能の基本となるフォルダは、従来まで実際のパスで表記されていましたが、Ver.3.5.0からファイルシステムパスが適用されます。
- ユーザー招待機能をご利用中のお客様は、ドメインフォルダをファイルシステムパスへ手動で設定を変更してください。

4. tpidxcmd.exeのpathパラメーターの表記方法

- ExaPadに同封されている tpidxcmd.exe で path パラメーターを指定できるコマンドは、ファイルシステムパスが適用されます。
- 定期タスクなどで利用されているお客様は設定を変更してください。

5. ポータル機能の変更点

- [ポータル機能](#)で docroot*.html を使用できなくなりました。各ドキュメントルートに index.html を配置してください。
- html ファイルに書かれている dra パラメーターは引き続き対応されます。
- APIを直接呼び出している箇所は、dra パラメーターには対応されないため修正をしてください。

6. アクセスログにおける前バージョンのファイルシステムパスの違い

- アクセスログファイルはExaPadVer.3.4.0にて、パス形式がファイルシステムパスへ適用されています。
- エイリアス設定がない場合、Ver.3.4.1.9まではダミーのエイリアス __root__ が出力されていました。

○ Ver.3.4.1.9まで

/__root__/sample.txt

- Ver.3.5.0以降

/sample.txt

- [アクセスログ集計ツール](#)では自動的に新しいパス形式へ変換しますが、お客様が独自にアクセスログ集計を行っている場合にはご注意ください。

8.1 Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました

概要

ExaPadVer.3.5.1.1からインターネット接続によるアクティベーション(ライセンス認証)作業が必要になりました。

アクティベーションの実施がないとご利用いただけなくなります。

一度アクティベーションを行ったマシンでは、その後のExaPadバージョンアップ時のアクティベーションは不要です。

アクティベーション方法

- Ver.3.5.1.1より前のバージョンをご利用の場合
 - Ver.3.5.1.1より前のバージョンを引き続きご利用される場合は、アクティベーションの実施は不要です。
 - Ver.3.5.1.1以降にバージョンアップされる場合は、インストーラに実行時にアクティベーションの実施が必要です。

- 評価利用中

- アクティベーションの実施は不要です。
- Ver.3.5.1.1以降へバージョンアップする場合にもアクティベーションの実施は不要です。

- 初めてライセンスを購入された場合

Ver.3.5.1.1以降、初めてライセンスを導入する時にアクティベーションの実施が必要です。

アクティベーション操作については[ライセンスの適用](#)をご覧ください。

8.1 Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、 3 ドキュメントルートエイリアスの省略禁止、 トップフォルダの表示

概要

ExaPadVer.3.6.0.1での大きな仕様変更は次の3点です。

1. 管理ツールのWeb化

今までExaPad付属の管理ツールで行っていた作業をWebブラウザを通してレポートからも設定を変更できるようになります。（ライセンス適用などの一部機能は今まで通り管理ツールでのみ対応しています）

レポートから設定を変更するには後述の設定が必要です。

2. ドキュメントルートエイリアスの省略禁止

ExaPadVer.3.5.1.1まではドキュメントルートが1つの場合に限りエイリアス名を省略（空）することが可能でしたが、今バージョンからは設定されていないと使用できなくなります。そのような環境でバージョンアップを行うと"default"というエイリアス名が自動でセットされます。

3. トップフォルダの表示

ExaPadVer.3.5.1.1まではドキュメントルートが2つ以上ある場合、その仮想の親フォルダとして"トップ"と言うフォルダが存在していました。Ver3.6.0.1からは、ドキュメントルートが1つの場合でもトップが表示されるようになりました。

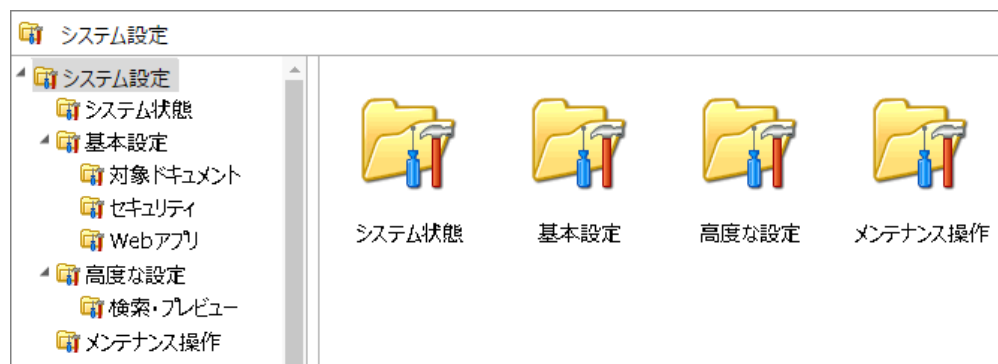
1 . 管理ツールのWeb化

新しいシステム設定画面を開く

ExaPadにログイン後、フッタのシステム設定リンクを選択します。



システム設定画面が開き、機能や配置は概ね以前の管理ツールと同じになっています。



リモートPCから設定を変更できるようにする

セキュリティの観点から、標準のままだとExaPadがインストールされたマシン以外からは設定変更ができないようになっていました。(システム設定画面を開くとAccess Denied (adminnetlist) (EWebFbAdminNetListError)と表示されます)

インストールマシン以外からも設定を変更できるようにするには、次の手順で設定してください。

1. Webブラウザでログインし、システム設定画面を開く

2. システム設定 > 設定全般(config.ini) の "adminnetlist" に接続を許可するIPアドレスの範囲を設定します。
3. 「保存する」を選択し、WEBサーバーを再起動してください。

2 . トキュメントルートエイリアスの省略禁止

ExaPadVer.3.5.1.1まではトキュメントルートが1つの場合に限りエイリアス名を省略（空）することが可能でしたが、今バージョンからは設定されていないと使用できなくなります。そのような環境でバージョンアップを行うと"default"というエイリアス名が自動でセットされます。

エイリアスが空からdefaultに変更した場合の影響

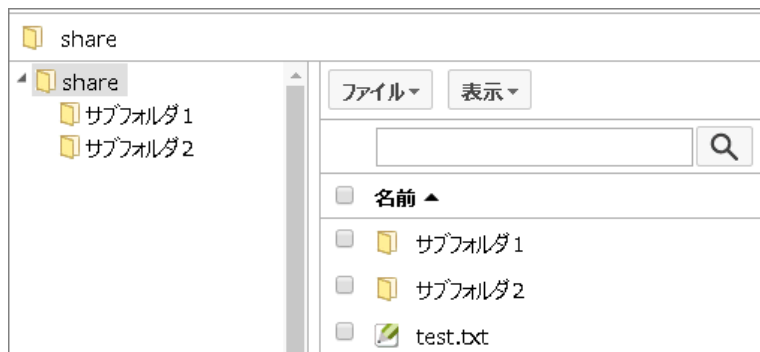
- トキュメントルートがC:\shareに設定されている場合のC:\share\test.txtの[ファイルシステムパス](#)は以下のように変更されます

```
/test.txt      default /test.txt
```

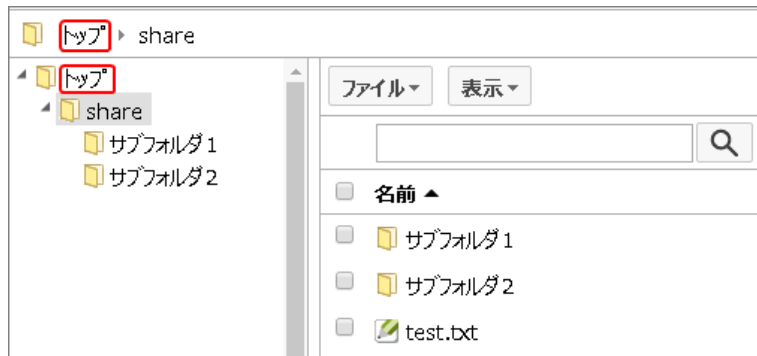
- ブラウザのブックマークなど、エイリアスが含まれない古いパスでアクセスした場合には自動的にリダイレクトされるのでそのまま変更不要です
- 検索インデックスやプレビューファイルの再作成は不要です。そのままご利用いただけます

3 . トップフォルダの表示

Ver3.5.1.1まではトキュメントルートが1つの場合には、以下のように一番上のフォルダはトキュメントルートエイリアス名、またはトキュメントルートに指定しているフォルダ名（ここではshare）になっていました。



Ver3.6.0.1からはドキュメントルートが1つの場合でも必ず、トップフォルダが表示されるようになります。



8.1 Ver3.7.0 -

4 ユーザ・インターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしました

概要

ExaPadVer.3.7.0にてユーザーインターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしました。他にもいくつか修正点がありますので必ずご確認ください

1. ユーザーインターフェースの刷新

タブレットなどのモバイル端末でも快適に操作できるように、操作メニューをシンプルに、閲覧画面を広くしました

2. Acrobat Readerを使わずにPDFファイルをプレビューできるようになりました

Ver3.6.1まではPDFファイルの閲覧はAdobe Acrobat Readerを起動するか、画像でのプレビューで行っていました。Ver3.7.0からはPDFファイルを独自にレンダリングできるようになりました。これにより、Acrobat Readerがインストールされていない環境でもページ内での検索やテキストの選択などができるようになりました

Office文書やCADファイルもPDFプレビューが可能です。後述の説明をご覧ください

3. 統合Windows認証機能を一時的に無効化します

申し訳ございませんが、対応されるまでしばらくお待ちください。詳しくは後述の説明をご覧ください

4. 他の人が投稿したコメントは削除できなくなりました

Ver3.6.1までは投稿されているコメントを誰でも削除することができましたが、今後は自分が投稿したコメントのみ削除できます
ExaPad管理者はすべてのコメントを削除できます

1 . ユーザーインターフェースの刷新

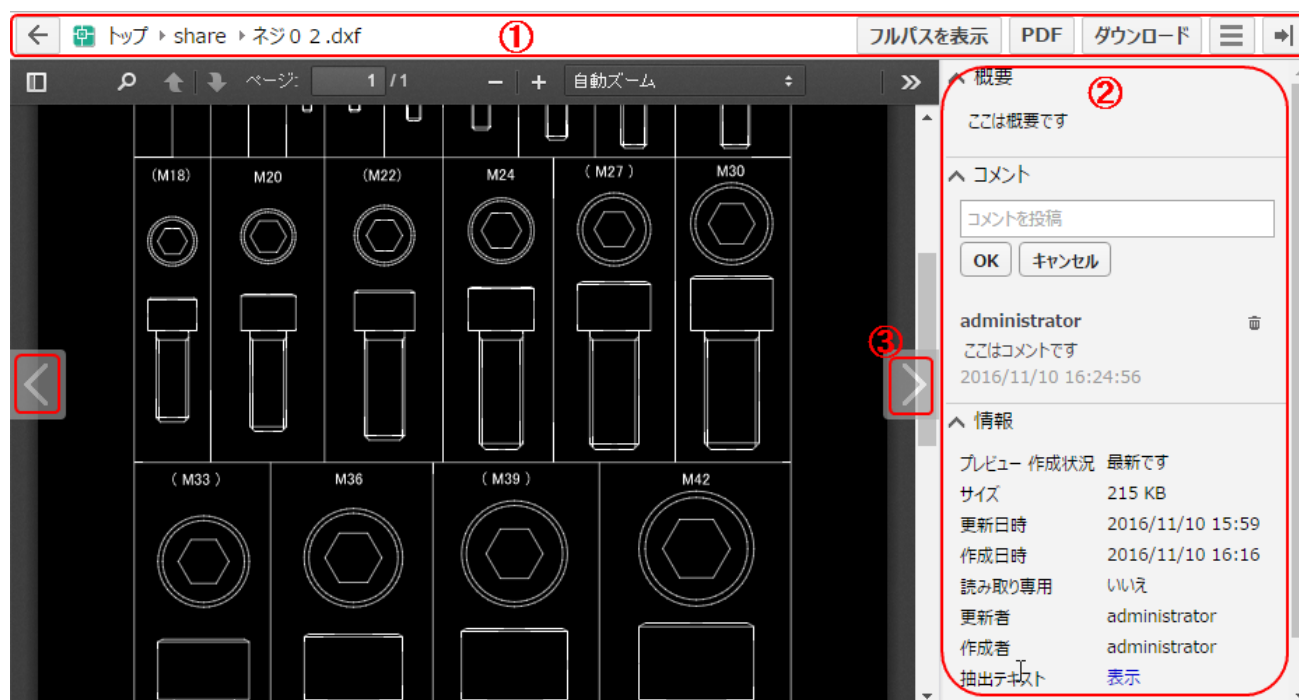
一覧画面



ファイルメニューを右側に移動し、ツールバーを1行にまとめました

[結果をさらに表示]ボタンを廃止し、自動で次の結果を表示するようにしました

閲覧画面

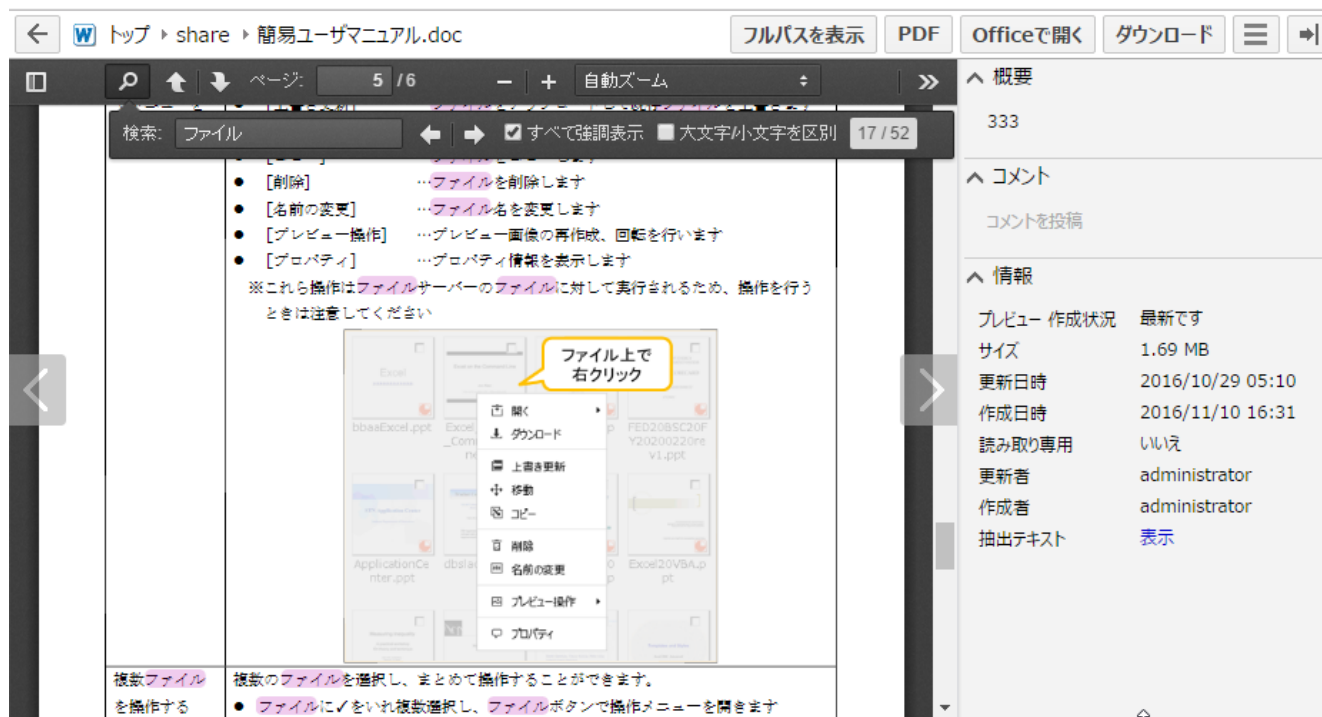


ヘッダーの製品ロゴを非表示にし、ツールバーを1行にまとめました

概要、コメントを入力しやすく、ファイルの情報を表示するようにしました

次のファイル、前のファイルボタンを中央に移動し、大きくしました

2. Acrobat Readerを使わずにPDFファイルをプレビューできるようになりました



Ver3.6.1まではPDFファイルの閲覧はAdobe Acrobat Readerを起動するか、画像でのプレビューで行っていました。Ver3.7.0からはPDFファイルを独自にレンダリングできるようになりました

これによりAcrobat Readerがインストールされていない環境においても、PDFファイルやOffice文書(docx, pptx, xlsx)のPDFプレビューファイルの「ページ内での検索」や、「テキストの選択」などができるようになりました

ファイル一覧画面から検索して閲覧画面を開いた場合は検索キーワードが引き継がれます

Internet Explorer9, 10は、旧来通りAcrobat Readerでの表示となります

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様は設定を変更しない限り、Office文書(docx, pptx, xlsx)のPDFプレビューは作成されない設定になっています

Office文書のPDFプレビューを作成する場合は、設定を変更し、その後一旦すべてのプレビューファイルを削除する必要があります

詳しくは以下の手順にしたがってください

1. Ver3.7.0へアップデートします。
2. ブラウザからログインし、システム設定 > プレビュー作成設定にて、「随時作成設定」を[PDF] もしくは[PDF_HTML] にします

[PDF] : Word, PowerPoint, ExcelファイルをPDF形式でプレビューする場合

[PDF_HTML] : Word, PowerPoint ファイルはPDFで、ExcelファイルはHTML形式でプレビューする場合

3 . サービスを再起動します。

4 . 管理ツールを起動し、保守ツール > プレビュー保存フォルダ整理 画面から "プレビュー削除 " にチェックを入れ実行ボタンをクリックします。これにより既存のプレビュー画像が削除されます

デフォルトでは全てのドキュメントに対して、全てのプレビューファイルの削除を行いますので注意してください!!

Office文書のプレビューデータを削除した場合は、"ファイル種類(マスク)" にプレビューを作り直したいファイル種類を指定してください

5 . ブラウザからログインし、各ファイルの閲覧ページに移動してください

プレビュー作成処理が開始され、しばらくするとPDF形式でプレビューが表示されます

3 . 統合Windows認証 機能を一時的に無効化します

統合Windows認証を使用している場合、環境によっては頻繁にセッションが途切れる不具合が見つっております。そのため今回のバージョンでは、統合Windows認証機能を無効化してあります。申し訳ございませんが、対応されるまでしばらくお待ちください。

システム設定 > 基本設定 > セキュリティにて [統合Windows認証] が有効になっている場合であっても、機能は無効化されます

4 . 他の人が投稿したコメントは削除できなくなりました



Ver3.6.1までは投稿されているコメントを誰でも削除することができましたが、今後は自分が投稿したコメントのみ削除できます

ExaPad管理者はすべてのコメントを削除できます

8.1 Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP

5 Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更されます

概要

Version3.8.0からExaPad内部で使用しているWEBサーバーを独自WEBサーバーへ変更しました。

独自WEBサーバへ変更することによるメリットは以下のとおりです。

1. セキュリティの強化

SSL通信の安全性が強化されました。

現時点で安全であることはもちろん、一般的によく使われる Apache や OpenSSL などのプロダクトに将来脆弱性が発見されても、これらに依存しない点で同じ攻撃に対して堅牢である可能性が高いと言えます。

1. 統合 Windows 認証機能の完成

従来は、Apache HTTPサーバを利用するアーキテクチャの限界により、環境によっては統合 Windows 認証機能によるシングルサインオンの動作にセッションが頻繁に切れる不具合がありましたが、Ver.3.8.0で統合 Windows 認証の完全な実装が完了しました。

1. 管理性の向上

原則として弊社提供の管理ツール/システム設定画面で設定変更を行うようになり、ほとんどのお客様にとって設定作業負荷が軽減されます。

従来の Apache HTTPサーバの場合のように、設定ファイルをお客様が直接編集することはないため設定ミスの発生余地が激減しています。ただし設定の自由度は失われております。ご了承ください。

また、httpd.conf などの設定ファイルをお客様自身でカスタマイズしていた場合は移行対象となりませんのでご注意ください。

ここではバージョンアップに伴う変更点をご説明します。

変更点

サービス名が Fb3Apache から Fb3Web に変更されます

新しい WEBサーバのサービス名は「Fb3Web」です。

Ver.3.8.0より前のバージョンから更新された場合、Fb3Apache サービスは削除されずに無効化されます。

HTTPS 接続時の通信プロトコルが TLS1.1, TLS1.2 に限定されます

従来は SSL3.0 での接続が可能でしたが、SSL3.0 プロトコルの利用には脆弱性があるため禁止しました。

現時点で TLS1.1、TLS1.2 に未対応の Web ブラウザはまだまだありません。従来の対応クライアントブラウザであれば接続可能です。

なお、Internet Explorer9・10でHTTPS接続できなくなる場合があります。その場合は以下の設定を確認してください。

- Internet Explorer → インターネットオプション → 詳細設定 → セキュリティ
 - 「SSL3.0を使用する」のチェックを外す
 - 「TLS1.0を使用する」のチェックを外す
 - 「TLS1.1を使用」のチェックを入れる
 - 「TLS1.2を使用」のチェックを入れる
 - 「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外す
- HTTPS接続でJavaアップロードを使用されている場合も同様に設定が必要になる場合があります。その場合は以下の設定を確認してください。
 - [Javaインストールフォルダ]\bin\javacpl.exe を起動する
 - 詳細 高度なセキュリティ設定
 - 「TLS1.1を使用する」と「TLS1.2を使用する」にのみチェックを入れる

http,https接続ポート番号の変更方法が変更されます

旧バージョンではポート番号の変更は、httpd.conf、httpd-ssl.confファイルを直接編集していましたが、今後は管理ツールから変更できます。

バージョンアップ時はhttpのポート番号は自動で移行されますが、httpsのポート番号は移行されないため管理ツールから変更してください。

変更方法については[こちら](#)をご覧ください。

カスタマイズフォルダの場所が変更されます

custom フォルダの場所が変更されます。

バージョンアップ時に自動で移行されるので別途必要な作業はありません

旧

ExaPadインストールフォルダ\Apache\htdocs\ExaPad\custom

新

C:\ProgramData\ExaPad3.0\htdocs\custom

IPv4,IPv6接続設定方法が変更されます

旧バージョンではPv4,IPv6の設定はhttpd.conf, httpd-ssl.confファイルを直接修正していましたが、今後は管理ツールから変更できるようになります。

変更方法については[こちら](#)をご覧ください。

Apacheアクセスログの代替機能

Apacheにはhttp接続のログを出力する機能がありましたが、これと同様のログをExaPadでも出力可能です。

ただし、標準では出力されない設定名になっているので、システム設定画面からweb_accesslog_enabled パラメータを有効にすることが必要です。

出力先は、C:\programdata\ExaPad3.0\weblog\access.log です。（ weblog_dir にて変更可能です。）

http接続全てのログが出力されます。

Apacheのアクセスログとはフォーマットが異なります。

8.1 Ver3.9.0 - 対応OS・ブラウザの変更、その他

6

概要

ExaPadVer.3.9.0にて、Microsoftのサポート期限到来による対応OS・ブラウザの変更が行われています。他にもいくつか修正点がありますので必ずご確認ください。

対応OS・ブラウザの変更

サーバー

- Windows Vistaが非対応OSになりました
- Windows Server 2016が対応OSになりました
- 32ビットOSは非対応になりました
- .Net Framework 4がインストール必須要件となりました

クライアント

- Microsoft Internet Explorer 9, 10がサポート対象外ブラウザになりました
サポート対象外となりましたが、お客様の責任において使用することは可能です

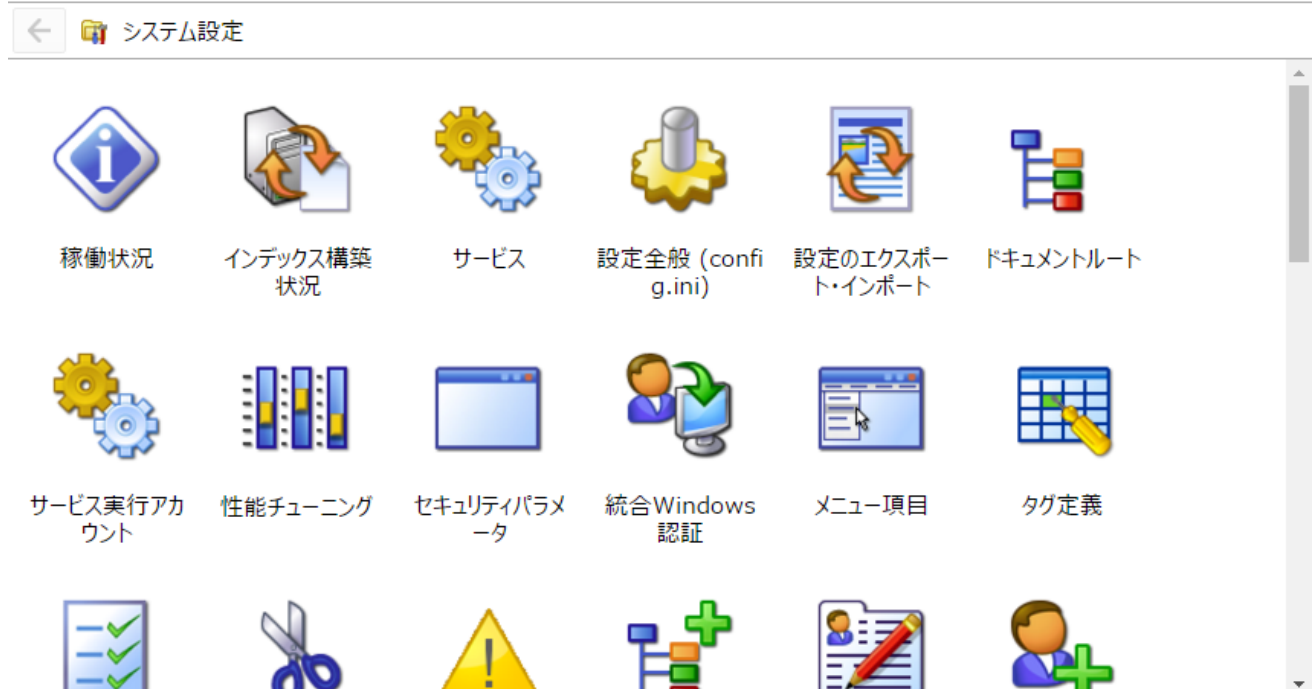
ファイル検索ユーザーインターフェースの改良

ファイル検索ユーザーインターフェースを改良し、簡単に高度な検索ができるようになりました。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

Postgresqlデータベースサービスがインストールされるようになりました

一部の情報管理のためにPostgresqlデータベースを利用するようになりました。サービス名はFb3Postgresqlになります。Postgresqlはインストーラーにより自動的にインストールされます。なお、全文検索エンジンは従来通りApache Solrを使用しています。

WEBシステム設定・管理ツールのユーザーインターフェースを改良しました



メニュー階層を無くし一覧性を向上させました。全ての設定がフラットに配置されたので、ブラウザのページ内検索で目的の項目を素早く見つけることができます。

ExaPadAPI V3を公開しました

ユーザーがExaPadの機能を使って、独自のアプリケーションを構築できるようにExaPadAPIを公開しております。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

8.1 Ver3.9.0.4 -

7 一部のセキュリティソフトがFbOpenWeb.exeのマルウェア感染を誤検知する問題を回避

概要

ExaPadVer.3.9.0.2 - Ver3.9.0.3に含まれるFbOpenWeb.exeが一部のセキュリティソフトに誤検知されており、インストールに失敗、もしくはデスクトップからExaPadを開けない不具合が報告されました。

対象となるお客様

ExaPadVer.3.9.0.2 および Ver3.9.0.3をインストールされたお客様。

備考

本不具合はFbOpenWeb.exeがInternet Explorerと同じアイコンを使用していたため、一部のセキュリティソフトが「Internet Explorerを騙るプログラム」と判定していました。

今回の修正で、弊社独自のアイコンに変更することで誤検知を回避しました。

あくまで、セキュリティソフトの誤検知ですので使用上問題ありませんが、なるべく早めのアップデートをお願いいたします。

8.1 Ver3.15.0 -

8 スマートカードやSSLクライアント認証およびシングルサインオン対応、その他

概要

Version3.15.0の主な変更点は以下の通りです。

1. セキュリティ機能の向上

スマートカード認証をサポート

Windowsログオンにおけるスマートカード認証の多くは、クライアント証明書認証の技術を応用したものです。ExaPadにおいても、スマートカードとPIN を組み合わせたログイン認証の動作は検証済みです。ユーザーID/パスワードの代わりに、スマートカードとPIN でログオンする環境のお客様もExaPadをお使いいただけます。

SSLクライアント認証をサポート

認証局が発行するルート証明書を登録して、クライアント証明書に基づく端末認証 / ユーザー認証 が可能です。Windows Active Directory証明局などの外部の認証局が発行した証明書に対応します。

シングルサインオンをサポート

サードパーティ製アクセス制御製品を利用したシングルサインオンを受け付ける、シングルサインオンオプション（別途有償）を提供します。詳しくは弊社サポートまでお問い合わせください。

2. 拡張プロパティがタグへ統合

旧バージョンでは「拡張プロパティ」（概要・コメント・Office プロパティ）と「タグ」は別々に管理されていましたが、本バージョンより全て「タグ」へ統合されました。

これにより、大きく2つの影響があります。

- Office プロパティはデフォルトで非表示になります
 - 非表示にはなりますが、変更していたプロパティの値は保持されています。表示するには[こちら](#)を参照してください。
 - 拡張プロパティを使用していた場合は、バージョンアップ時に自動で移行されます。
- フォルダ毎に異なる拡張プロパティの設定ができなくなります
 - プラグインにて対応可能です。詳しくはサポートまでお問い合わせください。

8.1 Ver3.16.0 - Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました

概要

1. 全文検索エンジン Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました。
2. タグ・プロパティの自動バックアップ タスクの追加
3. ライセンスの有効期限 保守期限の警告メッセージの仕様変更

詳細

1. 全文検索エンジン Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました。

新規にインストールされたお客様はVer.7での動作となります。

旧バージョンからアップデートされたお客様は引き続きVer.5での動作となります。インデックスデータに互換性がないため、Ver.7への変更にはインデックスの初期化が必要です。

また、Solr Ver.3を使用しているバージョンからのアップデート時にはインデックスデータが無効となり、サービスの起動・検索ができなくなりますのでご注意ください。（必ずバージョンアップ後にインデックスを初期化して再構築してください）

Solr Ver.3をご利用中の場合、インストール時に警告が表示されます。

詳しくは弊社サポートまでご連絡ください。

2. タグ・プロパティの自動バックアップ タスクの追加

タグ・プロパティの自動バックアップ機能が追加され、バージョンアップ時に自動で毎週土曜日に実行されるようになります。詳しくは[こちら](#)を参照してください。

3. ライセンスの有効期限 保守期限の警告メッセージの仕様変更

警告を表示する残り日数の境界を 60日から30日に変更しました。

また、システム設定画面においては、それ以前(30日以上365日未満)に同様の警告を表示されるようになりました。これによりシステム管理者様はシステム設定にアクセスすることでより早く期限日を確認できるようになります。

無期限版でライセンス番号が有効な場合には期限のないためシステム画面に警告は表示されません。

